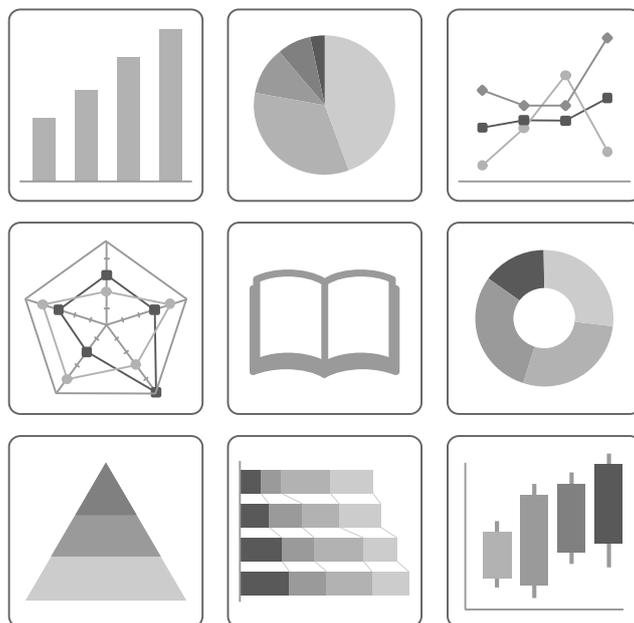


豊橋市
男女共同参画及び性の多様性の尊重
に関する市民意識調査
調査結果報告書



令和 6 年 3 月

豊 橋 市

目次

| | | |
|-----|-----------------------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 1 |
| 2 | 調査対象 | 1 |
| 3 | 調査期間 | 1 |
| 4 | 調査方法 | 1 |
| 5 | 回収状況 | 1 |
| 6 | 調査結果の表示方法 | 1 |
| 7 | 標本誤差 | 2 |
| II | 調査結果 | 4 |
| 1 | 回答者属性 | 4 |
| A | 性別 | 4 |
| B | 年代（年齢） | 4 |
| C | 職業 | 5 |
| D | 配偶者の有無 | 9 |
| D-1 | 共働きについて | 9 |
| E | 家族構成 | 10 |
| 2 | 男女の平等感について | 11 |
| (1) | 社会全体の男女の地位評価（問1） | 11 |
| (2) | 各場面および分野の男女の地位評価（問2） | 14 |
| (3) | 家庭において優遇されていると思う理由（問2-1） | 30 |
| 3 | 男女の意思決定について | 31 |
| (1) | 政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由（問3） | 31 |
| 4 | 家庭・仕事・地域活動のバランスについて | 34 |
| (1) | 平日・休日の活動時間（問4） | 34 |
| (2) | 望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係（問5） | 38 |
| (3) | 現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係（問6） | 42 |

| | | |
|----|--|-----|
| 5 | 男女の働き方について | 47 |
| | (1) 性別役割分担意識(問7) | 47 |
| | (2) 性別役割分担意識についてそう思う理由(問7-1) | 51 |
| | (3) 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方(問8) | 55 |
| | (4) 男性の育児や介護での休みについてそう思う理由(問8-1) | 59 |
| | (5) 女性が仕事をするについて(問9) | 62 |
| | (6) 女性が働き続けるために必要と思うこと(問10) | 65 |
| | (7) 離職した女性が再就職を考えたときに基準にすること(問11) | 68 |
| | (8) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて(問12) | 71 |
| | (9) 女性が理工系分野の職業を目指すことについてそう思う理由(問12-1) | 73 |
| | (10) 男性が看護師等分野の職業を目指すことについて(問13) | 76 |
| | (11) 男性が看護師等分野の職業を目指すことについてそう思う理由(問13-1) | 78 |
| | (12) 豊橋市から大都市圏への流出について(問14) | 81 |
| 6 | 生活について | 84 |
| | (1) 新型コロナウイルス感染拡大後の生活について(問15) | 84 |
| | (2) 新型コロナウイルス5類感染症引き下げ後の生活について(問15-1) | 103 |
| 7 | 子どもへの男女共同参画教育について | 122 |
| | (1) 子育てについての考え方(問16) | 122 |
| | (2) 男女平等のための学校教育のあり方(問17) | 126 |
| 8 | 配偶者等からの暴力について | 131 |
| | (1) 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験(問18) | 131 |
| | (2) 暴力行為(DV)についての相談相手(問18-1) | 136 |
| | (3) 相談をしなかった理由(問18-2) | 141 |
| | (4) 男女間における暴力(DV)を防止するために必要なこと(問19) | 145 |
| | (5) 豊橋市DV相談の認知度(問20) | 150 |
| 9 | 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について | 153 |
| | (1) 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無(問21) | 153 |
| | (2) 充実してほしい内容(問21-1) | 156 |
| 10 | 男女共同参画社会について | 158 |
| | (1) 用語の認知度(問22) | 158 |
| | (2) 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと(問23) | 170 |

| | | |
|---|------|-----|
| Ⅲ | 自由意見 | 177 |
|---|------|-----|

I 調査の概要

1 調査の目的

「豊橋市男女共同参画行動計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

豊橋市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和5年8月1日から令和5年8月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

| | 配布数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|----|--------|----------------------|-------|
| 市民 | 3,000通 | 723通 ※うちWEB回答268通 | 24.1% |

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 標本誤差

標本誤差については、下記算出式より算出する。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本数
 p : 回答比率
 κ : 信頼率による変数

標本数は、令和5年4月1日現在の市内在住満16歳以上の男女(全体)319,231人、男性159,506人、女性159,725人で算出する。

信頼率による変数 κ は、信頼率95%では1.96、信頼率99%では2.58と定義されており、今回の市民意識調査における信頼率を95%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなる。

| 標本数 | 回答比率 (%) | | | | |
|--------|------------|------------|------------|------------|--------|
| | 10% or 90% | 20% or 80% | 30% or 70% | 40% or 60% | 50% |
| 全体 723 | ±2.18% | ±2.91% | ±3.34% | ±3.57% | ±3.64% |
| 女性 404 | ±2.92% | ±3.90% | ±4.47% | ±4.77% | ±4.87% |
| 男性 304 | ±3.37% | ±4.49% | ±5.15% | ±5.50% | ±5.62% |

これは、ある質問において「A」という回答の割合が50%であれば、16歳以上の豊橋市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95%の確率で±3.64%の範囲内(3.64%～-3.64%)にあることを示す。

<各比較調査の詳細>

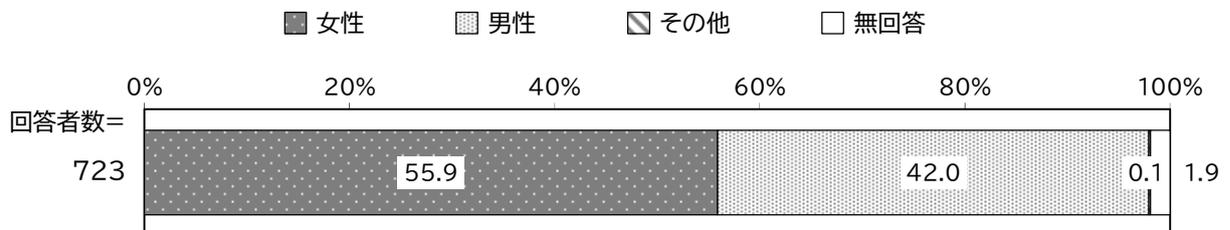
| 調査主体 | 調査名 | 調査時期 |
|--------|--------------------|---------|
| 国（内閣府） | 男女共同参画社会に関する世論調査 | 令和4年11月 |
| 国（内閣府） | 男女共同参画社会に関する世論調査 | 令和元年9月 |
| 愛知県 | 県政世論調査（男女共同参画について） | 令和4年7月 |
| 愛知県 | 県政世論調査（男女共同参画について） | 令和元年7月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 令和5年8月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 令和3年8月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 令和元年8月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成28年8月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成26年9月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成23年6月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成20年5月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成17年5月 |
| 豊橋市 | 男女共同参画に関するアンケート調査 | 平成13年8月 |

| No. | 調査項目 | 国 | 県 | 市 |
|-------|---------------------------|-----|-----|---|
| 問1 | 社会全体の男女の地位評価 | ○R4 | ○R4 | ○ |
| 問2 | 各場面および分野の男女の地位評価 | ○R4 | ○R1 | ○ |
| 問2-1 | 家庭において優遇されていると思う理由 | | | ○ |
| 問3 | 政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由 | | | ○ |
| 問4 | 平日・休日の活動時間 | | | ○ |
| 問5 | 望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係 | ○R1 | ○R4 | ○ |
| 問6 | 現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係 | ○R1 | ○R1 | ○ |
| 問7 | 性別役割分担意識 | ○R4 | ○R4 | ○ |
| 問7-1 | 性別役割分担意識についてそう思う理由 | | | ○ |
| 問8 | 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方 | | | ○ |
| 問8-1 | 男性の育児や介護での休みについてそう思う理由 | | | ○ |
| 問9 | 女性が仕事をするについて | | | ○ |
| 問10 | 女性が働き続けるために必要と思うこと | | | ○ |
| 問11 | 離職した女性が、再就職を考えたときに基準にすること | | | ○ |
| 問12 | 女性が理工系分野の職業を目指すことについて | | | ○ |
| 問12-1 | 女性の理工系分野について思うこと | | | ○ |
| 問13 | 男性が看護師等分野の職業を目指すことについて | | | ○ |
| 問13-1 | 男性の看護師等分野について思うこと | | | ○ |
| 問14 | 豊橋市から大都市圏への流出について | | | ○ |
| 問15 | 生活の変化について(コロナ渦前とコロナ渦の比較) | | | ○ |
| 問15-1 | 生活の変化について(コロナ渦前と現在の比較) | | | ○ |
| 問16 | 子育てについての考え方 | | | ○ |
| 問17 | 男女平等のための学校教育のあり方 | | | ○ |
| 問18 | 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験 | | | ○ |
| 問18-1 | 暴力行為についての相談相手 | | | ○ |
| 問18-2 | 相談をしなかった理由 | | | ○ |
| 問19 | 男女間における暴力を防止するために必要なこと | | | ○ |
| 問20 | 豊橋市DV相談窓口の認知度 | | | ○ |
| 問21 | 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無 | | | ○ |
| 問21-1 | 充実してほしい内容 | | | ○ |
| 問22 | 用語の認知度 | | | ○ |
| 問23 | 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと | | | ○ |

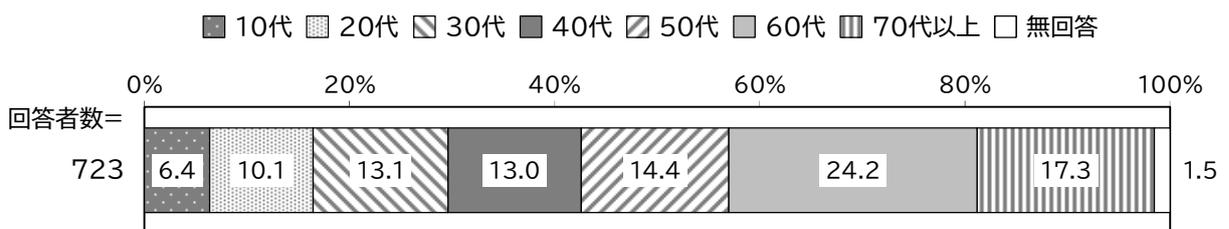
II 調査結果

1 回答者属性

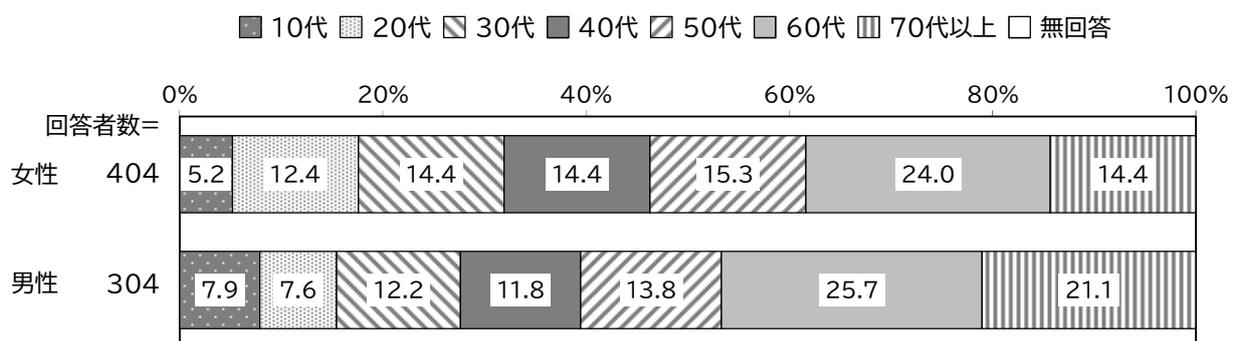
A 性別



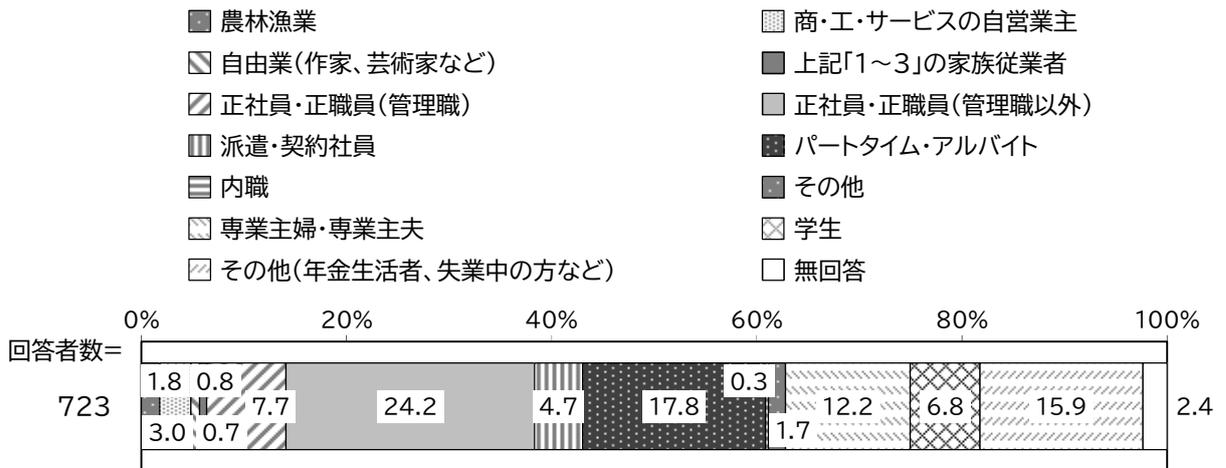
B 年代 (年齢)



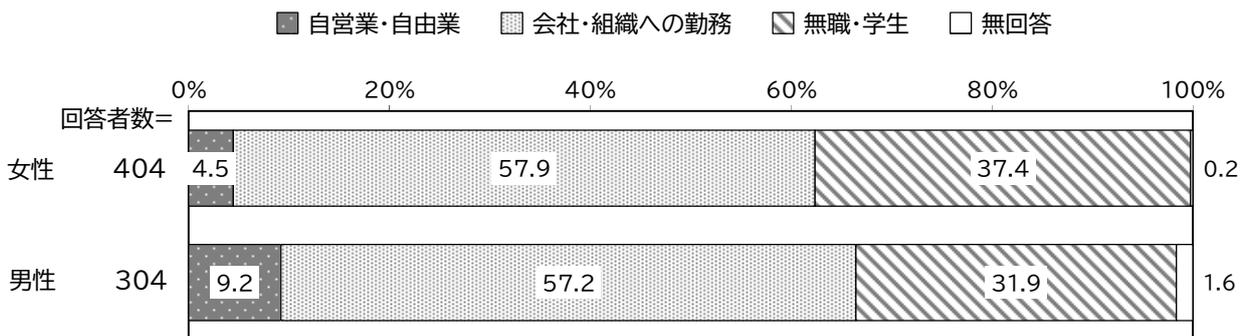
【性別】



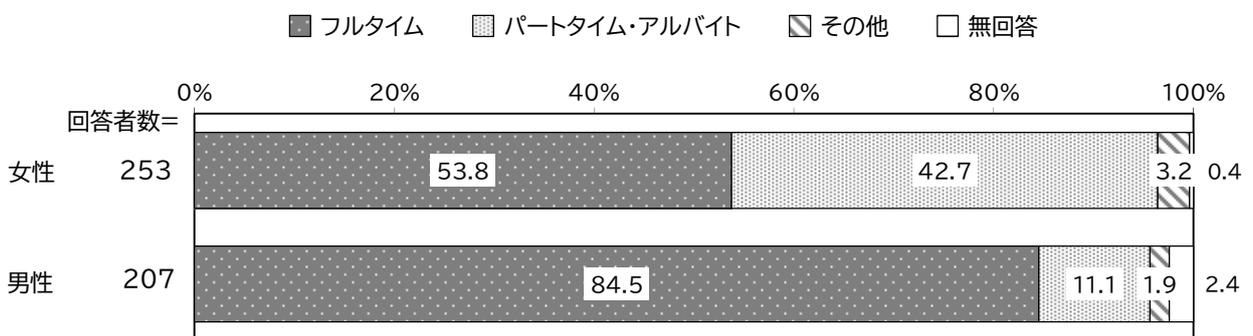
C 職業



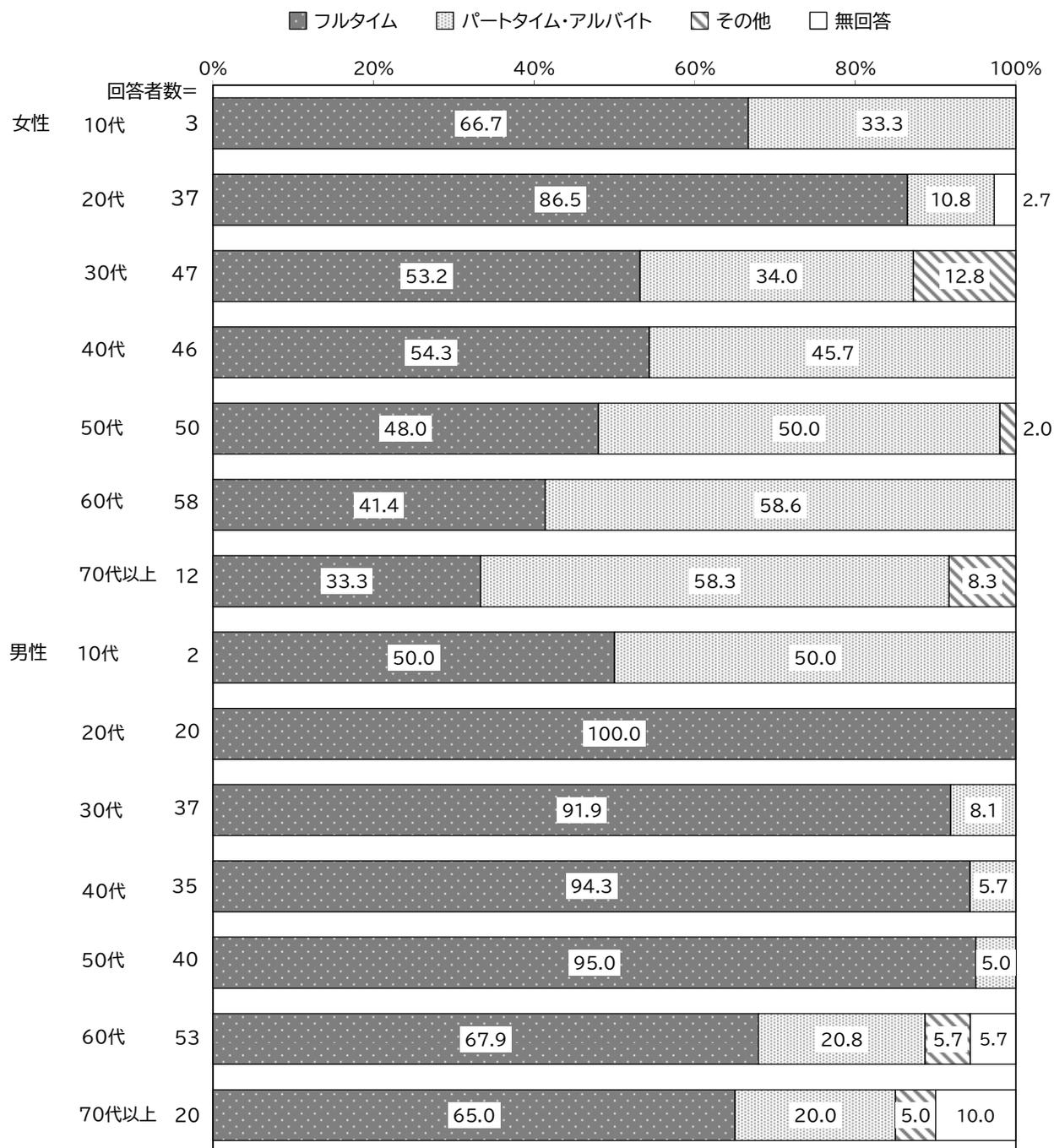
【性別】



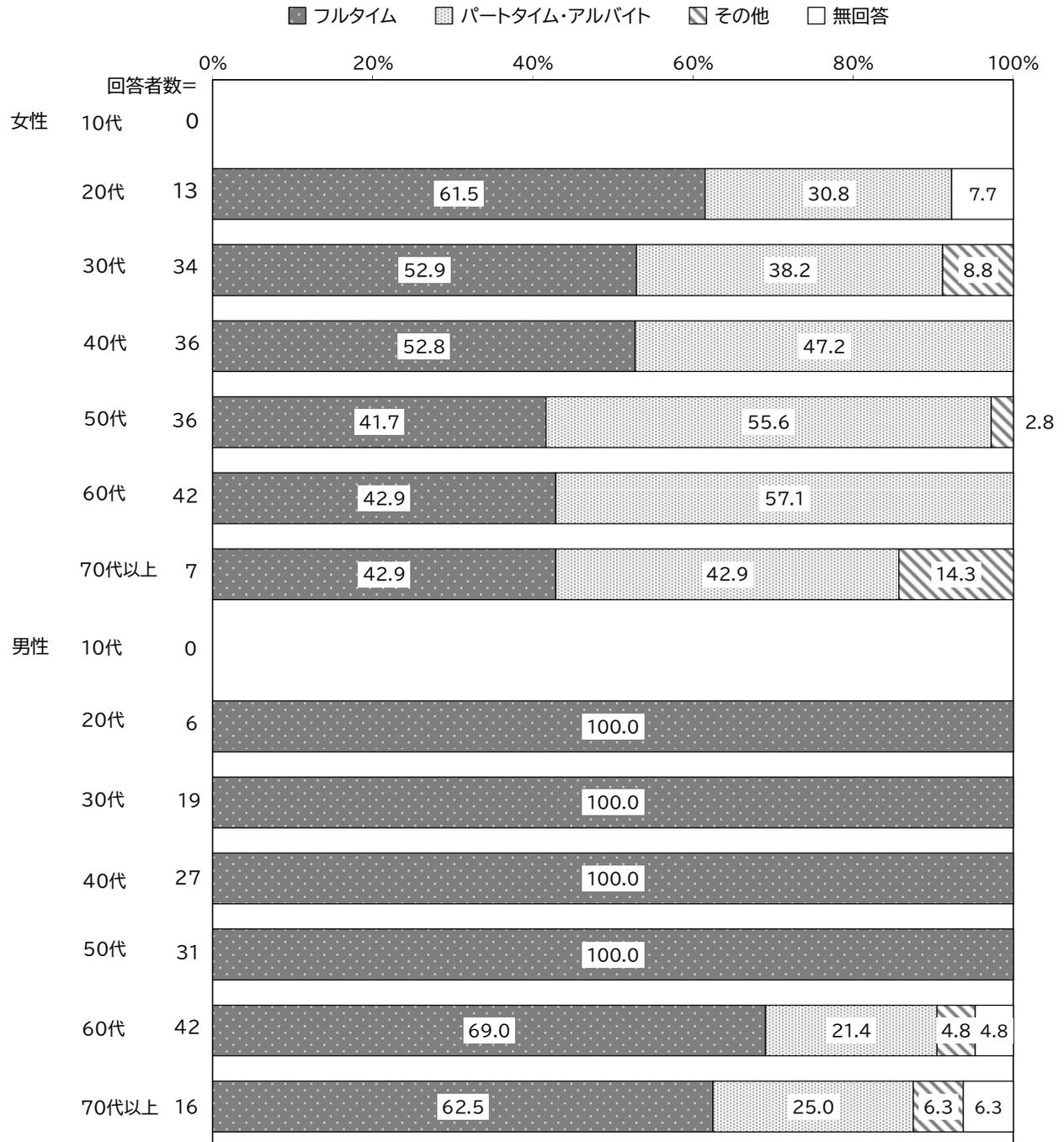
【就労形態】



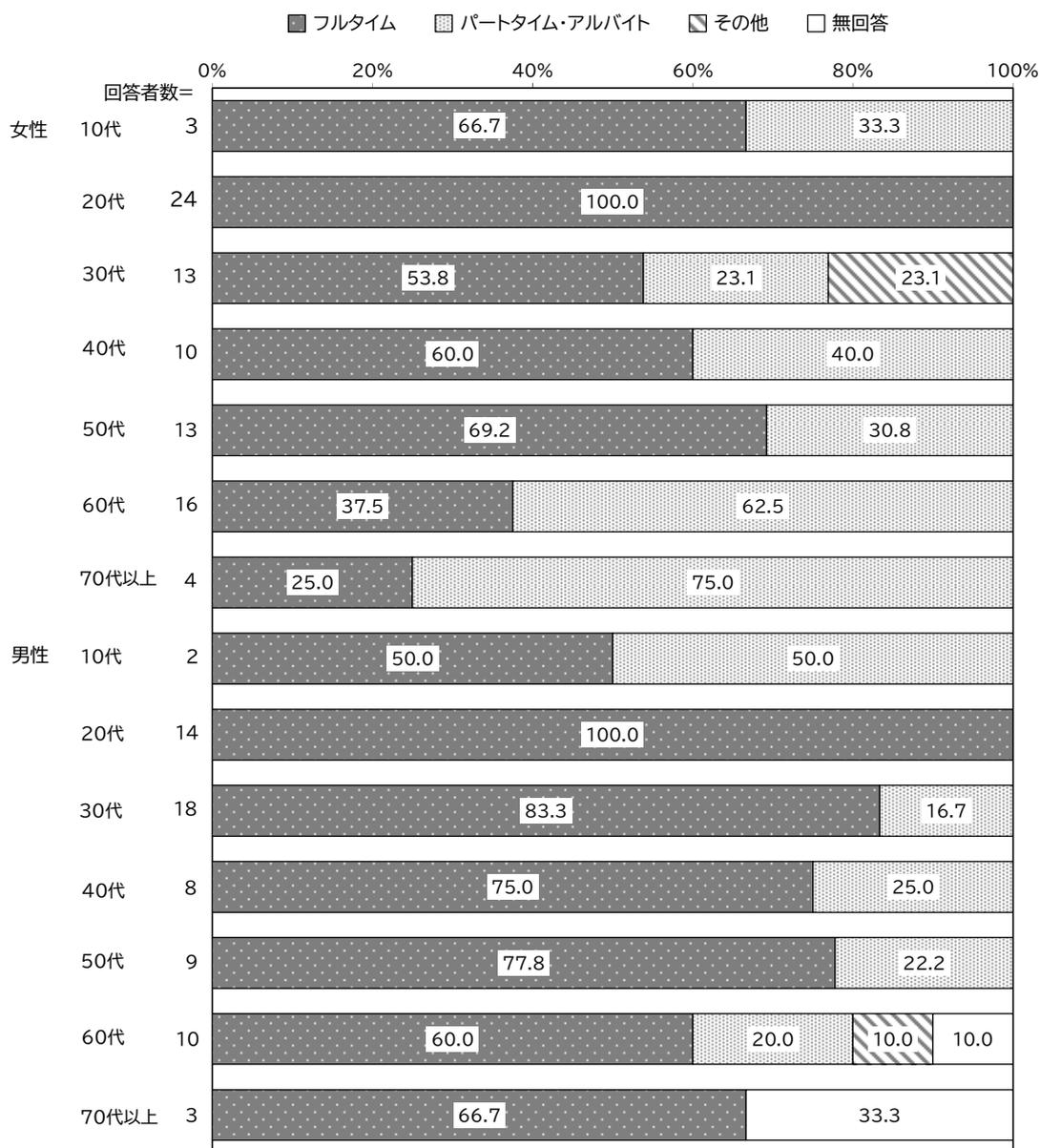
【性・年代別】



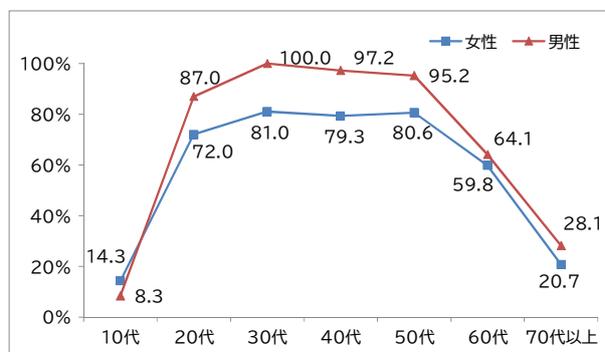
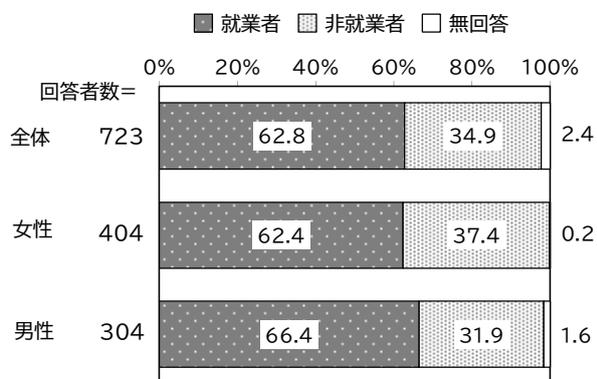
【配偶者の有無別（婚姻中）】



【配偶者の有無別（独身）】

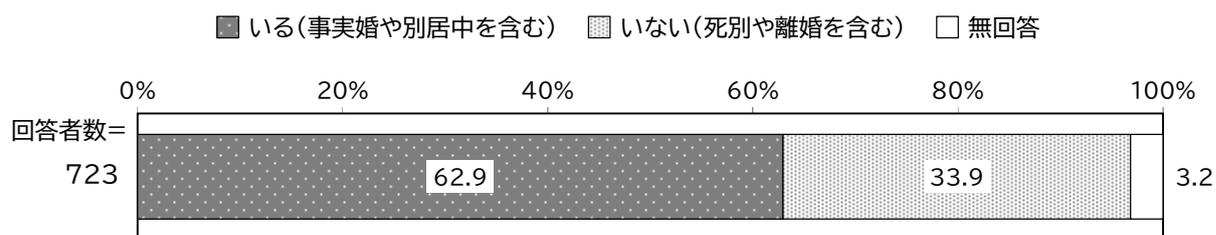


【就労の有無】

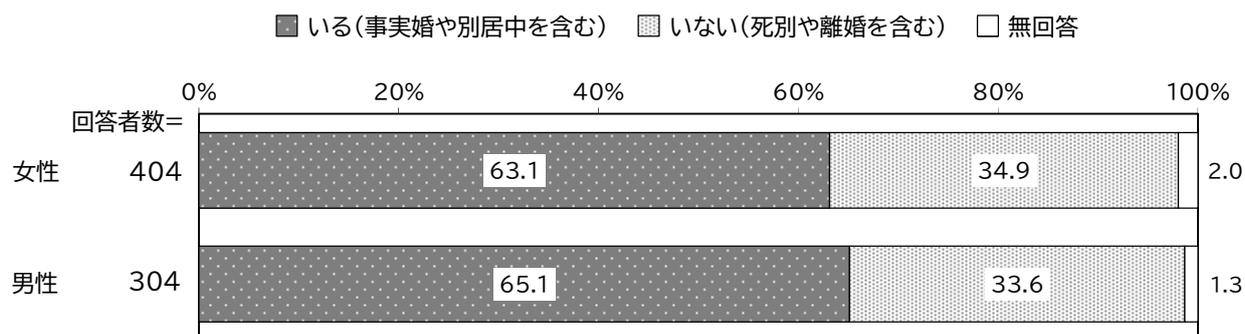


就労の有無について性別で見ると、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高くなっている。性・年代別で見ると、20代以上では、女性に比べ、男性で「就業者」の割合が高く、特に30代では約19ポイントの差がみられる。

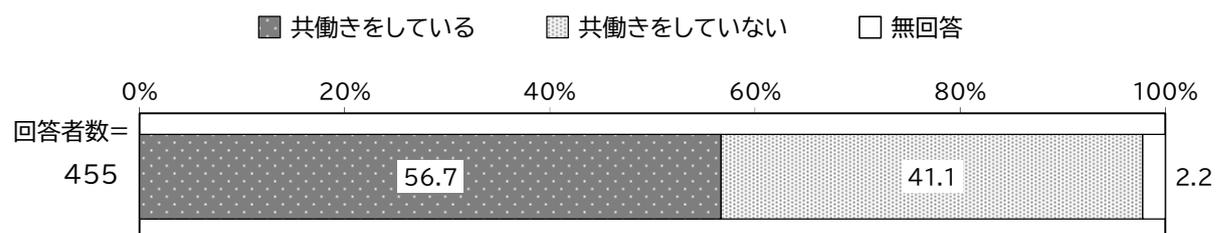
D 配偶者の有無



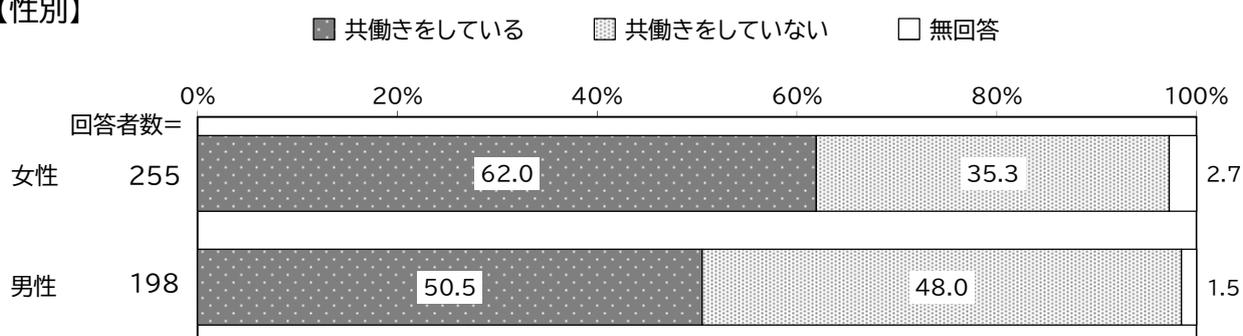
【性別】



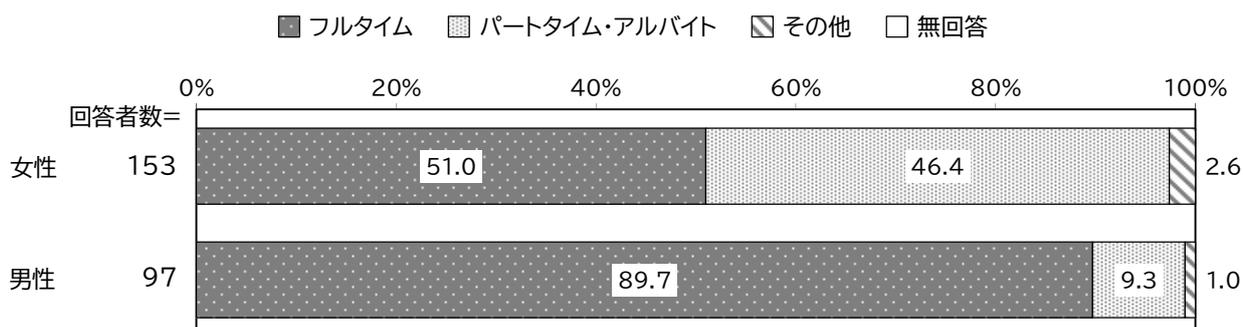
D-1 共働きについて



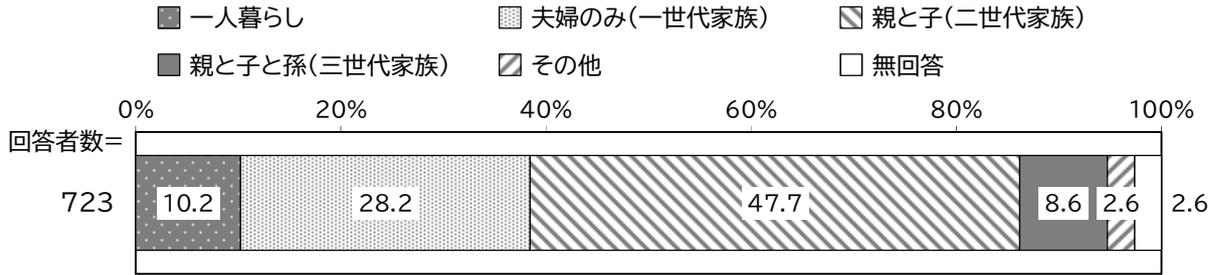
【性別】



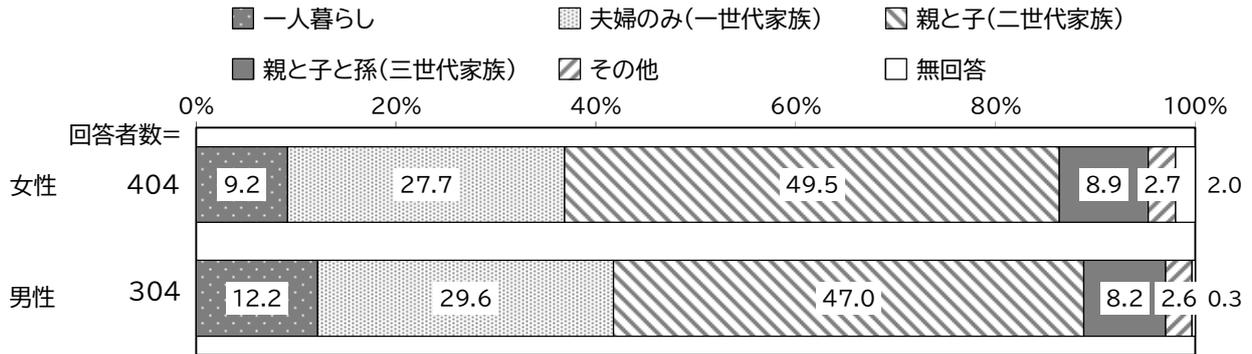
【就労形態（共働きをしている人）】



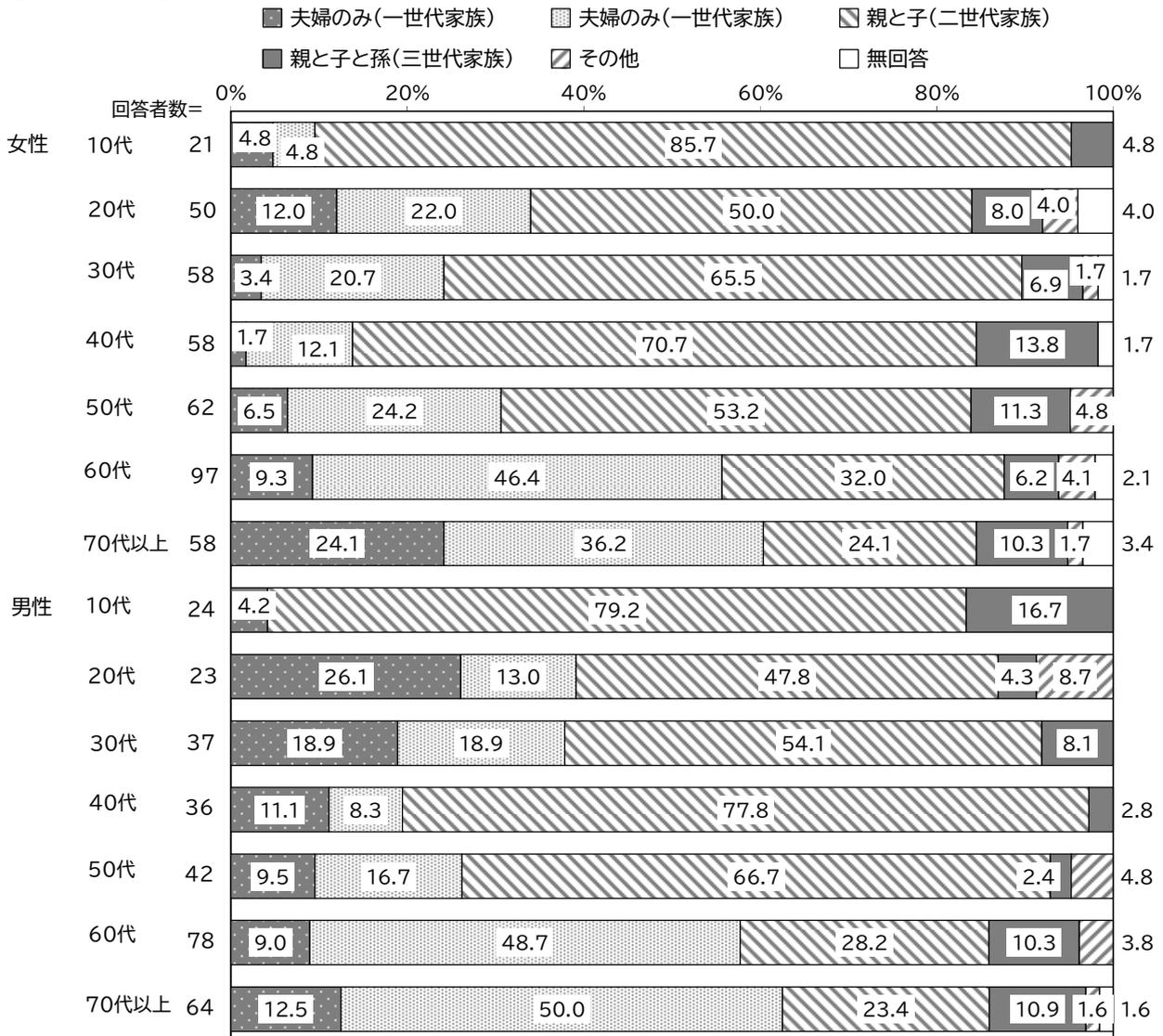
E 家族構成



【性別】



【性・年代別】



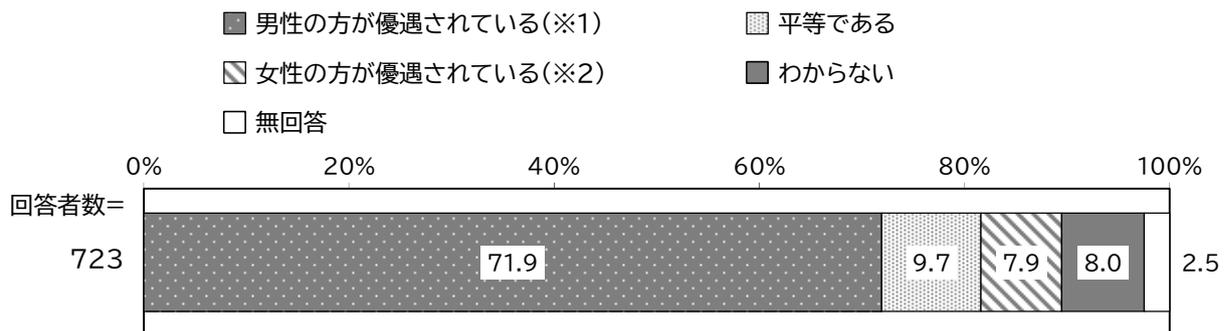
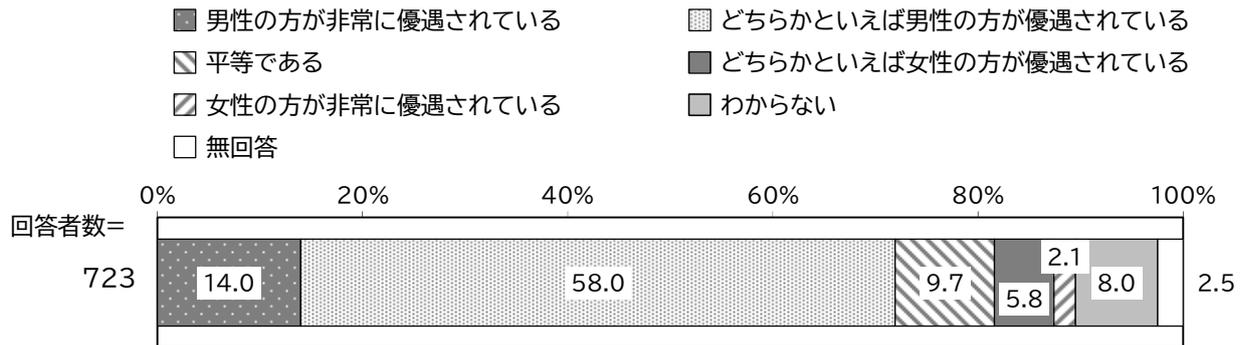
2 男女の平等感について

(1) 社会全体の男女の地位評価

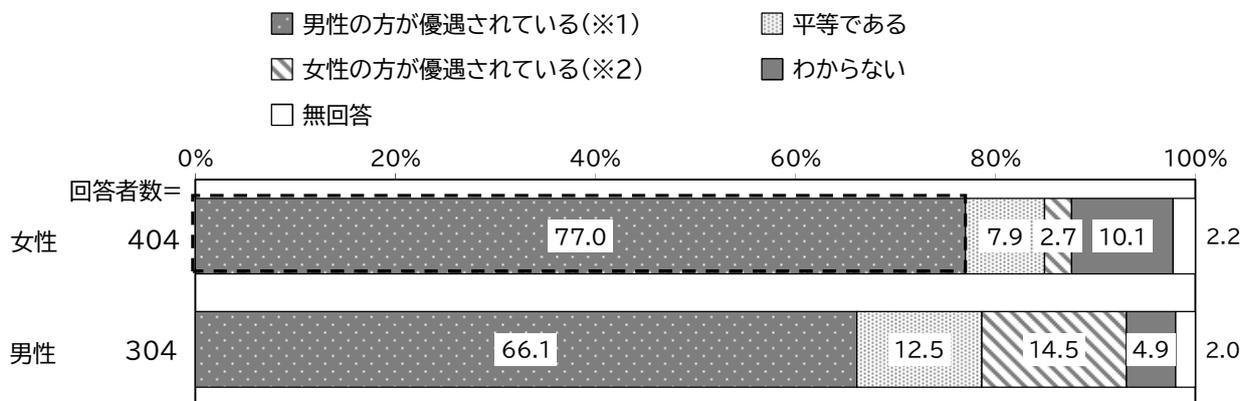
問1. 社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が71.9%、「平等である」の割合が9.7%、“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が7.9%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高い。



【性別】



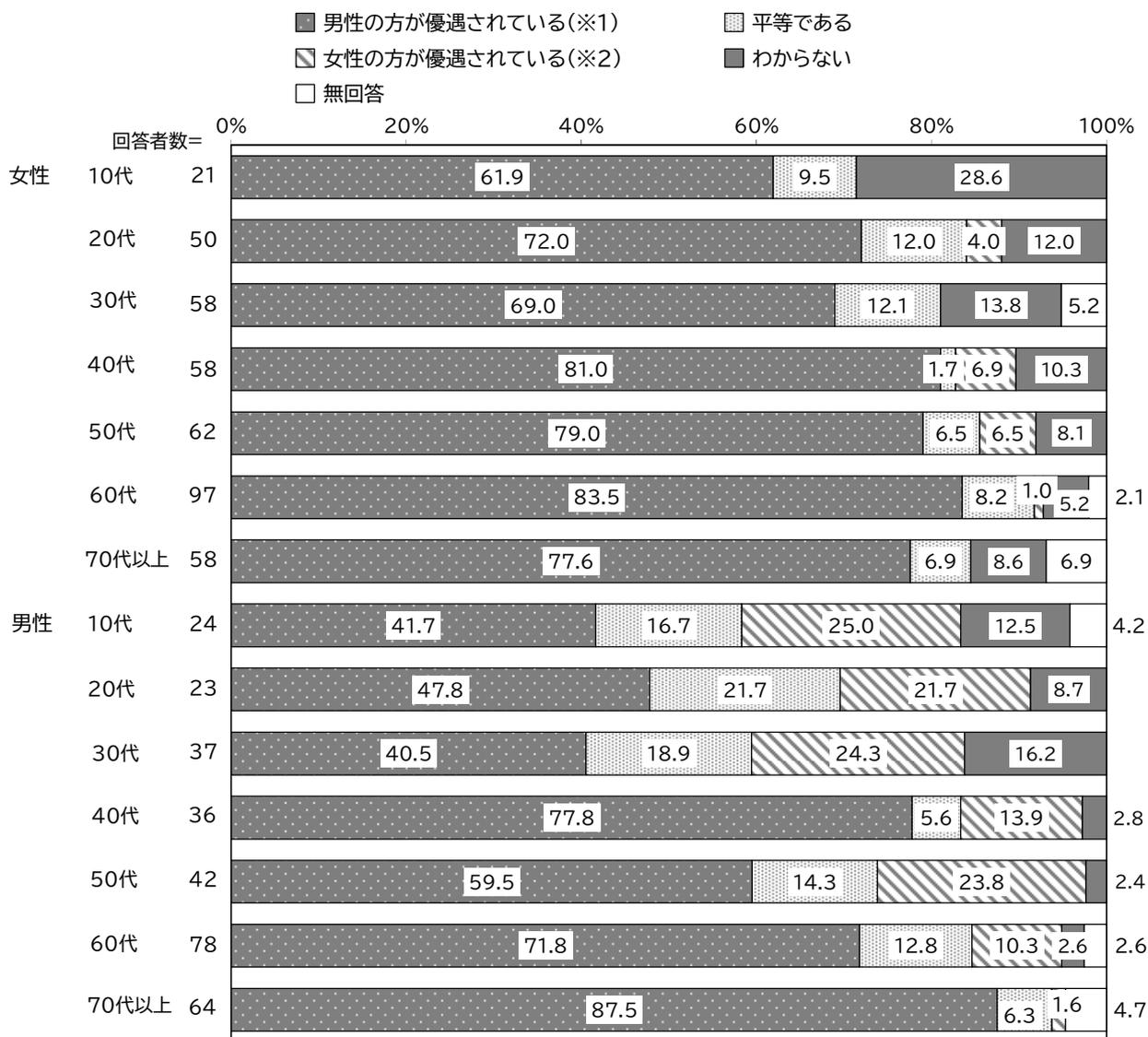
※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

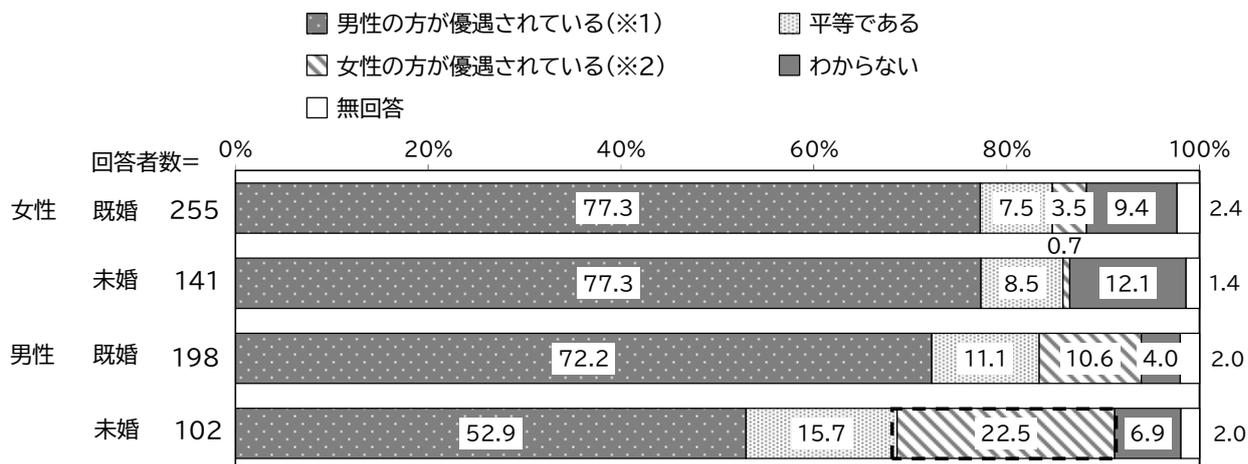
性・年代別で見ると、男性、女性ともに、年代が上がるにつれ“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高くなる傾向がみられる。

性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚男性で“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が高い。

【性・年代別】



【性・婚姻別】



国・愛知県との比較でみると、“女性の方が優遇されている（※2）”の割合は、国より高く、愛知県より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年から“女性の方が優遇されている（※2）”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

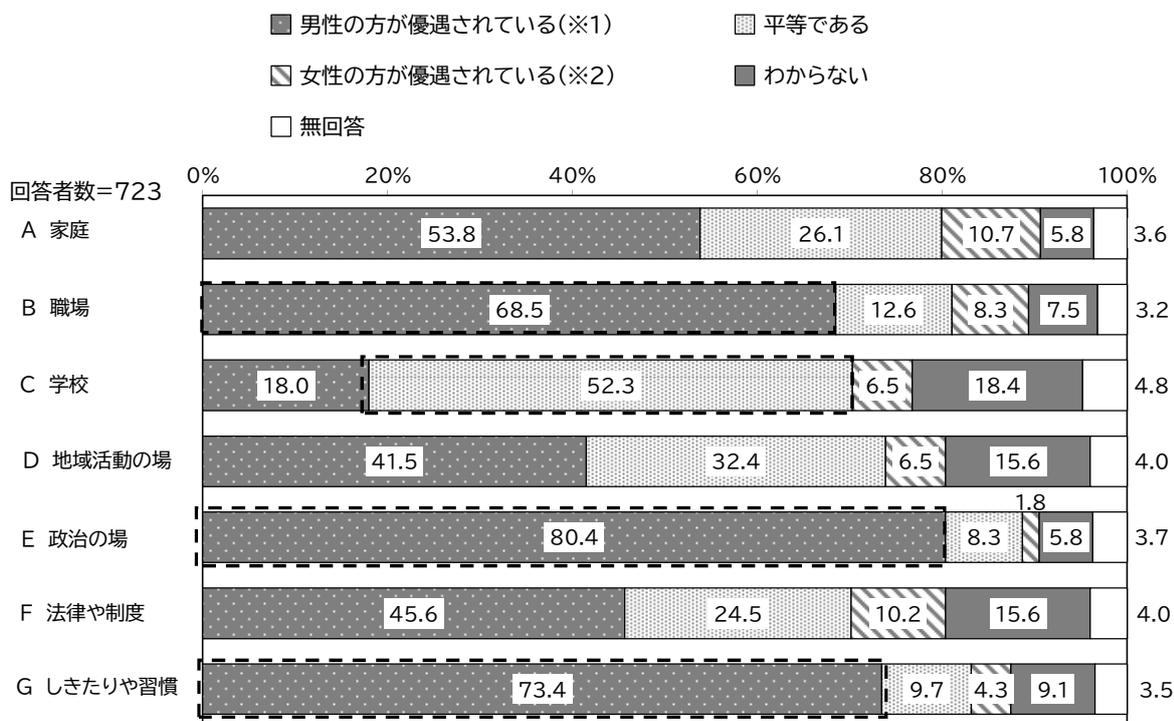
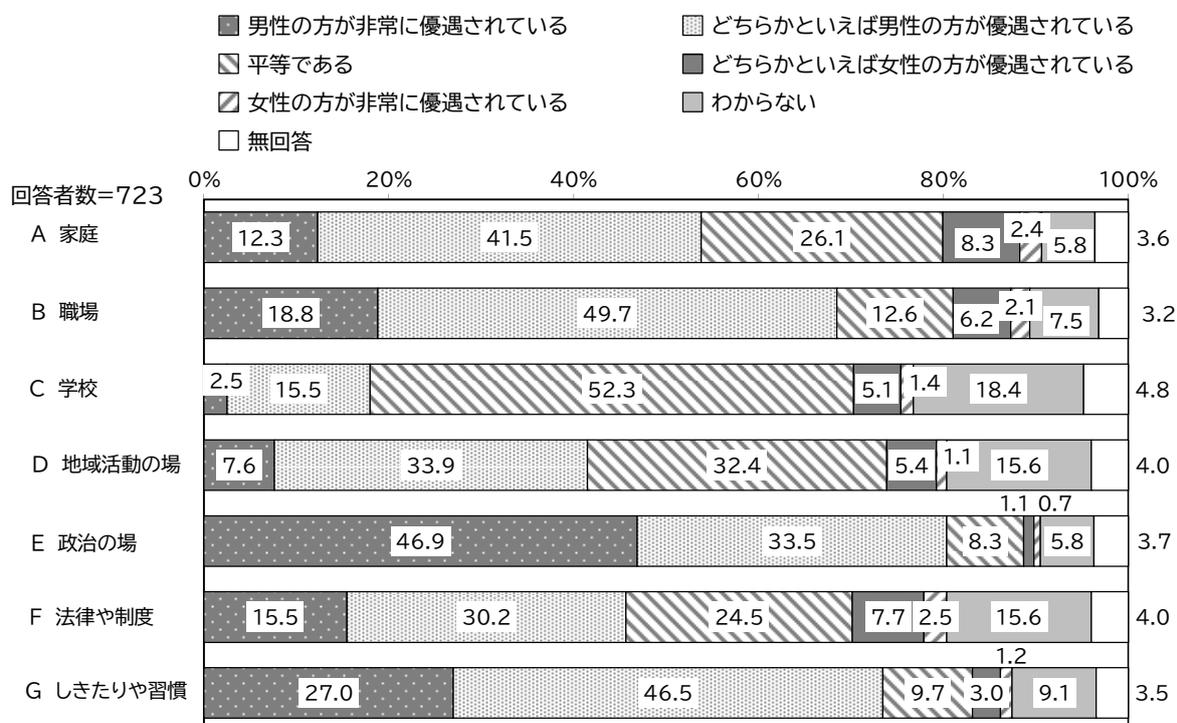
単位：％

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている男性が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------|-------------------------|--------------------|------------------------|-----|-----------------------------|-------------------------------|
| 国 (R04.11) | 14.0 | 64.7 | 14.7 | 4.2 | 0.6 | - | 1.7 | 78.8 | 4.8 |
| 女性 | 18.6 | 66.8 | 10.4 | 2.2 | 0.3 | - | 1.7 | 85.4 | 2.5 |
| 男性 | 8.8 | 62.3 | 19.6 | 6.6 | 1.0 | - | 1.7 | 71.1 | 7.6 |
| 愛知県 (R04.7) | 21.4 | 45.8 | 12.1 | 5.1 | 3.2 | 9.5 | 3.0 | 67.2 | 8.3 |
| 女性 | 25.9 | 47.9 | 7.9 | 2.6 | 1.8 | 10.7 | 3.1 | 73.8 | 4.4 |
| 男性 | 16.1 | 43.2 | 17.0 | 8.0 | 5.0 | 7.8 | 2.9 | 59.3 | 13.0 |
| 豊橋市 (R05.8) | 14.0 | 58.0 | 9.7 | 5.8 | 2.1 | 8.0 | 2.5 | 71.9 | 7.9 |
| 女性 | 15.3 | 61.6 | 7.9 | 2.5 | 0.2 | 10.1 | 2.2 | 77.0 | 2.7 |
| 男性 | 12.5 | 53.6 | 12.5 | 9.9 | 4.6 | 4.9 | 2.0 | 66.1 | 14.5 |
| 豊橋市 (R03.8) | 12.3 | 58.8 | 9.9 | 6.6 | 0.8 | 7.9 | 3.8 | 71.1 | 7.4 |
| 女性 | 14.6 | 63.9 | 5.4 | 3.8 | 0.2 | 7.6 | 4.5 | 78.5 | 4.0 |
| 男性 | 9.2 | 53.3 | 14.9 | 9.7 | 1.5 | 8.2 | 3.1 | 62.5 | 11.2 |
| 豊橋市 (R01.8) | 10.8 | 63.7 | 9.6 | 3.2 | 1.1 | 8.6 | 3.0 | 74.5 | 4.3 |
| 女性 | 14.0 | 66.8 | 5.8 | 1.4 | 0.2 | 8.9 | 2.9 | 80.8 | 1.6 |
| 男性 | 5.5 | 60.1 | 15.5 | 5.8 | 2.5 | 7.8 | 2.8 | 65.6 | 8.3 |
| 豊橋市 (H28.8) | 8.4 | 64.8 | 13.4 | 5.7 | 0.2 | 6.0 | 1.5 | 73.2 | 5.9 |
| 女性 | 10.8 | 68.3 | 8.8 | 2.9 | 0.2 | 7.6 | 1.4 | 79.1 | 3.1 |
| 男性 | 5.3 | 60.0 | 19.6 | 9.3 | 0.2 | 3.8 | 1.7 | 65.3 | 9.5 |
| 豊橋市 (H26.9) | 8.6 | 60.2 | 11.3 | 6.1 | 0.9 | 7.4 | 5.6 | 68.8 | 7.0 |
| 女性 | 11.3 | 61.9 | 7.0 | 4.5 | 0.3 | 9.3 | 5.8 | 73.2 | 4.8 |
| 男性 | 5.0 | 58.1 | 16.5 | 8.2 | 1.6 | 5.2 | 5.4 | 63.1 | 9.8 |
| 豊橋市 (H23.6) | 8.1 | 59.3 | 15.0 | 6.8 | 0.5 | 9.0 | 1.3 | 67.4 | 7.3 |
| 女性 | 10.9 | 63.3 | 9.6 | 4.3 | 0.3 | 10.1 | 1.3 | 74.2 | 4.6 |
| 男性 | 4.1 | 54.2 | 22.0 | 10.4 | 0.6 | 7.6 | 1.1 | 58.3 | 11.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | 10.5 | 62.3 | 12.1 | 5.4 | 0.7 | 7.1 | 2.0 | 72.8 | 6.0 |
| 女性 | 11.4 | 66.0 | 8.3 | 3.7 | 0.5 | 8.7 | 1.4 | 77.4 | 4.2 |
| 男性 | 9.5 | 57.9 | 17.3 | 7.3 | 1.0 | 5.6 | 1.4 | 67.5 | 8.3 |
| 豊橋市 (H17.5) | 10.6 | 60.6 | 11.1 | 7.1 | 0.6 | 8.8 | 1.3 | 71.2 | 7.7 |
| 女性 | 13.5 | 64.5 | 6.2 | 3.6 | 0.2 | 10.6 | 1.5 | 78.0 | 3.7 |
| 男性 | 6.8 | 54.9 | 18.0 | 11.9 | 1.2 | 6.3 | 0.9 | 61.7 | 13.1 |
| 豊橋市 (H13.8) | 19.8 | 55.4 | 7.7 | 4.3 | 0.4 | 10.9 | 1.4 | 75.2 | 4.7 |
| 女性 | 25.6 | 55.4 | 3.9 | 4.1 | 0.0 | 9.7 | 1.2 | 81.0 | 4.1 |
| 男性 | 12.4 | 56.1 | 12.7 | 4.4 | 1.0 | 12.1 | 1.3 | 68.5 | 5.4 |

(2) 各場面および分野の男女の地位評価

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
A～Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

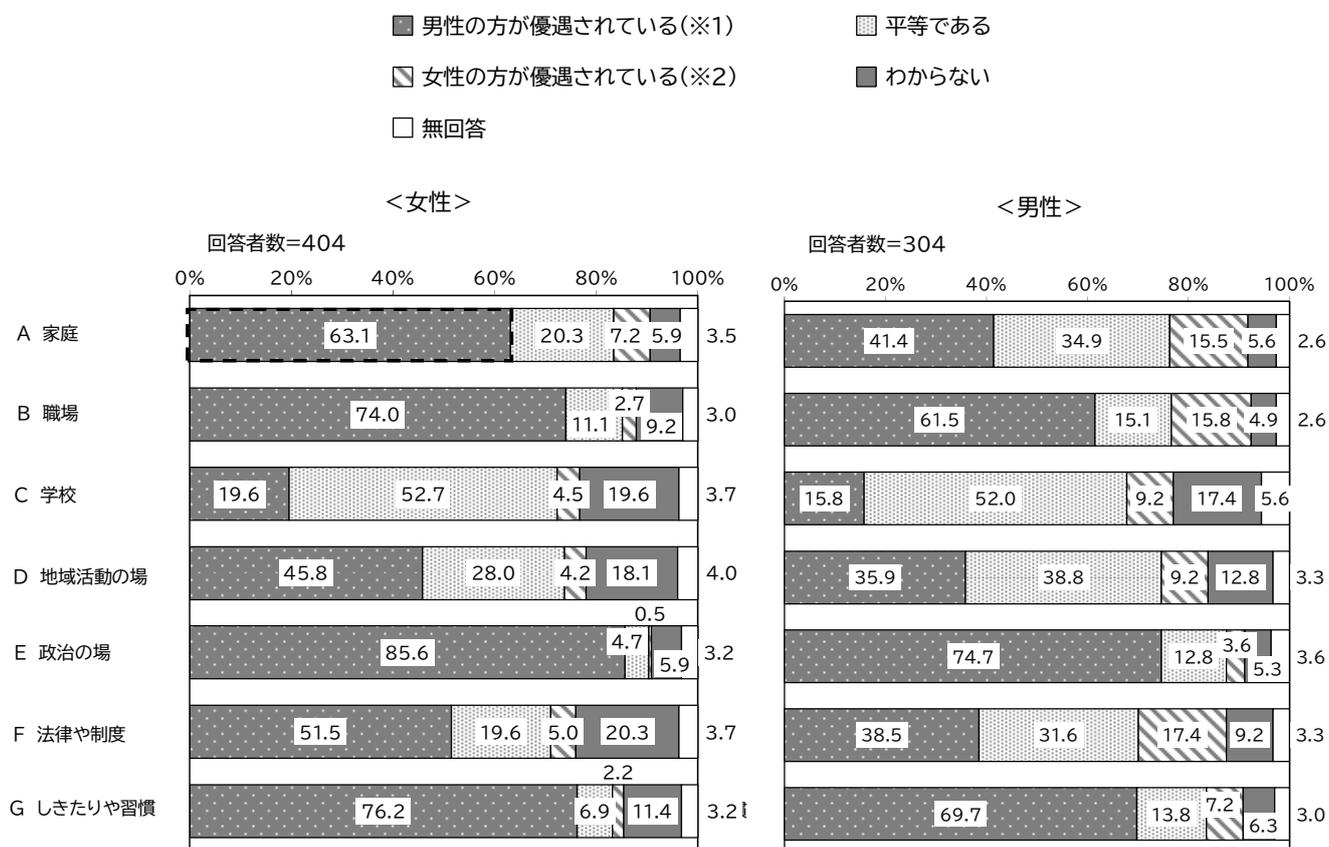
『B 職場』『E 政治の場』『G しきたりや習慣』において、“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高い。また、『C 学校』において「平等である」の割合が高く、5割台となっている。



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

【性別】

性別で見ると、いずれの項目においても、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている（※1）”の割合が高く、特に『A 家庭』では約22ポイント高い。

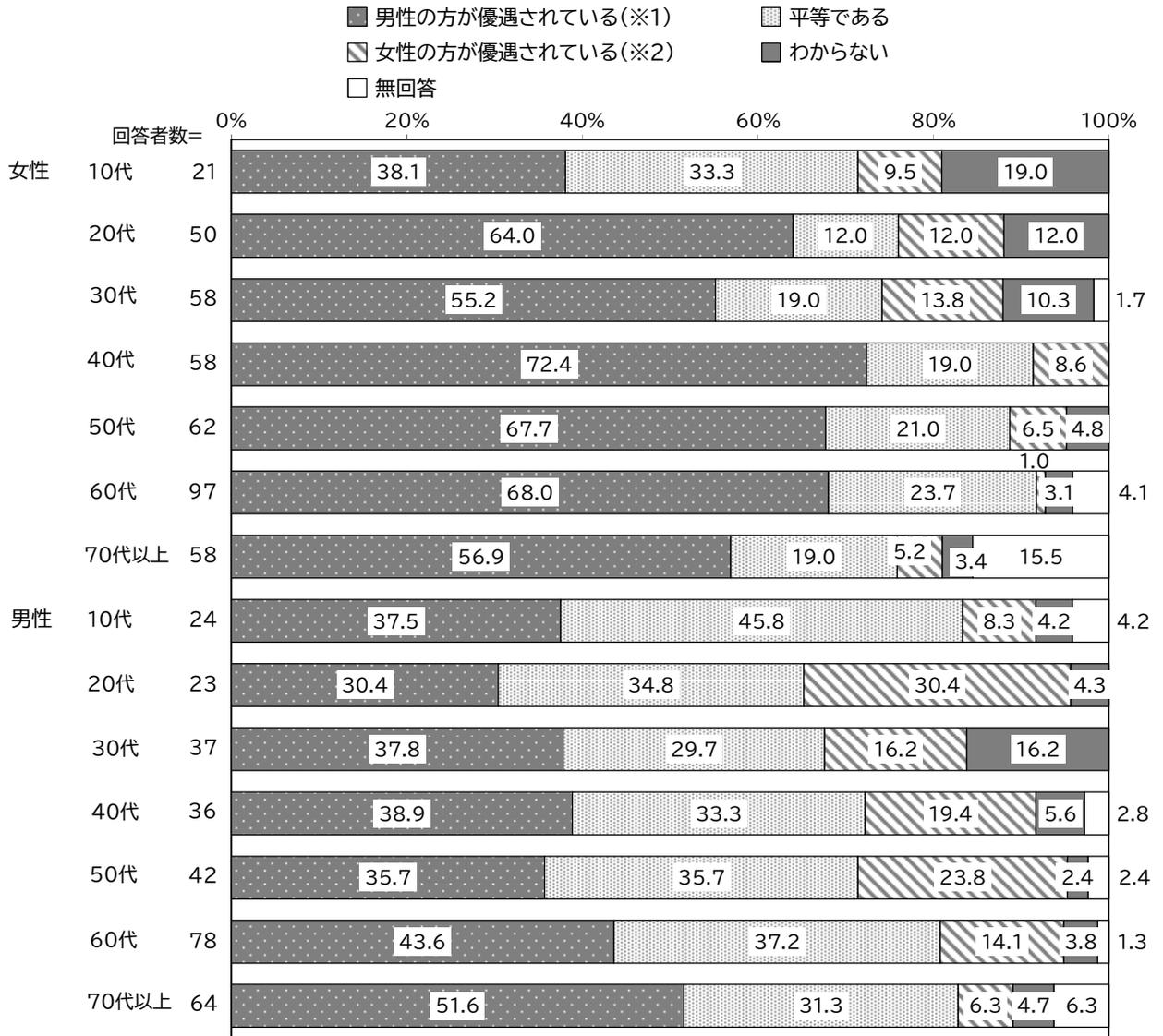


※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

A 家庭

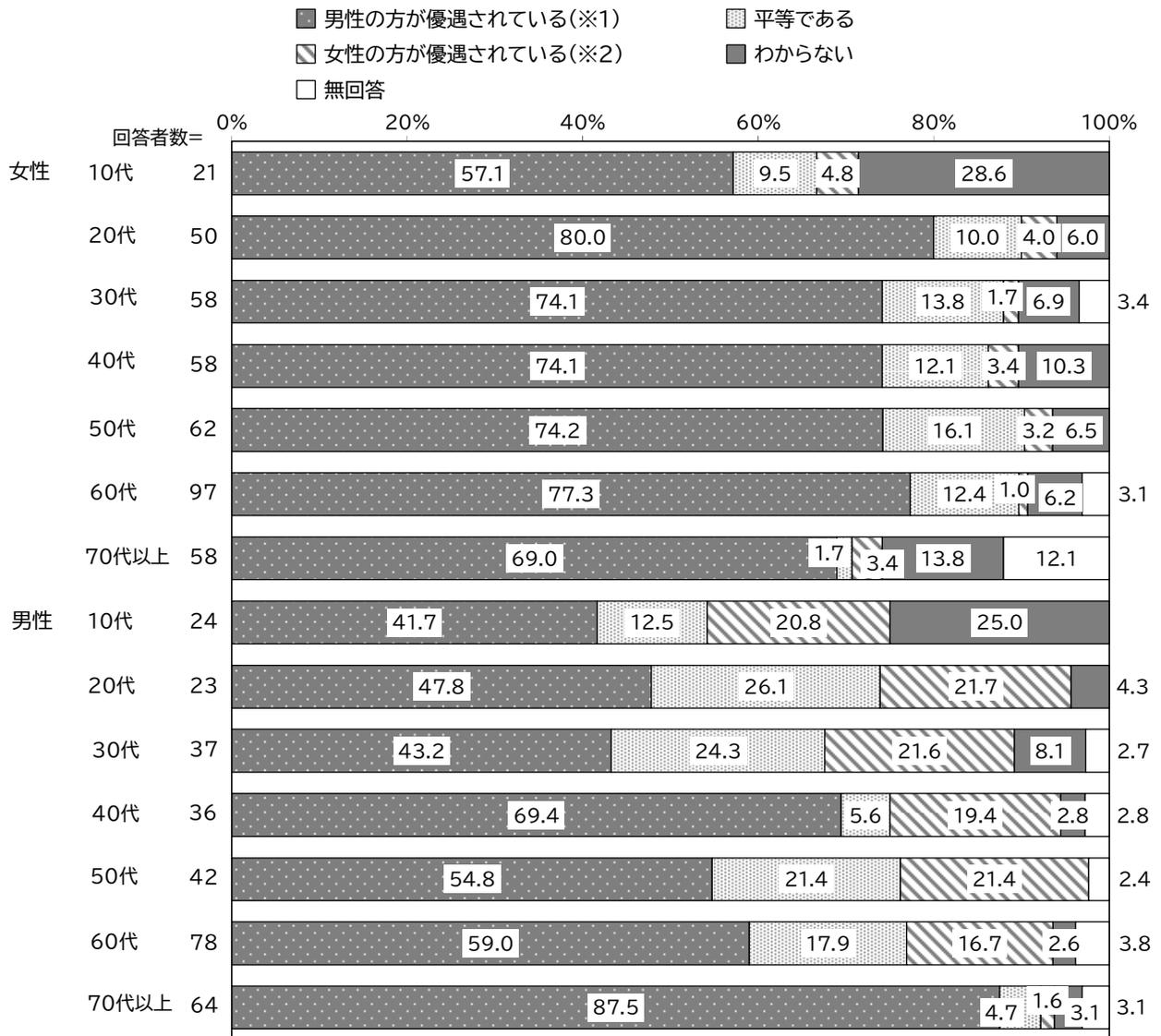
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

B 職場

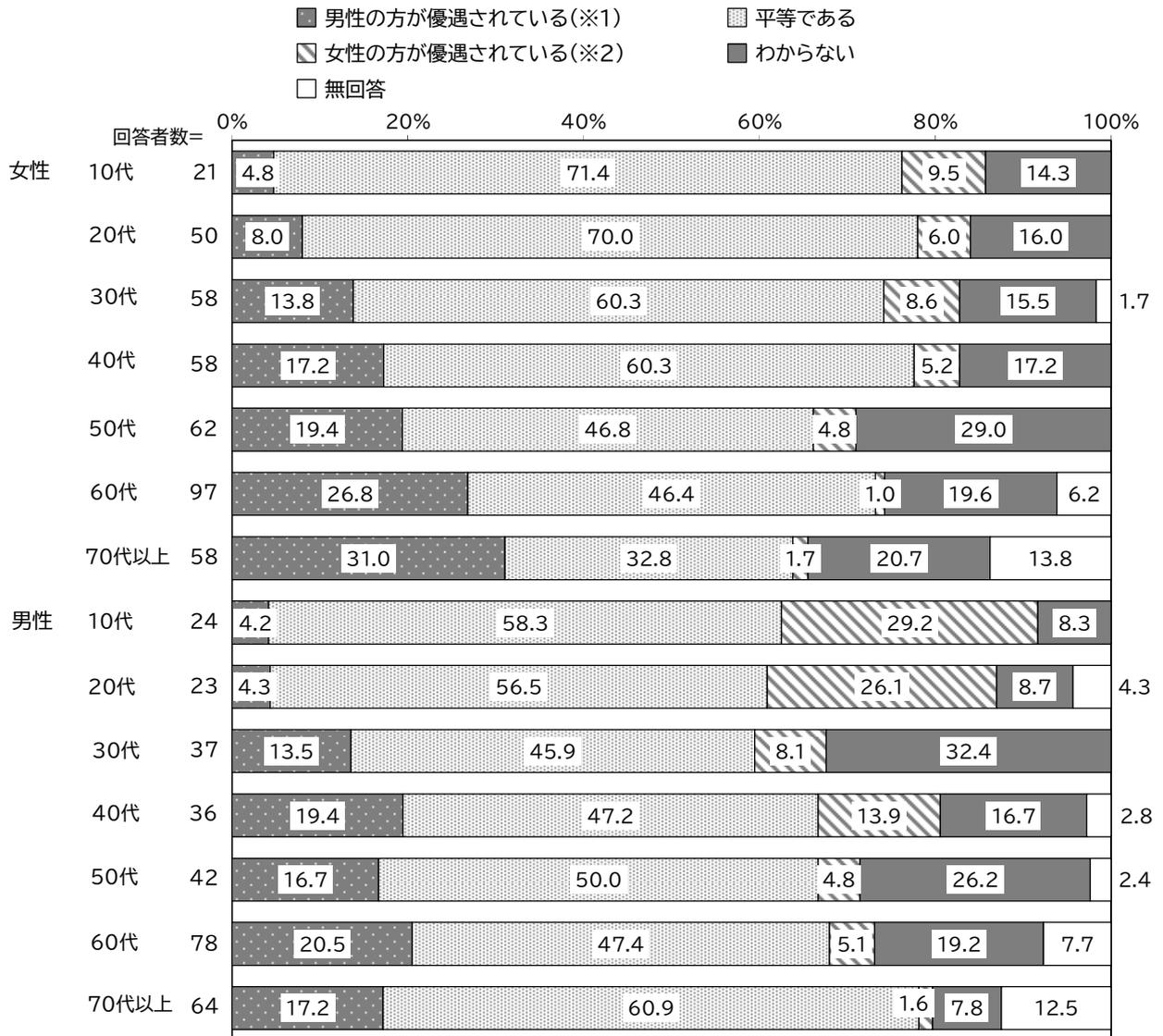
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

C 学校

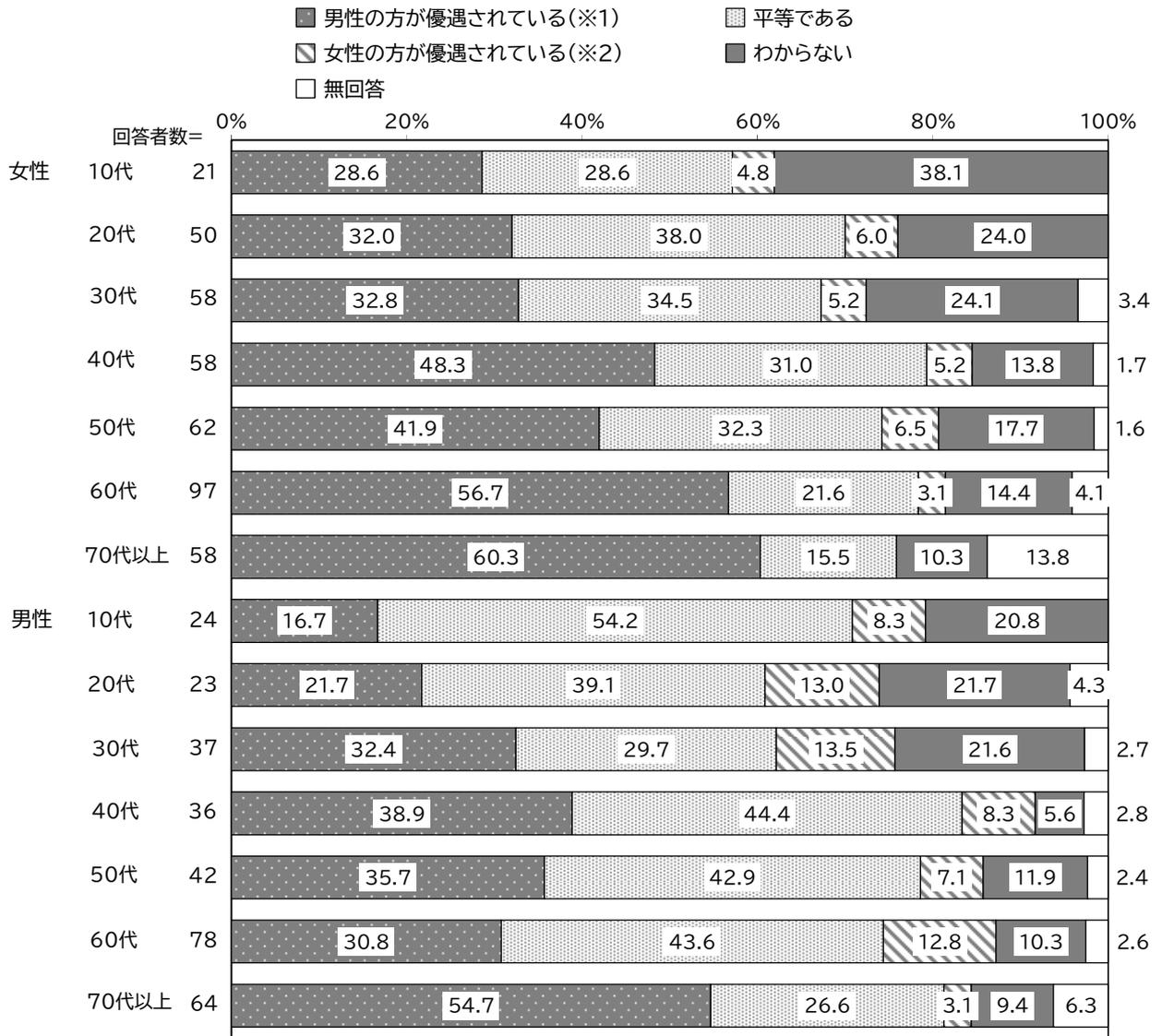
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

D 地域活動の場

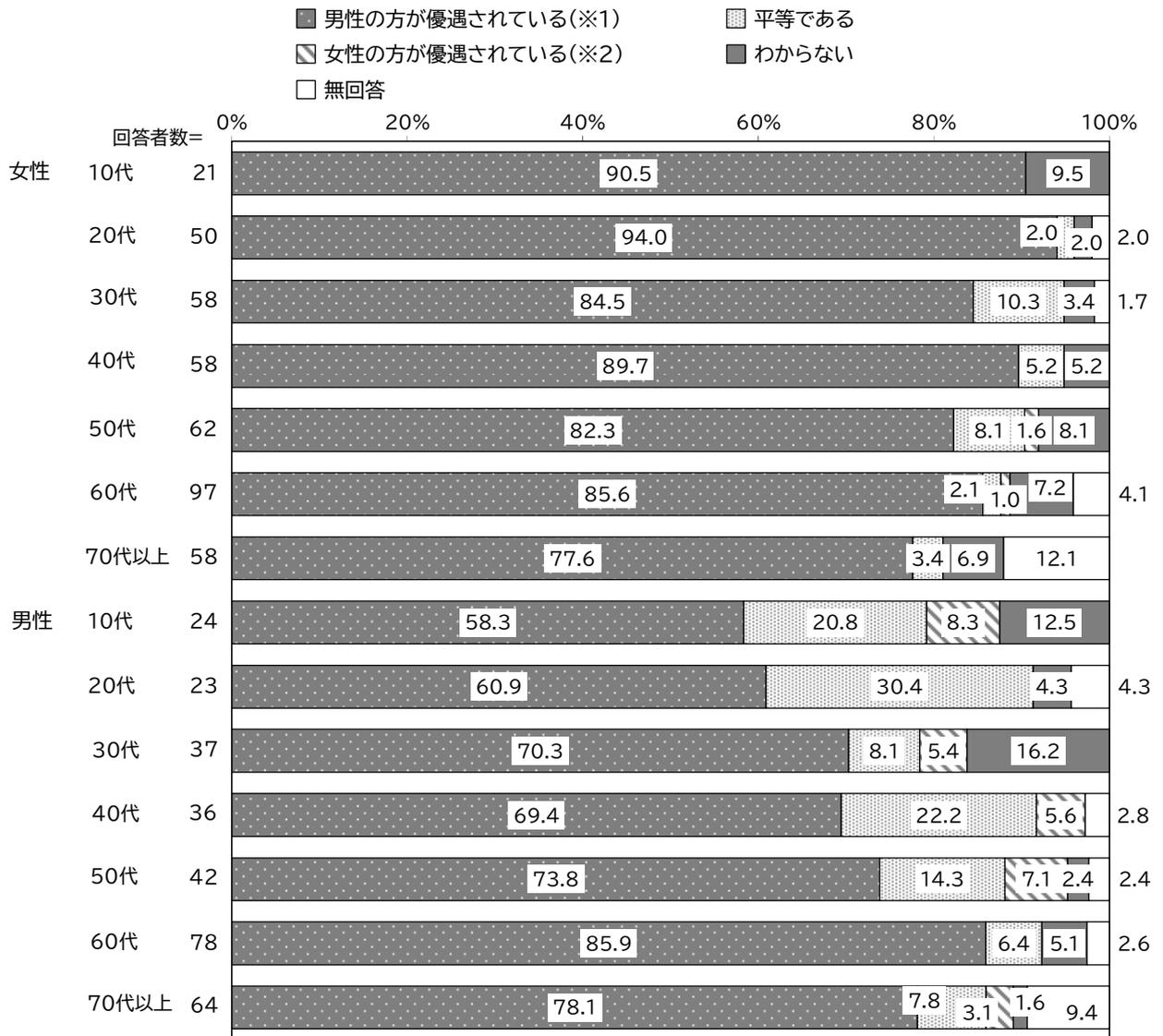
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

E 政治の場

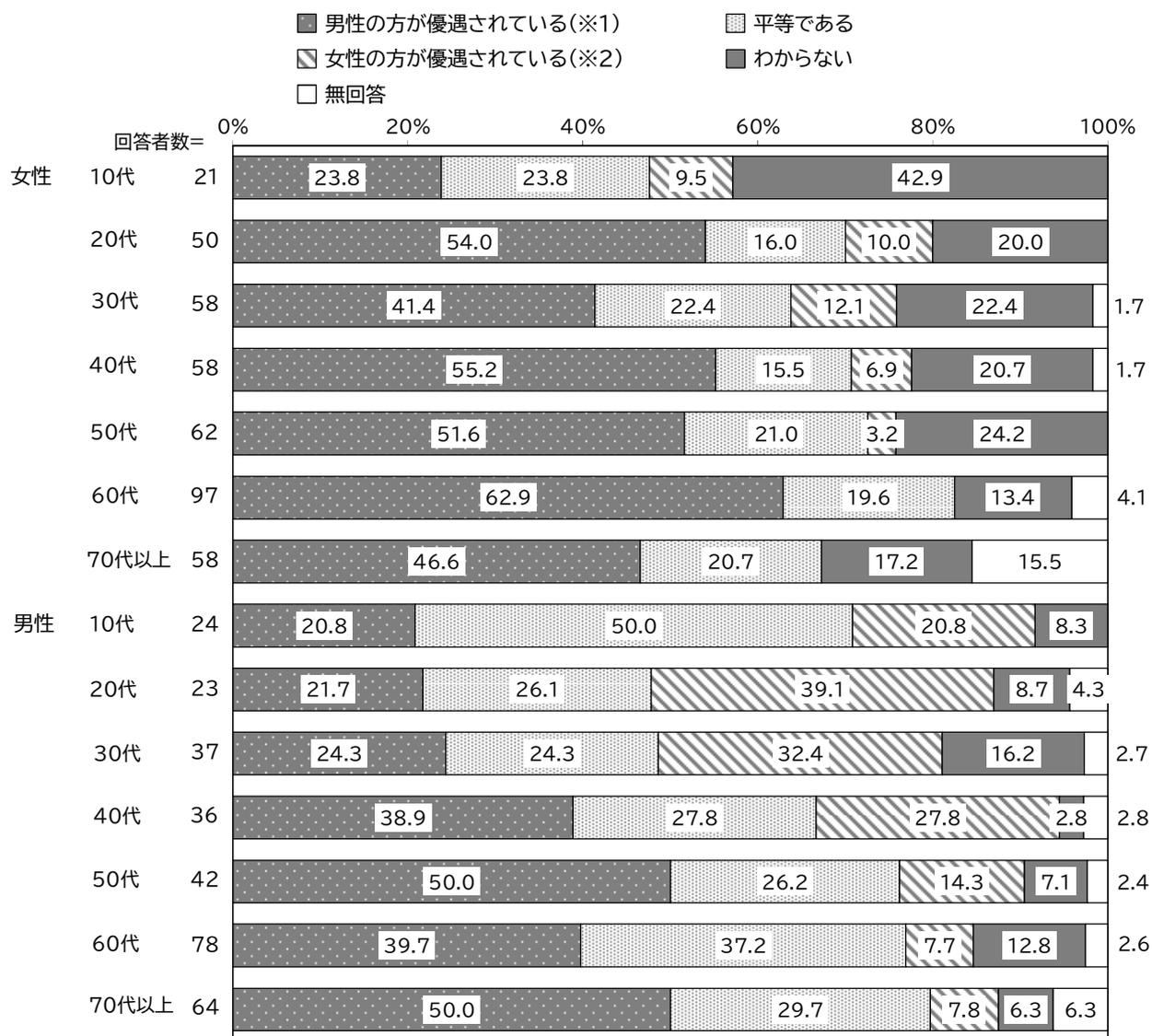
【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計
 ※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

F 法律や制度

【性・年代別】

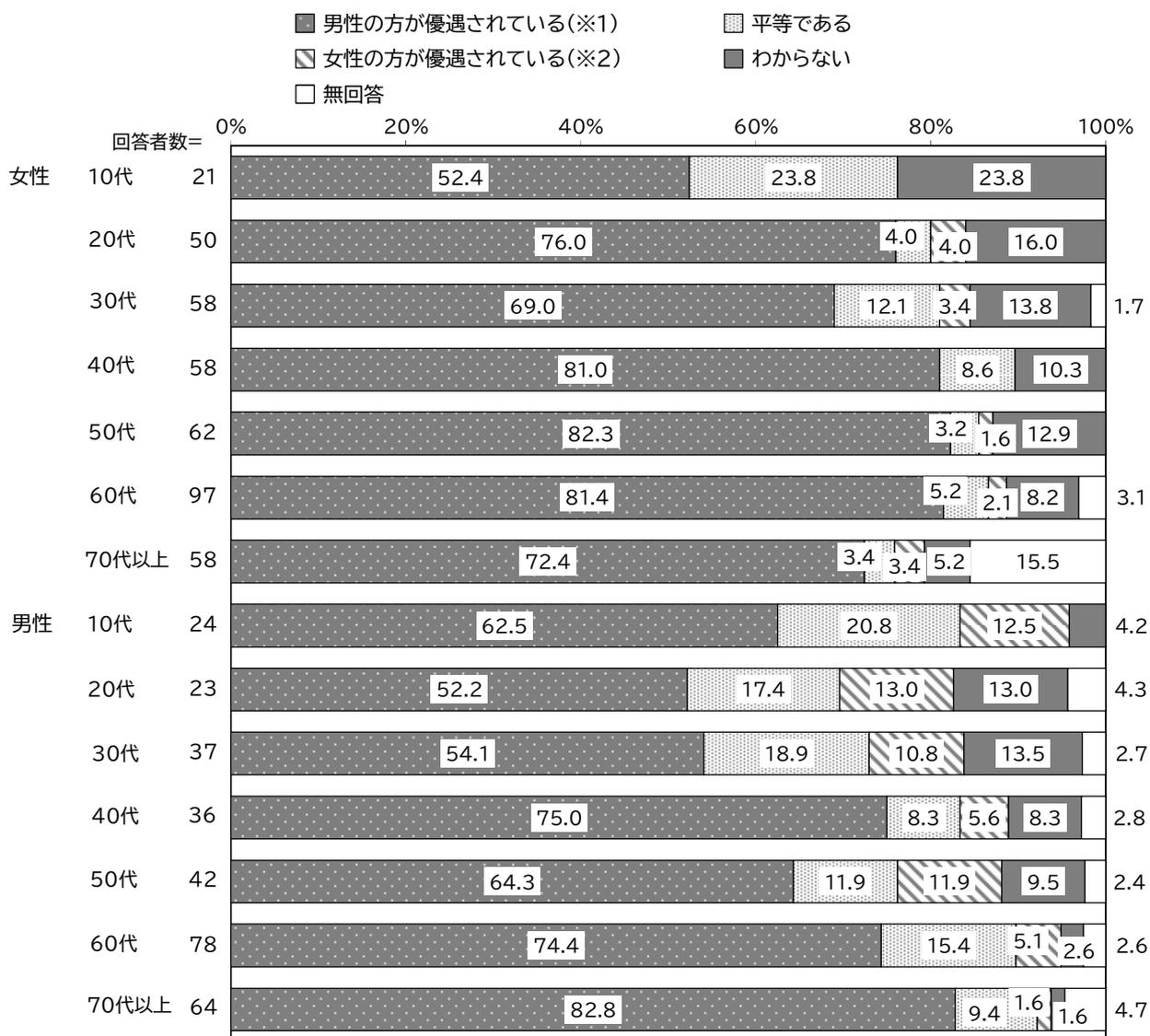


※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

G しきたりや習慣

【性・年代別】



※1：「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の計

※2：「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の計

国・愛知県との比較でみると、「平等である」の割合は、各項目で愛知県と同程度の数値となっているが、国より低い数値となっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年と比べて『C 学校』『F 法律や制度』以外で“男性の方が優遇されている”の割合が増加している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

A 家庭

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない (H13調査は「わからない」とも いえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている (A+B) | 女性の方が優遇されている (C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|------------------------------------|------------|-----------------------|-----------------------|
| 国 (R04.11) | 9.0 | 50.8 | 31.7 | 7.0 | 1.0 | | 0.6 | 59.8 | 8.0 |
| 女性 | 12.1 | 56.3 | 25.6 | 4.6 | 0.7 | | 0.7 | 68.4 | 5.3 |
| 男性 | 5.3 | 44.4 | 38.8 | 9.7 | 1.4 | | 0.5 | 49.7 | 11.0 |
| 愛知県 (R01.8) | 16.0 | 40.1 | 25.3 | 7.5 | 1.9 | 5.5 | 3.8 | 56.1 | 9.4 |
| 女性 | 24.0 | 42.1 | 19.3 | 6.1 | 0.8 | 4.2 | 3.4 | 66.1 | 6.9 |
| 男性 | 6.9 | 37.7 | 33.2 | 9.3 | 3.3 | 7.1 | 2.6 | 44.6 | 12.6 |
| 豊橋市 (R05.8) | 12.3 | 41.5 | 26.1 | 8.3 | 2.4 | 5.8 | 3.6 | 53.8 | 10.7 |
| 女性 | 15.6 | 47.5 | 20.3 | 5.7 | 1.5 | 5.9 | 3.5 | 63.1 | 7.2 |
| 男性 | 8.6 | 32.9 | 34.9 | 12.2 | 3.3 | 5.6 | 2.6 | 41.4 | 15.5 |
| 豊橋市 (R03.8) | 11.9 | 38.6 | 28.4 | 8.2 | 2.4 | 6.9 | 3.6 | 50.5 | 10.6 |
| 女性 | 15.9 | 45.3 | 20.9 | 6.1 | 1.3 | 7.0 | 3.6 | 61.2 | 7.4 |
| 男性 | 7.2 | 31.0 | 37.2 | 10.5 | 3.6 | 6.9 | 3.6 | 38.2 | 14.1 |
| 豊橋市 (R01.8) | 10.5 | 43.7 | 25.9 | 8.1 | 1.5 | 6.4 | 3.9 | 54.2 | 9.6 |
| 女性 | 14.2 | 49.1 | 18.1 | 7.0 | 1.6 | 6.6 | 3.3 | 63.3 | 8.6 |
| 男性 | 5.3 | 36.3 | 36.8 | 9.4 | 1.4 | 6.4 | 4.4 | 41.6 | 10.8 |
| 豊橋市 (H28.8) | 9.3 | 40.0 | 32.0 | 8.7 | 1.3 | 4.6 | 4.1 | 49.3 | 10.0 |
| 女性 | 12.8 | 45.9 | 24.3 | 6.8 | 1.4 | 4.5 | 4.1 | 58.7 | 8.2 |
| 男性 | 5.0 | 31.3 | 42.3 | 11.2 | 1.2 | 4.8 | 4.1 | 36.3 | 12.4 |
| 豊橋市 (H26.9) | 9.4 | 41.0 | 31.3 | 7.3 | 1.5 | 5.9 | 3.5 | 50.4 | 8.8 |
| 女性 | 13.6 | 44.4 | 23.4 | 6.5 | 1.2 | 6.8 | 4.1 | 58.0 | 7.7 |
| 男性 | 4.5 | 36.7 | 40.6 | 8.3 | 1.9 | 5.0 | 2.9 | 41.2 | 10.2 |
| 豊橋市 (H23.6) | 9.7 | 41.4 | 30.4 | 9.3 | 1.5 | 5.1 | 2.5 | 51.1 | 10.8 |
| 女性 | 13.1 | 47.3 | 23.2 | 8.6 | 1.2 | 4.3 | 2.3 | 60.4 | 9.8 |
| 男性 | 5.2 | 34.1 | 39.3 | 10.6 | 1.9 | 6.3 | 2.6 | 39.3 | 12.5 |
| 豊橋市 (H20.5) | 14.5 | 42.8 | 27.9 | 7.8 | 0.9 | 4.6 | 1.6 | 57.2 | 8.7 |
| 女性 | 18.6 | 47.3 | 21.7 | 5.5 | 0.6 | 5.0 | 1.4 | 65.8 | 6.1 |
| 男性 | 9.7 | 36.9 | 36.1 | 10.9 | 1.2 | 4.0 | 1.2 | 46.6 | 12.1 |
| 豊橋市 (H17.5) | 14.2 | 47.0 | 23.3 | 6.2 | 0.5 | 4.4 | 4.4 | 61.2 | 6.7 |
| 女性 | 20.0 | 48.4 | 18.1 | 4.9 | 0.5 | 4.2 | 3.9 | 68.4 | 5.4 |
| 男性 | 5.6 | 45.1 | 31.3 | 7.9 | 0.5 | 4.7 | 4.9 | 50.7 | 8.4 |
| 豊橋市 (H13.8) | 22.2 | 38.4 | 21.6 | 5.5 | 1.8 | 7.7 | 2.7 | 60.6 | 7.3 |
| 女性 | 28.4 | 37.3 | 17.0 | 4.5 | 1.4 | 8.5 | 3.0 | 65.7 | 5.9 |
| 男性 | 15.2 | 40.6 | 28.2 | 5.7 | 2.3 | 6.2 | 1.8 | 55.8 | 8.0 |

B 職場

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|------------------------|------------|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 16.0 | 48.1 | 26.4 | 6.5 | 1.2 | | 1.8 | 64.1 | 7.7 |
| 女性 | 19.2 | 50.3 | 22.5 | 4.6 | 0.8 | | 2.5 | 69.5 | 5.5 |
| 男性 | 12.3 | 45.5 | 31.0 | 8.8 | 1.6 | | 0.9 | 57.7 | 10.4 |
| 愛知県 (R01.8) | 22.4 | 42.9 | 15.2 | 5.6 | 2.1 | 7.0 | 4.9 | 65.3 | 7.7 |
| 女性 | 28.7 | 41.0 | 12.9 | 4.4 | 0.6 | 8.0 | 4.4 | 69.7 | 5.0 |
| 男性 | 15.0 | 45.8 | 18.6 | 7.2 | 4.1 | 5.4 | 3.9 | 60.8 | 11.3 |
| 豊橋市 (R05.8) | 18.8 | 49.7 | 12.6 | 6.2 | 2.1 | 7.5 | 3.2 | 68.5 | 8.3 |
| 女性 | 20.0 | 54.0 | 11.1 | 2.0 | 0.7 | 9.2 | 3.0 | 74.0 | 2.7 |
| 男性 | 17.1 | 44.4 | 15.1 | 11.8 | 3.9 | 4.9 | 2.6 | 61.5 | 15.8 |
| 豊橋市 (R03.8) | 17.0 | 47.9 | 14.2 | 7.0 | 1.1 | 8.7 | 4.1 | 64.9 | 8.1 |
| 女性 | 20.6 | 50.0 | 11.7 | 4.3 | 0.2 | 9.6 | 3.6 | 70.6 | 4.5 |
| 男性 | 12.6 | 45.9 | 17.2 | 10.3 | 2.1 | 7.4 | 4.6 | 58.5 | 12.4 |
| 豊橋市 (R01.8) | 16.4 | 50.6 | 14.5 | 4.8 | 0.8 | 7.1 | 5.8 | 67.0 | 5.6 |
| 女性 | 19.8 | 51.1 | 13.0 | 2.5 | 0.2 | 8.0 | 5.4 | 70.9 | 2.7 |
| 男性 | 10.8 | 50.1 | 17.2 | 7.8 | 1.7 | 5.8 | 6.6 | 60.9 | 9.5 |
| 豊橋市 (H28.8) | 15.9 | 44.0 | 19.2 | 6.4 | 1.2 | 7.2 | 6.2 | 59.9 | 7.6 |
| 女性 | 18.9 | 43.6 | 17.8 | 4.1 | 0.7 | 8.1 | 6.7 | 62.5 | 4.8 |
| 男性 | 12.0 | 44.5 | 21.1 | 9.6 | 1.9 | 6.0 | 5.0 | 56.5 | 11.5 |
| 豊橋市 (H26.9) | 16.0 | 44.5 | 17.4 | 5.8 | 1.6 | 8.8 | 5.9 | 60.5 | 7.4 |
| 女性 | 20.2 | 43.3 | 13.8 | 3.8 | 0.7 | 11.9 | 6.3 | 63.5 | 4.5 |
| 男性 | 11.1 | 45.8 | 21.7 | 8.0 | 2.7 | 5.2 | 5.4 | 56.9 | 10.7 |
| 豊橋市 (H23.6) | 14.6 | 50.1 | 17.7 | 6.5 | 0.4 | 7.2 | 3.5 | 64.7 | 6.9 |
| 女性 | 18.7 | 51.6 | 13.8 | 4.5 | 0.0 | 8.1 | 3.3 | 70.3 | 4.5 |
| 男性 | 9.1 | 48.6 | 22.9 | 9.1 | 0.9 | 6.3 | 3.2 | 57.7 | 10.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | 16.5 | 52.7 | 14.7 | 5.3 | 0.5 | 6.9 | 3.4 | 69.2 | 5.8 |
| 女性 | 19.5 | 52.0 | 12.0 | 3.4 | 0.5 | 9.4 | 3.3 | 71.5 | 3.9 |
| 男性 | 13.1 | 53.4 | 18.5 | 7.3 | 0.6 | 4.2 | 3.0 | 66.5 | 7.9 |
| 豊橋市 (H17.5) | 15.9 | 50.3 | 13.5 | 5.1 | 0.6 | 7.0 | 7.7 | 66.2 | 5.7 |
| 女性 | 19.4 | 51.6 | 9.8 | 3.3 | 0.0 | 9.0 | 7.0 | 71.0 | 3.3 |
| 男性 | 11.2 | 48.6 | 19.2 | 7.7 | 1.2 | 4.2 | 7.9 | 59.8 | 8.9 |
| 豊橋市 (H13.8) | 26.6 | 43.3 | 12.2 | 3.5 | 1.4 | 6.2 | 6.8 | 69.9 | 4.9 |
| 女性 | 32.3 | 43.0 | 9.1 | 2.2 | 1.4 | 6.3 | 5.7 | 75.3 | 3.6 |
| 男性 | 19.1 | 44.4 | 16.8 | 4.9 | 1.6 | 5.7 | 7.5 | 63.5 | 6.5 |

C 学校

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|------------------------|------------|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 3.0 | 21.5 | 68.1 | 4.7 | 0.6 | | 2.1 | 24.5 | 5.3 |
| 女性 | 4.3 | 25.1 | 63.2 | 4.0 | 0.3 | | 3.0 | 29.4 | 4.4 |
| 男性 | 1.5 | 17.3 | 73.7 | 5.5 | 0.9 | | 1.1 | 18.8 | 6.4 |
| 愛知県 (R01.8) | 5.2 | 15.2 | 52.8 | 4.3 | 0.5 | 16.3 | 5.7 | 20.4 | 4.8 |
| 女性 | 8.0 | 16.8 | 50.7 | 4.1 | 0.0 | 15.1 | 5.3 | 24.8 | 4.1 |
| 男性 | 2.0 | 13.4 | 57.3 | 4.8 | 1.1 | 17.1 | 4.3 | 15.4 | 5.9 |
| 豊橋市 (R05.8) | 2.5 | 15.5 | 52.3 | 5.1 | 1.4 | 18.4 | 4.8 | 18.0 | 6.5 |
| 女性 | 3.2 | 16.3 | 52.7 | 4.2 | 0.2 | 19.6 | 3.7 | 19.6 | 4.5 |
| 男性 | 1.6 | 14.1 | 52.0 | 6.6 | 2.6 | 17.4 | 5.6 | 15.8 | 9.2 |
| 豊橋市 (R03.8) | 3.0 | 15.9 | 54.4 | 4.8 | 0.6 | 16.2 | 5.2 | 18.9 | 5.4 |
| 女性 | 4.0 | 18.2 | 51.3 | 3.8 | 0.0 | 17.3 | 5.4 | 22.2 | 3.8 |
| 男性 | 1.5 | 13.1 | 57.9 | 5.9 | 1.3 | 15.1 | 5.1 | 14.6 | 7.2 |
| 豊橋市 (R01.8) | 2.2 | 15.8 | 53.9 | 3.0 | 0.7 | 17.4 | 7.1 | 18.0 | 3.7 |
| 女性 | 2.3 | 19.6 | 52.8 | 1.6 | 0.2 | 17.7 | 5.8 | 21.9 | 1.8 |
| 男性 | 1.7 | 10.5 | 55.1 | 4.7 | 1.4 | 17.7 | 8.9 | 12.2 | 6.1 |
| 豊橋市 (H28.8) | 1.8 | 13.8 | 53.0 | 3.6 | 0.6 | 18.1 | 9.1 | 15.6 | 4.2 |
| 女性 | 2.0 | 16.9 | 52.3 | 1.8 | 0.2 | 16.6 | 10.3 | 18.9 | 2.0 |
| 男性 | 1.7 | 9.3 | 54.3 | 6.2 | 1.2 | 20.1 | 7.2 | 11.0 | 7.4 |
| 豊橋市 (H26.9) | 1.6 | 13.0 | 52.6 | 2.8 | 1.0 | 19.8 | 9.2 | 14.6 | 3.8 |
| 女性 | 2.3 | 16.7 | 48.6 | 1.8 | 0.0 | 21.2 | 9.3 | 19.0 | 1.8 |
| 男性 | 0.8 | 8.5 | 57.7 | 4.1 | 2.1 | 18.1 | 8.7 | 9.3 | 6.2 |
| 豊橋市 (H23.6) | 2.4 | 11.6 | 58.4 | 5.4 | 0.2 | 16.7 | 5.5 | 14.0 | 5.6 |
| 女性 | 2.8 | 14.1 | 57.4 | 4.0 | 0.0 | 16.6 | 5.1 | 16.9 | 4.0 |
| 男性 | 1.9 | 7.8 | 59.8 | 7.3 | 0.4 | 17.3 | 5.4 | 9.7 | 7.7 |
| 豊橋市 (H20.5) | 2.2 | 13.6 | 59.1 | 4.6 | 0.6 | 16.0 | 3.9 | 15.8 | 5.2 |
| 女性 | 3.1 | 17.2 | 55.5 | 3.4 | 0.3 | 16.8 | 3.6 | 20.3 | 3.7 |
| 男性 | 1.2 | 9.3 | 64.3 | 6.0 | 1.0 | 14.7 | 3.6 | 10.5 | 6.9 |
| 豊橋市 (H17.5) | 2.1 | 12.2 | 56.0 | 3.2 | 0.7 | 17.7 | 8.1 | 14.3 | 3.9 |
| 女性 | 2.4 | 14.8 | 52.9 | 2.1 | 0.3 | 20.2 | 7.2 | 17.3 | 2.4 |
| 男性 | 1.4 | 8.4 | 61.9 | 4.4 | 1.2 | 13.8 | 8.9 | 9.8 | 5.6 |
| 豊橋市 (H13.8) | 3.7 | 15.9 | 54.8 | 3.2 | 1.5 | 13.2 | 7.7 | 19.6 | 4.7 |
| 女性 | 5.7 | 19.9 | 49.1 | 2.4 | 0.8 | 15.8 | 6.3 | 25.6 | 3.2 |
| 男性 | 1.3 | 10.9 | 62.3 | 4.7 | 1.8 | 10.6 | 8.5 | 12.2 | 6.5 |

D 地域活動の場

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|------------------------|------------|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 10.2 | 37.6 | 40.2 | 8.8 | 1.1 | | 2.1 | 47.8 | 9.9 |
| 女性 | 13.6 | 41.7 | 34.7 | 7.3 | 0.6 | | 2.2 | 55.2 | 7.9 |
| 男性 | 6.2 | 32.8 | 46.7 | 10.6 | 1.6 | | 2.1 | 39.1 | 12.2 |
| 愛知県 (R01.8) | 9.6 | 32.0 | 33.4 | 6.6 | 1.0 | 12.4 | 5.2 | 41.6 | 7.6 |
| 女性 | 14.2 | 33.2 | 30.1 | 5.8 | 0.3 | 12.0 | 4.4 | 47.4 | 6.1 |
| 男性 | 4.5 | 30.6 | 39.5 | 7.6 | 1.9 | 11.9 | 4.1 | 35.1 | 9.5 |
| 豊橋市 (R05.8) | 7.6 | 33.9 | 32.4 | 5.4 | 1.1 | 15.6 | 4.0 | 41.5 | 6.5 |
| 女性 | 8.4 | 37.4 | 28.0 | 3.7 | 0.5 | 18.1 | 4.0 | 45.8 | 4.2 |
| 男性 | 6.6 | 29.3 | 38.8 | 7.2 | 2.0 | 12.8 | 3.3 | 35.9 | 9.2 |
| 豊橋市 (R03.8) | 7.7 | 32.2 | 34.2 | 6.3 | 0.7 | 13.8 | 5.0 | 39.9 | 7.0 |
| 女性 | 9.6 | 36.8 | 28.5 | 3.8 | 0.2 | 15.7 | 5.4 | 46.4 | 4.0 |
| 男性 | 5.4 | 27.2 | 40.8 | 9.2 | 1.0 | 11.8 | 4.6 | 32.6 | 10.2 |
| 豊橋市 (R01.8) | 5.1 | 32.4 | 35.0 | 6.3 | 1.0 | 14.6 | 5.5 | 37.5 | 7.3 |
| 女性 | 5.6 | 36.9 | 29.1 | 5.8 | 0.6 | 16.9 | 5.2 | 42.5 | 6.4 |
| 男性 | 4.4 | 25.8 | 42.9 | 7.2 | 1.7 | 12.2 | 5.8 | 30.2 | 8.9 |
| 豊橋市 (H28.8) | 4.8 | 33.6 | 36.0 | 6.9 | 0.5 | 11.9 | 6.4 | 38.4 | 7.4 |
| 女性 | 6.7 | 37.7 | 30.5 | 4.7 | 0.5 | 12.8 | 7.2 | 44.4 | 5.2 |
| 男性 | 2.4 | 28.0 | 43.1 | 10.0 | 0.5 | 11.0 | 5.0 | 30.4 | 10.5 |
| 豊橋市 (H26.9) | 5.2 | 30.1 | 34.0 | 7.7 | 0.9 | 16.2 | 5.9 | 35.3 | 8.6 |
| 女性 | 6.6 | 33.3 | 27.9 | 5.8 | 0.2 | 20.4 | 5.8 | 39.9 | 6.0 |
| 男性 | 3.5 | 26.4 | 41.0 | 10.1 | 1.7 | 11.7 | 5.6 | 29.9 | 11.8 |
| 豊橋市 (H23.6) | 7.0 | 35.1 | 33.4 | 5.9 | 0.1 | 14.5 | 4.0 | 42.1 | 6.0 |
| 女性 | 8.5 | 39.5 | 25.9 | 5.0 | 0.2 | 17.1 | 4.0 | 48.0 | 5.2 |
| 男性 | 5.2 | 28.5 | 44.1 | 7.1 | 0.0 | 11.7 | 3.5 | 33.7 | 7.1 |
| 豊橋市 (H20.5) | 5.5 | 28.2 | 39.3 | 9.0 | 0.9 | 13.1 | 3.9 | 33.8 | 9.9 |
| 女性 | 7.2 | 34.9 | 33.7 | 5.9 | 0.6 | 14.4 | 3.3 | 42.1 | 6.6 |
| 男性 | 3.6 | 20.6 | 46.2 | 12.7 | 1.0 | 11.9 | 4.0 | 24.2 | 13.7 |
| 豊橋市 (H17.5) | 5.4 | 30.3 | 37.3 | 7.3 | 0.2 | 12.3 | 7.2 | 35.7 | 7.5 |
| 女性 | 6.4 | 33.9 | 32.6 | 6.4 | 0.0 | 14.0 | 6.8 | 40.2 | 6.4 |
| 男性 | 4.0 | 24.8 | 45.3 | 8.9 | 0.5 | 9.6 | 7.0 | 28.7 | 9.3 |
| 豊橋市 (H13.8) | 10.5 | 33.9 | 30.1 | 7.3 | 1.2 | 12.1 | 5.0 | 44.4 | 8.5 |
| 女性 | 13.2 | 36.9 | 24.3 | 4.3 | 1.0 | 15.2 | 5.1 | 50.1 | 5.3 |
| 男性 | 7.5 | 30.5 | 37.2 | 10.9 | 1.3 | 8.5 | 4.1 | 38.0 | 12.2 |

E 政治の場

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|------------|-------------------------|--------------------|------------|------------|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 46.4 | 41.5 | 9.6 | 1.4 | 0.3 | | 0.8 | 87.9 | 1.7 |
| 女性 | 52.2 | 39.2 | 6.7 | 0.7 | 0.1 | | 1.2 | 91.3 | 0.8 |
| 男性 | 39.6 | 44.2 | 13.0 | 2.2 | 0.5 | | 0.4 | 83.9 | 2.7 |
| 愛知県 (R01.8) | 38.7 | 38.9 | 9.4 | 1.2 | 0.2 | 7.2 | 4.3 | 77.6 | 1.4 |
| 女性 | 44.3 | 38.4 | 5.5 | 0.8 | 0.0 | 6.9 | 4.2 | 82.7 | 0.8 |
| 男性 | 32.5 | 41.2 | 14.5 | 1.9 | 0.6 | 6.9 | 2.6 | 73.7 | 2.5 |
| 豊橋市 (R05.8) | 46.9 | 33.5 | 8.3 | 1.1 | 0.7 | 5.8 | 3.7 | 80.4 | 1.8 |
| 女性 | 54.2 | 31.4 | 4.7 | 0.2 | 0.2 | 5.9 | 3.2 | 85.6 | 0.5 |
| 男性 | 37.8 | 36.8 | 12.8 | 2.3 | 1.3 | 5.3 | 3.6 | 74.7 | 3.6 |
| 豊橋市 (R03.8) | 41.8 | 34.9 | 8.6 | 1.2 | 0.4 | 8.9 | 4.2 | 76.7 | 1.6 |
| 女性 | 49.6 | 31.8 | 4.3 | 0.9 | 0.0 | 9.0 | 4.5 | 81.4 | 0.9 |
| 男性 | 32.8 | 38.7 | 13.3 | 1.5 | 0.8 | 9.0 | 3.8 | 71.5 | 2.3 |
| 豊橋市 (R01.8) | 36.2 | 40.4 | 8.8 | 0.6 | 0.3 | 9.0 | 4.7 | 76.6 | 0.9 |
| 女性 | 43.1 | 38.4 | 4.9 | 0.2 | - | 9.1 | 4.3 | 81.5 | 0.2 |
| 男性 | 26.6 | 43.8 | 13.9 | 1.1 | 0.8 | 8.9 | 5.0 | 70.4 | 1.9 |

F 法律や制度

単位：%

| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------|-------------------------|--------------------|------------------------|-----|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 11.7 | 40.6 | 37.0 | 8.3 | 1.4 | | 1.1 | 52.3 | 9.7 |
| 女性 | 15.8 | 46.5 | 30.0 | 5.5 | 0.6 | | 1.6 | 62.4 | 6.1 |
| 男性 | 6.9 | 33.6 | 45.1 | 11.7 | 2.3 | | 0.5 | 40.5 | 13.9 |
| 愛知県 (R01.8) | 17.0 | 29.5 | 30.2 | 4.6 | 1.6 | 12.2 | 4.9 | 46.5 | 6.2 |
| 女性 | 24.5 | 32.9 | 22.0 | 2.0 | 0.3 | 13.7 | 4.5 | 57.4 | 2.3 |
| 男性 | 8.2 | 26.3 | 41.0 | 7.8 | 3.2 | 10.0 | 3.5 | 34.5 | 11.0 |
| 豊橋市 (R05.8) | 15.5 | 30.2 | 24.5 | 7.7 | 2.5 | 15.6 | 4.0 | 45.6 | 10.2 |
| 女性 | 18.1 | 33.4 | 19.6 | 4.5 | 0.5 | 20.3 | 3.7 | 51.5 | 5.0 |
| 男性 | 11.8 | 26.6 | 31.6 | 12.2 | 5.3 | 9.2 | 3.3 | 38.5 | 17.4 |
| 豊橋市 (R03.8) | 17.0 | 29.4 | 29.1 | 7.0 | 1.0 | 12.0 | 4.4 | 46.4 | 8.0 |
| 女性 | 20.6 | 33.4 | 20.9 | 4.9 | 0.0 | 15.0 | 5.2 | 54.0 | 4.9 |
| 男性 | 12.6 | 25.1 | 38.7 | 9.2 | 2.1 | 8.7 | 3.6 | 37.7 | 11.3 |
| 豊橋市 (R01.8) | 12.2 | 35.2 | 28.4 | 4.6 | 0.9 | 11.9 | 6.8 | 47.4 | 5.5 |
| 女性 | 16.3 | 39.4 | 22.5 | 2.3 | 0.2 | 13.2 | 6.2 | 55.7 | 2.5 |
| 男性 | 6.4 | 30.2 | 36.6 | 8.0 | 1.9 | 9.4 | 7.5 | 36.6 | 9.9 |
| 豊橋市 (H28.8) | 7.8 | 35.3 | 32.0 | 5.7 | 1.4 | 11.9 | 6.0 | 43.1 | 7.1 |
| 女性 | 10.6 | 38.7 | 25.8 | 4.0 | 0.2 | 14.4 | 6.3 | 49.3 | 4.2 |
| 男性 | 4.1 | 30.9 | 39.7 | 8.1 | 3.1 | 8.9 | 5.3 | 35.0 | 11.2 |
| 豊橋市 (H26.9) | 7.3 | 31.9 | 33.5 | 7.1 | 1.4 | 13.2 | 5.6 | 39.2 | 8.5 |
| 女性 | 10.0 | 35.8 | 25.4 | 5.6 | 0.2 | 17.2 | 5.8 | 45.8 | 5.8 |
| 男性 | 4.1 | 27.4 | 42.7 | 8.9 | 2.9 | 8.7 | 5.2 | 31.5 | 11.8 |
| 豊橋市 (H23.6) | 7.3 | 31.5 | 32.7 | 8.8 | 0.9 | 14.7 | 4.1 | 38.8 | 9.7 |
| 女性 | 10.3 | 36.0 | 24.7 | 6.3 | 0.3 | 18.4 | 4.0 | 46.3 | 6.6 |
| 男性 | 3.0 | 25.7 | 43.2 | 12.3 | 1.7 | 10.4 | 3.7 | 28.7 | 14.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | 6.7 | 32.5 | 34.5 | 7.9 | 0.9 | 13.9 | 3.6 | 39.2 | 8.8 |
| 女性 | 9.5 | 40.6 | 25.4 | 3.9 | 0.3 | 17.0 | 3.3 | 50.1 | 4.2 |
| 男性 | 3.4 | 23.4 | 45.4 | 12.9 | 1.4 | 10.1 | 3.4 | 26.8 | 14.3 |
| 豊橋市 (H17.5) | 6.5 | 35.8 | 30.2 | 7.7 | 0.8 | 12.4 | 6.6 | 42.3 | 8.4 |
| 女性 | 9.4 | 42.3 | 21.8 | 5.7 | 0.3 | 14.5 | 5.9 | 51.8 | 6.0 |
| 男性 | 2.6 | 26.4 | 42.5 | 10.7 | 1.4 | 9.3 | 7.0 | 29.0 | 12.1 |
| 豊橋市 (H13.8) | 13.1 | 34.6 | 29.8 | 5.0 | 1.4 | 11.4 | 4.8 | 47.7 | 6.4 |
| 女性 | 18.7 | 39.6 | 18.3 | 3.6 | 0.6 | 14.4 | 4.7 | 58.3 | 4.2 |
| 男性 | 6.2 | 29.2 | 44.4 | 7.0 | 2.3 | 7.0 | 3.9 | 35.4 | 9.3 |

G しきたりや習慣

単位：％

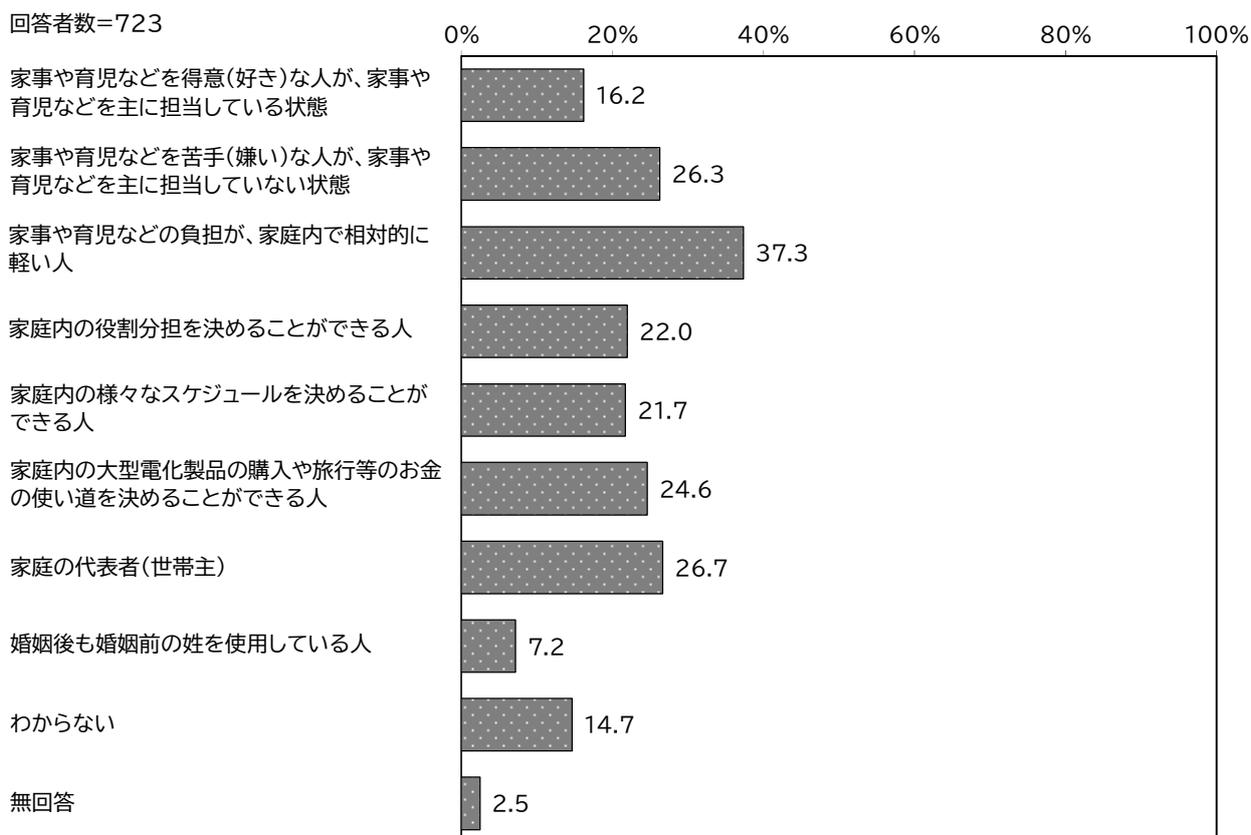
| | 男性の方が非常に優遇されている(A) | どちらかといえば男性の方が優遇されている(B) | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている(C) | 女性の方が非常に優遇されている(D) | わからない(H13調査はどちらともいえない) | 無回答 | 男性の方が優遇されている(A+B) | 女性の方が優遇されている(C+D) |
|-------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|------------------------|------------|-------------------|-------------------|
| 国 (R04.11) | 24.1 | 57.8 | 12.9 | 3.1 | 0.3 | | 1.9 | 81.8 | 3.3 |
| 女性 | 29.1 | 57.0 | 9.9 | 1.9 | 0.2 | | 2.0 | 86.0 | 2.1 |
| 男性 | 18.2 | 58.7 | 16.4 | 4.4 | 0.4 | | 1.9 | 76.9 | 4.8 |
| 愛知県 (R01.8) | 29.0 | 49.1 | 9.5 | 2.5 | 0.3 | 5.5 | 4.1 | 78.1 | 2.8 |
| 女性 | 37.9 | 46.2 | 5.8 | 1.6 | 0.0 | 5.1 | 3.4 | 84.1 | 1.6 |
| 男性 | 19.1 | 53.6 | 14.3 | 3.7 | 0.7 | 5.6 | 3.0 | 72.7 | 4.4 |
| 豊橋市 (R05.8) | 27.0 | 46.5 | 9.7 | 3.0 | 1.2 | 9.1 | 3.5 | 73.4 | 4.3 |
| 女性 | 26.7 | 49.5 | 6.9 | 1.7 | 0.5 | 11.4 | 3.2 | 76.2 | 2.2 |
| 男性 | 27.3 | 42.4 | 13.8 | 4.9 | 2.3 | 6.3 | 3.0 | 69.7 | 7.2 |
| 豊橋市 (R03.8) | 28.5 | 44.5 | 11.4 | 2.9 | 0.7 | 8.3 | 3.7 | 73.0 | 3.6 |
| 女性 | 34.1 | 42.4 | 8.5 | 2.2 | 0.4 | 8.5 | 3.8 | 76.5 | 2.6 |
| 男性 | 21.8 | 47.2 | 14.6 | 3.6 | 1.0 | 8.2 | 3.6 | 69.0 | 4.6 |
| 豊橋市 (R01.8) | 26.5 | 45.2 | 10.6 | 2.2 | 0.3 | 9.4 | 5.7 | 71.7 | 2.5 |
| 女性 | 32.4 | 42.5 | 8.5 | 1.9 | 0.2 | 9.5 | 5.2 | 74.9 | 2.1 |
| 男性 | 17.7 | 50.1 | 14.1 | 2.8 | 0.6 | 8.3 | 6.4 | 67.8 | 3.4 |
| 豊橋市 (H28.8) | 17.7 | 50.1 | 15.3 | 3.3 | 0.5 | 7.8 | 5.4 | 67.8 | 3.8 |
| 女性 | 22.3 | 49.2 | 12.3 | 2.5 | 0.4 | 7.9 | 5.4 | 71.5 | 2.9 |
| 男性 | 11.5 | 51.7 | 18.9 | 4.5 | 0.7 | 7.7 | 5.0 | 63.2 | 5.2 |
| 豊橋市 (H26.9) | 18.6 | 49.7 | 13.8 | 2.7 | 0.7 | 9.4 | 5.1 | 68.3 | 3.4 |
| 女性 | 23.2 | 47.6 | 10.3 | 1.8 | 0.2 | 10.8 | 6.1 | 70.8 | 2.0 |
| 男性 | 13.4 | 51.5 | 18.3 | 3.7 | 1.4 | 8.0 | 3.9 | 64.9 | 5.1 |
| 豊橋市 (H23.6) | 18.8 | 50.0 | 14.4 | 2.3 | 0.4 | 10.7 | 3.4 | 68.8 | 2.7 |
| 女性 | 24.4 | 49.6 | 10.3 | 1.3 | 0.0 | 11.1 | 3.3 | 74.0 | 1.3 |
| 男性 | 11.0 | 51.0 | 20.1 | 3.7 | 0.9 | 10.4 | 3.0 | 62.0 | 4.6 |
| 豊橋市 (H20.5) | 21.0 | 49.9 | 14.5 | 2.7 | 0.7 | 8.3 | 2.8 | 70.9 | 3.4 |
| 女性 | 26.2 | 50.2 | 9.7 | 1.6 | 0.5 | 9.5 | 2.3 | 76.4 | 2.0 |
| 男性 | 14.9 | 50.2 | 20.4 | 4.2 | 0.8 | 6.7 | 2.8 | 65.1 | 5.0 |
| 豊橋市 (H17.5) | 22.6 | 49.2 | 12.0 | 2.6 | 0.0 | 7.8 | 5.9 | 71.8 | 2.6 |
| 女性 | 28.8 | 47.1 | 9.4 | 1.5 | 0.0 | 8.0 | 5.2 | 75.9 | 1.5 |
| 男性 | 13.6 | 53.3 | 15.9 | 4.0 | 0.0 | 7.2 | 6.1 | 66.8 | 4.0 |
| 豊橋市 (H13.8) | 39.0 | 41.2 | 7.7 | 1.6 | 0.6 | 6.7 | 3.1 | 80.2 | 2.2 |
| 女性 | 46.7 | 35.5 | 5.3 | 1.2 | 0.2 | 8.3 | 2.8 | 82.2 | 1.4 |
| 男性 | 28.9 | 49.6 | 10.6 | 2.1 | 1.0 | 4.4 | 3.4 | 78.5 | 3.1 |

(3) 家庭において優遇されていると思う理由

問2-1. 家庭において、どのような状態や人が「優遇」されていると思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家事や育児などの負担が、家庭内で相対的に軽い人」の割合が37.3%と最も高く、次いで「家庭の代表者（世帯主）」の割合が26.7%、「家事や育児などを苦手（嫌い）な人が、家事や育児などを主に担当していない状態」の割合が26.3%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家事や育児などを苦手（嫌い）な人が、家事や育児などを主に担当していない状態」「家事や育児などの負担が、家庭内で相対的に軽い人」「婚姻後も婚姻前の姓を使用している人」の割合が高い



【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 家事や育児などを得意(好き)な人が、家事や育児などを主に担当している状態 | 家事や育児などを苦手(嫌い)な人が、家事や育児などを主に担当していない状態 | 家事や育児などの負担が、家庭内で相対的に軽い人 | 家庭内の役割分担を決めることができる人 | 家庭内の様々なスケジュールを決めることができる人 | 家庭内の大型電化製品の購入や旅行等のお金の使い道を決めることができる人 | 家庭の代表者(世帯主) | 婚姻後も婚姻前の姓を使用している人 | わからない | 無回答 |
|----|---------|--------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------------------|-------------|-------------------|-------|-----|
| 女性 | 404 | 12.6 | 29.7 | 44.8 | 20.0 | 17.6 | 24.3 | 26.5 | 9.2 | 13.4 | 2.2 |
| 男性 | 304 | 20.7 | 22.4 | 28.0 | 25.0 | 27.0 | 24.3 | 27.0 | 4.9 | 15.8 | 2.3 |

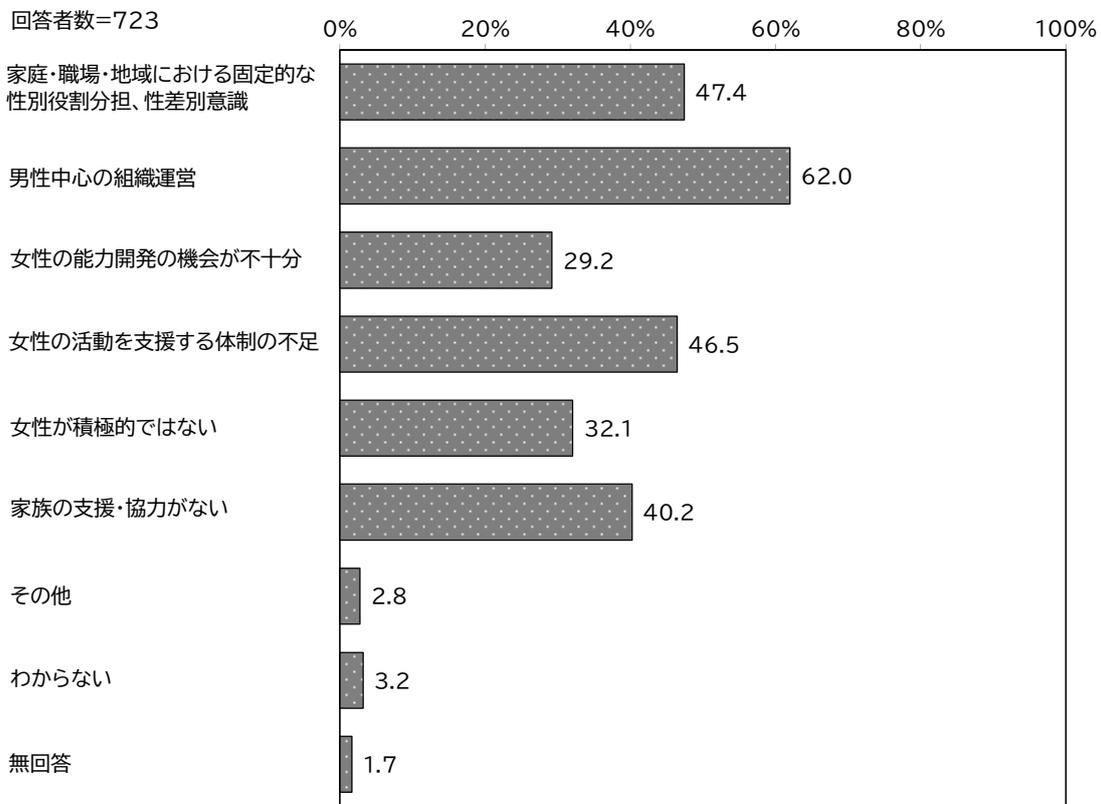
3 男女の意思決定について

(1) 政策などの決定の場への女性の参画状況が低い理由

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「男性中心の組織運営」の割合が62.0%と最も高く、次いで「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」の割合が47.4%、「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が46.5%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識」「男性中心の組織運営」「女性の活動を支援する体制の不足」「家族の支援・協力がいない」の割合が高い。



【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識 | 男性中心の組織運営 | 女性の能力開発の機会が不十分 | 女性の活動を支援する体制の不足 | 女性が積極的ではない | 家族の支援・協力がいない | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|------------------------------|-----------|----------------|-----------------|------------|--------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 52.7 | 65.1 | 29.7 | 48.0 | 30.0 | 45.3 | 3.0 | 3.2 | 1.0 |
| 男性 | 304 | 41.1 | 58.2 | 29.3 | 45.1 | 34.9 | 33.9 | 2.6 | 3.0 | 1.3 |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 代で「家族の支援・協力が無い」の割合が、60 代女性で「女性の活動を支援する体制の不足」の割合が、女性 70 代以上で「女性の能力開発の機会が不十分」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識 | 男性中心の組織運営 | 女性の能力開発の機会が不十分 | 女性の活動を支援する体制の不足 | 女性が積極的ではない | 家族の支援・協力が無い | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|------------------------------|-----------|----------------|-----------------|------------|-------------|------|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 57.1 | 42.9 | 14.3 | 33.3 | 14.3 | 33.3 | 9.5 | 4.8 | 0.0 |
| 20代 | 50 | 60.0 | 60.0 | 18.0 | 46.0 | 18.0 | 24.0 | 8.0 | 4.0 | 2.0 |
| 30代 | 58 | 58.6 | 58.6 | 32.8 | 41.4 | 27.6 | 53.4 | 3.4 | 3.4 | 1.7 |
| 40代 | 58 | 50.0 | 77.6 | 32.8 | 43.1 | 29.3 | 60.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 62 | 51.6 | 72.6 | 30.6 | 48.4 | 37.1 | 48.4 | 1.6 | 1.6 | 0.0 |
| 60代 | 97 | 49.5 | 64.9 | 27.8 | 56.7 | 33.0 | 46.4 | 2.1 | 3.1 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 48.3 | 63.8 | 41.4 | 51.7 | 36.2 | 39.7 | 1.7 | 6.9 | 3.4 |
| 男性 10代 | 24 | 33.3 | 33.3 | 29.2 | 16.7 | 50.0 | 8.3 | 12.5 | 8.3 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 30.4 | 47.8 | 34.8 | 52.2 | 26.1 | 13.0 | 0.0 | 4.3 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 32.4 | 48.6 | 18.9 | 29.7 | 51.4 | 29.7 | 5.4 | 8.1 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 36.1 | 69.4 | 22.2 | 41.7 | 33.3 | 38.9 | 0.0 | 2.8 | 2.8 |
| 50代 | 42 | 40.5 | 71.4 | 28.6 | 38.1 | 35.7 | 38.1 | 4.8 | 0.0 | 0.0 |
| 60代 | 78 | 41.0 | 55.1 | 26.9 | 52.6 | 28.2 | 35.9 | 0.0 | 0.0 | 2.6 |
| 70代以上 | 64 | 56.3 | 65.6 | 40.6 | 59.4 | 31.3 | 45.3 | 1.6 | 3.1 | 1.6 |

豊橋市の令和3年の調査との比較でみると、女性の全ての項目で割合が減少している。

【経年比較】

単位：％

| | 担、性差別意識 家庭・職場・地域にお ける固定的な性別役割分 割 | 男性中心の組織運営 | 女性の能力開発の機会 が不十分 | 女性の活動を支援する 体制の不足 | 女性が積極的ではない | 家族の支援・協力が ない | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|---|-------------|--------------------|---------------------|-------------|-----------------|------------|------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 47.4 | 62.0 | 29.2 | 46.5 | 32.1 | 40.2 | 2.8 | 3.2 | 1.7 |
| 女性 | 52.7 | 65.1 | 29.7 | 48.0 | 30.0 | 45.3 | 3.0 | 3.2 | 1.0 |
| 男性 | 41.1 | 58.2 | 29.3 | 45.1 | 34.9 | 33.9 | 2.6 | 3.0 | 1.3 |
| 豊橋市（R03.8） | 56.6 | 61.9 | 31.1 | 50.3 | 34.4 | 42.6 | 3.3 | 5.2 | 0.5 |
| 女性 | 61.4 | 66.6 | 32.3 | 54.0 | 35.0 | 49.6 | 3.6 | 4.7 | 0.4 |
| 男性 | 50.8 | 56.4 | 29.5 | 46.2 | 33.8 | 34.4 | 3.1 | 5.9 | 0.5 |
| 豊橋市（R01.8） | 51.8 | 58.0 | 27.9 | 50.0 | 34.0 | 41.0 | 3.3 | 4.7 | 1.1 |
| 女性 | 59.2 | 58.8 | 29.3 | 50.3 | 35.9 | 48.5 | 3.5 | 3.5 | 1.0 |
| 男性 | 41.0 | 57.6 | 26.0 | 49.0 | 32.7 | 30.2 | 2.8 | 6.6 | 1.4 |
| 豊橋市（H28.8） | 44.1 | 55.7 | 30.7 | 48.6 | 36.0 | 35.8 | 2.8 | 5.4 | 0.5 |
| 女性 | 48.8 | 54.1 | 33.2 | 51.5 | 34.8 | 46.1 | 2.9 | 4.9 | 0.4 |
| 男性 | 38.8 | 57.9 | 27.3 | 44.7 | 37.6 | 22.5 | 2.9 | 6.0 | 0.5 |
| 豊橋市（H26.9） | 45.2 | 52.8 | 25.1 | 45.9 | 31.1 | 31.8 | 3.4 | 5.9 | 2.9 |
| 女性 | 48.3 | 51.1 | 26.2 | 45.3 | 32.3 | 36.5 | 2.7 | 5.6 | 4.0 |
| 男性 | 41.6 | 54.6 | 23.9 | 47.0 | 28.9 | 26.2 | 4.1 | 6.2 | 1.7 |

4 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

(1) 平日・休日の活動時間

問4. 次のA~Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。(まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください)

平日では、男女とも『A 仕事（収入の得られる労働）』の時間が最も長くなっている。

休日では、男性では『G 趣味・レジャーなどの余暇活動』が最も長いのに対し、女性では『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』が最も長くなっている。

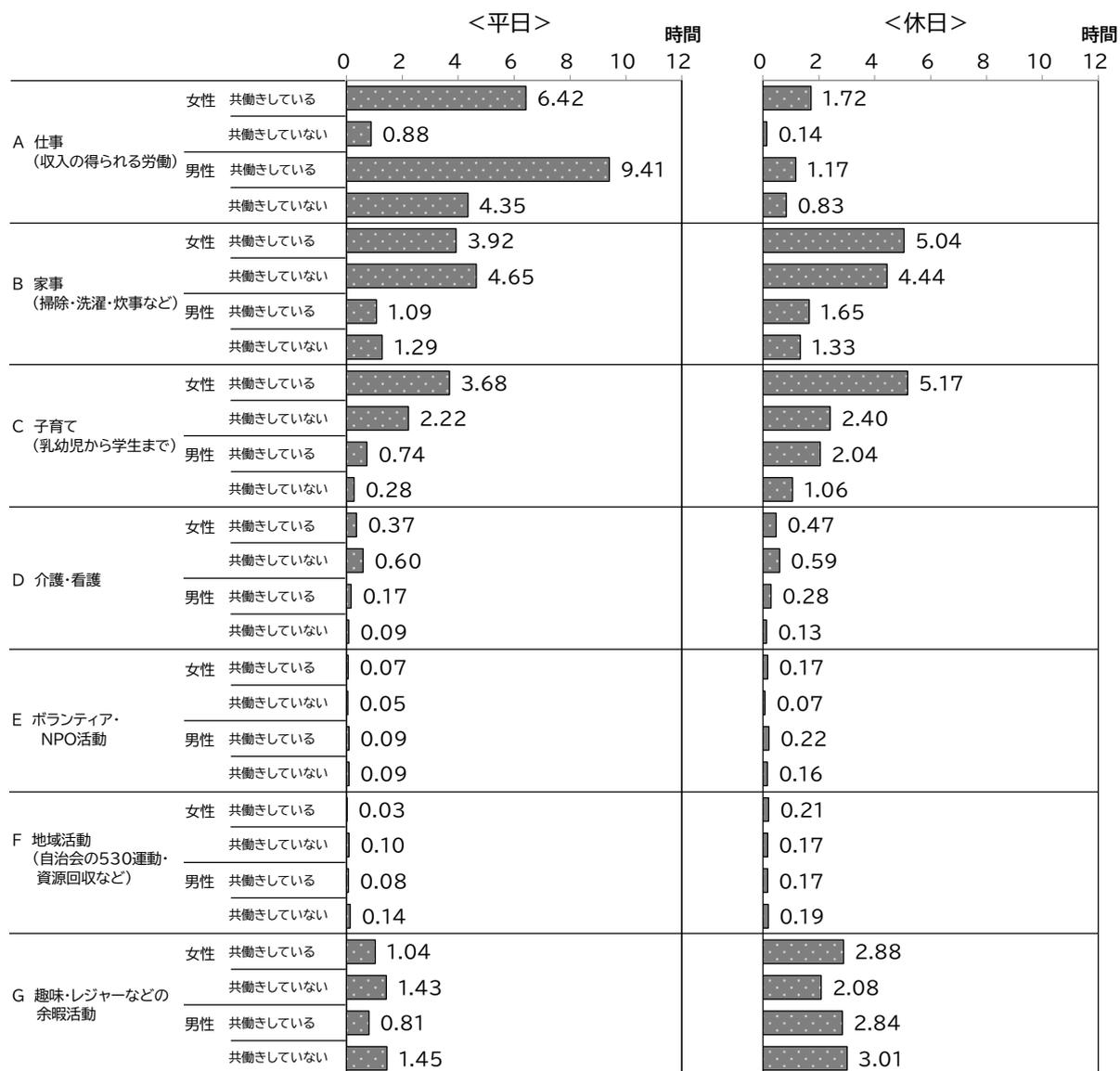
単位：時間

| | 平日 | | | 休日 | | |
|--------------------------|------|------|------|------|------|------|
| | 全体 | 女性 | 男性 | 全体 | 女性 | 男性 |
| A 仕事（収入の得られる労働） | 5.70 | 5.12 | 6.52 | 1.55 | 1.59 | 1.52 |
| B 家事（掃除・洗濯・炊事など） | 2.53 | 3.51 | 1.23 | 3.00 | 4.14 | 1.49 |
| C 子育て（乳幼児から学生まで） | 1.37 | 2.13 | 0.41 | 2.09 | 2.89 | 1.09 |
| D 介護・看護 | 0.32 | 0.44 | 0.17 | 0.35 | 0.47 | 0.21 |
| E ボランティア・NPO活動 | 0.08 | 0.05 | 0.11 | 0.14 | 0.11 | 0.17 |
| F 地域活動（自治会の530運動・資源回収など） | 0.08 | 0.07 | 0.10 | 0.17 | 0.17 | 0.17 |
| G 趣味・レジャーなどの余暇活動 | 1.40 | 1.46 | 1.32 | 3.30 | 3.09 | 3.59 |

性・共働き別でみると、『B 家事（掃除・洗濯・炊事など）』については、女性の共働きしている人は平日 3.92 時間、休日 5.04 時間で休日の方が長い。男性の共働きしている人は平日 1.09 時間、休日 1.65 時間で女性に比べ短い。また、女性の共働きしていない人では、平日 4.65 時間、休日 4.44 時間でほとんど差がありません。

『C 子育て（乳幼児から学生まで）』については、男性の共働きしている人は平日 0.74 時間、休日 2.04 時間で、共働きしていない人の平日 0.28 時間、休日 1.06 時間と比べ、長い。

【性・共働き別】



※ 女性 共働きしている 回答者数 = 158 : 共働きしていない 回答者数 = 90

※ 男性 共働きしている 回答者数 = 100 : 共働きしていない 回答者数 = 95

豊橋市の令和3年調査との比較でみると、平日では『E ボランティア・NPO活動』及び『F 自治会の530運動・資源回収など』以外の項目で時間が長くなっている。休日では全ての項目で時間が長くなっている。

【経年比較】

<平日>

単位：時間

| | A 仕事 (収入の得られる労働) | B 家事 (掃除・洗濯・炊事等) | C 子育て (乳幼児から学生まで) | D 介護・看護 | E ボランティア・NPO活動 | F 地域活動 (自治会の530運動・資源回収など) | G 趣味・レジャーなどの余暇活動 |
|-------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------|-------------------|---------------------------------|---------------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 5.70 | 2.53 | 1.37 | 0.32 | 0.08 | 0.08 | 1.40 |
| 女性 | 5.12 | 3.51 | 2.13 | 0.44 | 0.05 | 0.07 | 1.46 |
| 男性 | 6.52 | 1.23 | 0.41 | 0.17 | 0.11 | 0.10 | 1.32 |
| 豊橋市 (R03.8) | 5.29 | 2.41 | 1.15 | 0.26 | 0.08 | 0.08 | 1.28 |
| 女性 | 4.45 | 3.46 | 1.84 | 0.31 | 0.09 | 0.08 | 1.16 |
| 男性 | 6.25 | 1.21 | 0.38 | 0.19 | 0.07 | 0.09 | 1.41 |
| 豊橋市 (R01.8) | 5.80 | 2.47 | 1.86 | 0.28 | 0.12 | 0.25 | 1.31 |
| 女性 | 4.90 | 3.39 | 2.85 | 0.41 | 0.15 | 0.29 | 1.20 |
| 男性 | 7.04 | 1.00 | 0.33 | 0.08 | 0.06 | 0.20 | 1.50 |
| 豊橋市 (H28.8) | 5.56 | 2.54 | 1.32 | 0.36 | 0.12 | 0.18 | 1.27 |
| 女性 | 4.56 | 3.78 | 2.04 | 0.52 | 0.14 | 0.21 | 1.24 |
| 男性 | 6.83 | 0.87 | 0.41 | 0.17 | 0.04 | 0.13 | 1.31 |
| 豊橋市 (H26.9) | 5.35 | 2.34 | 1.70 | 0.31 | 0.06 | 0.17 | 1.26 |
| 女性 | 4.34 | 3.67 | 2.87 | 0.40 | 0.07 | 0.17 | 1.23 |
| 男性 | 6.45 | 0.74 | 0.39 | 0.17 | 0.05 | 0.17 | 1.31 |

<休日>

単位：時間

| | A 仕事 (収入の得られる労働) | B 家事 (掃除・洗濯・炊事等) | C 子育て (乳幼児から学生まで) | D 介護・看護 | E ボランティア・NPO活動 | F 地域活動 (自治会の530運動・資源回収など) | G 趣味・レジャーなどの余暇活動 |
|-------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------|-------------------|---------------------------------|---------------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 1.55 | 3.00 | 2.09 | 0.35 | 0.14 | 0.17 | 3.30 |
| 女性 | 1.59 | 4.14 | 2.89 | 0.47 | 0.11 | 0.17 | 3.09 |
| 男性 | 1.52 | 1.49 | 1.09 | 0.21 | 0.17 | 0.17 | 3.59 |
| 豊橋市 (R03.8) | 1.03 | 2.92 | 1.72 | 0.31 | 0.08 | 0.15 | 2.93 |
| 女性 | 1.03 | 4.03 | 2.42 | 0.35 | 0.05 | 0.09 | 2.43 |
| 男性 | 1.04 | 1.63 | 0.93 | 0.25 | 0.11 | 0.22 | 3.45 |
| 豊橋市 (R01.8) | 1.20 | 2.83 | 2.48 | 0.29 | 0.16 | 0.39 | 3.16 |
| 女性 | 1.23 | 3.82 | 3.43 | 0.41 | 0.17 | 0.37 | 2.91 |
| 男性 | 1.18 | 1.32 | 1.00 | 0.12 | 0.17 | 0.42 | 3.47 |
| 豊橋市 (H28.8) | 1.19 | 2.74 | 1.89 | 0.42 | 0.09 | 0.32 | 2.76 |
| 女性 | 1.18 | 3.87 | 2.58 | 0.54 | 0.09 | 0.30 | 2.37 |
| 男性 | 1.18 | 1.27 | 1.04 | 0.28 | 0.09 | 0.32 | 3.25 |
| 豊橋市 (H26.9) | 1.06 | 2.66 | 2.31 | 0.35 | 0.05 | 0.27 | 2.81 |
| 女性 | 0.96 | 3.99 | 3.49 | 0.49 | 0.04 | 0.22 | 2.55 |
| 男性 | 1.20 | 1.06 | 1.00 | 0.14 | 0.06 | 0.34 | 3.06 |

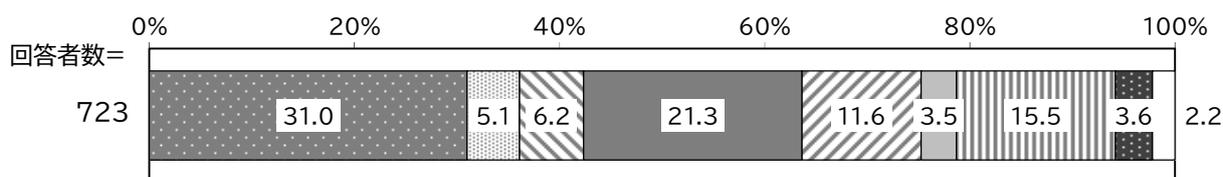
(2) 望ましい家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

問5. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

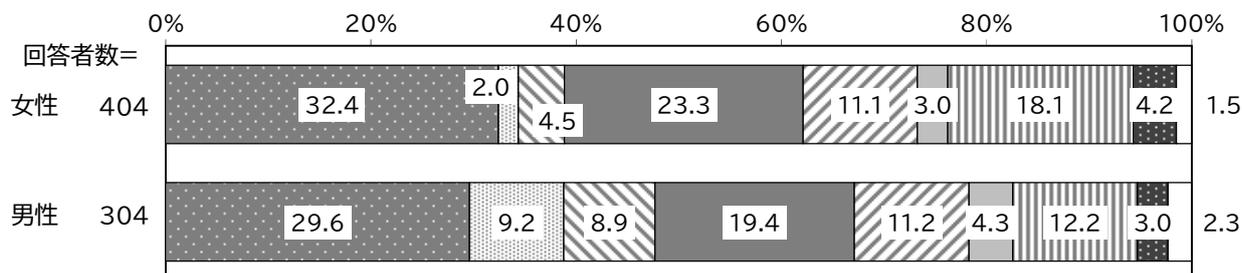
「家庭」を優先したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「家庭」と「仕事」とともに優先したい」の割合が21.3%、「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」とともに優先したい」の割合が15.5%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

- 「家庭」を優先したい
- ▨ 「仕事」を優先したい
- ▧ 「地域・個人の活動」を優先したい
- 「家庭」と「仕事」とともに優先したい
- ▨ 「家庭」と「地域・個人の活動」とともに優先したい
- ▧ 「仕事」と「地域・個人の活動」とともに優先したい
- ▩ 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」とともに優先したい
- わからない
- 無回答

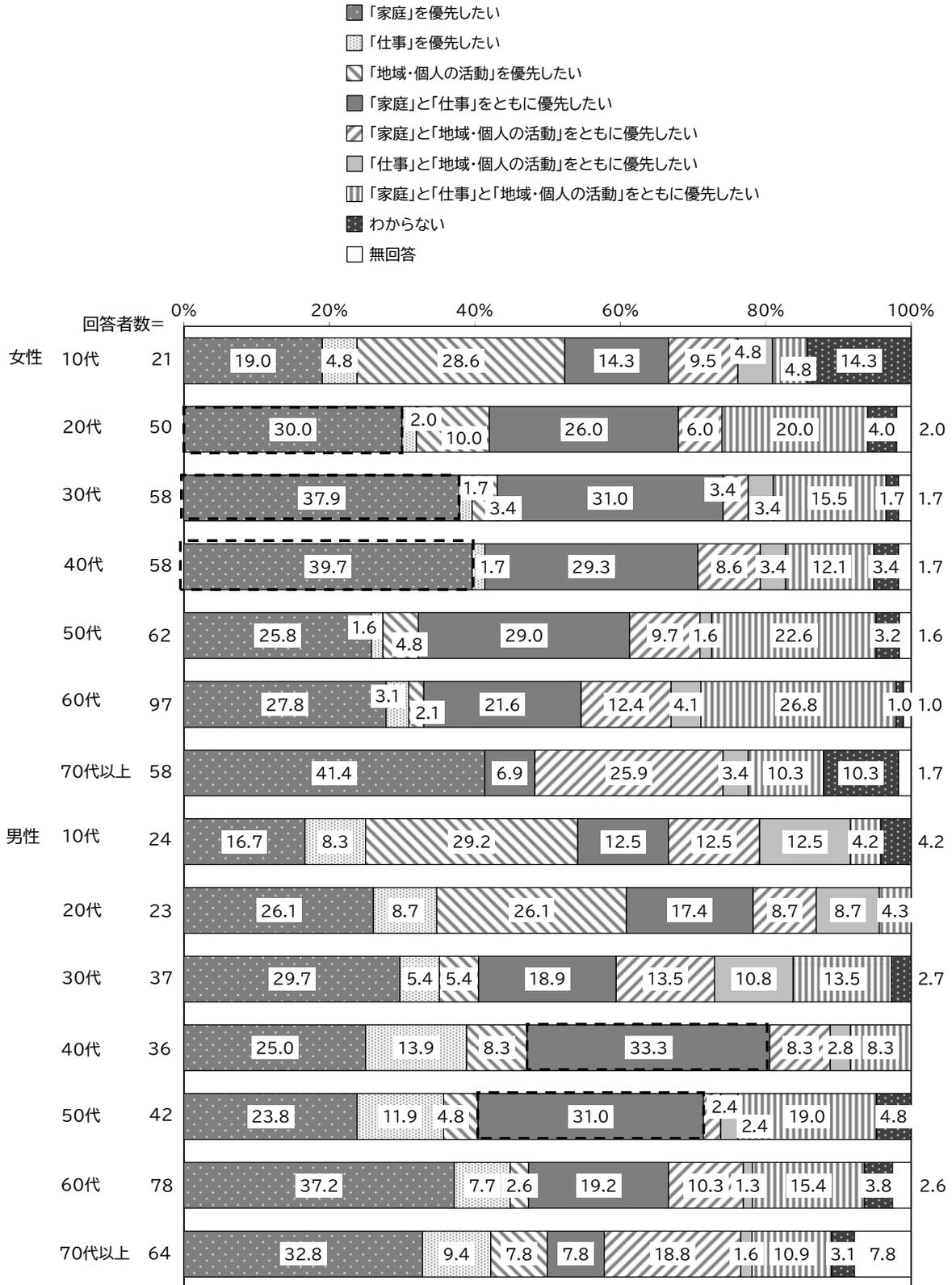


【性別】



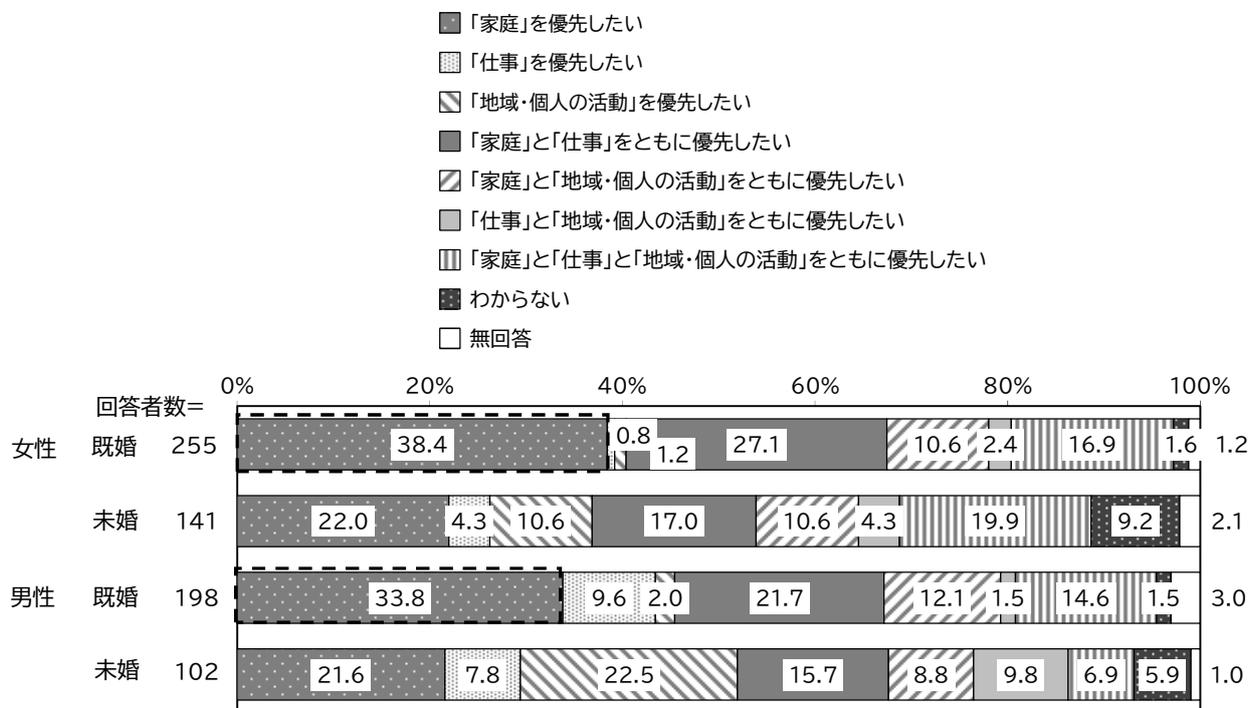
性・年代別でみると、20代~40代の女性で「家庭」を優先したい」の割合が、40代50代男性で「家庭」と「仕事」をともに優先したい」の割合が高い。

【性・年代別】



性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚男女で「家庭」を優先したい」の割合が高い。

【性・婚姻別】



国・愛知県との比較でみると、国、県に比べ、豊橋市で「家庭」と「仕事」をともに優先したい」の割合が低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

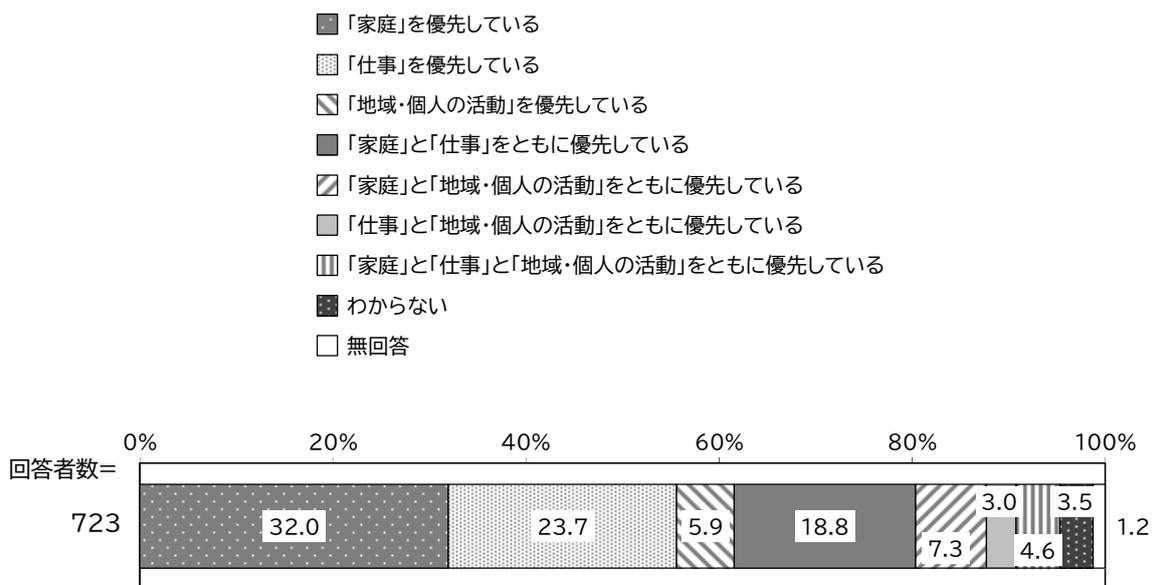
単位：％

| | 「家庭」を優先したい | 「仕事」を優先したい | 「地域・個人の活動」を優先したい | 「家庭」と「仕事」をともに優先したい | 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい | 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい | 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|------------|------------|------------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|-----|-------|-----|
| 国 (R01.9) | 28.4 | 9.9 | 4.7 | 28.7 | 10.1 | 3.3 | 13.1 | — | 1.9 | — |
| 女性 | 35.1 | 5.0 | 3.6 | 27.2 | 10.9 | 2.3 | 14.4 | — | 1.5 | — |
| 男性 | 20.7 | 15.5 | 5.8 | 30.4 | 9.3 | 4.4 | 11.6 | — | 2.3 | — |
| 愛知県 (R04.7) | 23.5 | 6.2 | 5.3 | 31.4 | 10.4 | 3.8 | 12.0 | 0.9 | 3.9 | 2.7 |
| 女性 | 27.7 | 2.9 | 3.2 | 30.9 | 12.5 | 3.5 | 11.4 | 1.2 | 3.8 | 2.9 |
| 男性 | 18.0 | 10.1 | 7.8 | 32.0 | 8.4 | 4.3 | 12.6 | 0.6 | 3.8 | 2.5 |
| 豊橋市 (R05.8) | 31.0 | 5.1 | 6.2 | 21.3 | 11.6 | 3.5 | 15.5 | — | 3.6 | 2.2 |
| 女性 | 32.4 | 2.0 | 4.5 | 23.3 | 11.1 | 3.0 | 18.1 | — | 4.2 | 1.5 |
| 男性 | 29.6 | 9.2 | 8.9 | 19.4 | 11.2 | 4.3 | 12.2 | — | 3.0 | 2.3 |
| 豊橋市 (R03.8) | 25.7 | 5.2 | 5.2 | 23.8 | 16.2 | 2.7 | 15.0 | — | 4.8 | 1.2 |
| 女性 | 25.6 | 2.9 | 5.4 | 25.6 | 15.7 | 2.7 | 17.5 | — | 3.6 | 1.1 |
| 男性 | 25.9 | 7.7 | 5.1 | 21.8 | 16.9 | 2.8 | 12.3 | — | 6.2 | 1.3 |
| 豊橋市 (R01.8) | 29.7 | 6.2 | 2.7 | 29.7 | 13.6 | 3.0 | 8.4 | — | 5.7 | 0.9 |
| 女性 | 30.9 | 5.2 | 2.9 | 30.7 | 12.0 | 2.9 | 9.7 | — | 4.9 | 0.8 |
| 男性 | 28.5 | 7.2 | 2.5 | 28.8 | 15.5 | 3.3 | 6.4 | — | 6.6 | 1.1 |
| 豊橋市 (H28.8) | 36.4 | 8.5 | 0.5 | 36.8 | 5.0 | 1.1 | 4.4 | — | 5.7 | 1.6 |
| 女性 | 40.5 | 4.7 | 0.5 | 36.2 | 4.9 | 0.7 | 5.4 | — | 5.8 | 1.3 |
| 男性 | 30.9 | 13.6 | 0.5 | 38.0 | 5.0 | 1.7 | 3.3 | — | 5.5 | 1.4 |
| 豊橋市 (H26.9) | 40.1 | 7.1 | 0.3 | 33.8 | 3.7 | 1.0 | 4.1 | — | 6.2 | 3.7 |
| 女性 | 44.1 | 4.0 | 0.2 | 33.3 | 3.5 | 0.3 | 3.8 | — | 5.8 | 5.0 |
| 男性 | 35.5 | 10.9 | 0.4 | 33.8 | 4.1 | 1.7 | 4.5 | — | 6.8 | 2.3 |
| 豊橋市 (H23.6) | 31.5 | 6.2 | 0.6 | 35.6 | 7.5 | 1.2 | 10.7 | — | 5.2 | 1.6 |
| 女性 | 36.7 | 3.8 | 0.2 | 34.8 | 7.3 | 0.0 | 10.4 | — | 5.3 | 1.5 |
| 男性 | 24.8 | 9.1 | 1.1 | 36.3 | 8.0 | 2.8 | 11.4 | — | 5.2 | 1.3 |

(3) 現状における家庭・仕事・地域・個人の活動の関係

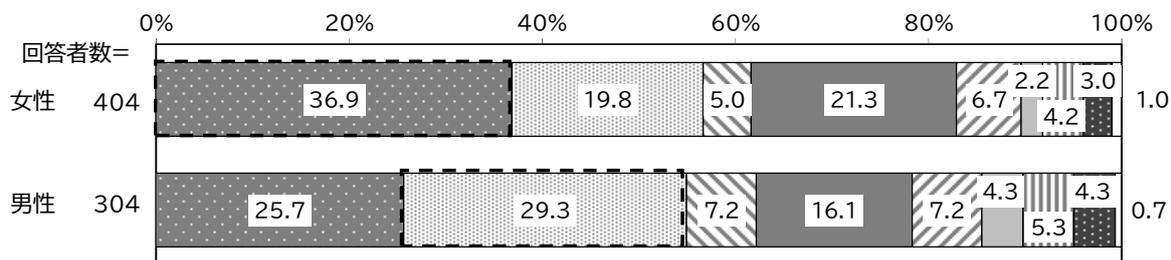
問6. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「家庭」を優先している」の割合が32.0%と最も高く、次いで「「仕事」を優先している」の割合が23.7%、「家庭」と「仕事」をともに優先している」の割合が18.8%となっている。



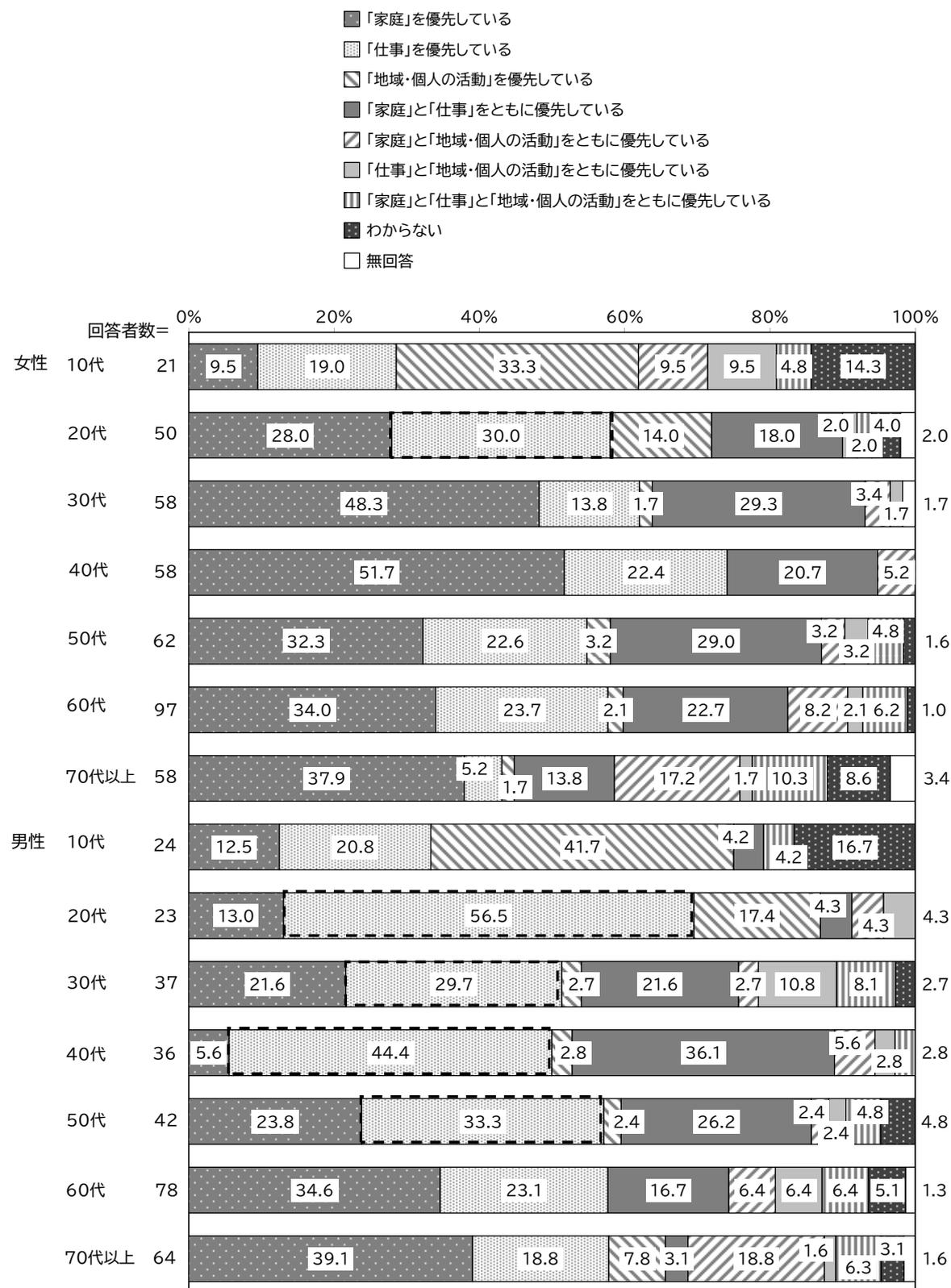
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家庭」を優先している」の割合が、女性に比べ、男性で「仕事」を優先している」の割合が高い。



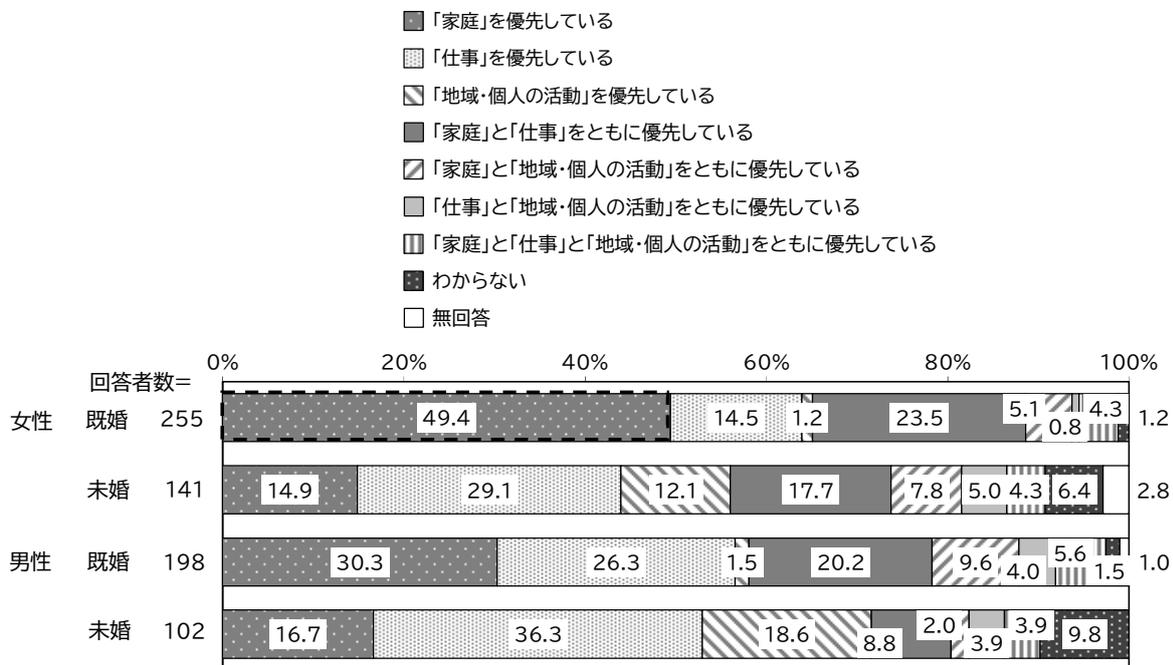
性・年代別でみると、問5の「希望に最も近いもの」では20代男女と30代男性で「家庭」を優先したいの割合が高かったが、「現実」では「仕事」を優先しているの割合が、40代50代男性で「家庭」と「仕事」とともに優先したいの割合が高かったが、「現実」では「仕事」を優先しているの割合が高い。

【性・年代別】



性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚女性で「家庭」を優先している」の割合が高い。

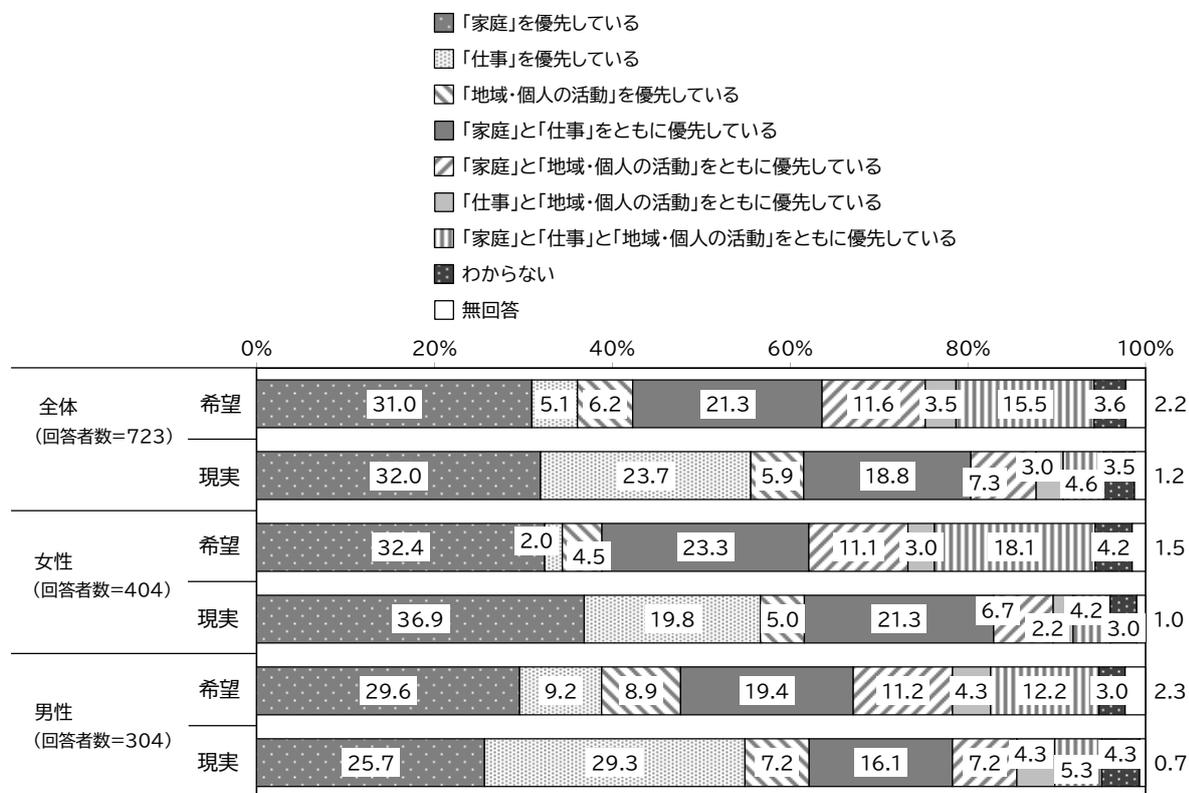
【性・婚姻別】



「家庭」、「仕事」、「地域活動」との優先順位の希望と現実について比較すると、全体では、「仕事」を優先」の割合が希望の 5.1%に対し、現実には 23.7%と増加しており、「家庭」と「仕事」をともに優先している」と「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先している」「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している」において、現実には希望に対し減少している。

性別でみると、男女ともに希望に対し現実の「仕事」を優先している」の割合が増加しており、「家庭」と「仕事」をともに優先」の割合が減少する傾向は、全体と同様になっているが、女性の「家庭」を優先している」の割合については、希望が 32.4%に対して現実が 36.9%と増加している。

【「家庭」、「仕事」、「地域活動」の関わり方（希望と現実） 性別】



国・愛知県との比較でみると、愛知県に比べ、豊橋市で「家庭」を優先している」の割合が高い。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年に比べ、令和5年で「家庭」と「仕事」をともに優先している」「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している」「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している」の割合が減少している。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

| | 「家庭」を優先している | 「仕事」を優先している | 「地域・個人の活動」を優先している | 「家庭」と「仕事」を優先している | 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している | 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している | 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|-------------|-------------|-------------------|------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|-----|-------|-----|
| 国 (R01.9) | 30.3 | 25.9 | 4.5 | 21.0 | 8.1 | 3.1 | 5.1 | — | 1.9 | — |
| 女性 | 39.9 | 16.6 | 3.7 | 21.0 | 9.6 | 2.1 | 5.3 | — | 1.6 | — |
| 男性 | 19.4 | 36.5 | 5.5 | 21.0 | 6.4 | 4.2 | 4.8 | — | 2.3 | — |
| 愛知県 (R01.8) | 23.5 | 33.0 | 1.7 | 21.1 | 3.9 | 2.4 | 4.4 | 1.8 | 4.5 | 3.8 |
| 女性 | 35.7 | 19.7 | 1.2 | 18.4 | 5.6 | 1.6 | 5.8 | 2.3 | 5.8 | 3.9 |
| 男性 | 9.8 | 49.9 | 2.4 | 24.1 | 2.0 | 3.0 | 3.2 | 1.3 | 2.2 | 2.0 |
| 豊橋市 (R05.8) | 32.0 | 23.7 | 5.9 | 18.8 | 7.3 | 3.0 | 4.6 | — | 3.5 | 1.2 |
| 女性 | 36.9 | 19.8 | 5.0 | 21.3 | 6.7 | 2.2 | 4.2 | — | 3.0 | 1.0 |
| 男性 | 25.7 | 29.3 | 7.2 | 16.1 | 7.2 | 4.3 | 5.3 | — | 4.3 | 0.7 |
| 豊橋市 (R03.8) | 31.0 | 22.4 | 5.8 | 19.1 | 7.0 | 4.1 | 5.0 | 4.4 | — | 1.2 |
| 女性 | 36.5 | 19.1 | 4.5 | 20.2 | 6.5 | 4.0 | 4.7 | 3.4 | — | 1.1 |
| 男性 | 24.6 | 26.2 | 7.2 | 17.9 | 7.7 | 4.1 | 5.4 | 5.6 | — | 1.3 |
| 豊橋市 (R01.8) | 29.6 | 25.2 | 3.4 | 22.2 | 7.8 | 4.0 | 3.1 | — | 3.9 | 0.8 |
| 女性 | 35.9 | 22.5 | 2.7 | 21.9 | 6.6 | 3.1 | 3.3 | — | 3.5 | 0.6 |
| 男性 | 22.7 | 28.3 | 4.7 | 21.6 | 9.1 | 5.5 | 2.5 | — | 4.4 | 1.1 |
| 豊橋市 (H28.8) | 34.8 | 29.6 | 0.7 | 22.2 | 4.0 | 1.2 | 2.4 | — | 4.3 | 0.6 |
| 女性 | 42.5 | 21.6 | 0.5 | 23.8 | 3.8 | 0.4 | 2.5 | — | 4.5 | 0.4 |
| 男性 | 24.6 | 40.4 | 1.0 | 20.6 | 4.3 | 2.4 | 2.2 | — | 4.3 | 0.2 |
| 豊橋市 (H26.9) | 38.3 | 26.7 | 0.5 | 20.6 | 2.7 | 0.8 | 1.8 | — | 5.3 | 3.3 |
| 女性 | 45.9 | 18.9 | 0.3 | 21.7 | 2.8 | — | 1.3 | — | 4.5 | 4.5 |
| 男性 | 29.7 | 35.5 | 0.8 | 19.0 | 2.5 | 1.7 | 2.3 | — | 6.4 | 1.9 |
| 豊橋市 (H23.6) | 32.5 | 21.7 | 0.6 | 30.3 | 4.3 | 1.0 | 4.1 | — | 3.6 | 1.8 |
| 女性 | 42.6 | 14.6 | 0.0 | 29.9 | 5.5 | 0.3 | 2.7 | — | 3.0 | 1.5 |
| 男性 | 19.2 | 31.1 | 1.5 | 31.3 | 3.0 | 1.9 | 5.8 | — | 4.3 | 1.7 |

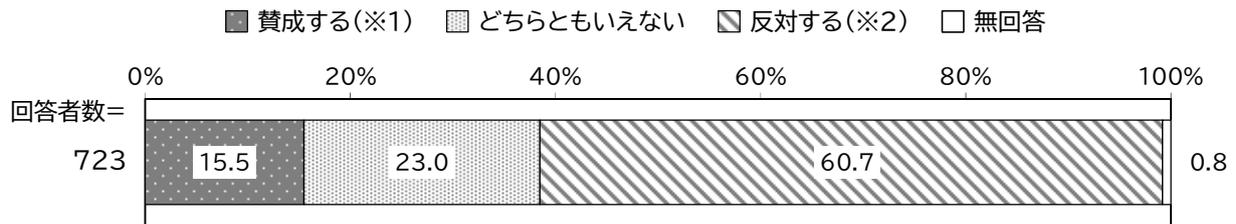
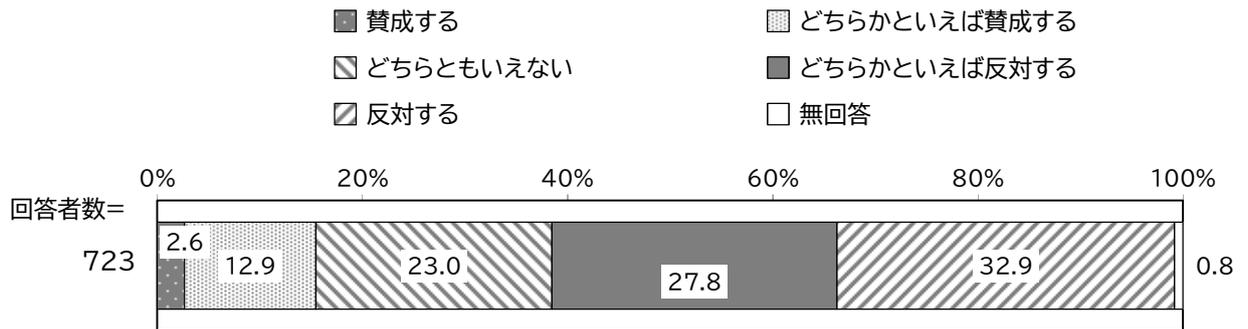
5 男女の働き方について

(1) 性別役割分担意識

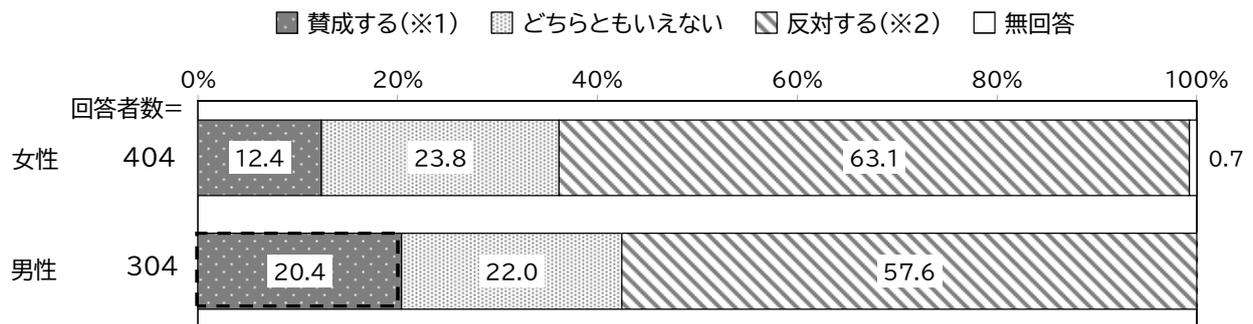
問7. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する（※1）”の割合が15.5%、“反対する（※2）”の割合が60.7%、「どちらともいえない」の割合が23.0%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で“賛成する（※1）”の割合が高い。



【性別】

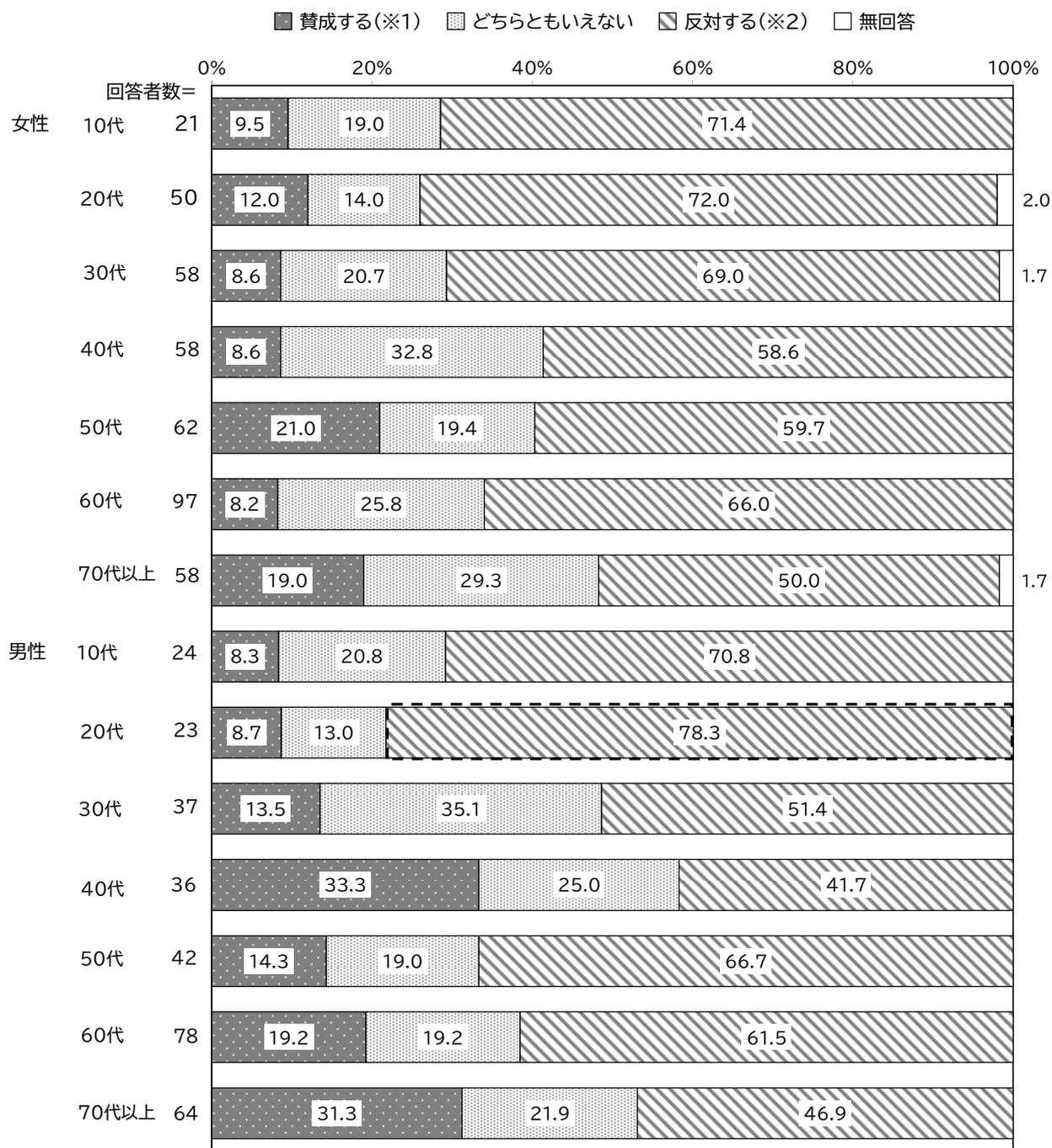


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

性・年代別でみると、他に比べ、男性20代で“反対する（※2）”の割合が高い。

【性・年代別】

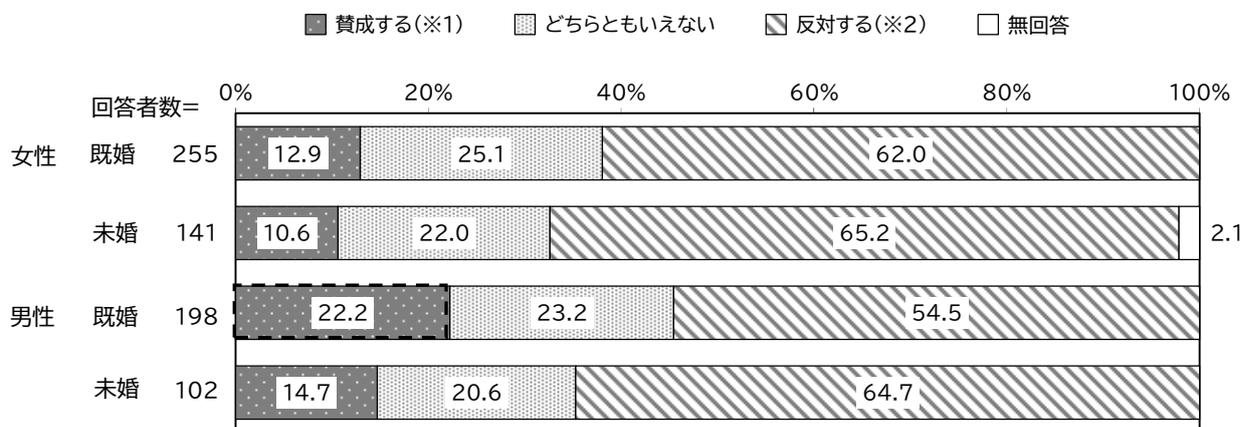


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

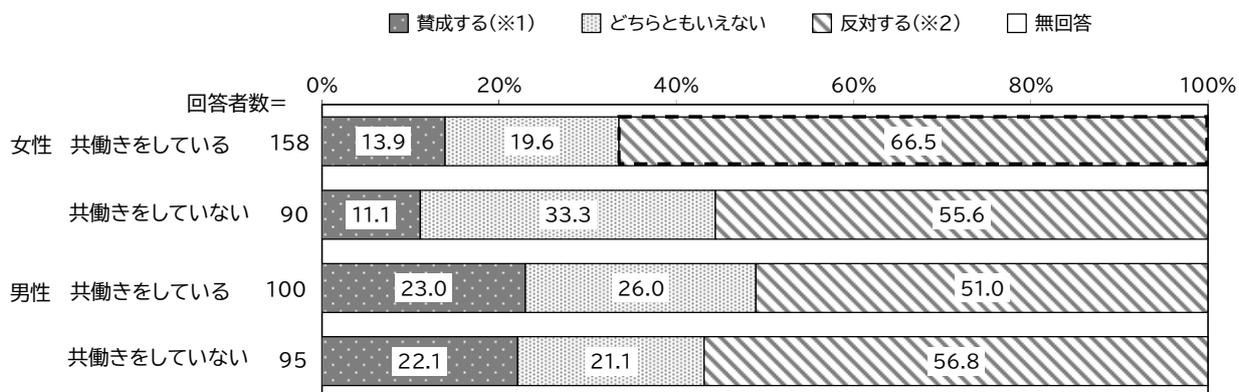
※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚男性で“賛成する（※1）”の割合が高い。
 性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしている女性で“反対する（※2）”の割合が高い。

【性・婚姻別】



【性・共働き別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計
 ※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

国・愛知県との比較でみると、国・愛知県に比べ、豊橋市で“賛成する”の割合が低くなっている。

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和3年で“賛成する”の割合が最も低くなっている。

【国・愛知県との比較・経年比較】

単位：％

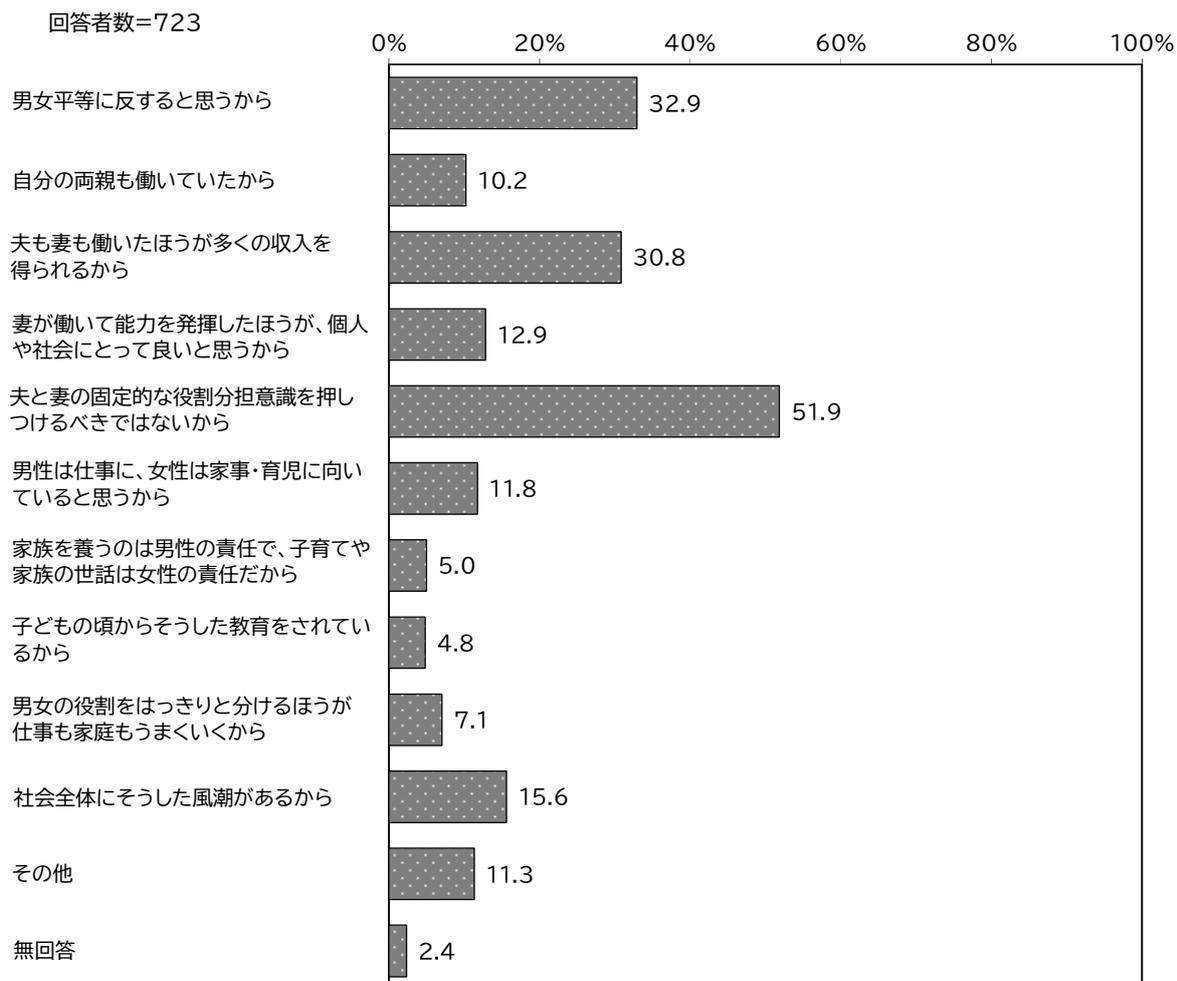
| | 賛成する そう思う (A) | どちらかといえば賛成する どちらかといえばそう思う (B) | どちらともいえない | どちらかといえば反対する どちらかといえばそう思わない (C) | 反対する そう思わない (D) | わからない | 無回答 | 賛成する 肯定的 (A+B) | 反対する 否定的 (C+D) |
|-------------|---------------------|-------------------------------------|-----------|---------------------------------------|-----------------------|-------|-----|----------------------|----------------------|
| 国 (R04.11) | 4.0 | 29.4 | — | 38.2 | 26.1 | — | 2.2 | 33.5 | 64.3 |
| 女性 | 3.0 | 25.4 | — | 40.4 | 29.0 | — | 2.2 | 28.4 | 69.4 |
| 男性 | 5.3 | 34.2 | — | 35.6 | 22.7 | — | 2.2 | 39.5 | 58.3 |
| 愛知県 (R04.7) | 3.3 | 21.9 | — | 31.6 | 24.4 | 16.4 | 2.5 | 25.2 | 56.0 |
| 女性 | 2.9 | 16.7 | — | 34.7 | 27.9 | 15.1 | 2.8 | 19.6 | 62.5 |
| 男性 | 3.9 | 28.5 | — | 27.9 | 20.5 | 16.9 | 2.2 | 32.4 | 48.5 |
| 豊橋市 (R05.8) | 2.6 | 12.9 | 23.0 | 27.8 | 32.9 | — | 0.8 | 15.5 | 60.7 |
| 女性 | 2.0 | 10.4 | 23.8 | 28.0 | 35.1 | — | 0.7 | 12.4 | 63.1 |
| 男性 | 3.6 | 16.8 | 22.0 | 28.3 | 29.3 | — | 0.0 | 20.4 | 57.6 |
| 豊橋市 (R03.8) | 3.0 | 11.3 | 28.0 | 28.6 | 29.0 | — | 0.1 | 14.3 | 57.6 |
| 女性 | 2.7 | 9.2 | 24.4 | 30.0 | 33.6 | — | — | 11.9 | 63.7 |
| 男性 | 3.3 | 13.8 | 31.8 | 27.2 | 23.6 | — | 0.3 | 17.2 | 50.8 |
| 豊橋市 (R01.8) | 3.4 | 19.0 | 36.3 | 22.0 | 18.5 | — | 0.8 | 22.4 | 40.5 |
| 女性 | 1.4 | 16.5 | 35.3 | 24.1 | 22.1 | — | 0.6 | 17.9 | 46.2 |
| 男性 | 5.8 | 23.3 | 38.2 | 19.4 | 12.2 | — | 1.1 | 29.1 | 31.6 |
| 豊橋市 (H28.8) | 5.3 | 20.2 | 42.1 | 18.4 | 13.4 | — | 0.6 | 25.5 | 31.8 |
| 女性 | 5.6 | 17.7 | 42.2 | 18.7 | 15.3 | — | 0.5 | 23.3 | 34.0 |
| 男性 | 4.8 | 23.7 | 41.9 | 17.9 | 11.2 | — | 0.5 | 28.5 | 29.1 |
| 豊橋市 (H26.9) | 5.9 | 23.0 | 39.2 | 17.1 | 12.6 | — | 2.2 | 28.9 | 29.7 |
| 女性 | 4.5 | 19.4 | 39.1 | 20.2 | 13.9 | — | 2.8 | 23.9 | 34.1 |
| 男性 | 7.4 | 27.2 | 39.8 | 13.4 | 10.9 | — | 1.4 | 34.6 | 24.3 |
| 豊橋市 (H23.6) | 7.2 | 31.3 | 26.4 | 12.6 | 20.7 | — | 1.9 | 38.5 | 33.3 |
| 女性 | 5.1 | 27.9 | 27.7 | 13.3 | 24.9 | — | 1.2 | 33.0 | 38.2 |
| 男性 | 9.9 | 35.9 | 24.8 | 11.4 | 15.6 | — | 2.4 | 45.8 | 27.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | 6.4 | 28.2 | 28.3 | 15.1 | 21.4 | — | 0.6 | 34.6 | 36.5 |
| 女性 | 5.1 | 23.6 | 29.6 | 17.5 | 24.0 | — | 0.2 | 28.7 | 41.5 |
| 男性 | 8.3 | 34.5 | 27.2 | 11.9 | 17.5 | — | 0.6 | 42.9 | 29.4 |
| 豊橋市 (H17.5) | 7.4 | 31.0 | 28.3 | 11.7 | 19.1 | — | 2.6 | 38.4 | 30.8 |
| 女性 | 5.9 | 28.7 | 29.5 | 13.7 | 20.0 | — | 2.3 | 34.5 | 33.7 |
| 男性 | 9.8 | 33.4 | 26.9 | 9.1 | 18.0 | — | 2.8 | 43.2 | 27.1 |
| 豊橋市 (H13.8) | 9.4 | 30.8 | 27.5 | 13.3 | 18.3 | — | 0.6 | 40.2 | 31.6 |
| 女性 | 6.7 | 27.8 | 27.4 | 17.0 | 20.5 | — | 0.6 | 34.5 | 37.5 |
| 男性 | 12.7 | 33.9 | 28.7 | 9.3 | 15.0 | — | 0.5 | 46.6 | 24.3 |

(2) 性別役割分担意識について思う理由

問7-1. 問7で、そう思われるのはなぜですか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「夫と妻の固定的な役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が51.9%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」の割合が32.9%、「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が30.8%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が高い。また、女性に比べ、男性で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が高い。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等に反すると思うから | 自分の両親も働いていたから | 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから | 妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから | 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから | 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから | 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから | 子どもの頃からそうした教育をされているから | 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから | 社会全体にそうした風潮があるから | その他 | 無回答 |
|----|---------|---------------|---------------|------------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------------------------|------------------|------|-----|
| 女性 | 404 | 33.2 | 10.9 | 34.4 | 10.9 | 59.7 | 8.2 | 2.5 | 4.5 | 5.9 | 14.6 | 11.4 | 1.5 |
| 男性 | 304 | 33.2 | 9.2 | 26.6 | 15.5 | 42.4 | 17.1 | 8.6 | 5.6 | 8.9 | 17.1 | 11.5 | 2.3 |

性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに10代30代女性で「夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が、40代70代以上の男性で「男性は仕事に、女性が家事・育児に向いていると思うから」の割合が高い。また、男性50代で「妻が働いて能力を發揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が、男性70代以上で「社会全体にそうした風潮があるから」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等に反すると思うから | 自分の両親も働いていたから | 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから | 妻が働いて能力を發揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから | 固定的な夫と妻の役割分擔意識を押しつけるべきではないから | 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから | 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから | 子どもの頃からそうした教育をされているから | 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから | 社会全体にそうした風潮があるから | その他 | 無回答 |
|--------|---------|---------------|---------------|------------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------------------------|------------------|------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 47.6 | 14.3 | 42.9 | 19.0 | 47.6 | 9.5 | 0.0 | 9.5 | 4.8 | 19.0 | 9.5 | 4.8 |
| 20代 | 50 | 30.0 | 8.0 | 30.0 | 2.0 | 64.0 | 12.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 18.0 | 12.0 | 0.0 |
| 30代 | 58 | 32.8 | 12.1 | 46.6 | 6.9 | 65.5 | 3.4 | 3.4 | 0.0 | 5.2 | 5.2 | 17.2 | 0.0 |
| 40代 | 58 | 34.5 | 6.9 | 34.5 | 10.3 | 58.6 | 3.4 | 0.0 | 0.0 | 5.2 | 6.9 | 15.5 | 1.7 |
| 50代 | 62 | 33.9 | 9.7 | 38.7 | 11.3 | 61.3 | 8.1 | 4.8 | 6.5 | 8.1 | 11.3 | 11.3 | 0.0 |
| 60代 | 97 | 30.9 | 14.4 | 27.8 | 12.4 | 60.8 | 8.2 | 2.1 | 6.2 | 4.1 | 21.6 | 12.4 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 32.8 | 10.3 | 29.3 | 17.2 | 51.7 | 13.8 | 3.4 | 8.6 | 12.1 | 19.0 | 0.0 | 6.9 |
| 男性 10代 | 24 | 37.5 | 20.8 | 20.8 | 4.2 | 50.0 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 12.5 | 8.3 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 21.7 | 8.7 | 13.0 | 4.3 | 47.8 | 8.7 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 8.7 | 34.8 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 37.8 | 10.8 | 24.3 | 16.2 | 51.4 | 10.8 | 2.7 | 2.7 | 8.1 | 8.1 | 37.8 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 33.3 | 11.1 | 27.8 | 16.7 | 38.9 | 25.0 | 5.6 | 5.6 | 11.1 | 19.4 | 5.6 | 2.8 |
| 50代 | 42 | 26.2 | 4.8 | 28.6 | 26.2 | 42.9 | 14.3 | 9.5 | 2.4 | 11.9 | 11.9 | 9.5 | 4.8 |
| 60代 | 78 | 33.3 | 6.4 | 33.3 | 14.1 | 44.9 | 14.1 | 6.4 | 6.4 | 7.7 | 15.4 | 2.6 | 1.3 |
| 70代以上 | 64 | 37.5 | 9.4 | 25.0 | 17.2 | 31.3 | 28.1 | 20.3 | 10.9 | 10.9 | 31.3 | 4.7 | 4.7 |

性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている、共働きしていない女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が高い。

性別役割分担意識別でみると、他に比べ、否定的な女性で「固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから」の割合が、肯定的な男性で「男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから」の割合が高い。

【性・共働き別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等に反すると思うから | 自分の両親も働いていたから | 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから | 個人や社会にとって良いと思うから | 妻が働いて能力を發揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから | 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから | 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから | 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから | 子どもの頃からそうした教育をされているから | 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから | 社会全体にそうした風潮があるから | その他 | 無回答 |
|---------------|---------|---------------|---------------|------------------------|------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------------------------|------------------|-----|-----|
| 女性 共働きしている | 158 | 31.6 | 8.2 | 38.0 | 10.8 | 58.2 | 7.0 | 2.5 | 1.9 | 5.7 | 12.7 | 13.3 | 0.6 | |
| 共働きしていない | 90 | 33.3 | 8.9 | 33.3 | 15.6 | 58.9 | 12.2 | 5.6 | 6.7 | 6.7 | 18.9 | 11.1 | 0.0 | |
| 男性 共働きしている | 100 | 29.0 | 7.0 | 29.0 | 18.0 | 47.0 | 13.0 | 7.0 | 6.0 | 10.0 | 15.0 | 17.0 | 1.0 | |
| 共働きしていない | 95 | 34.7 | 7.4 | 25.3 | 17.9 | 38.9 | 18.9 | 12.6 | 6.3 | 8.4 | 22.1 | 1.1 | 3.2 | |

【性別役割分担意識別】

単位：％

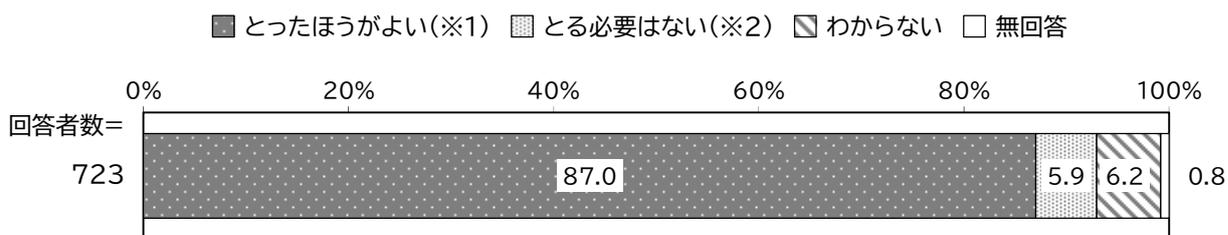
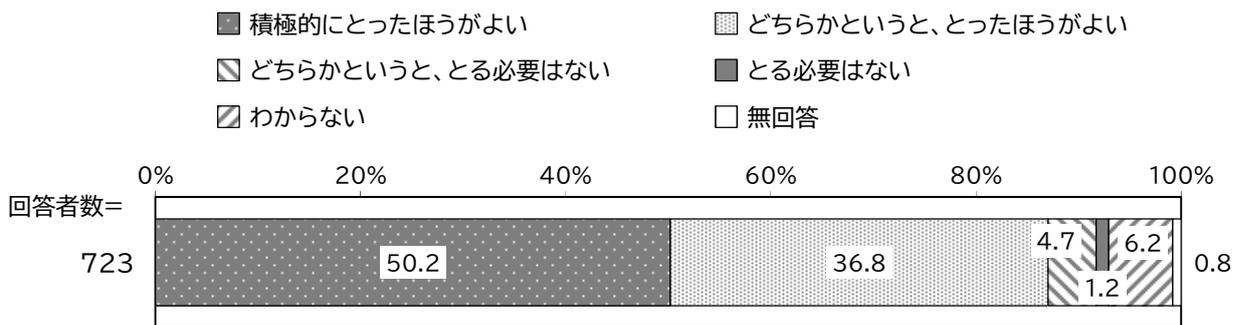
| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等に反すると思うから | 自分の両親も働いていたから | 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから | 個人や社会にとって良いと思うから | 妻が働いて能力を發揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから | 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから | 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから | 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから | 子どもの頃からそうした教育をされているから | 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから | 社会全体にそうした風潮があるから | その他 | 無回答 |
|---------------|---------|---------------|---------------|------------------------|------------------|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------------------------|------------------|-----|-----|
| 女性 肯定的 | 50 | 2.0 | 6.0 | 14.0 | 0.0 | 14.0 | 46.0 | 12.0 | 14.0 | 32.0 | 18.0 | 14.0 | 2.0 | |
| どちらとも いえない | 96 | 10.4 | 10.4 | 26.0 | 7.3 | 51.0 | 8.3 | 3.1 | 4.2 | 5.2 | 12.5 | 22.9 | 4.2 | |
| 否定的 | 255 | 47.5 | 11.8 | 41.6 | 14.5 | 72.2 | 0.8 | 0.4 | 2.4 | 1.2 | 14.1 | 6.3 | 0.4 | |
| 男性 肯定的 | 62 | 11.3 | 3.2 | 12.9 | 4.8 | 6.5 | 61.3 | 25.8 | 14.5 | 21.0 | 17.7 | 11.3 | 1.6 | |
| どちらとも いえない | 67 | 14.9 | 9.0 | 17.9 | 9.0 | 35.8 | 7.5 | 7.5 | 9.0 | 10.4 | 23.9 | 23.9 | 6.0 | |
| 否定的 | 175 | 48.0 | 11.4 | 34.9 | 21.7 | 57.7 | 5.1 | 2.9 | 1.1 | 4.0 | 14.3 | 6.9 | 1.1 | |

(3) 男性が育児や介護で休みをとることについての考え方

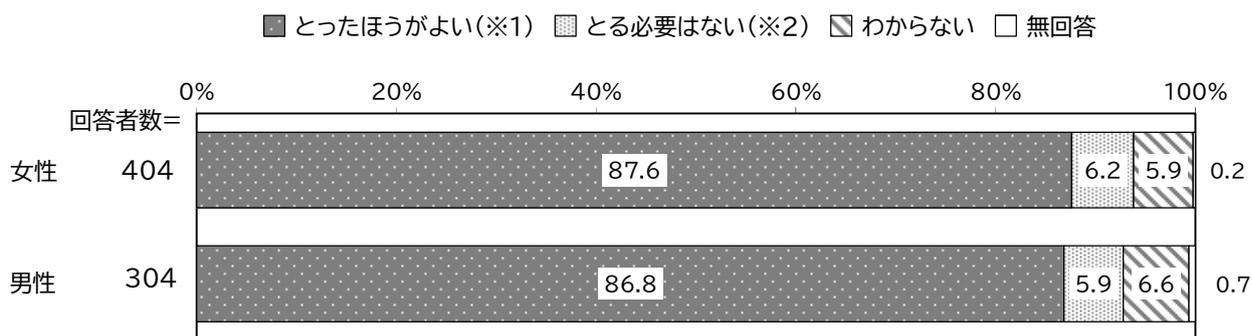
問8. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“とったほうがよい(※1)”の割合が87.0%、“とる必要はない(※2)”の割合が5.9%、「わからない」が6.2%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。



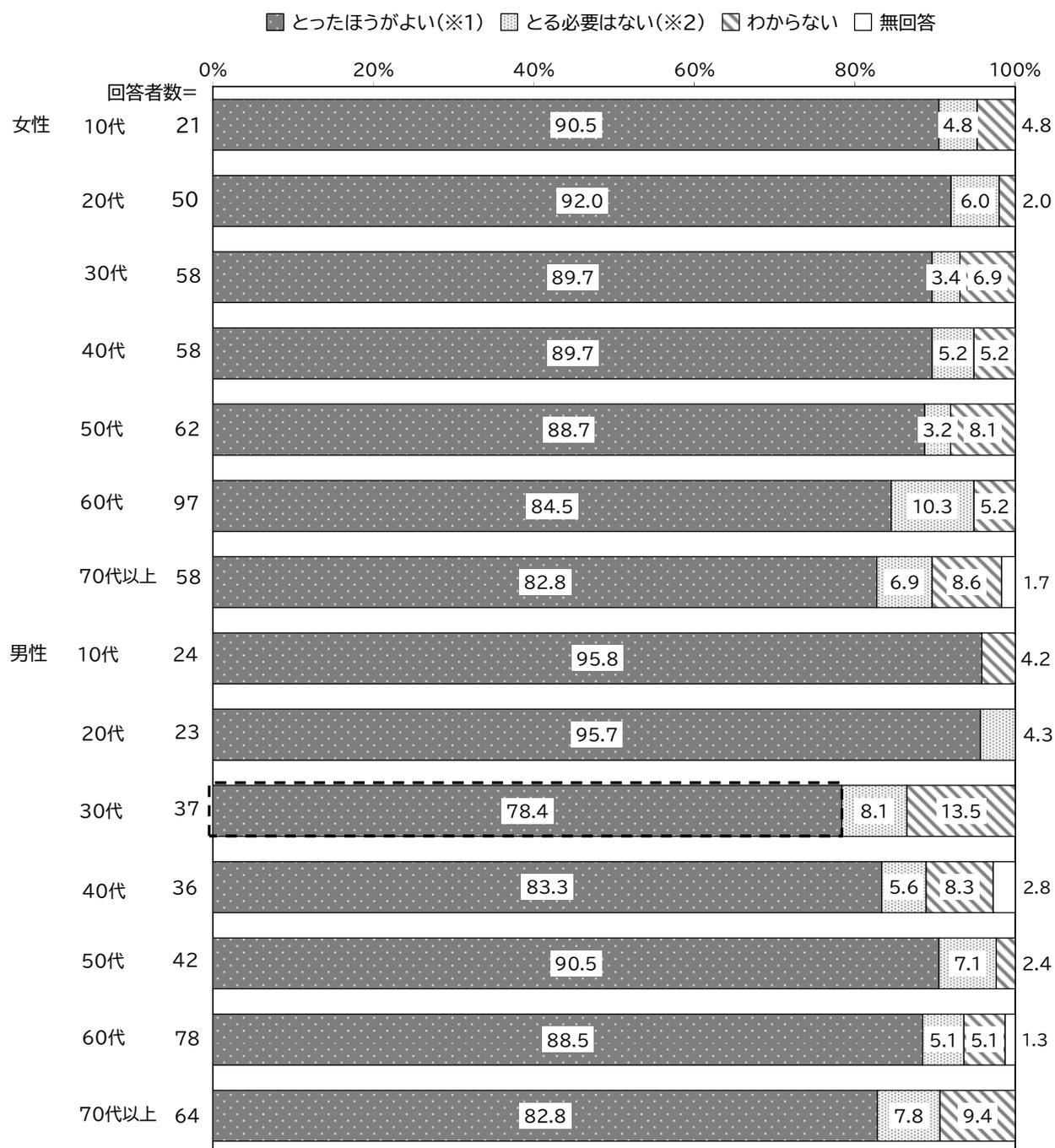
【性別】



※1: 「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというと、とったほうがよい」の計
 ※2: 「どちらかというと、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・年代別でみると、他に比べ、男性30代で“とったほうがよい（※1）”の割合が低い。

【性・年代別】



※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

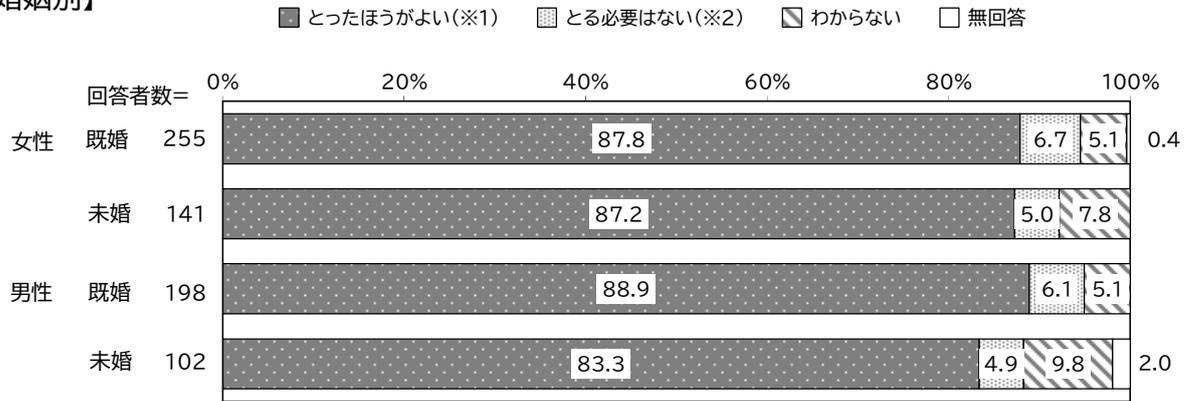
※2：「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

性・婚姻別でみると、大きな差異はみられない。

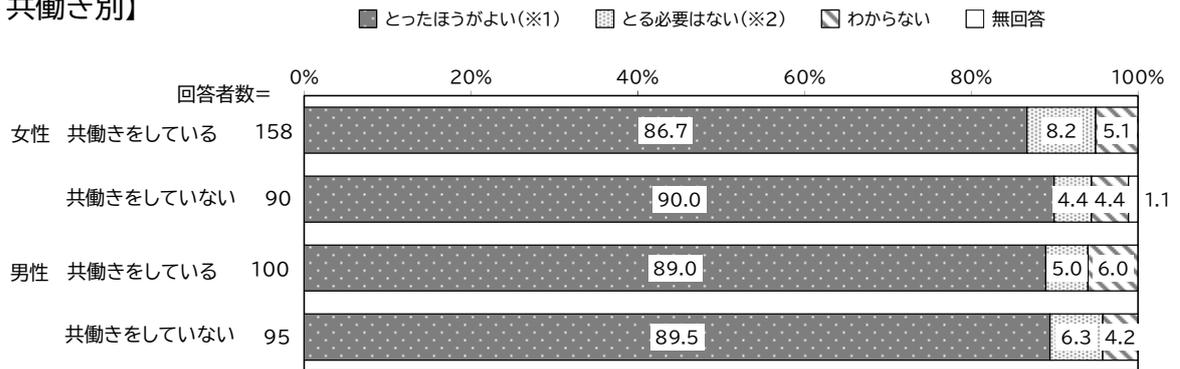
性・共働き別でみると、大きな差異はみられない。

性別役割分担意識別でみると、男女ともに肯定的で“とる必要はない（※2）”の割合より、否定的で“とったほうがよい（※1）”の割合が高い。

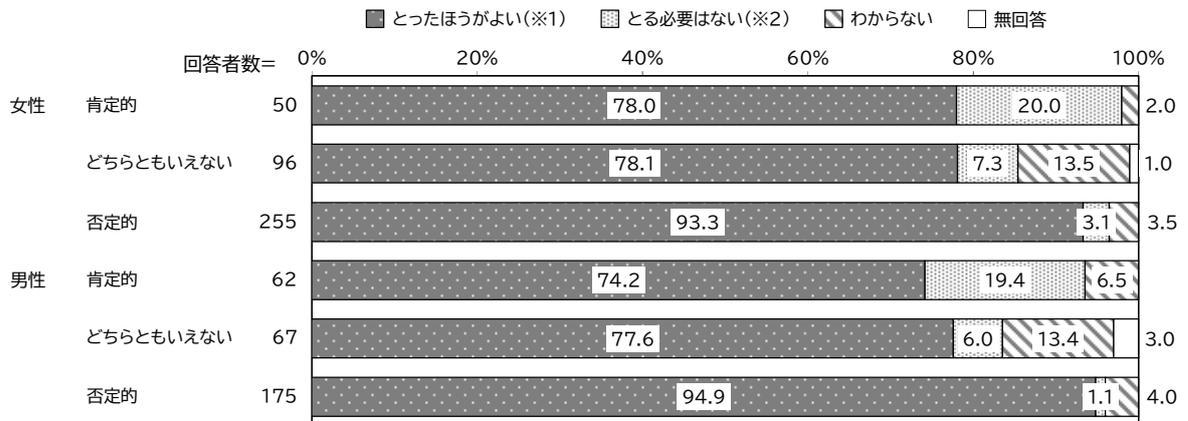
【性・婚姻別】



【性・共働き別】



【性別役割分担意識別】



※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかという、とったほうがよい」の計

※2：「どちらかという、とる必要はない」と「とる必要はない」の計

豊橋市の過去の調査との比較でみると、“とったほうがよい（※1）”の割合が過去最高となっている。

【経年比較】

単位：%

| | 積極的にとったほうがよい | どちらかというのとったほうがよい | どちらかというのとる必要はない | とる必要はない | わからない | 無回答 | とったほうがよい※1 | とる必要はない※2 |
|----------------|--------------|------------------|-----------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 50.2 | 36.8 | 4.7 | 1.2 | 6.2 | 0.8 | 87.0 | 5.9 |
| 女性 | 52.7 | 34.9 | 5.0 | 1.2 | 5.9 | 0.2 | 87.6 | 6.2 |
| 男性 | 46.7 | 40.1 | 4.6 | 1.3 | 6.6 | 0.7 | 86.8 | 5.9 |
| 豊橋市 (R03.8) | 46.5 | 38.3 | 7.2 | 1.1 | 6.4 | 0.6 | 84.7 | 8.2 |
| 女性 | 51.1 | 34.5 | 6.1 | 1.6 | 5.6 | 1.1 | 85.7 | 7.6 |
| 男性 | 41.3 | 42.8 | 8.2 | 0.5 | 7.2 | - | 84.1 | 8.7 |
| 豊橋市 (R01.8) | 37.4 | 45.9 | 6.3 | 1.8 | 7.6 | 1.0 | 83.3 | 8.1 |
| 女性 | 40.6 | 43.9 | 7.2 | 1.4 | 6.2 | 0.6 | 84.5 | 8.6 |
| 男性 | 33.2 | 49.0 | 5.0 | 2.2 | 8.9 | 1.7 | 82.2 | 7.2 |
| 豊橋市 (H28.8) | 27.4 | 47.5 | 12.0 | 2.7 | 8.3 | 2.0 | 74.9 | 14.7 |
| 女性 | 30.6 | 46.5 | 10.3 | 2.5 | 8.6 | 1.4 | 77.1 | 12.8 |
| 男性 | 23.4 | 48.8 | 14.8 | 2.6 | 7.9 | 2.4 | 72.2 | 17.4 |
| 豊橋市 (H26.9) | 29.2 | 47.5 | 7.5 | 2.3 | 10.5 | 3.1 | 76.7 | 9.8 |
| 女性 | 34.8 | 43.1 | 6.3 | 1.5 | 10.3 | 4.0 | 77.9 | 7.8 |
| 男性 | 22.7 | 52.6 | 8.5 | 3.3 | 10.9 | 1.9 | 75.3 | 11.8 |
| 豊橋市 (H23.6) | 27.3 | 43.9 | 14.4 | 2.7 | 10.0 | 1.7 | 71.2 | 17.1 |
| 女性 | 29.4 | 44.8 | 13.4 | 1.8 | 9.0 | 1.7 | 74.1 | 15.3 |
| 男性 | 24.8 | 42.3 | 16.0 | 3.5 | 11.7 | 1.7 | 67.2 | 19.4 |

※1：「積極的にとったほうがよい」と「どちらかというのとったほうがよい」の計

※2：「どちらかというのとる必要はない」と「とる必要はない」の計

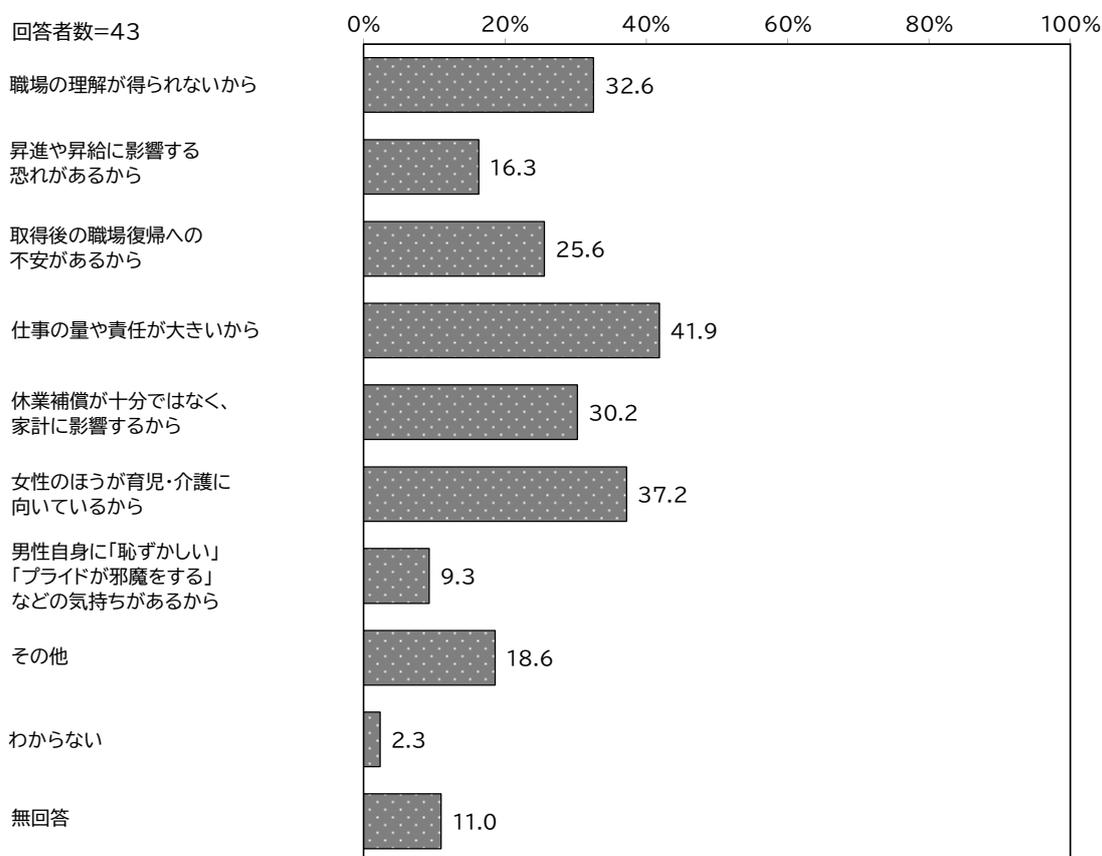
(4) 男性の育児や介護での休みについてそう思う理由

《問8で「どちらかという、とる必要はない」、「とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問8-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「仕事の量や責任が大きいから」の割合が41.9%と最も高く、次いで「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が37.2%、「職場の理解が得られないから」の割合が32.6%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「職場の理解が得られないから」「取得後の職場復帰への不安があるから」「仕事の量や責任が大きいから」「休業補償が十分ではなく、家計に影響するから」「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が高い。



【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 職場の理解が得られないから | 昇進や昇給に影響する恐れがあるから | 取得後の職場復帰への不安があるから | 仕事の量や責任が大きいから | 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから | 女性のほうが育児・介護に向いているから | 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから | その他 | わからない | 無回答 |
|----|----------|---------------|-------------------|-------------------|---------------|-----------------------|---------------------|-------------------------------------|------|-------|-----|
| 女性 | 25 | 28.0 | 20.0 | 20.0 | 36.0 | 24.0 | 32.0 | 8.0 | 28.0 | 4.0 | 0.0 |
| 男性 | 18 | 38.9 | 11.1 | 33.3 | 50.0 | 38.9 | 44.4 | 11.1 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |

有効な回答がありませんでした。

【性・年代別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 職場の理解が得られないから | 昇進や昇給に影響する恐れがあるから | 取得後の職場復帰への不安があるから | 仕事の量や責任が大きいためから | 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから | 女性のほうが育児・介護に向いているから | 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|---------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|---------------------|-------------------------------------|-------|-------|-----|
| 女性 10代 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 3 | 66.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 2 | 50.0 | 100.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 40代 | 3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 60代 | 10 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 50.0 | 20.0 | 30.0 | 0.0 | 40.0 | 10.0 | 0.0 |
| 70代以上 | 4 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 男性 10代 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 1 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 3 | 66.7 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 40代 | 2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 60代 | 4 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| 70代以上 | 5 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 80.0 | 20.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

豊橋市の令和3年の調査との比較でみると、「仕事の量や責任が大きいから」の割合が増加し、「昇進や昇給に影響する恐れがあるから」「女性のほうが育児・介護に向いているから」の割合が減少している。

【経年比較】

単位：%

| | 職場の理解が得られないから | 昇進や昇給に影響する恐れがあるから | 取得後の職場復帰への不安があるから | 仕事の量や責任が大きいから | 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから | 女性のほうが育児・介護に向いているから | 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|---------------|-------------------|-------------------|---------------|-----------------------|---------------------|-------------------------------------|------|-------|------|
| 豊橋市（R05.8） | 32.6 | 16.3 | 25.6 | 41.9 | 30.2 | 37.2 | 9.3 | 18.6 | 2.3 | 0.0 |
| 女性 | 28.0 | 20.0 | 20.0 | 36.0 | 24.0 | 32.0 | 8.0 | 28.0 | 4.0 | 0.0 |
| 男性 | 38.9 | 11.1 | 33.3 | 50.0 | 38.9 | 44.4 | 11.1 | 5.6 | 0.0 | 0.0 |
| 豊橋市（R03.8） | 30.4 | 26.1 | 29.0 | 30.4 | 31.9 | 46.4 | 14.5 | 14.5 | 1.4 | - |
| 女性 | 26.5 | 26.5 | 20.6 | 26.5 | 23.5 | 47.1 | 14.7 | 26.5 | 2.9 | - |
| 男性 | 35.3 | 26.5 | 35.3 | 35.3 | 41.2 | 47.1 | 11.8 | 2.9 | - | - |
| 豊橋市（R01.8） | 33.8 | 26.8 | 23.9 | 36.6 | 31.0 | 42.3 | 11.3 | 4.2 | - | 5.6 |
| 女性 | 31.0 | 28.6 | 31.0 | 28.6 | 38.1 | 47.6 | 9.5 | 4.8 | - | 2.4 |
| 男性 | 38.5 | 19.2 | 15.4 | 50.0 | 15.4 | 34.6 | 15.4 | 0.0 | - | 11.5 |
| 豊橋市（H28.8） | 32.2 | 28.1 | 30.8 | 52.1 | 32.9 | 41.1 | 11.6 | 6.2 | - | 2.7 |
| 女性 | 28.2 | 29.6 | 32.4 | 45.1 | 28.2 | 46.5 | 14.1 | 7.0 | - | 2.8 |
| 男性 | 37.0 | 27.4 | 30.1 | 57.5 | 38.4 | 35.6 | 9.6 | 5.5 | - | 2.7 |
| 豊橋市（H26.9） | 66.1 | 46.3 | 46.5 | 46.5 | 41.4 | 16.5 | 27.2 | 2.9 | 5.0 | 3.0 |
| 女性 | 73.5 | 50.1 | 49.1 | 47.3 | 46.8 | 15.9 | 33.3 | 3.3 | 3.2 | 3.8 |
| 男性 | 57.7 | 41.9 | 43.5 | 45.4 | 35.1 | 17.1 | 19.8 | 2.5 | 7.2 | 1.9 |
| 豊橋市（H23.6） | 63.9 | 42.6 | 44.4 | 46.3 | 43.4 | 17.5 | 30.9 | 3.9 | 2.2 | 1.4 |
| 女性 | 68.3 | 45.8 | 46.4 | 43.8 | 47.3 | 16.1 | 37.5 | 3.8 | 2.0 | 1.3 |
| 男性 | 58.3 | 38.4 | 42.3 | 50.1 | 38.2 | 19.2 | 21.8 | 4.1 | 2.6 | 1.5 |

※平成28年調査では、「どちらかという、とる必要はない」「とる必要はない」と回答した人が答えている。

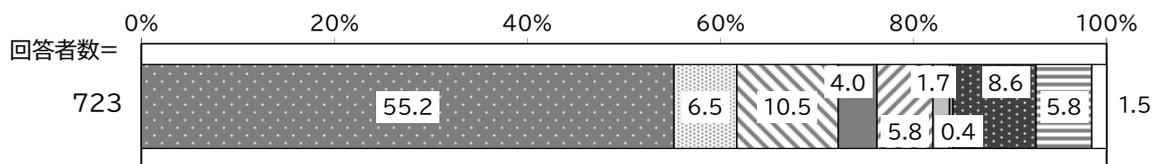
(5) 女性が仕事をする事について

問9. 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

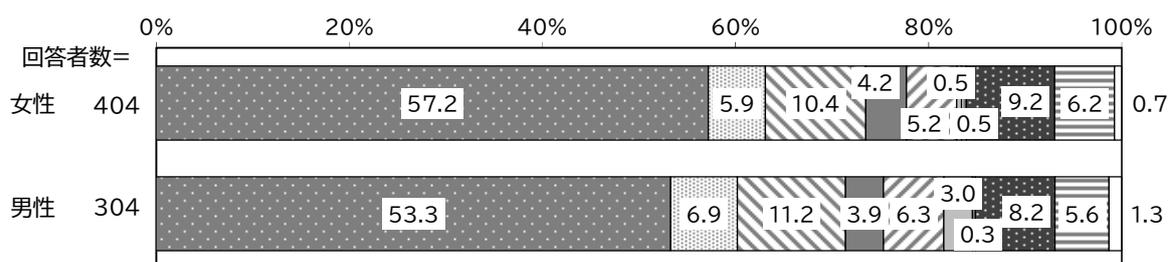
「子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」の割合が55.2%と最も高く、次いで「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム(社会保険料等の扶養の範囲内)で仕事に就くのがよい」の割合が10.5%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

- 子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▧ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム(社会保険料等の扶養の範囲内)で仕事に就くのがよい
- 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム(社会保険料等の扶養の範囲を超える)で仕事に就くのがよい
- ▩ 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- 結婚するまでは仕事をするのがよい
- ▨ 女性は仕事をしない方がよい
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



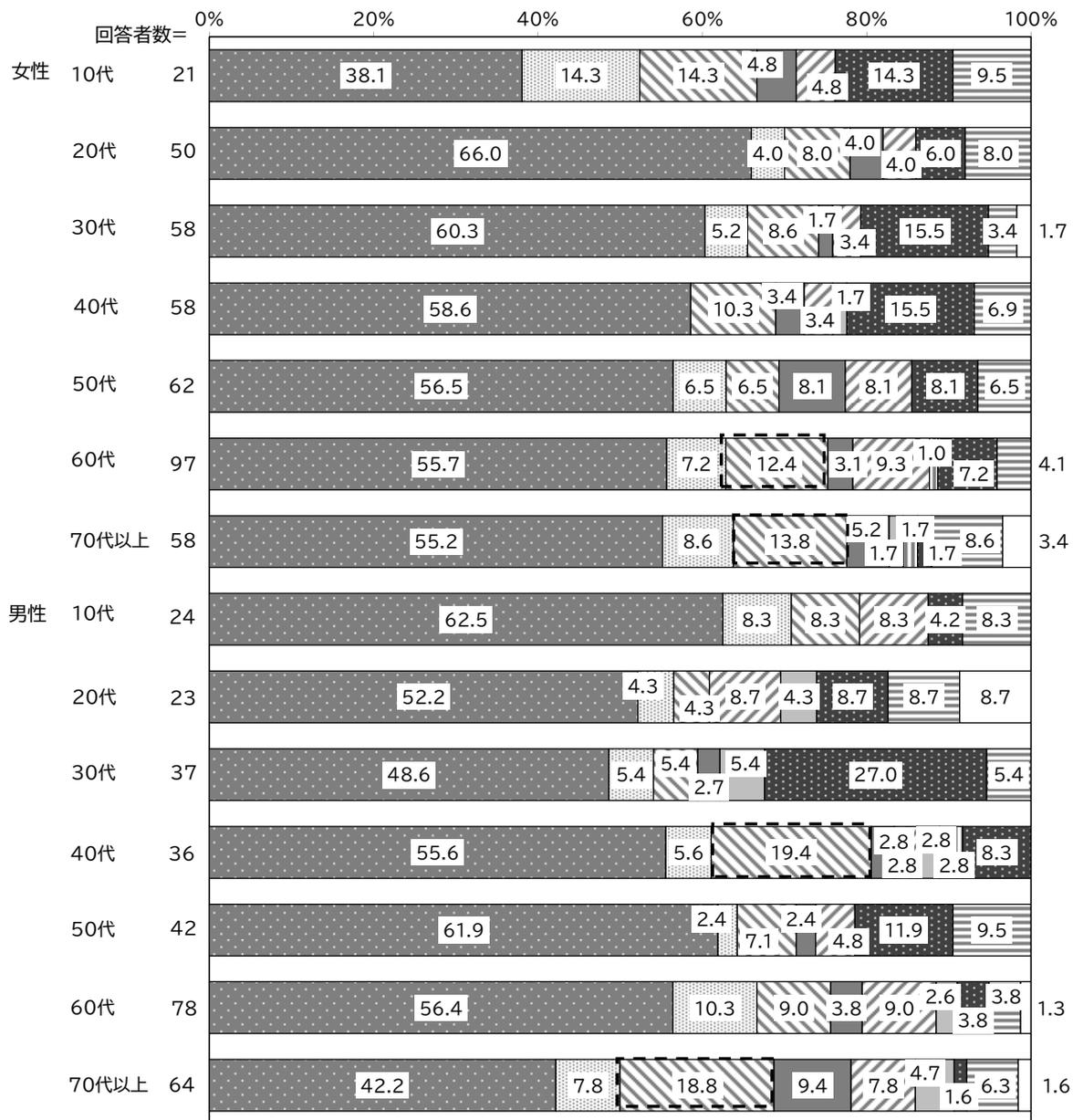
【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性 60 代、女性 70 代以上、男性 40 代、男性 70 代以上で「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲内）の仕事に就くのがよい」の割合が高い。

【性・年代別】

- 子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
- ▨ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
- ▧ 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム(社会保険料等の扶養の範囲内)で仕事に就くのがよい
- 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム(社会保険料等の扶養の範囲を超える)で仕事に就くのがよい
- ▩ 子どもができるまでは仕事をするのがよい
- 結婚するまでは仕事をするのがよい
- ▨ 女性は仕事をしない方がよい
- その他
- わからない
- 無回答



豊橋市の令和元年の調査との比較でみると、「子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい」「子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい」の割合が増加し、「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」の割合が減少している。

令和5年は「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい」は「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲内）で仕事に就くのがよい」と「子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲内）で仕事に就くのがよい」の合計

【経年比較】

単位：%

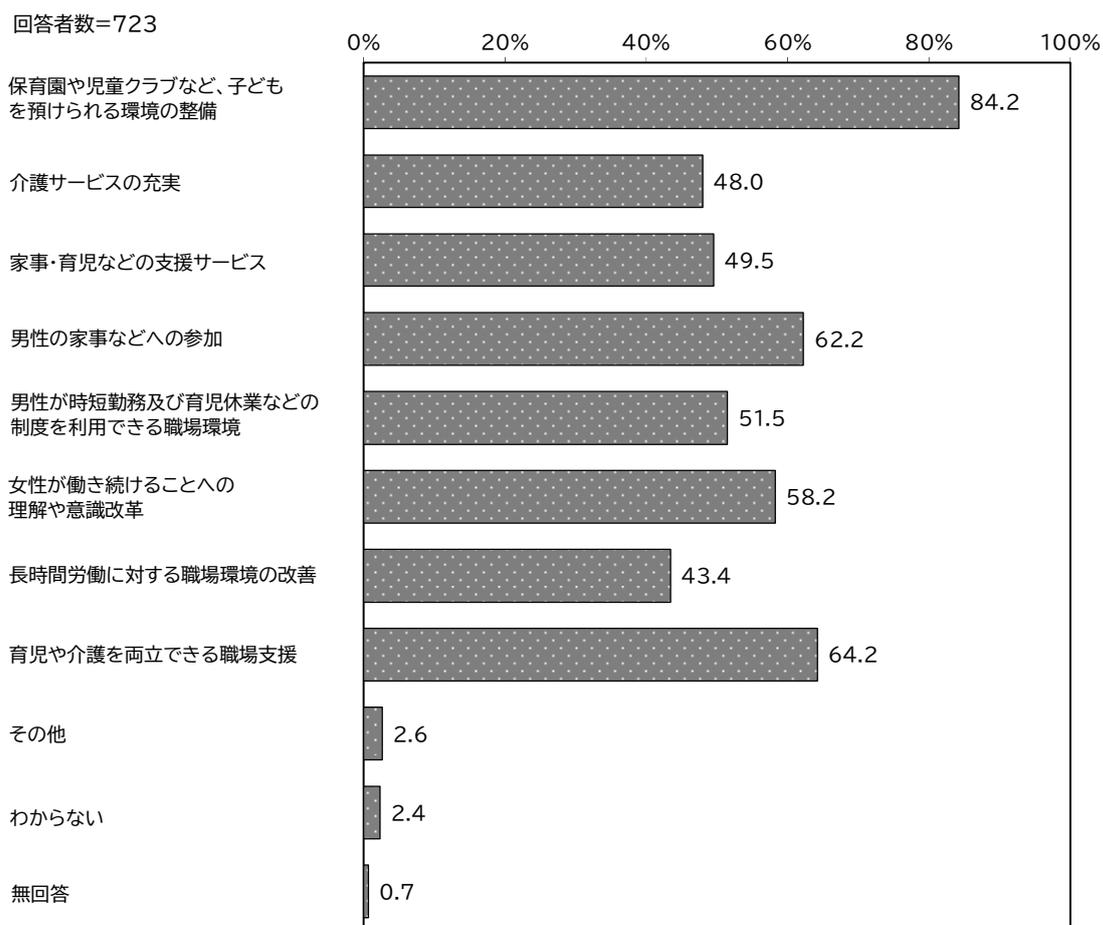
| | 子どもができたら産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい (平成28年までは)産休・育休などを取得しながらフルタイムで仕事を続けるのがよい | 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい | 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい | 子どもができるまでは仕事をするのがよい | 結婚するまでは仕事をするのがよい | 女性は仕事をしない方がよい | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|---|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------|------------------|---------------|------------|------------|------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 55.2 | 6.5 | 14.5 | 5.8 | 1.7 | 0.4 | 8.6 | 5.8 | 1.5 |
| 女性 | 57.2 | 5.9 | 14.6 | 5.2 | 0.5 | 0.5 | 9.2 | 6.2 | 0.7 |
| 男性 | 53.3 | 6.9 | 15.1 | 6.3 | 3.0 | 0.3 | 8.2 | 5.6 | 1.3 |
| 豊橋市 (R03.8) | 52.6 | 6.0 | 15.7 | 5.8 | 1.7 | 0.4 | 9.8 | 6.7 | 1.4 |
| 女性 | 54.5 | 3.6 | 16.1 | 6.7 | 1.6 | 0.2 | 9.6 | 5.6 | 2.0 |
| 男性 | 50.3 | 8.7 | 15.4 | 4.9 | 1.8 | 0.5 | 10.0 | 7.7 | 0.8 |
| 豊橋市 (R01.8) | 49.2 | 7.9 | 18.6 | 5.5 | 1.4 | 0.8 | 8.2 | 6.8 | 1.6 |
| 女性 | 50.3 | 7.0 | 19.8 | 5.4 | 1.4 | 0.2 | 9.1 | 5.4 | 1.4 |
| 男性 | 47.4 | 9.4 | 17.5 | 6.1 | 0.8 | 1.7 | 6.6 | 8.6 | 1.9 |
| 豊橋市 (H28.8) | 31.9 | 12.7 | 24.9 | 8.6 | 3.7 | 0.2 | 8.4 | 6.0 | 3.6 |
| 女性 | 31.2 | 12.6 | 24.5 | 8.8 | 4.1 | 0.4 | 9.7 | 5.2 | 3.4 |
| 男性 | 32.1 | 13.4 | 25.8 | 8.4 | 3.3 | 0.0 | 6.7 | 6.9 | 3.3 |
| 豊橋市 (H26.9) | 44.4 | 10.0 | 20.6 | 7.0 | 2.8 | 0.5 | 3.2 | 6.1 | 5.3 |
| 女性 | 42.1 | 9.3 | 23.2 | 6.3 | 3.6 | 0.3 | 3.8 | 5.6 | 5.6 |
| 男性 | 47.0 | 10.9 | 17.5 | 7.8 | 1.9 | 0.8 | 2.5 | 6.8 | 4.9 |

(6) 女性が働き続けるために必要と思うこと

問10. 働くことを希望する女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、次の中からすべて選んで○をつけてください。

「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が84.2%と最も高く、次いで「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が64.2%、「男性の家事などへの参加」の割合が62.2%となっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「男性の家事などへの参加」「女性が働き続けることへの理解や意識改革」「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高い。



【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数 (件) | 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 | 介護サービスの充実 | 家事・育児などの支援サービス | 男性の家事などへの参加 | 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境 | 女性が働き続けることへの理解や意識改革 | 長時間労働に対する職場環境の改善 | 育児や介護を両立できる職場支援 | その他 | わからない | 無回答 |
|----|----------|----------------------------|-----------|----------------|-------------|------------------------------|---------------------|------------------|-----------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 86.9 | 49.5 | 51.7 | 67.8 | 53.7 | 65.1 | 44.6 | 71.0 | 2.5 | 2.2 | 0.0 |
| 男性 | 304 | 81.9 | 45.7 | 47.0 | 55.6 | 48.7 | 49.0 | 42.8 | 55.6 | 3.0 | 2.6 | 0.3 |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「家事・育児などの支援サービス」の割合が、女性 20 代から 50 代で「男性の家事などへの参加」の割合が、女性 30 代 40 代で「女性が働き続けることへの理解や意識改革」が、女性 30 代から 60 代で「育児や介護を両立できる職場支援」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 | 介護サービスの充実 | 家事・育児などの支援サービス | 男性の家事などへの参加 | 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境 | 女性が働き続けることへの理解や意識改革 | 長時間労働に対する職場環境の改善 | 育児や介護を両立できる職場支援 | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|----------------------------|-----------|----------------|-------------|------------------------------|---------------------|------------------|-----------------|------|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 85.7 | 33.3 | <u>71.4</u> | 66.7 | 42.9 | 61.9 | 28.6 | 57.1 | 0.0 | 4.8 | 0.0 |
| 20代 | 50 | 86.0 | 26.0 | 56.0 | <u>78.0</u> | 62.0 | 64.0 | 44.0 | 66.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| 30代 | 58 | 84.5 | 39.7 | 58.6 | <u>74.1</u> | 65.5 | <u>74.1</u> | 56.9 | <u>70.7</u> | 10.3 | 1.7 | 0.0 |
| 40代 | 58 | 93.1 | 58.6 | 62.1 | <u>74.1</u> | 60.3 | <u>70.7</u> | 56.9 | <u>81.0</u> | 1.7 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 62 | 83.9 | 66.1 | 50.0 | <u>77.4</u> | 51.6 | 61.3 | 50.0 | <u>74.2</u> | 3.2 | 1.6 | 0.0 |
| 60代 | 97 | 88.7 | 51.5 | 47.4 | 64.9 | 47.4 | 63.9 | 40.2 | <u>76.3</u> | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 84.5 | 55.2 | 32.8 | 41.4 | 44.8 | 58.6 | 27.6 | 58.6 | 0.0 | 6.9 | 0.0 |
| 男性 10代 | 24 | 87.5 | 29.2 | 66.7 | 62.5 | 66.7 | 41.7 | 66.7 | 50.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 100.0 | 30.4 | 43.5 | 56.5 | 52.2 | 47.8 | 69.6 | 60.9 | 8.7 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 73.0 | 35.1 | 37.8 | 62.2 | 56.8 | 59.5 | 59.5 | 48.6 | 8.1 | 2.7 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 75.0 | 44.4 | 50.0 | 58.3 | 47.2 | 36.1 | 47.2 | 61.1 | 0.0 | 2.8 | 2.8 |
| 50代 | 42 | 81.0 | 52.4 | 42.9 | 54.8 | 52.4 | 54.8 | 42.9 | 47.6 | 2.4 | 7.1 | 0.0 |
| 60代 | 78 | 82.1 | 53.8 | 48.7 | 53.8 | 44.9 | 50.0 | 30.8 | 59.0 | 1.3 | 1.3 | 0.0 |
| 70代以上 | 64 | 82.8 | 50.0 | 45.3 | 50.0 | 39.1 | 48.4 | 26.6 | 57.8 | 1.6 | 3.1 | 0.0 |

性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚女性で「保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」「男性の家事などへの参加」の割合が高い。

性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「男性の家事などへの参加」「女性が働き続けることへの理解や意識改革」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 | 介護サービスの充実 | 家事・育児などの支援サービス | 男性の家事などへの参加 | 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境 | 女性が働き続けることへの理解や意識改革 | 長時間労働に対する職場環境の改善 | 育児や介護を両立できる職場支援 | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|---------|----------------------------|-----------|----------------|-------------|------------------------------|---------------------|------------------|-----------------|-----|-------|-----|
| 女性 既婚 | 255 | 87.5 | 47.1 | 51.4 | 70.6 | 53.3 | 63.1 | 47.8 | 72.2 | 3.5 | 0.8 | 0.0 |
| 女性 未婚 | 141 | 85.1 | 53.2 | 53.2 | 62.4 | 53.9 | 68.8 | 37.6 | 70.2 | 0.7 | 5.0 | 0.0 |
| 男性 既婚 | 198 | 84.3 | 49.0 | 48.0 | 56.6 | 48.0 | 52.5 | 39.4 | 58.1 | 1.5 | 2.5 | 0.0 |
| 男性 未婚 | 102 | 78.4 | 40.2 | 45.1 | 53.9 | 51.0 | 42.2 | 51.0 | 50.0 | 5.9 | 2.9 | 1.0 |

【性・共働き別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 | 介護サービスの充実 | 家事・育児などの支援サービス | 男性の家事などへの参加 | 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境 | 女性が働き続けることへの理解や意識改革 | 長時間労働に対する職場環境の改善 | 育児や介護を両立できる職場支援 | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|---------|----------------------------|-----------|----------------|-------------|------------------------------|---------------------|------------------|-----------------|-----|-------|-----|
| 女性 共働きしている | 158 | 88.6 | 44.9 | 52.5 | 74.1 | 54.4 | 66.5 | 51.3 | 74.7 | 4.4 | 0.0 | 0.0 |
| 女性 共働きしていない | 90 | 86.7 | 51.1 | 48.9 | 65.6 | 51.1 | 57.8 | 43.3 | 68.9 | 2.2 | 1.1 | 0.0 |
| 男性 共働きしている | 100 | 83.0 | 47.0 | 50.0 | 58.0 | 51.0 | 54.0 | 47.0 | 58.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| 男性 共働きしていない | 95 | 85.3 | 50.5 | 45.3 | 54.7 | 44.2 | 51.6 | 31.6 | 57.9 | 1.1 | 3.2 | 0.0 |

(7) 離職した女性が再就職を考えたときに基準にすること

問11. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。離職した女性が、再び社会で活動することを希望する場合に何を基準にすると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する」の割合が34.7%と最も高く、次いで「これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が27.2%、「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」の割合が23.8%となっている。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」の割合が高い。また、女性に比べ、男性で「これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が高い。

■ これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する

■ 新たな技能・スキルの資格を取得して、正社員として再就職する

■ 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する

■ 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する

■ これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)

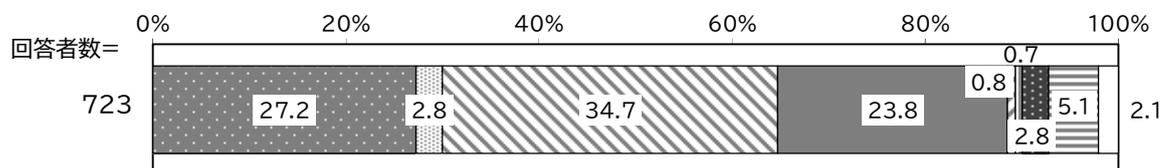
■ これまでの経験を生かして企業またはNPOの立上げを行う
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など)

■ 家事以外で活動する必要はない

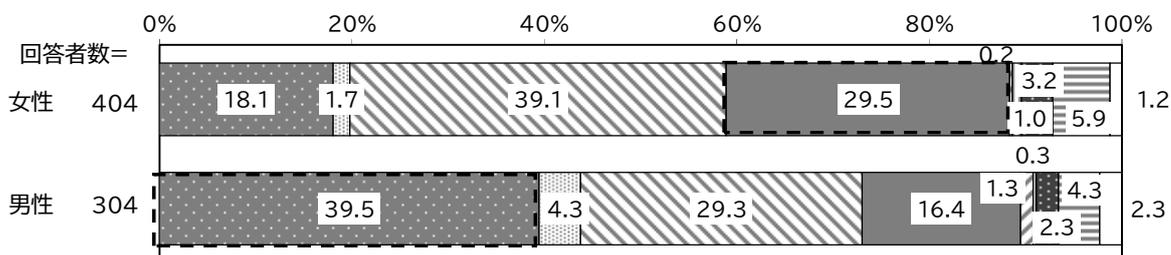
■ その他

■ わからない

□ 無回答



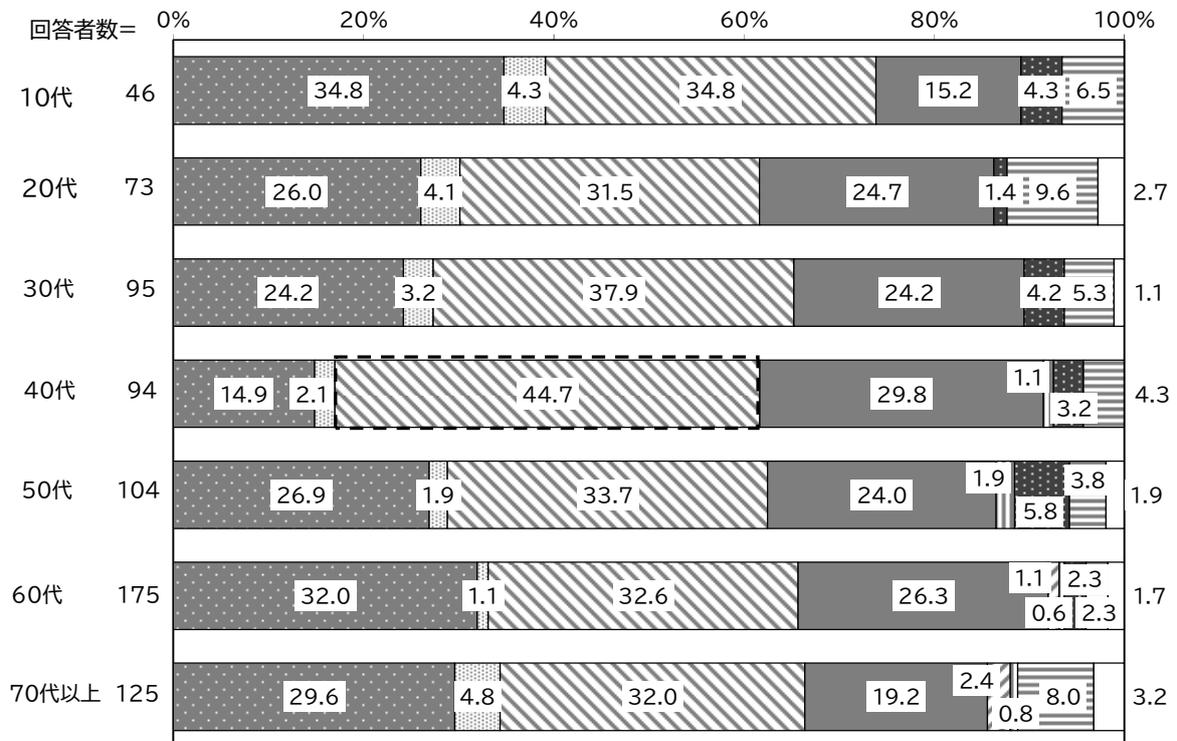
【性別】



年代別でみると、他に比べ、40代で「仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する」の割合が高い。

【年代別】

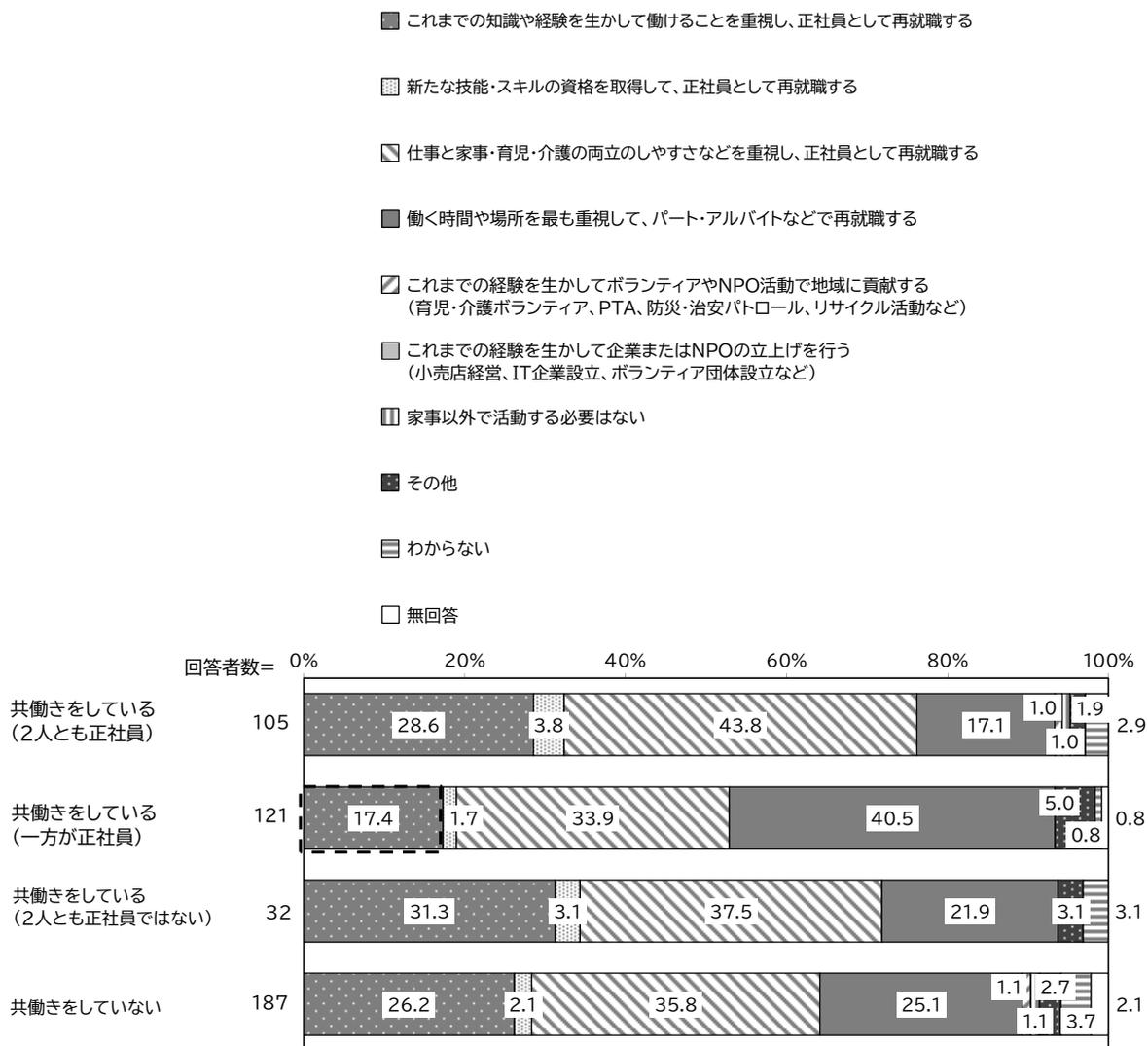
- これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
- ▨ 新たな技能・スキルの資格を取得して、正社員として再就職する
- ▧ 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
- ▨ これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
- ▧ これまでの経験を生かして企業またはNPOの立上げを行う
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など)
- ▨ 家事以外で活動する必要はない
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



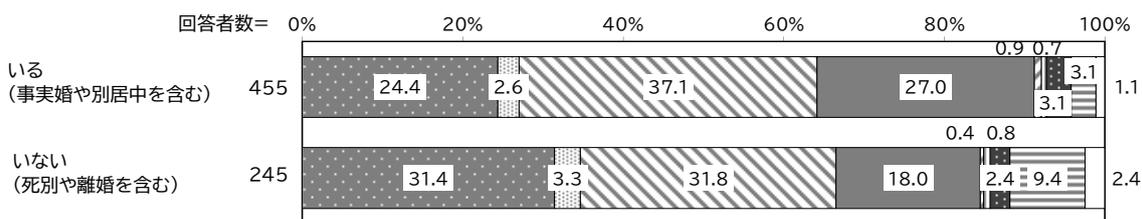
共働き別でみると、他に比べ、共働きをしている（一方が正社員）で「これまでの知識や経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が低くなっている。

配偶者の有無別でみると、大きな差異はみられない。

【共働き別】



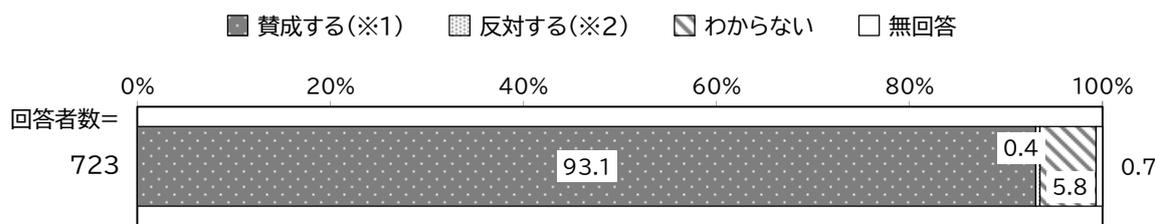
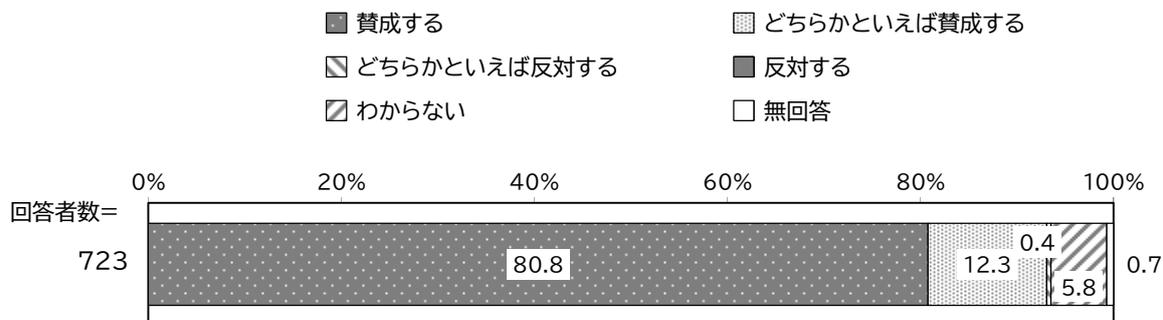
【配偶者の有無別】



(8) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて

問12. 女性が研究者や技術者などの理工系分野の職業を目指すことについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する（※1）”の割合が93.1%、“反対する（※2）”の割合が0.4%、「わからない」の割合が5.8%となっている。

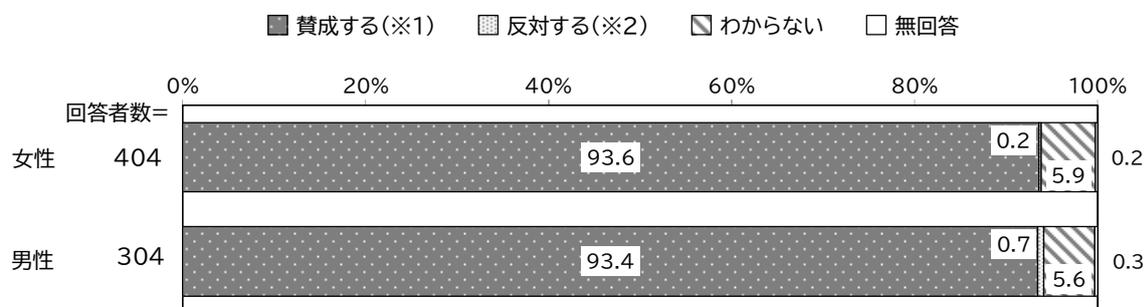


※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

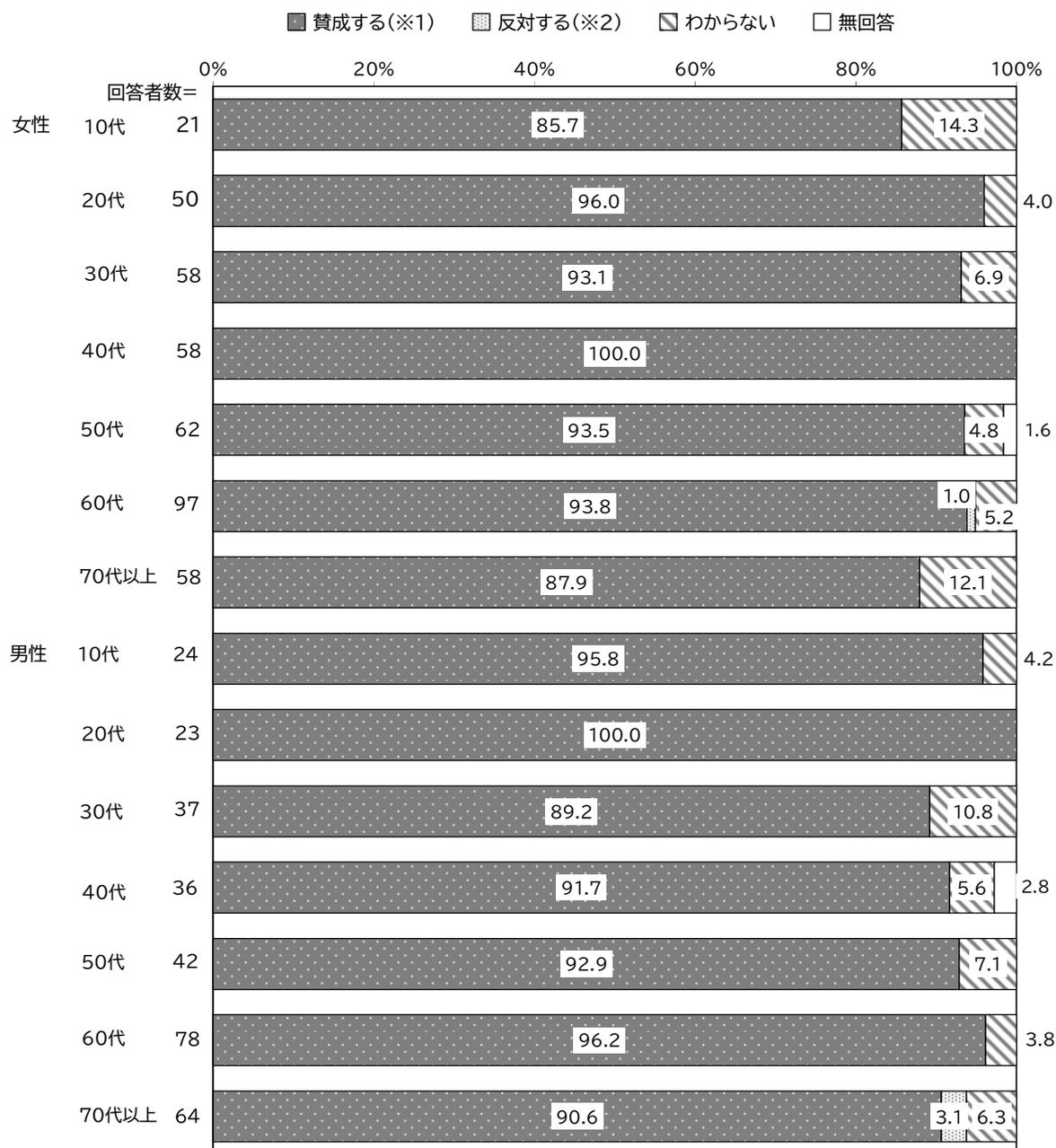
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



性・年代別でみると、男女ともすべての年代で“賛成する（※1）”の割合が最も高く、特に女性40代、男性20代では100.0%となっている。

【性・年代別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

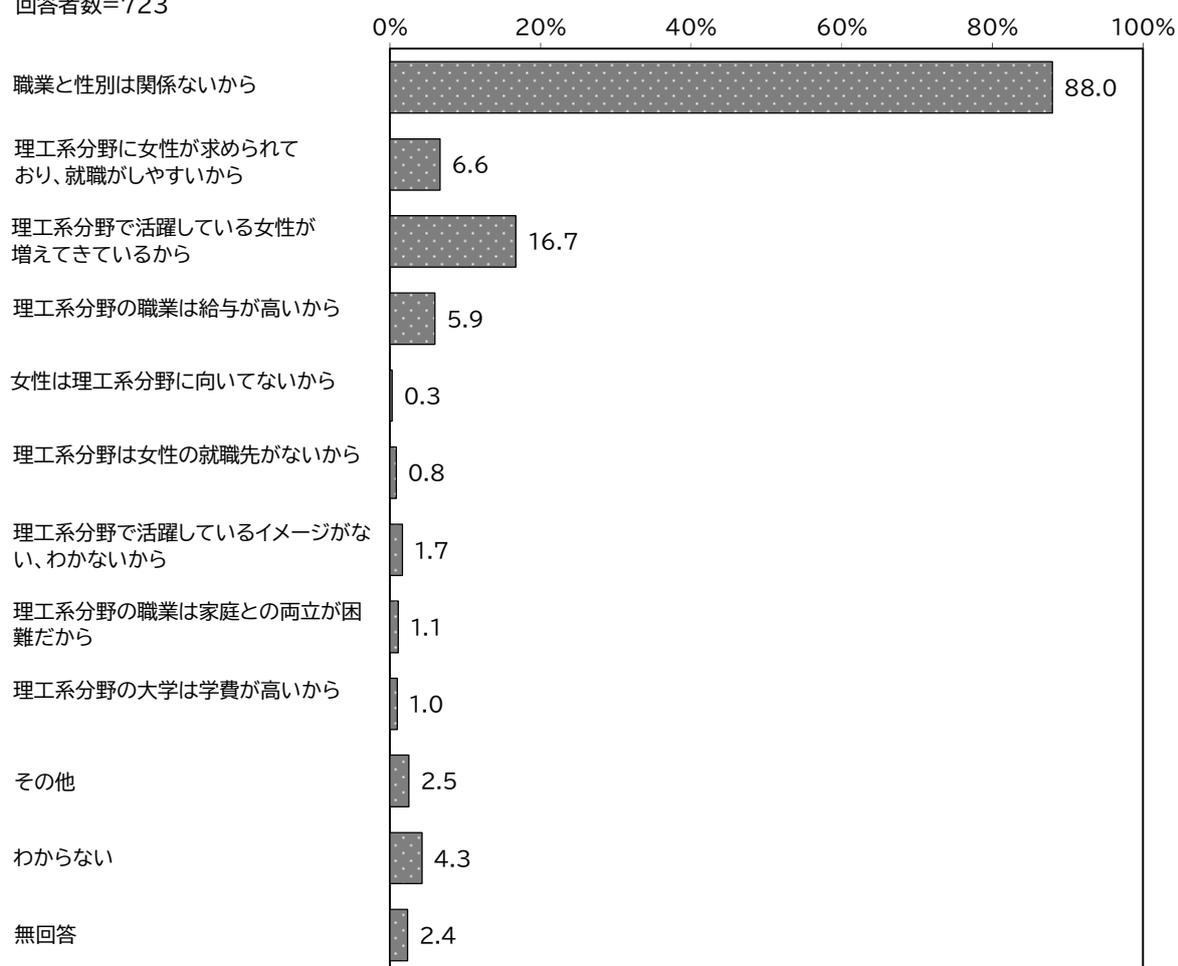
※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

(9) 女性が理工系分野の職業を目指すことについて思う理由

問12-1. 問12でそう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「職業と性別は関係ないから」の割合が88.0%と最も高く、次いで「理工系分野で活躍している女性が増えてきているから」の割合が16.7%となっている。

回答者数=723



性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 職業と性別は関係ないから | 理工系分野に女性が求められており、就職がしやすいから | 理工系分野で活躍している女性が増えてきているから | 理工系分野の職業は給与が高いから | 女性は理工系分野に向いてないから | 理工系分野は女性の就職先がないから | 理工系分野で活躍しているイメージがない、わからないから | 理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから | 理工系分野の大学は学費が高いから | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|--------------|----------------------------|--------------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|-----------------------|------------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 88.1 | 4.0 | 16.8 | 5.2 | 0.0 | 0.5 | 1.0 | 1.2 | 1.0 | 1.7 | 5.4 | 1.7 |
| 男性 | 304 | 88.2 | 9.9 | 16.4 | 6.6 | 0.7 | 1.3 | 2.6 | 1.0 | 1.0 | 3.6 | 3.0 | 2.3 |

性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 代、男性 10 代で「職業と性別は関係ないから」の割合が高い。また、70 代以上男女で「理工系分野で活躍している女性が増えてきているから」の割合が高い。

【性・年代別】

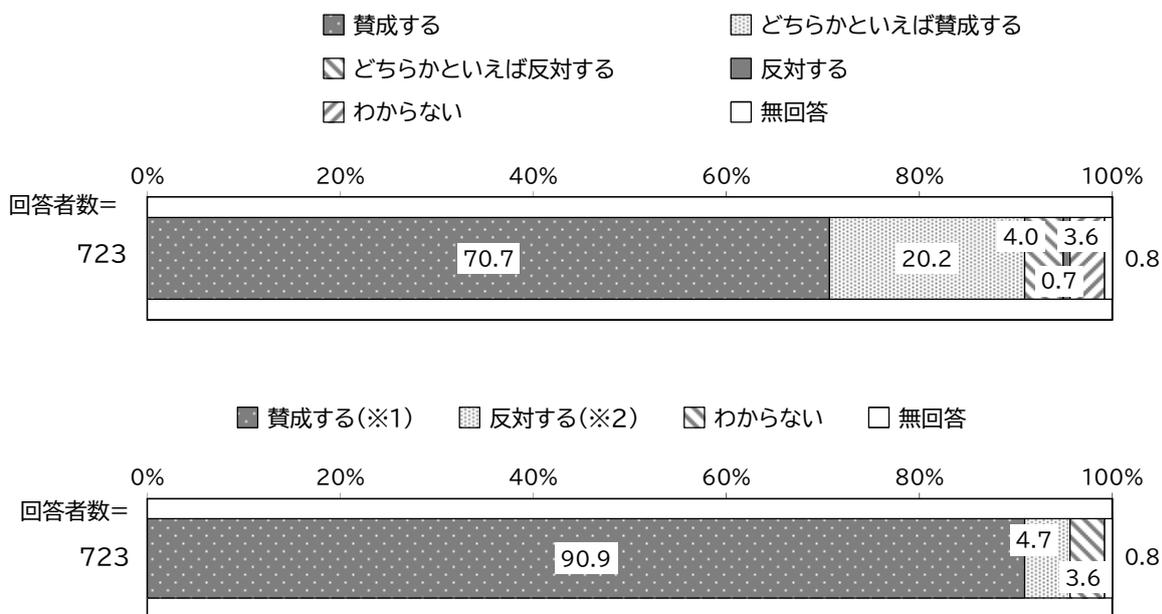
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 職業と性別は関係ないから | 理工系分野で活躍している女性が増えてきているから | 理工系分野の職業は給与が高いから | 女性は理工系分野に向いてないから | 理工系分野は女性の就職先がないから | 理工系分野で活躍しているイメージがない、わからないから | 理工系分野の職業は家庭との両立が困難だから | 理工系分野の大学は学費が高いから | その他 | わからない | 無回答 |
|---------|---------|--------------|--------------------------|------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|-----------------------|------------------|-----|-------|-----|
| 女性 10 代 | 21 | 85.7 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 20 代 | 50 | 90.0 | 0.0 | 12.0 | 6.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 4.0 | 6.0 | 0.0 |
| 30 代 | 58 | 84.5 | 5.2 | 5.2 | 10.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 3.4 | 6.9 | 1.7 |
| 40 代 | 58 | 96.6 | 1.7 | 17.2 | 5.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 0.0 |
| 50 代 | 62 | 90.3 | 4.8 | 17.7 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 1.6 | 1.6 |
| 60 代 | 97 | 88.7 | 5.2 | 21.6 | 4.1 | 0.0 | 1.0 | 2.1 | 4.1 | 2.1 | 5.2 | 0.0 |
| 70 代以上 | 58 | 79.3 | 6.9 | 29.3 | 1.7 | 0.0 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 0.0 | 6.9 | 8.6 |
| 男性 10 代 | 24 | 95.8 | 4.2 | 4.2 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| 20 代 | 23 | 87.0 | 17.4 | 8.7 | 21.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.7 | 0.0 |
| 30 代 | 37 | 83.8 | 10.8 | 8.1 | 5.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.2 | 2.7 |
| 40 代 | 36 | 91.7 | 2.8 | 11.1 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 2.8 |
| 50 代 | 42 | 88.1 | 7.1 | 19.0 | 9.5 | 2.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 0.0 |
| 60 代 | 78 | 92.3 | 6.4 | 15.4 | 3.8 | 1.3 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 1.3 | 1.3 |
| 70 代以上 | 64 | 81.3 | 18.8 | 31.3 | 4.7 | 0.0 | 4.7 | 7.8 | 4.7 | 3.1 | 4.7 | 7.8 |

(10) 男性が看護師等分野の職業を目指すことについて

問13. 男性が看護師・保育士等従来女性が多く就いていた分野の職業を目指すことについて、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

“賛成する(※1)”の割合が90.9%、“反対する(※2)”の割合が4.7%、「わからない」の割合が3.6%となっている。

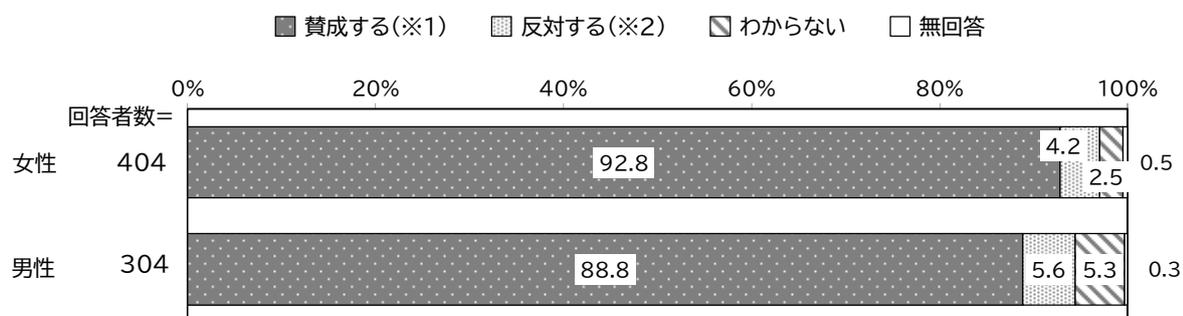


※1:「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

※2:「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

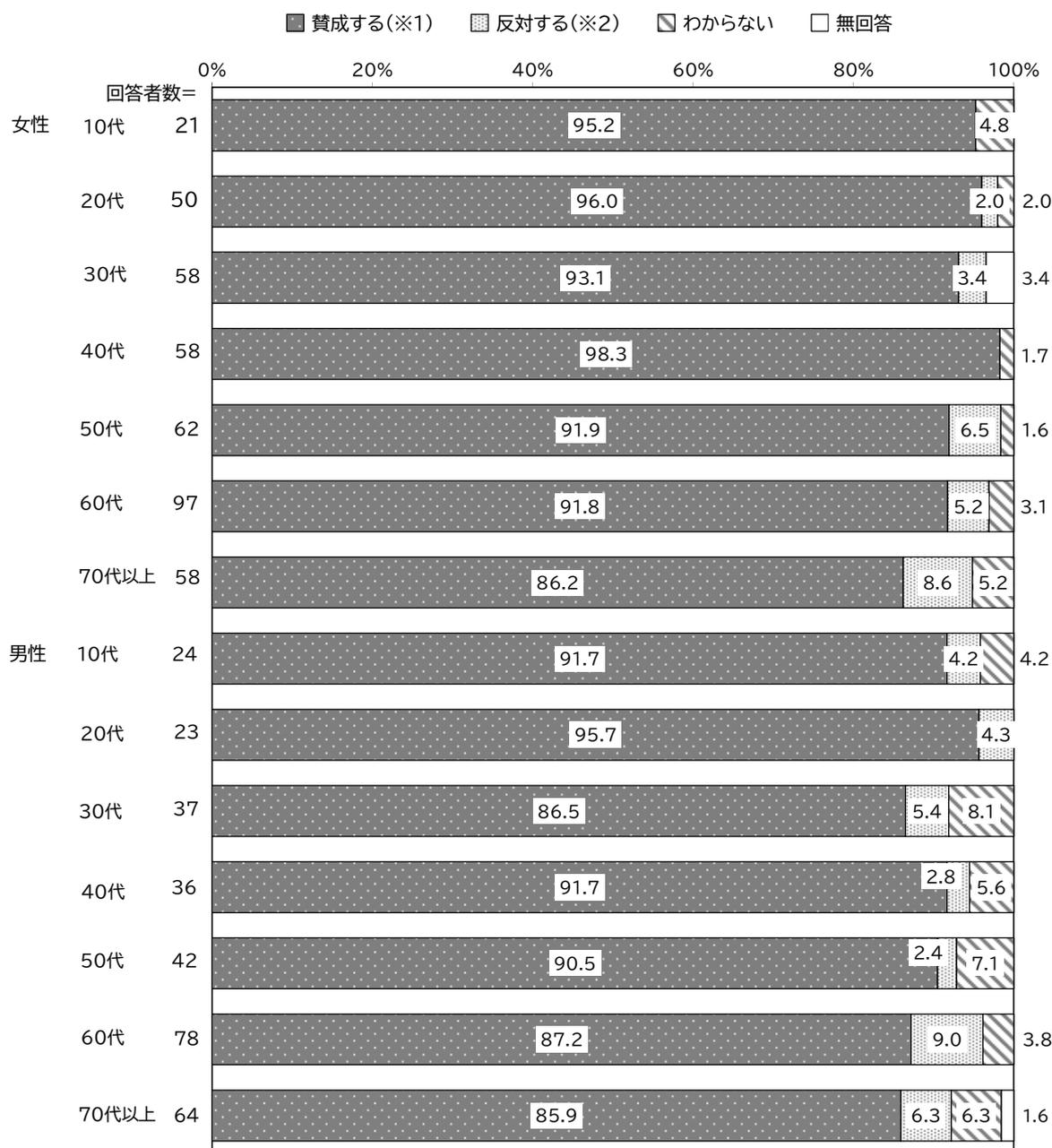
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



性・年代別でみると、男女ともすべての年代で“賛成する（※1）”の割合が最も高くなっている。

【性・年代別】



※1：「賛成する」と「どちらかといえば賛成する」の計

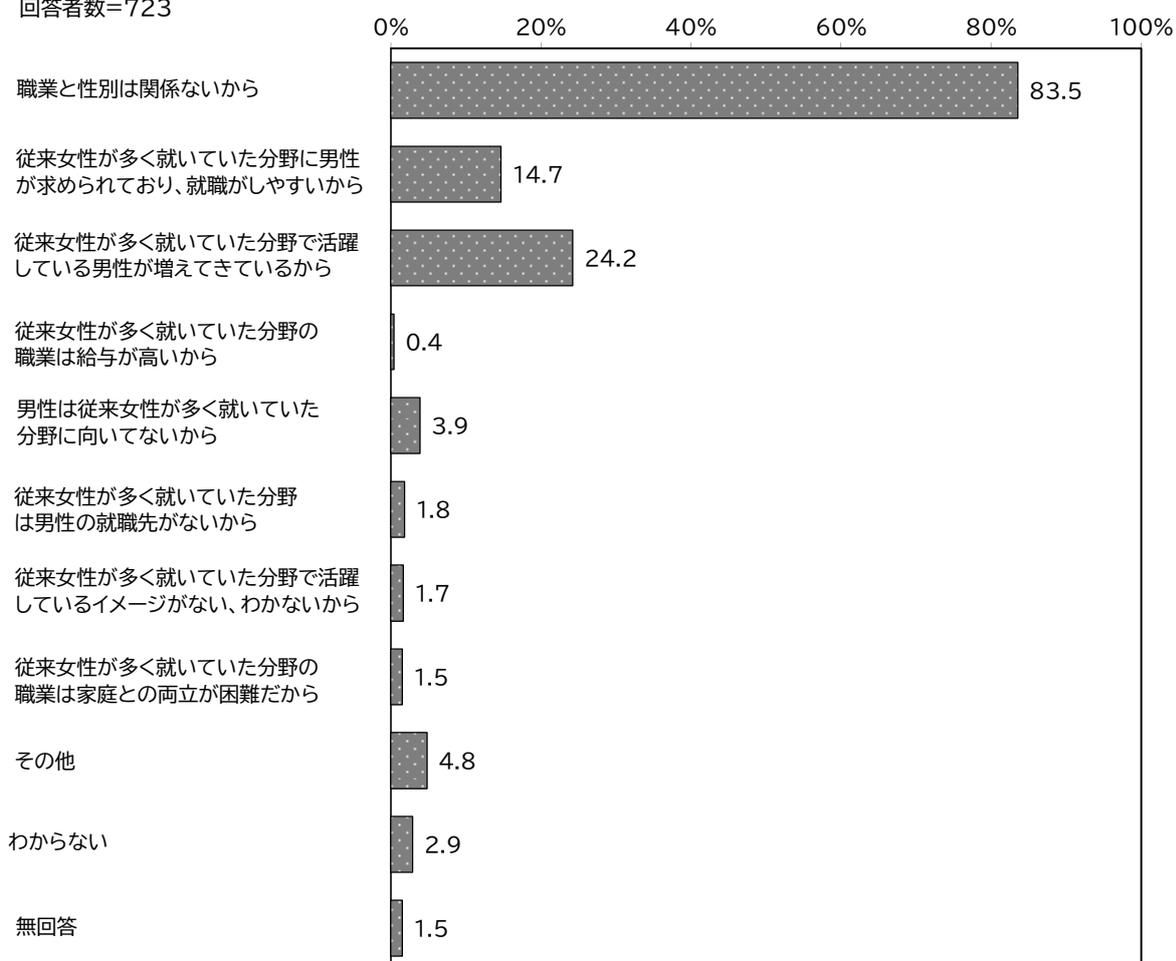
※2：「どちらかといえば反対する」と「反対する」の計

(11) 男性が看護師等分野の職業を目指すことについて思う理由

問13-1. 問13でそう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「職業と性別は関係ないから」の割合が83.5%と最も高く、次いで「従来女性が多く就いていた分野で活躍している男性が増えてきているから」の割合が24.2%となっている。

回答者数=723



性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 職業と性別は関係ないから | 従来女性が多く就いていた分野に男性が求められており、就職がしやすいから | 従来女性が多く就いていた分野で活躍している男性が増えてきているから | 従来女性が多く就いていた分野の職業は給与が高いから | 男性は従来女性が多く就いていた分野に向いてないから | 従来女性が多く就いていた分野は男性の就職先がないから | 従来女性が多く就いていた分野で活躍しているイメージがない、わからないから | 従来女性が多く就いていた分野の職業は家庭との両立が困難だから | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|--------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 85.6 | 14.4 | 26.5 | 0.2 | 3.0 | 1.2 | 1.5 | 1.2 | 5.4 | 2.5 | 1.0 |
| 男性 | 304 | 81.3 | 14.5 | 21.4 | 0.7 | 5.3 | 2.6 | 2.0 | 2.0 | 4.3 | 3.3 | 1.3 |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 代で「職業と性別は関係ないから」の割合が高い。
また、70 代以上男女で「従来女性が多く就いていた分野で活躍している男性が増えてきているから」の割合が高い。

【性・年代別】

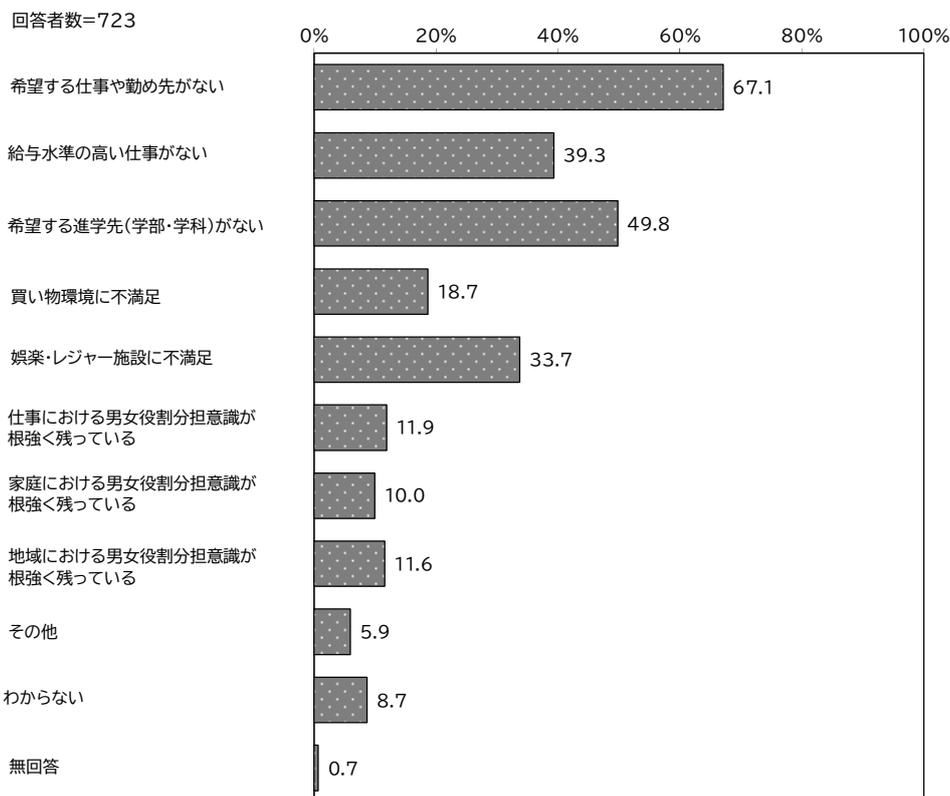
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 職業と性別は関係ないから | 従来女性が多く就いていた分野に男性が求められており、就職がしやすいから | 従来女性が多く就いていた分野で活躍している男性が増えてきているから | 従来女性が多く就いていた分野の職業は給与が高いから | 従来女性が多く就いていた分野の職業は男性は従来女性が多く就いていた分野に向いてないから | 従来女性が多く就いていた分野は男性の就職先がないから | 従来女性が多く就いていた分野で活躍しているイメージがない、わからないから | 従来女性が多く就いていた分野の職業は家庭との両立が困難だから | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|--------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|------|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 90.5 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |
| 20代 | 50 | 90.0 | 6.0 | 22.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.0 | 4.0 | 0.0 |
| 30代 | 58 | 84.5 | 10.3 | 20.7 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 6.9 | 0.0 | 3.4 |
| 40代 | 58 | 93.1 | 6.9 | 27.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.6 | 0.0 | 0.0 |
| 50代 | 62 | 87.1 | 14.5 | 25.8 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | 3.2 | 3.2 | 1.6 |
| 60代 | 97 | 85.6 | 18.6 | 30.9 | 1.0 | 4.1 | 1.0 | 2.1 | 2.1 | 6.2 | 1.0 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 72.4 | 29.3 | 36.2 | 0.0 | 6.9 | 5.2 | 3.4 | 3.4 | 1.7 | 6.9 | 1.7 |
| 男性 10代 | 24 | 87.5 | 8.3 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 87.0 | 8.7 | 17.4 | 0.0 | 8.7 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 8.7 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 81.1 | 13.5 | 13.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 0.0 | 16.2 | 2.7 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 80.6 | 13.9 | 16.7 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 2.8 | 5.6 |
| 50代 | 42 | 83.3 | 19.0 | 19.0 | 4.8 | 4.8 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |
| 60代 | 78 | 75.6 | 7.7 | 16.7 | 0.0 | 7.7 | 1.3 | 2.6 | 3.8 | 1.3 | 1.3 | 1.3 |
| 70代以上 | 64 | 82.8 | 25.0 | 43.8 | 0.0 | 6.3 | 6.3 | 3.1 | 3.1 | 1.6 | 6.3 | 1.6 |

(12) 豊橋市から大都市圏への流出について

問14. 豊橋市から大都市圏へ流出する状況が進んでいます。その理由について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

「希望する仕事や勤め先がない」の割合が67.1%と最も高く、次いで「希望する進学先(学部・学科)がない」の割合が49.8%、「給与水準の高い仕事がない」の割合が39.3%となっている。



性別でみると、他に比べ、女性で「仕事における男女役割分担意識が根強く残っている」「家庭における男女役割分担意識が根強く残っている」の割合が高くなっています。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 希望する仕事や勤め先がない | 給与水準の高い仕事がない | 希望する進学先(学部・学科)がない | 買い物環境に不満足 | 娯楽・レジャー施設に不満足 | 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている | 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|---------------|--------------|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------------------|------|-------|-----|
| 女性 | 404 | 62.9 | 35.4 | 52.2 | 20.8 | 36.6 | 15.1 | 13.6 | 13.9 | 4.7 | 9.2 |
| 男性 | 304 | 73.7 | 44.7 | 47.4 | 16.1 | 30.9 | 8.2 | 5.6 | 8.9 | 7.9 | 7.6 |

性・年代別で見ると、他に比べ、男性 20 代で「給与水準の高い仕事がない」の割合が、30 代男女、男性 40 代で「娯楽・レジャー施設に不満足」の割合が高い。また、女性 60 代で「仕事における男女役割分担意識が根強く残っている」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 希望する仕事や勤め先がない | 給与水準の高い仕事がない | 希望する進学先(学部・学科)がない | 買い物環境に不満足 | 娯楽・レジャー施設に不満足 | 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている | 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|---------------|--------------|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------------------|------|-------|------|
| 女性 10代 | 21 | 61.9 | 38.1 | 57.1 | 4.8 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 19.0 |
| 20代 | 50 | 62.0 | 44.0 | 42.0 | 14.0 | 42.0 | 4.0 | 8.0 | 6.0 | 8.0 | 8.0 |
| 30代 | 58 | 62.1 | 43.1 | 48.3 | 25.9 | 43.1 | 17.2 | 15.5 | 25.9 | 8.6 | 5.2 |
| 40代 | 58 | 65.5 | 46.6 | 72.4 | 24.1 | 34.5 | 10.3 | 3.4 | 6.9 | 5.2 | 10.3 |
| 50代 | 62 | 61.3 | 30.6 | 58.1 | 21.0 | 30.6 | 16.1 | 11.3 | 12.9 | 4.8 | 9.7 |
| 60代 | 97 | 61.9 | 24.7 | 47.4 | 23.7 | 37.1 | 22.7 | 20.6 | 15.5 | 3.1 | 8.2 |
| 70代以上 | 58 | 65.5 | 31.0 | 44.8 | 19.0 | 36.2 | 19.0 | 22.4 | 19.0 | 1.7 | 10.3 |
| 男性 10代 | 24 | 66.7 | 37.5 | 66.7 | 16.7 | 37.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 82.6 | 73.9 | 65.2 | 26.1 | 30.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.0 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 64.9 | 54.1 | 45.9 | 13.5 | 48.6 | 10.8 | 13.5 | 18.9 | 21.6 | 5.4 |
| 40代 | 36 | 83.3 | 47.2 | 38.9 | 19.4 | 47.2 | 5.6 | 2.8 | 5.6 | 5.6 | 5.6 |
| 50代 | 42 | 81.0 | 47.6 | 50.0 | 16.7 | 26.2 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 9.5 | 2.4 |
| 60代 | 78 | 71.8 | 38.5 | 43.6 | 12.8 | 25.6 | 9.0 | 6.4 | 11.5 | 1.3 | 9.0 |
| 70代以上 | 64 | 70.3 | 35.9 | 42.2 | 15.6 | 18.8 | 17.2 | 7.8 | 12.5 | 4.7 | 17.2 |

性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚女性で「希望する進学先（学部・学科）がない」の割合が高い。

性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「希望する進学先（学部・学科）がない」の割合が、共働きしている、共働きしていない男性で「給与水準の高い仕事がない」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 希望する仕事や勤め先がない | 給与水準の高い仕事がない | 希望する進学先（学部・学科）がない | 買い物環境に不満足 | 娯楽・レジャー施設に不満足 | 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている | 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|---------|---------------|--------------|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------------------|------|-------|------|
| 女性 既婚 | 255 | 62.7 | 30.2 | 56.5 | 22.0 | 37.6 | 16.1 | 13.7 | 14.1 | 4.7 | 7.8 |
| 女性 未婚 | 141 | 63.1 | 43.3 | 43.3 | 18.4 | 35.5 | 12.8 | 12.8 | 13.5 | 5.0 | 12.1 |
| 男性 既婚 | 198 | 78.3 | 44.4 | 48.5 | 16.2 | 29.3 | 9.6 | 6.6 | 10.6 | 5.6 | 7.1 |
| 男性 未婚 | 102 | 65.7 | 47.1 | 45.1 | 16.7 | 34.3 | 4.9 | 2.9 | 4.9 | 12.7 | 8.8 |

【性・共働き別】

単位：％

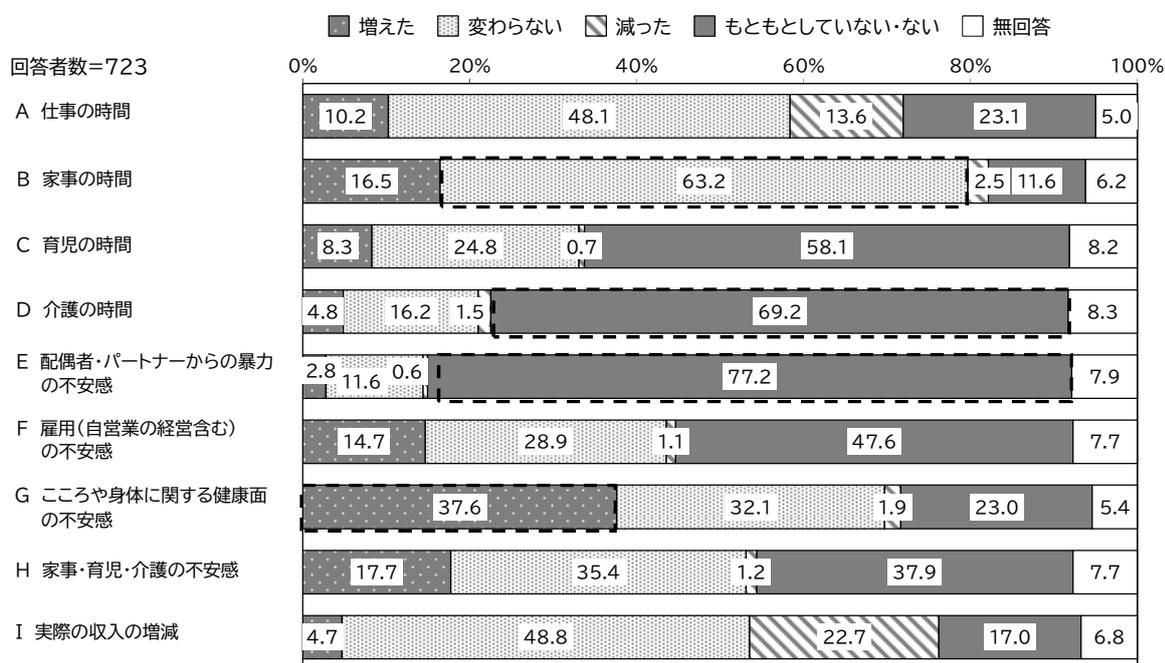
| 区分 | 回答者数（件） | 希望する仕事や勤め先がない | 給与水準の高い仕事がない | 希望する進学先（学部・学科）がない | 買い物環境に不満足 | 娯楽・レジャー施設に不満足 | 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている | 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|---------|---------------|--------------|-------------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------------------|------|-------|------|
| 女性 共働きしている | 158 | 61.4 | 33.5 | 59.5 | 22.2 | 38.0 | 17.1 | 12.7 | 16.5 | 5.1 | 5.7 |
| 女性 共働きしていない | 90 | 65.6 | 25.6 | 51.1 | 21.1 | 38.9 | 14.4 | 14.4 | 10.0 | 4.4 | 10.0 |
| 男性 共働きしている | 100 | 82.0 | 46.0 | 52.0 | 16.0 | 35.0 | 6.0 | 3.0 | 9.0 | 8.0 | 5.0 |
| 男性 共働きしていない | 95 | 74.7 | 41.1 | 45.3 | 15.8 | 23.2 | 13.7 | 10.5 | 12.6 | 2.1 | 9.5 |

6 生活について

(1) 新型コロナウイルス感染拡大後の生活について (コロナ禍前とコロナ禍の比較)

問15. 新型コロナウイルス感染拡大（コロナ禍）前と比べ、コロナ禍の生活について変化がありましたか。A～Iの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

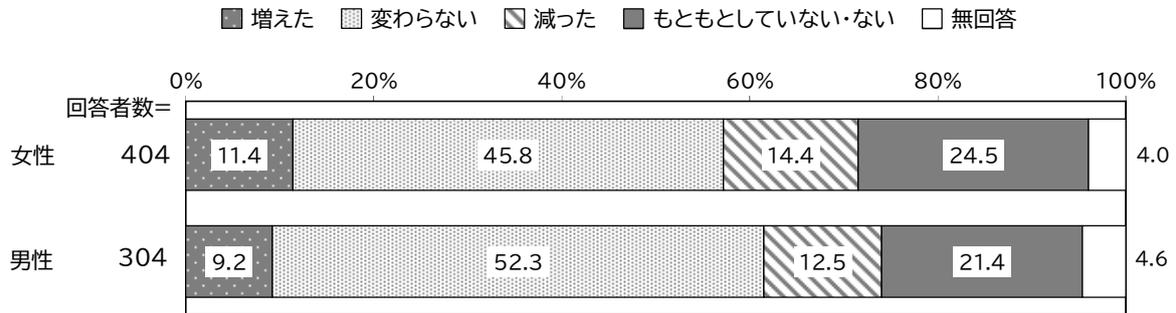
『G ころや身体に関する健康面の不安感』において、「増えた」の割合が、『B 家事の時間』において、「変わらない」の割合が高い。また、『D 介護の時間』『E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感』において「もともとしていない・ない」の割合が高く、概ね7割程度となっている。



A 仕事の時間

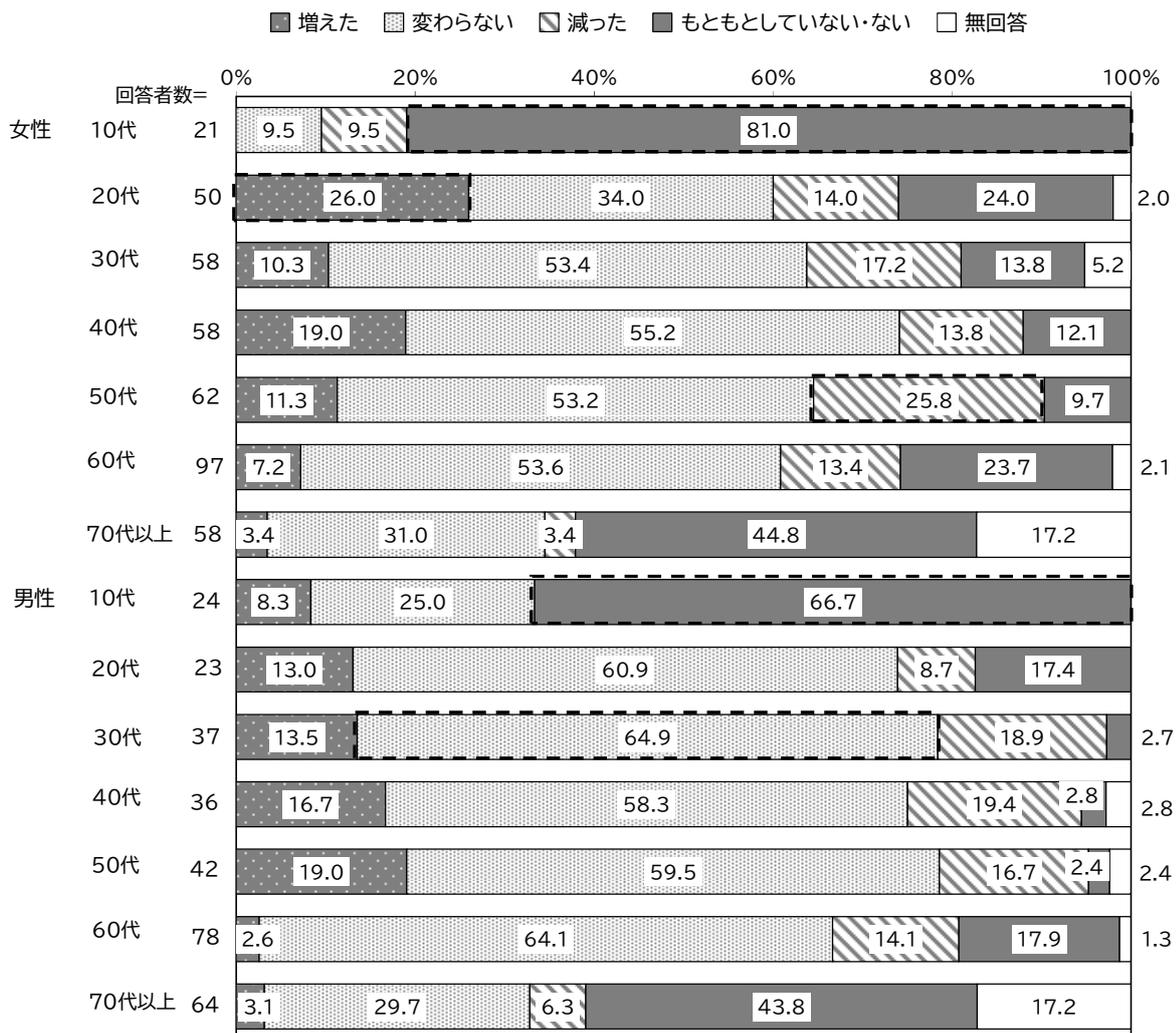
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



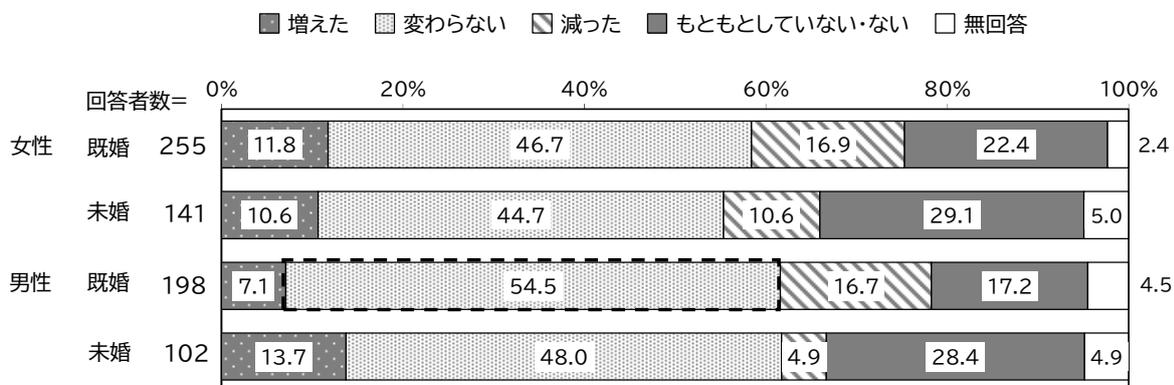
性・年代別でみると、他に比べ、女性20代で「増えた」の割合が、男性30代で「変わらない」の割合が、女性50代で「減った」の割合が高くなっています。また、男女ともに10代で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



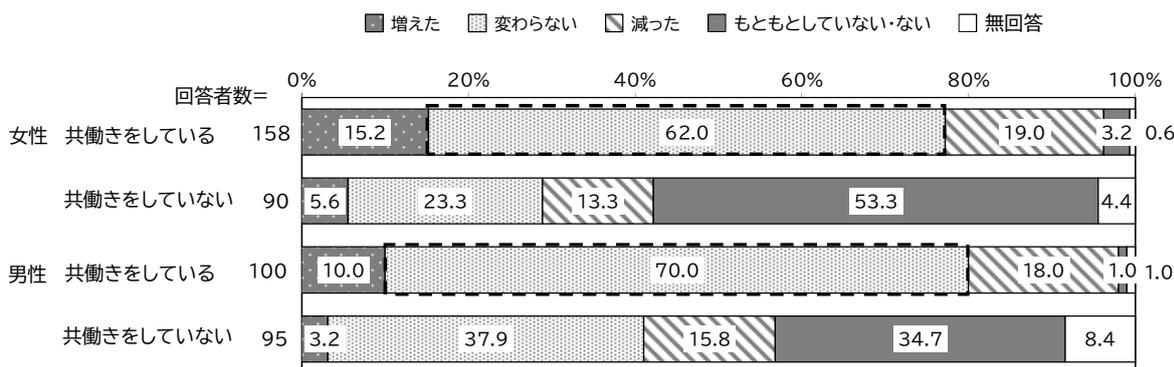
性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



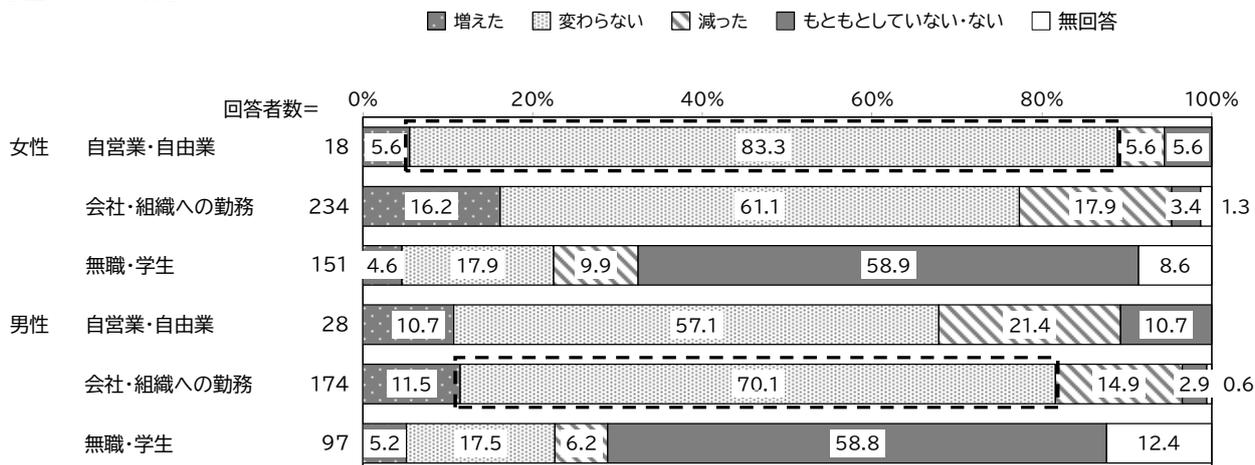
性・共働き別でみると、共働きしている男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性、会社・組織へ勤務している男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

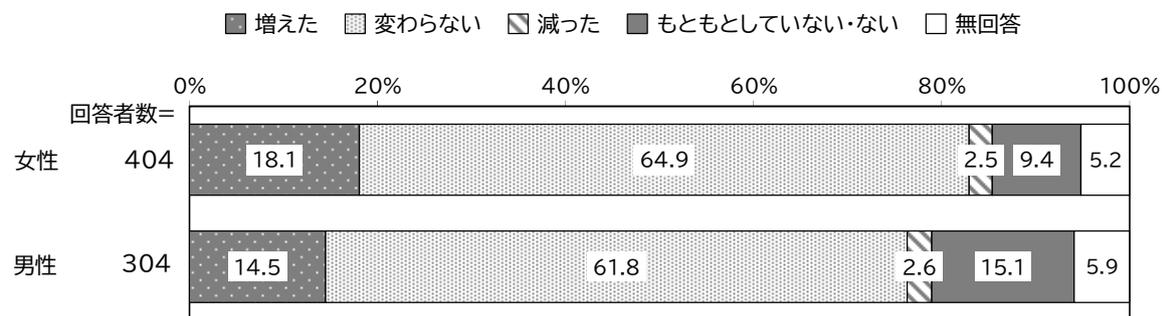
【性・職業別】



B 家事の時間

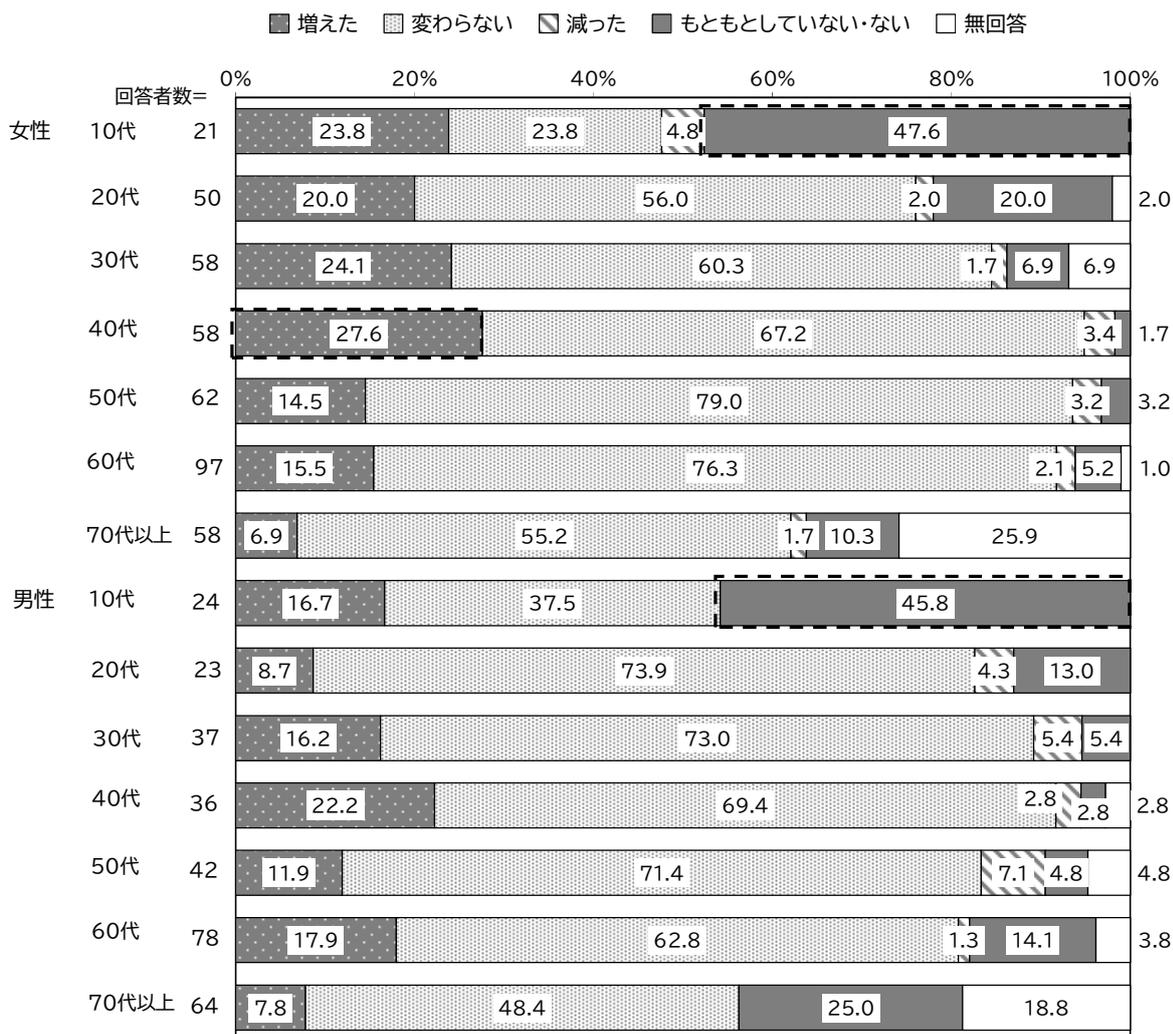
性別で見ると、大きな差異はみられません。

【性別】



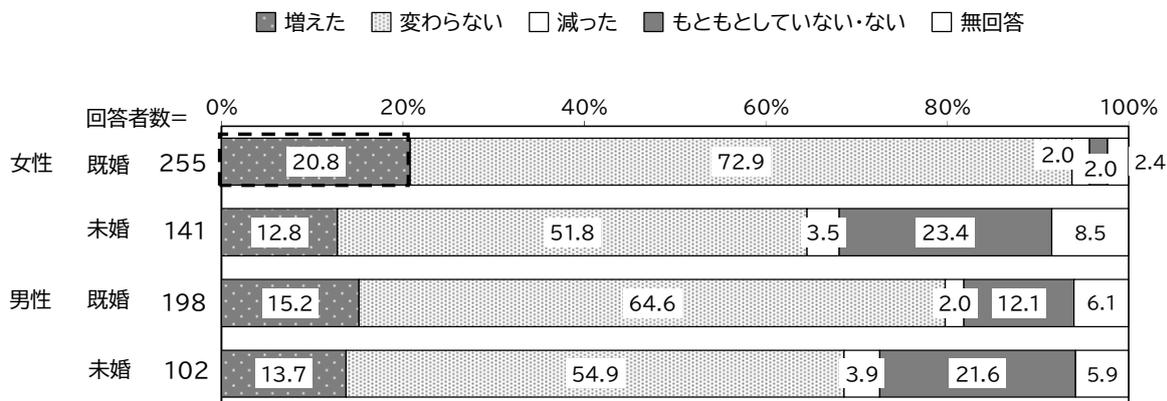
性・年代別で見ると、他に比べ、女性 40 代で「増えた」の割合が高くなっています。また、男女ともに 10 代で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



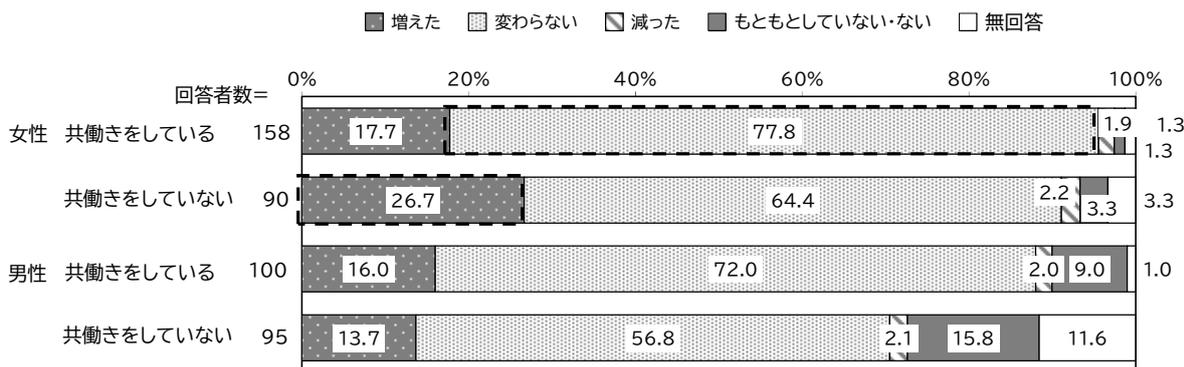
性・婚姻別でみると、既婚女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



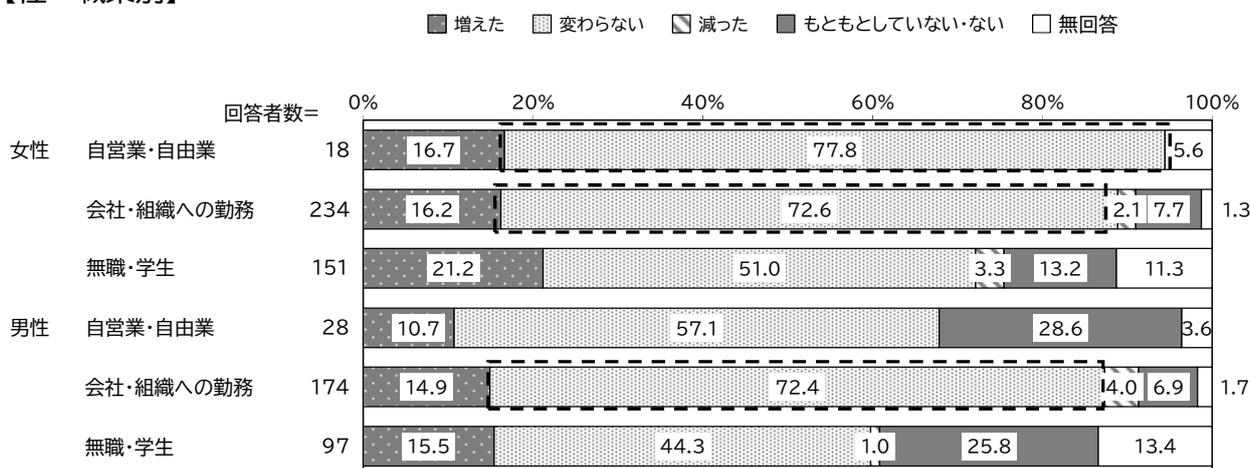
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「変わらない」の割合が、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性、会社・組織へ勤務している男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

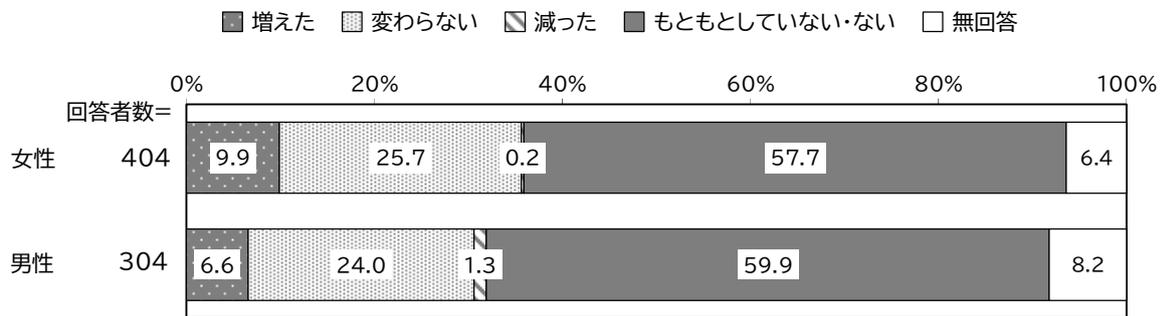
【性・職業別】



C 育児の時間

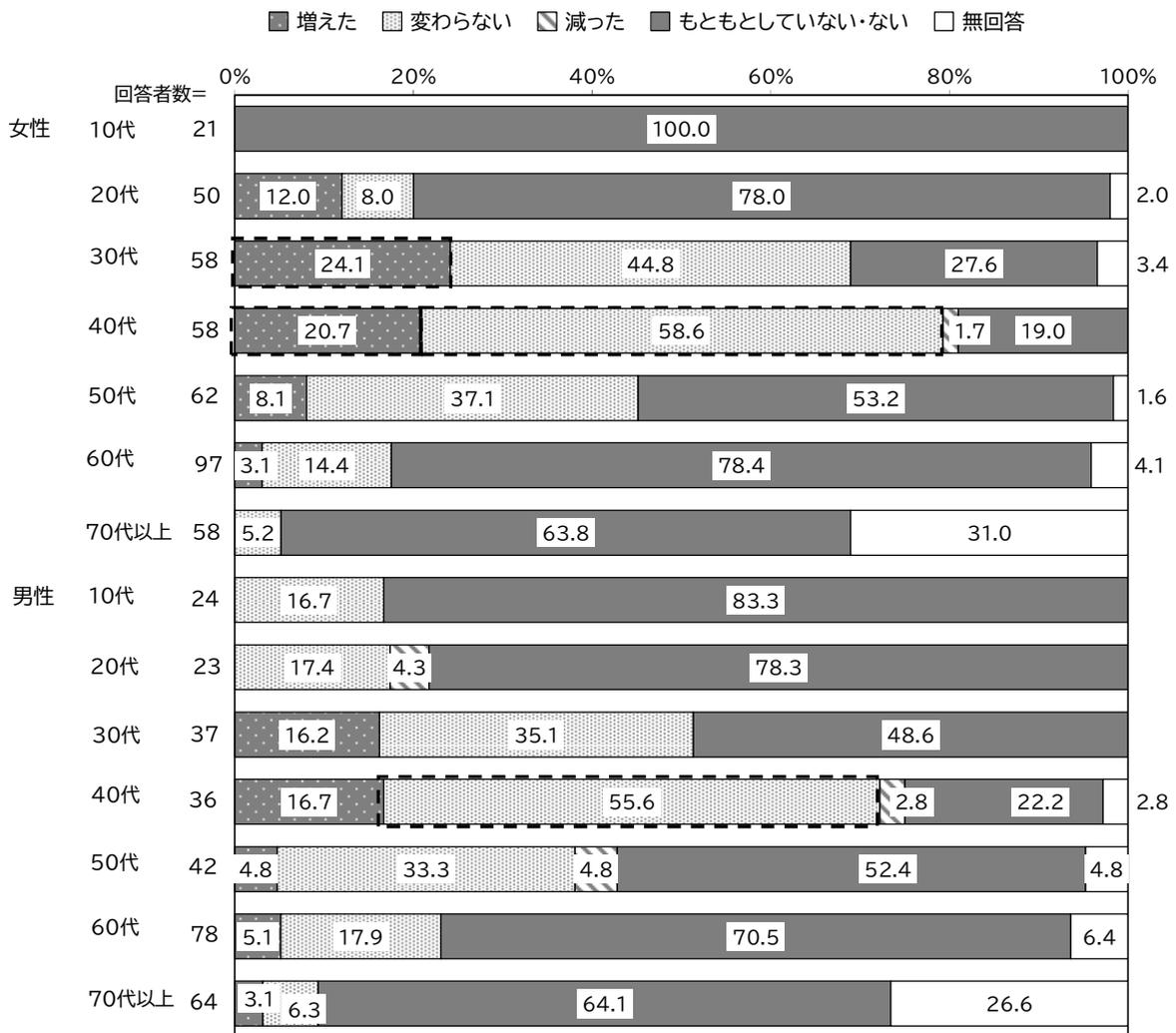
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



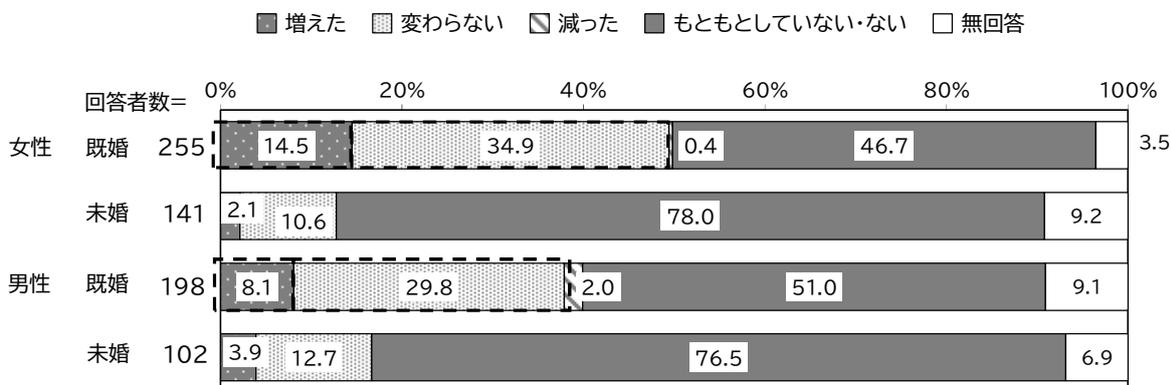
性・年代別でみると、他に比べ、女性30代40代で「増えた」の割合が、40代男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



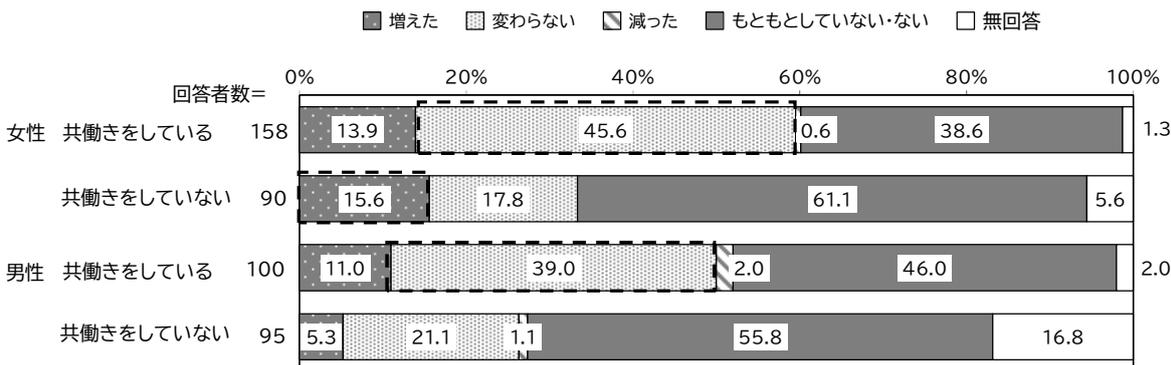
性・婚姻別でみると、男女ともに既婚で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



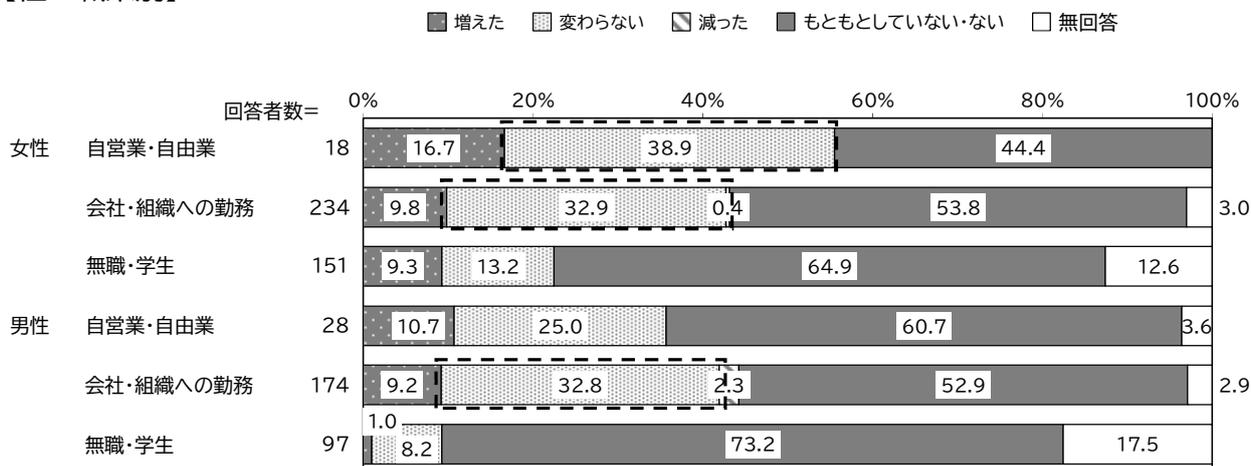
性・共働き別でみると、共働きしていない女性で「増えた」の割合が、また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性、会社・組織へ勤務している男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

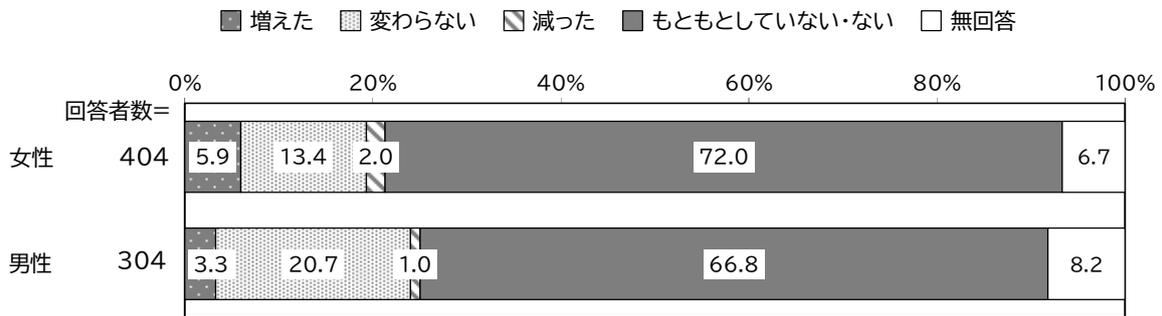
【性・職業別】



D 介護の時間

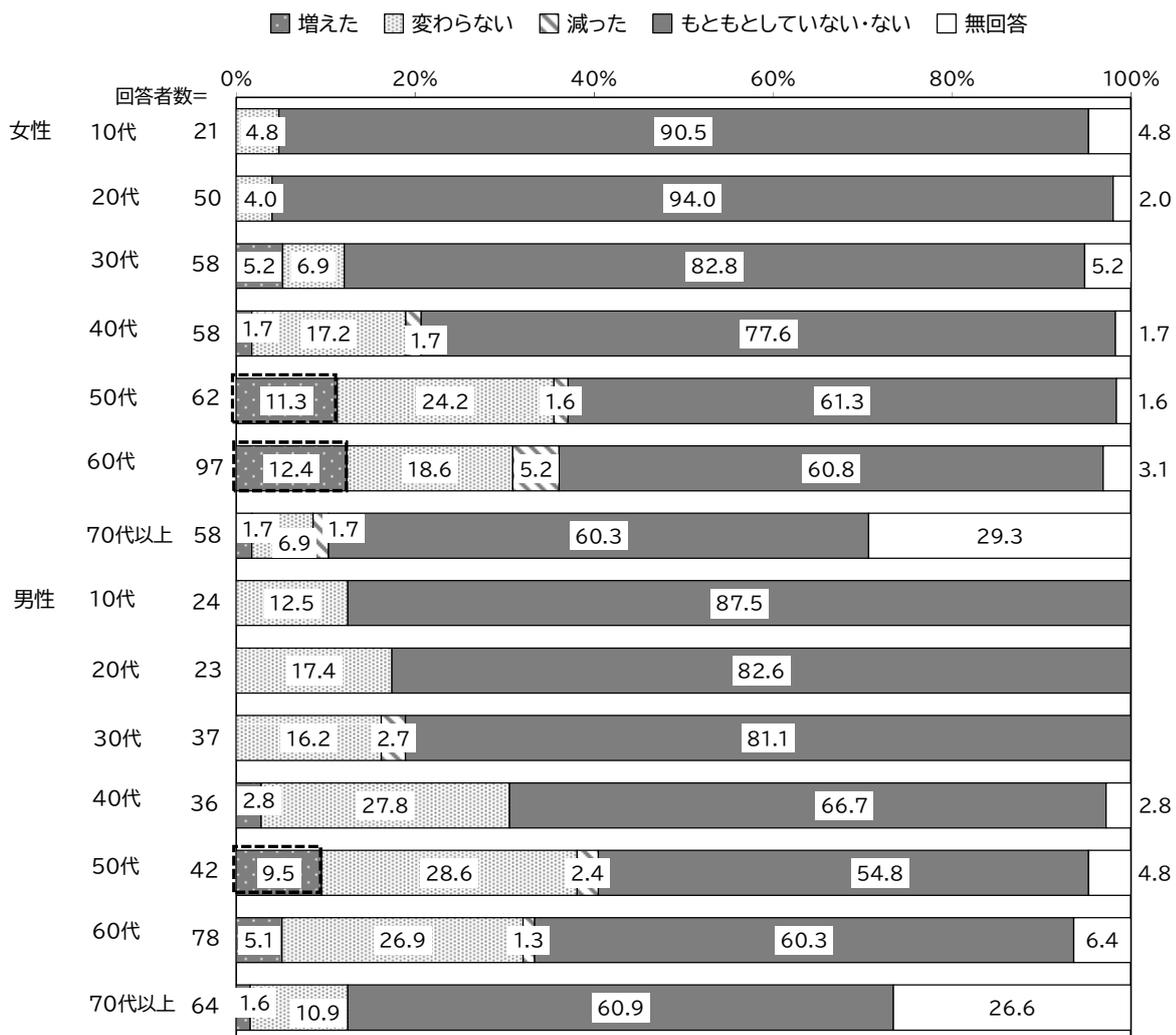
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



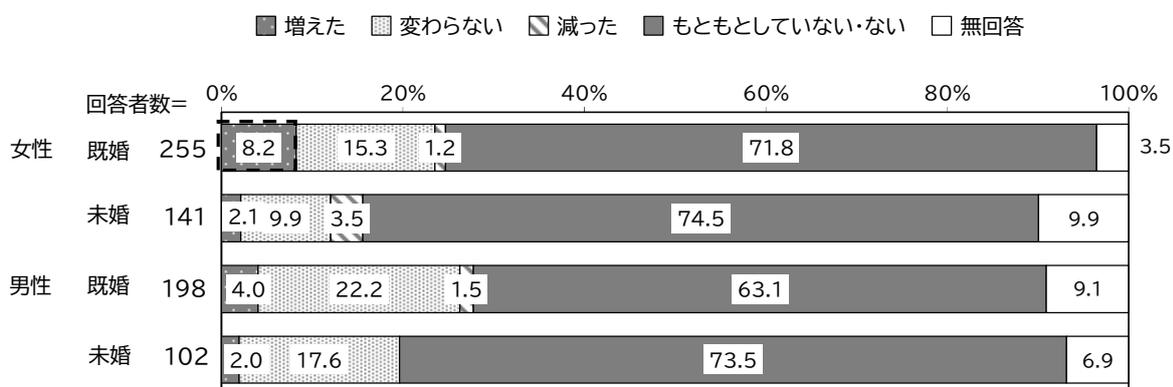
性・年代別でみると、他に比べ、50代男女、女性60代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



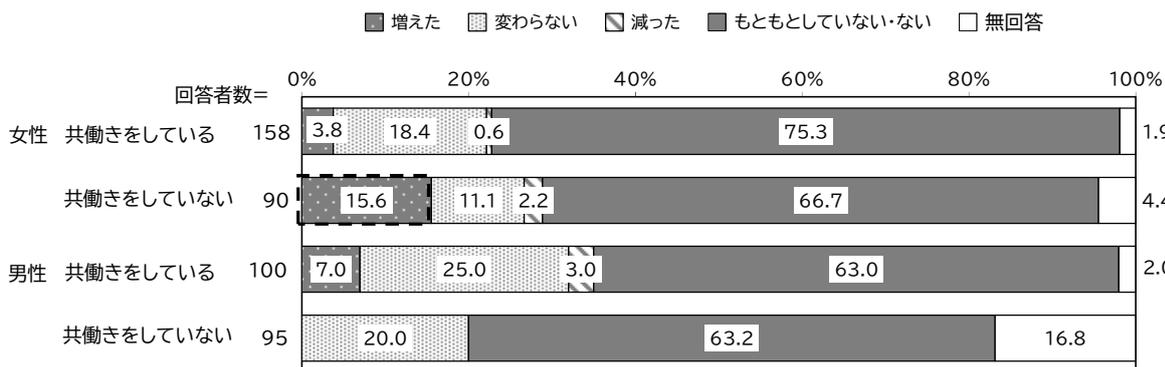
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



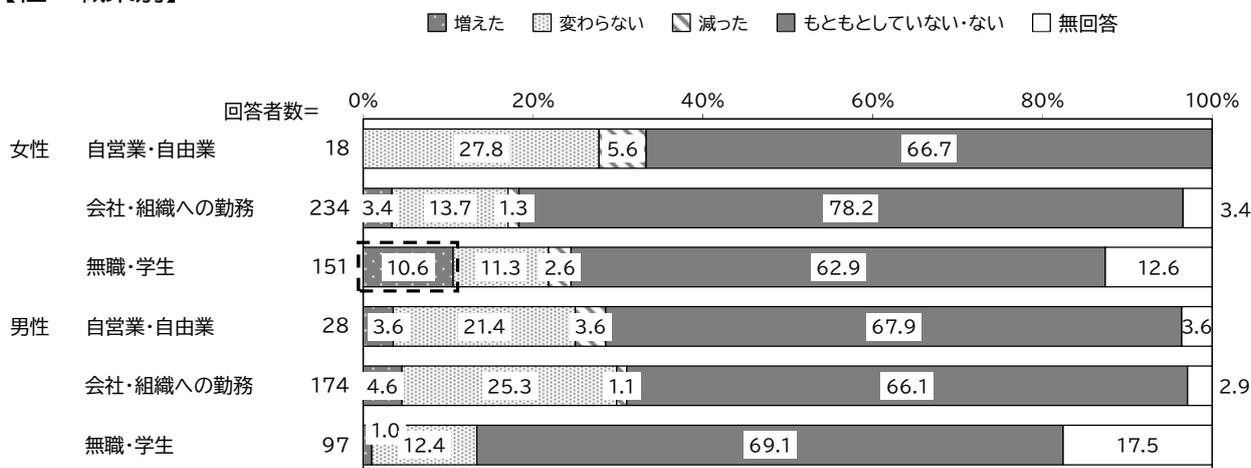
性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別で見ると、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

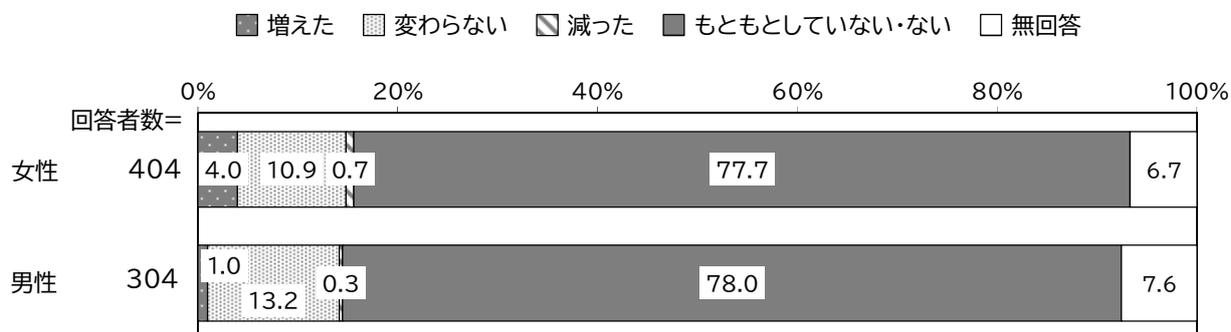
【性・職業別】



E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感

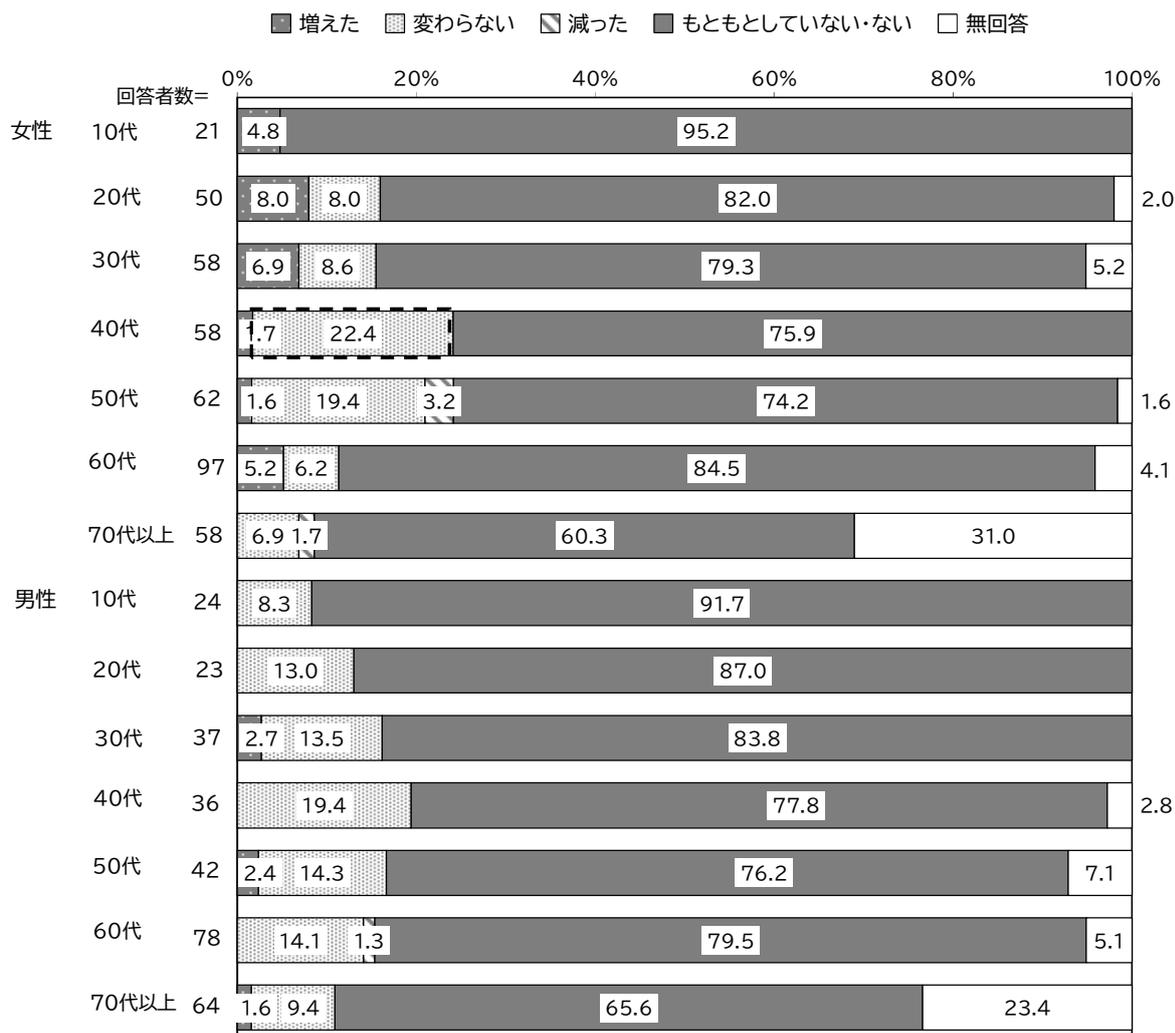
性別で見ると、大きな差異はみられません。

【性別】



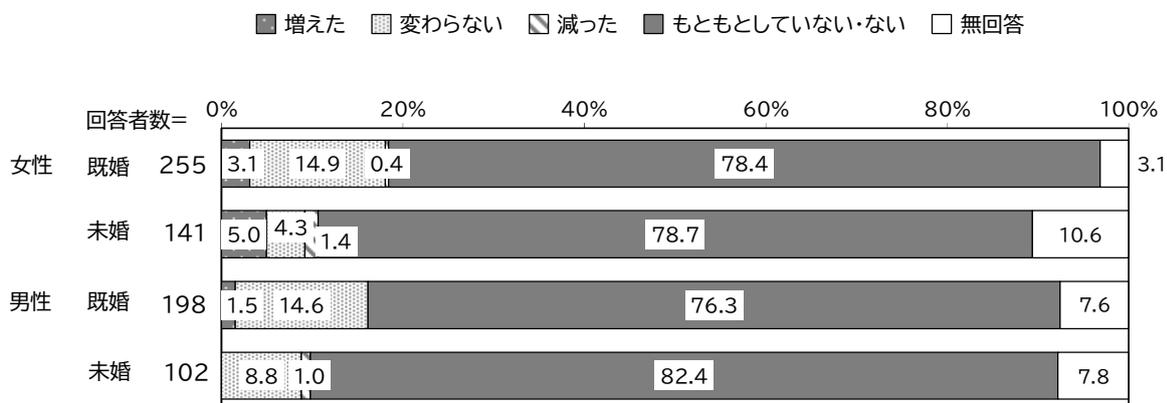
性・年代別で見ると、他に比べ、女性40代で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



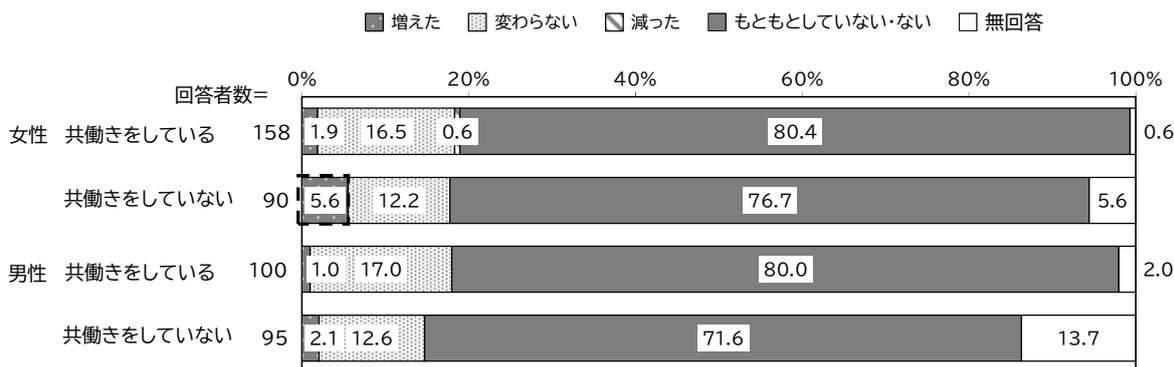
性・婚姻別でみると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



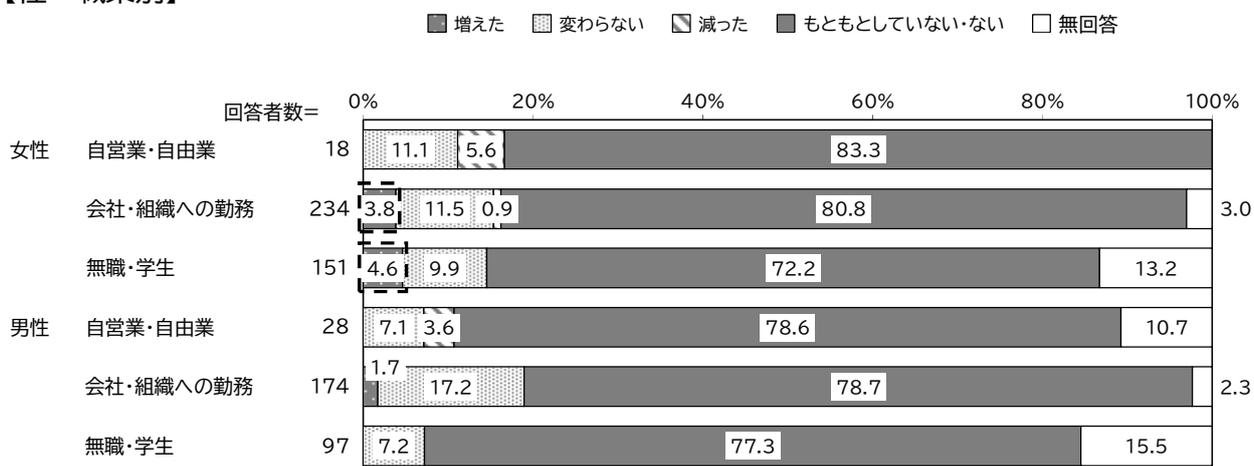
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、会社・組織への勤務、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

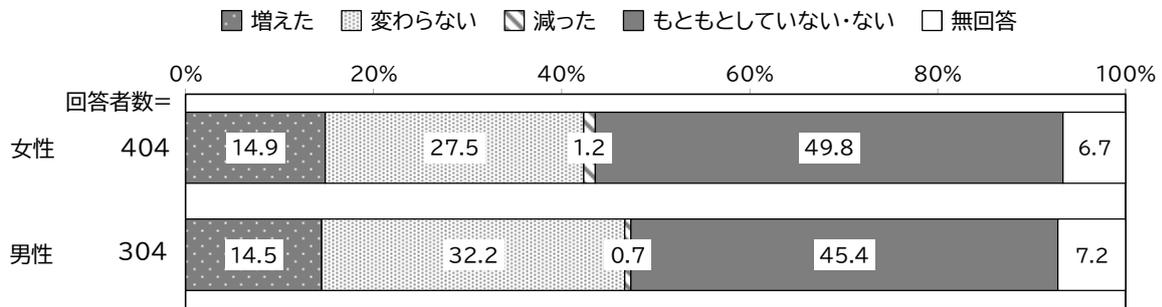
【性・職業別】



F 雇用（自営業の経営含む）の不安感

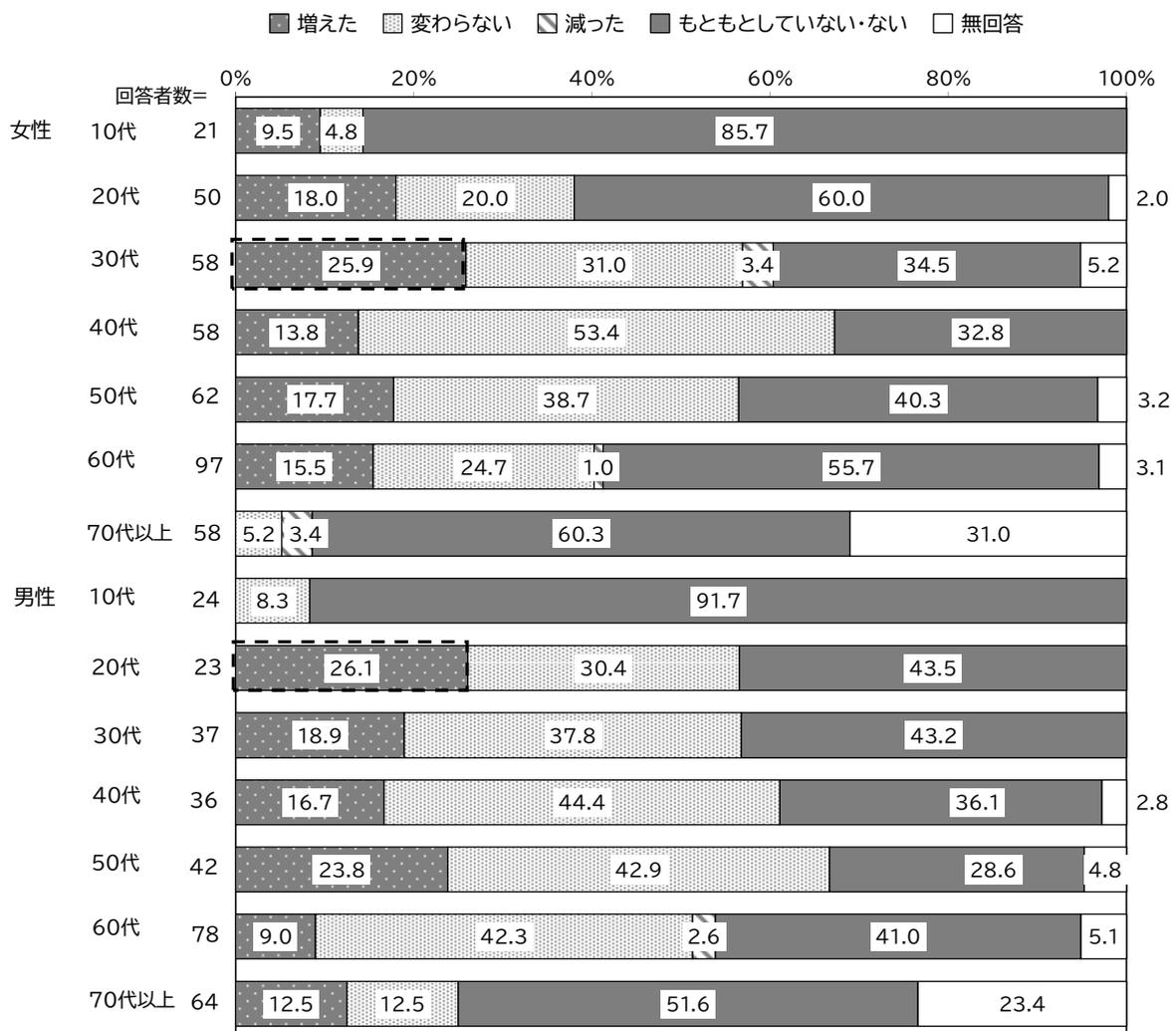
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



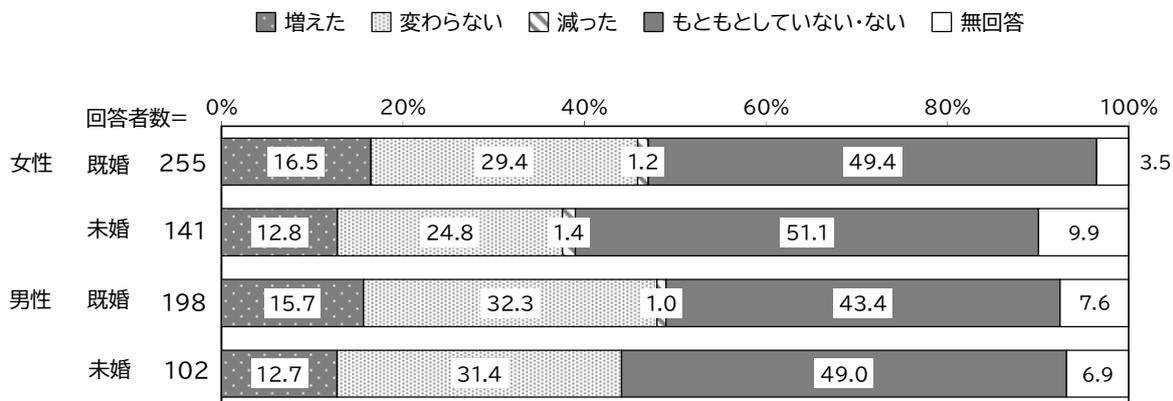
性・年代別でみると、他に比べ、女性30代、男性20代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



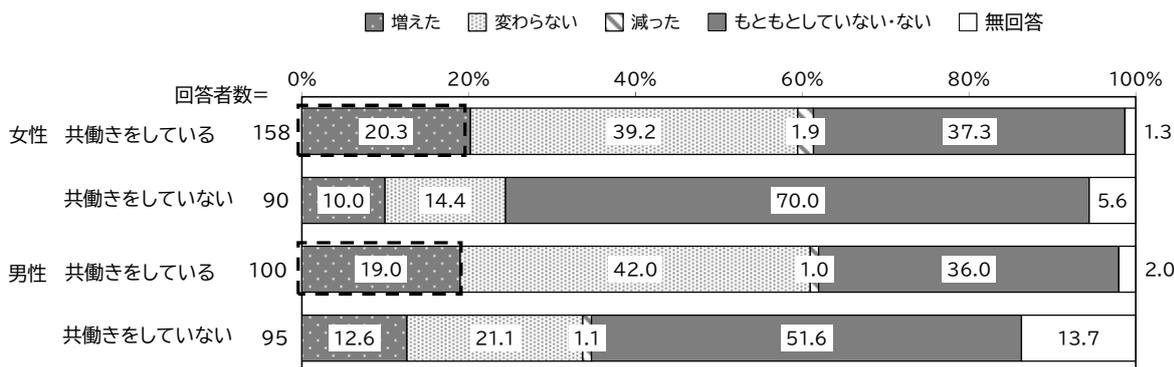
性・婚姻別でみると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



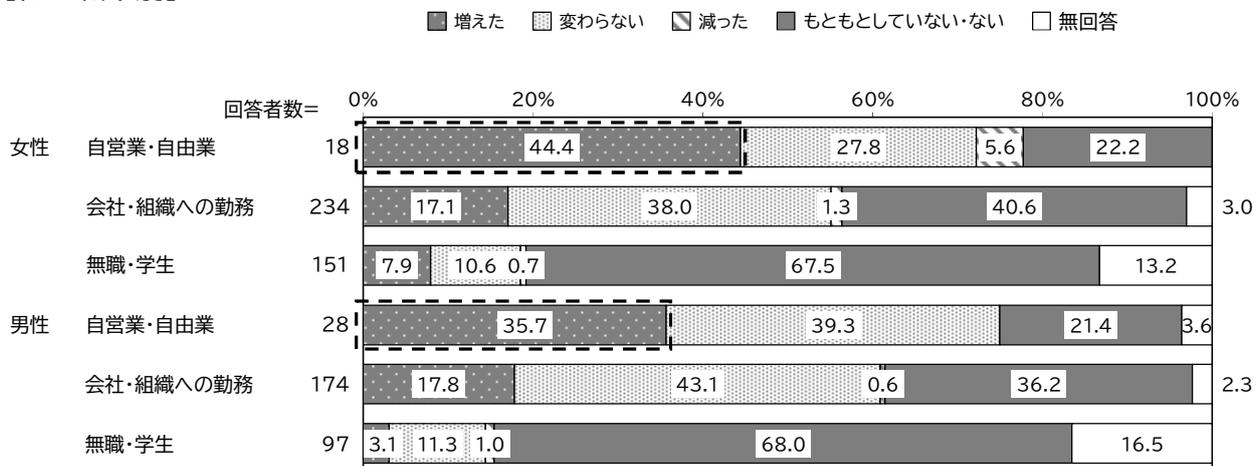
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている男女で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の男女で「増えた」の割合が高くなっています。

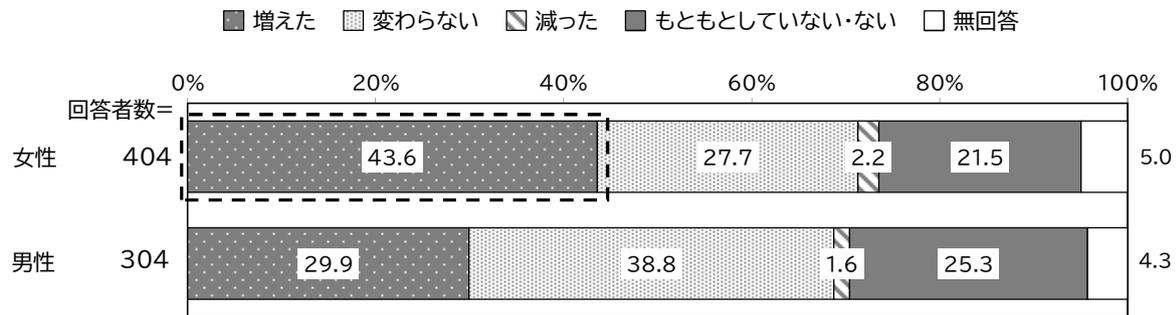
【性・職業別】



G こころや身体に関する健康面の不安感

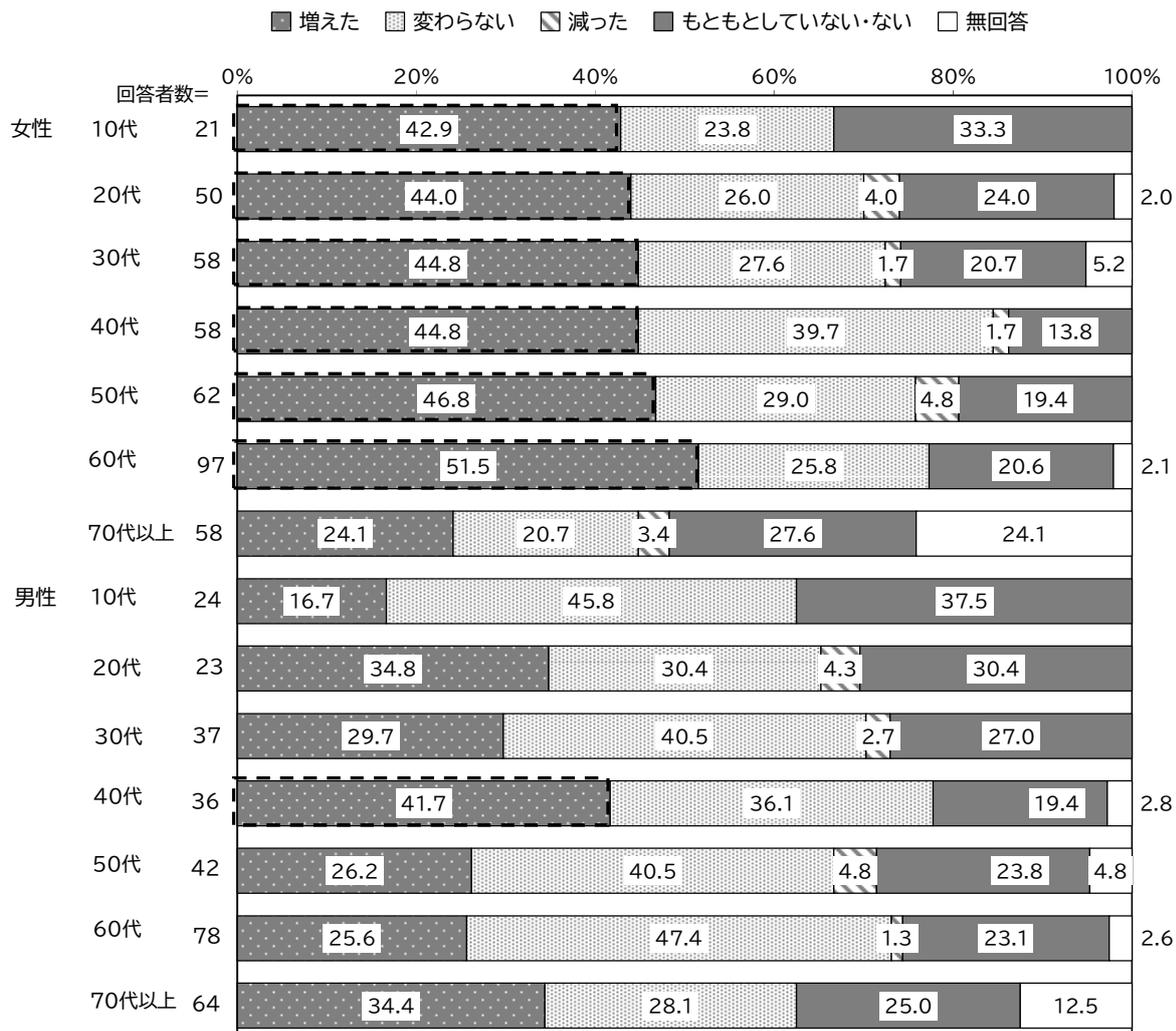
性別で見ると、男性に比べ、女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性別】



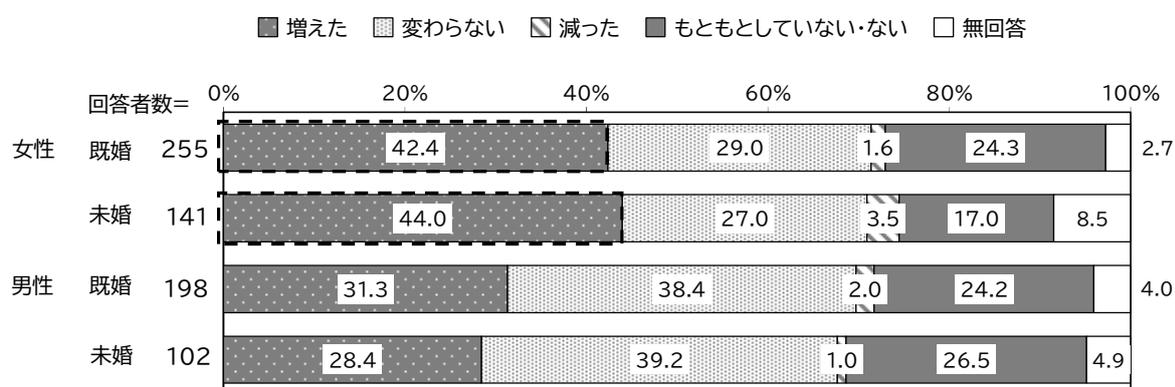
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の10代から60代、男性40代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



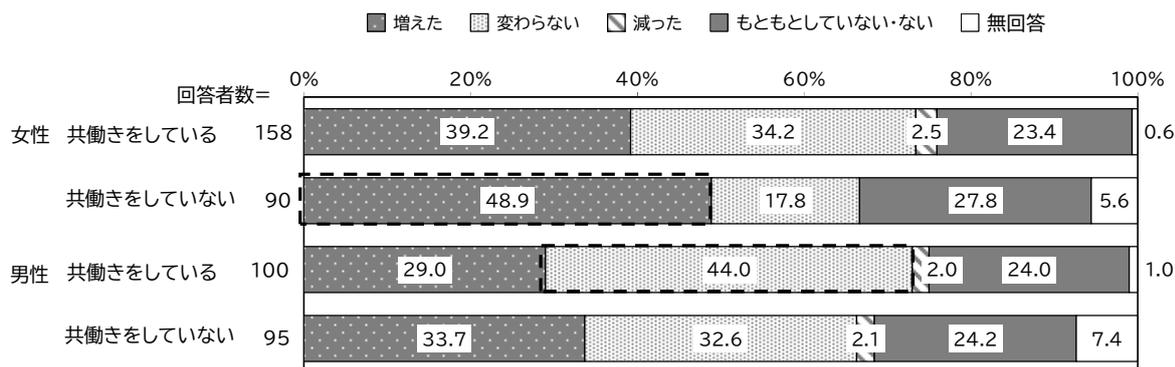
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚・未婚女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



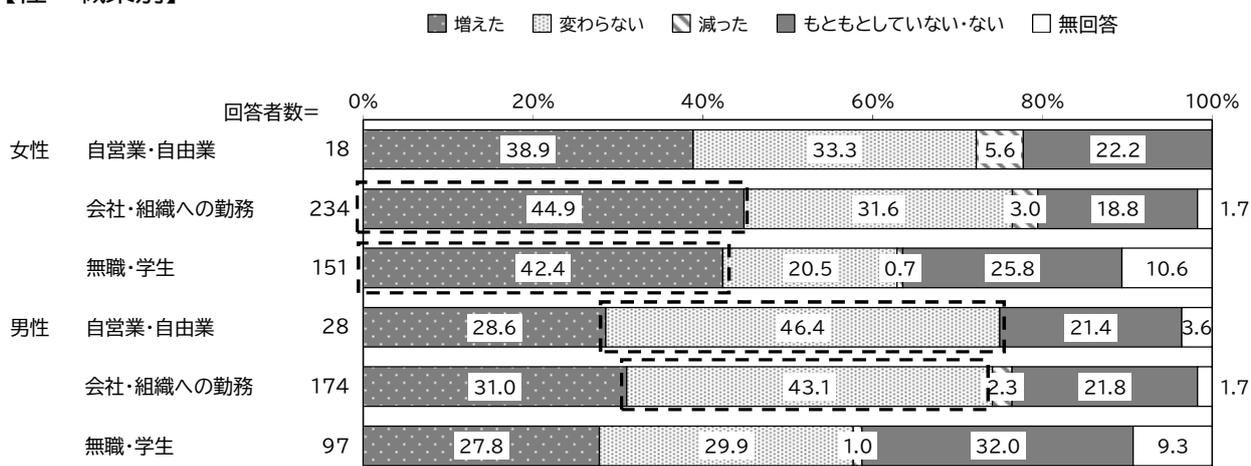
性・共働き別で見ると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、共働きしている男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別で見ると、会社・組織への勤務、無職・学生の女性で「増えた」の割合が、自由業・自営業、会社へ勤務している男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

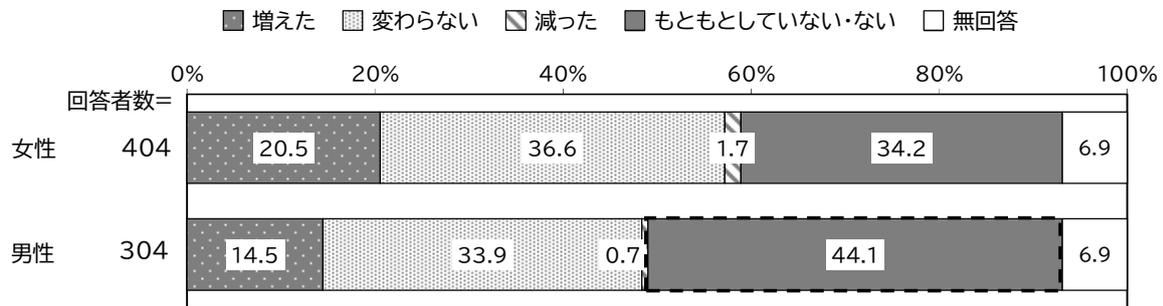
【性・職業別】



H 家事・育児・介護の不安感

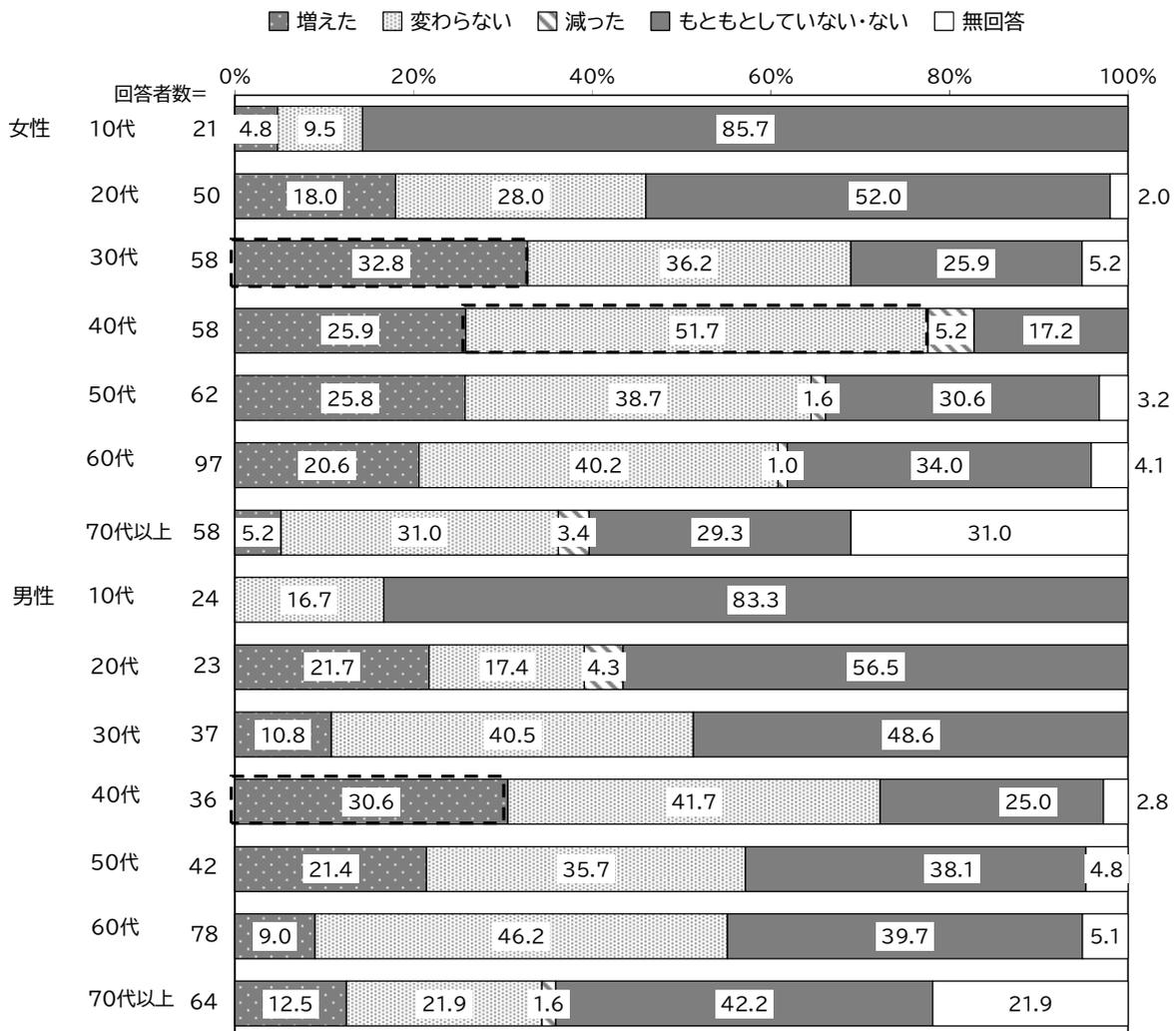
性別で見ると、女性に比べ、男性で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性別】



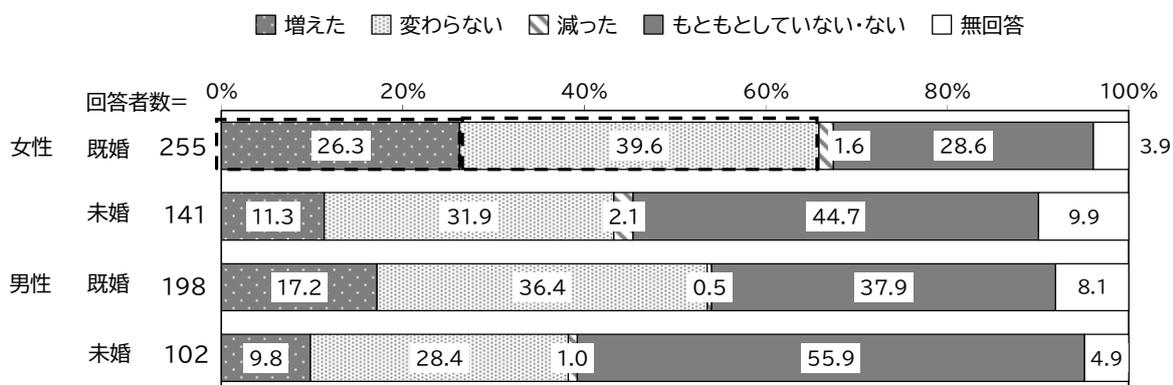
性・年代別で見ると、他に比べ、女性30代、男性の40代で「増えた」の割合が。女性40代で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



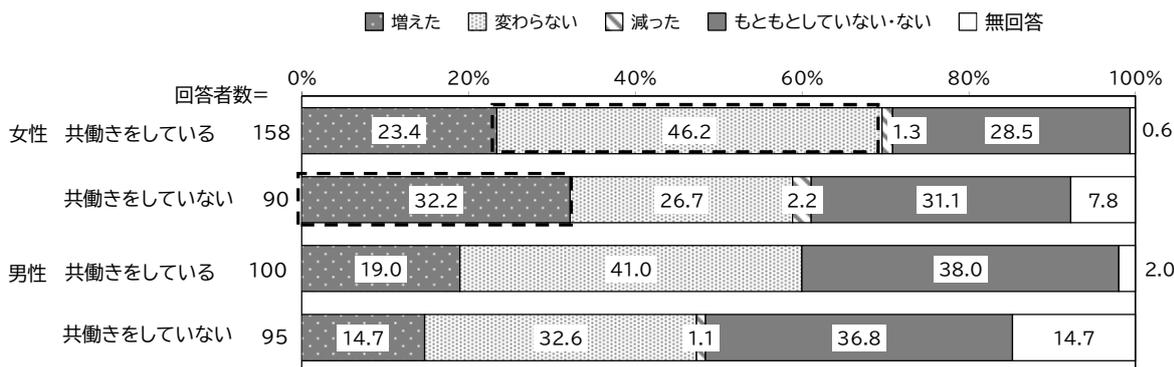
性・婚姻別でみると、既婚女性で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



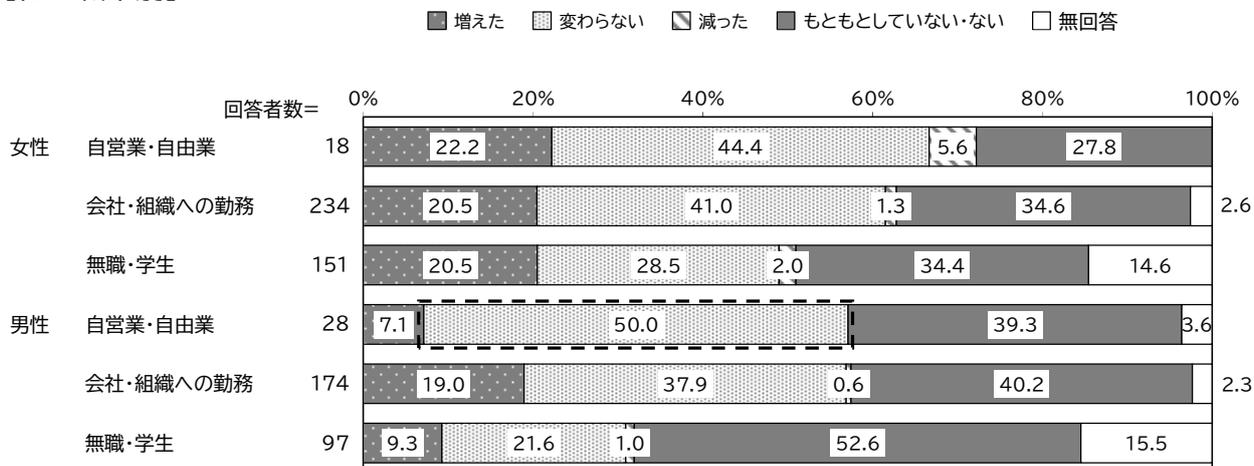
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「変わらない」の割合が、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

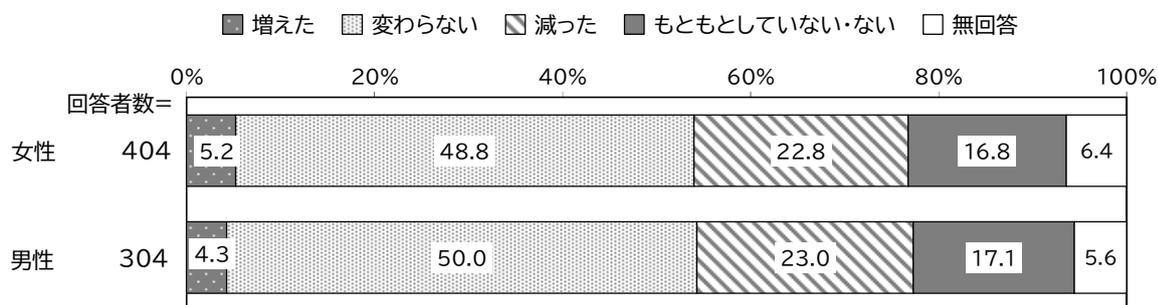
【性・職業別】



I 実際の収入の増減

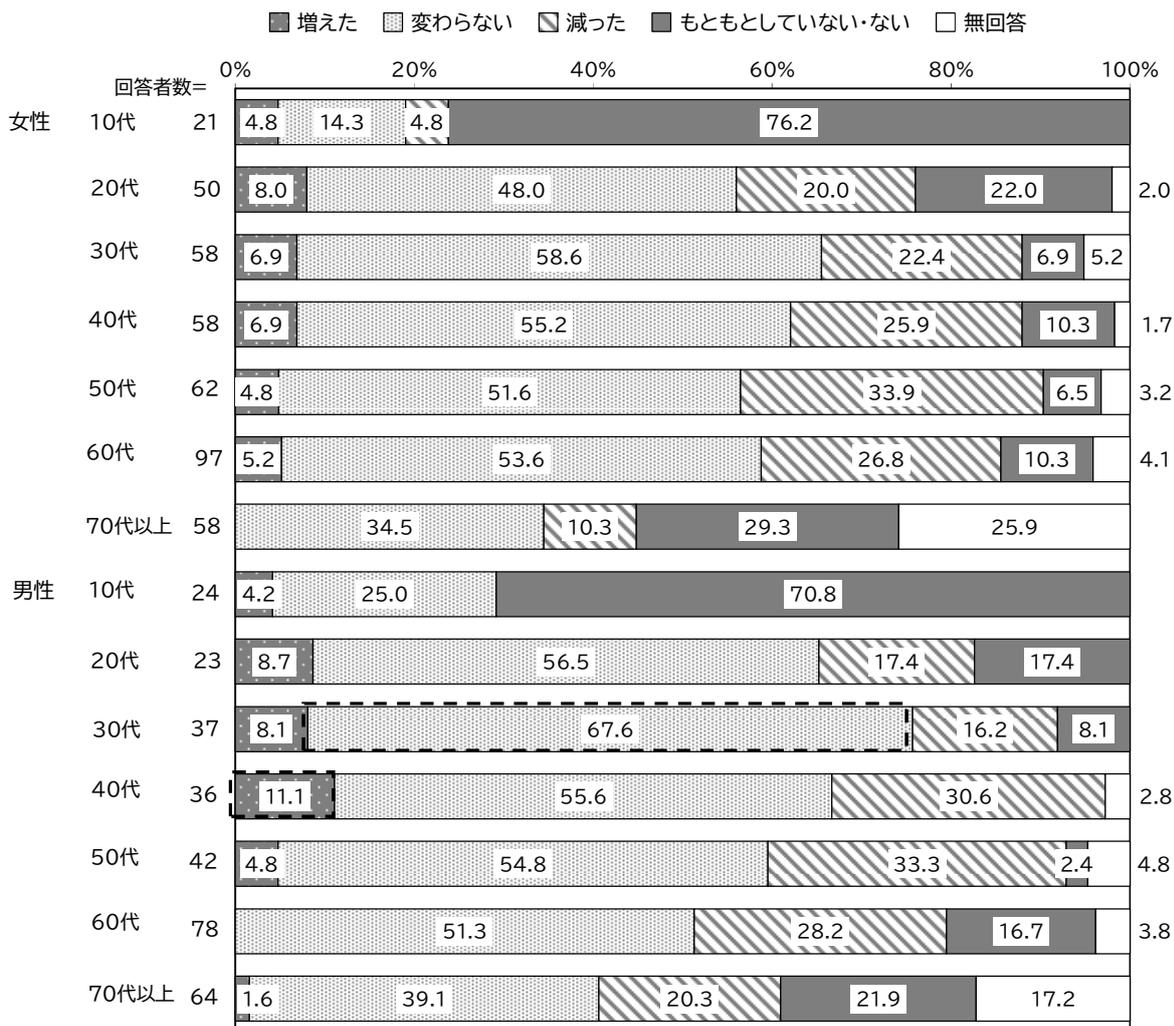
性別でみると、大きな差異は、みられません。

【性別】



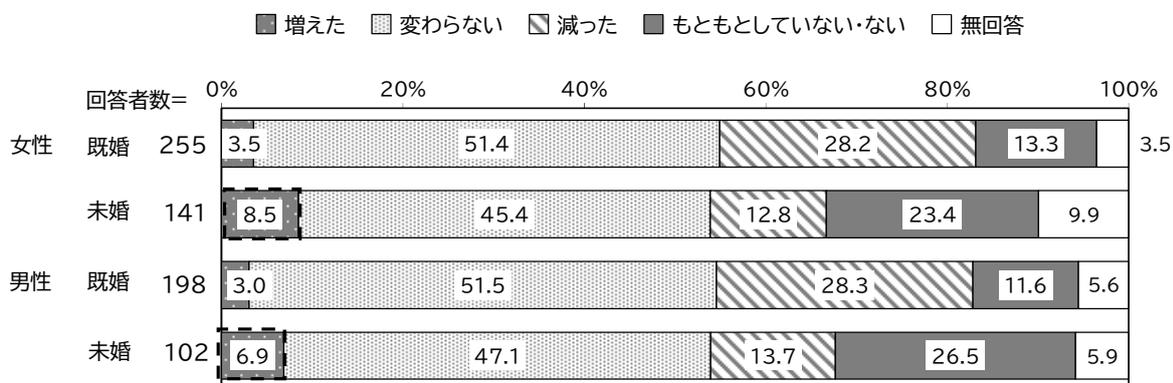
性・年代別でみると、他に比べ、男性30代で「変わらない」の割合が、男性40代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



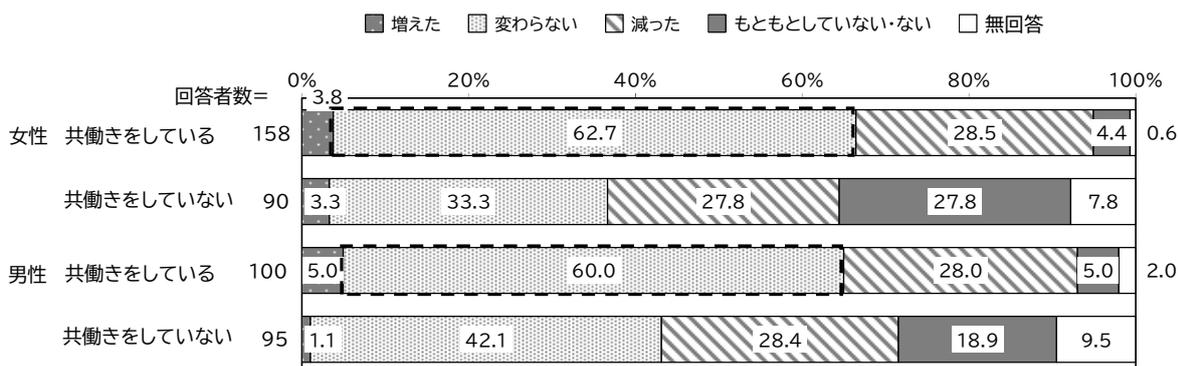
性・婚姻別でみると、未婚の男女の「増えた」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



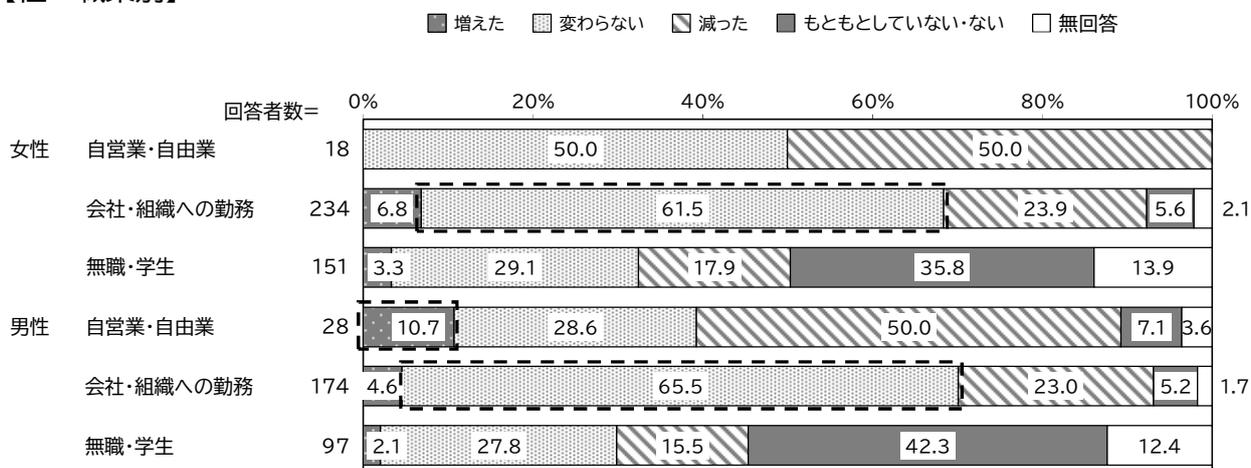
性・共働き別でみると、共働きをしている男女の「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、会社・組織へ勤務している男女で「変わらない」の割合が、自営業・自由業の男性で「増えた」の割合が高くなっています。

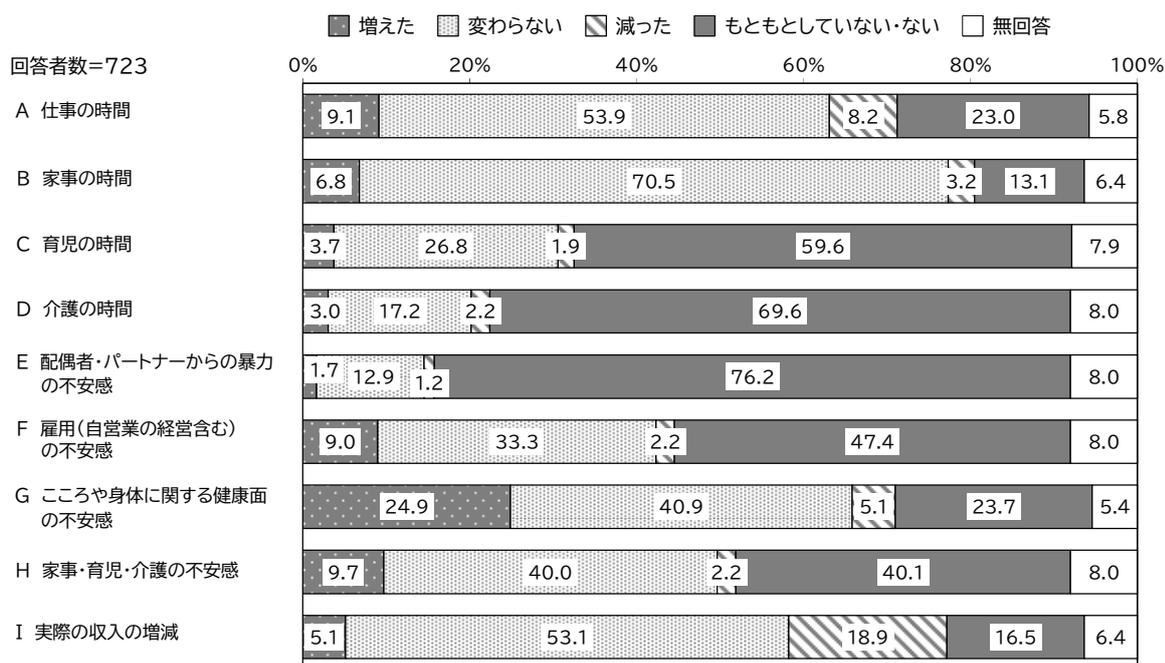
【性・職業別】



(2) 新型コロナウイルス5類感染症引き下げ後の生活について (コロナ禍前と現在の比較)

問15-1. コロナ禍前と比べ、現在(5類感染症引き下げ後)の生活について変化がありましたか。A~Iの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

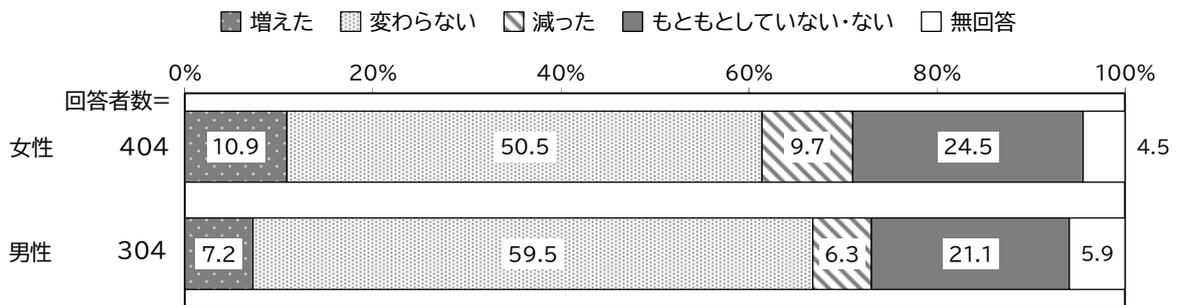
『G ころろや身体に関する健康面の不安感』において、「増えた」の割合が、『B 家事の時間』において、「変わらない」の割合が高い。また、『D 介護の時間』『E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感』において「もともとしていない・ない」の割合が高く、概ね7割程度となっている。



A 仕事の時間

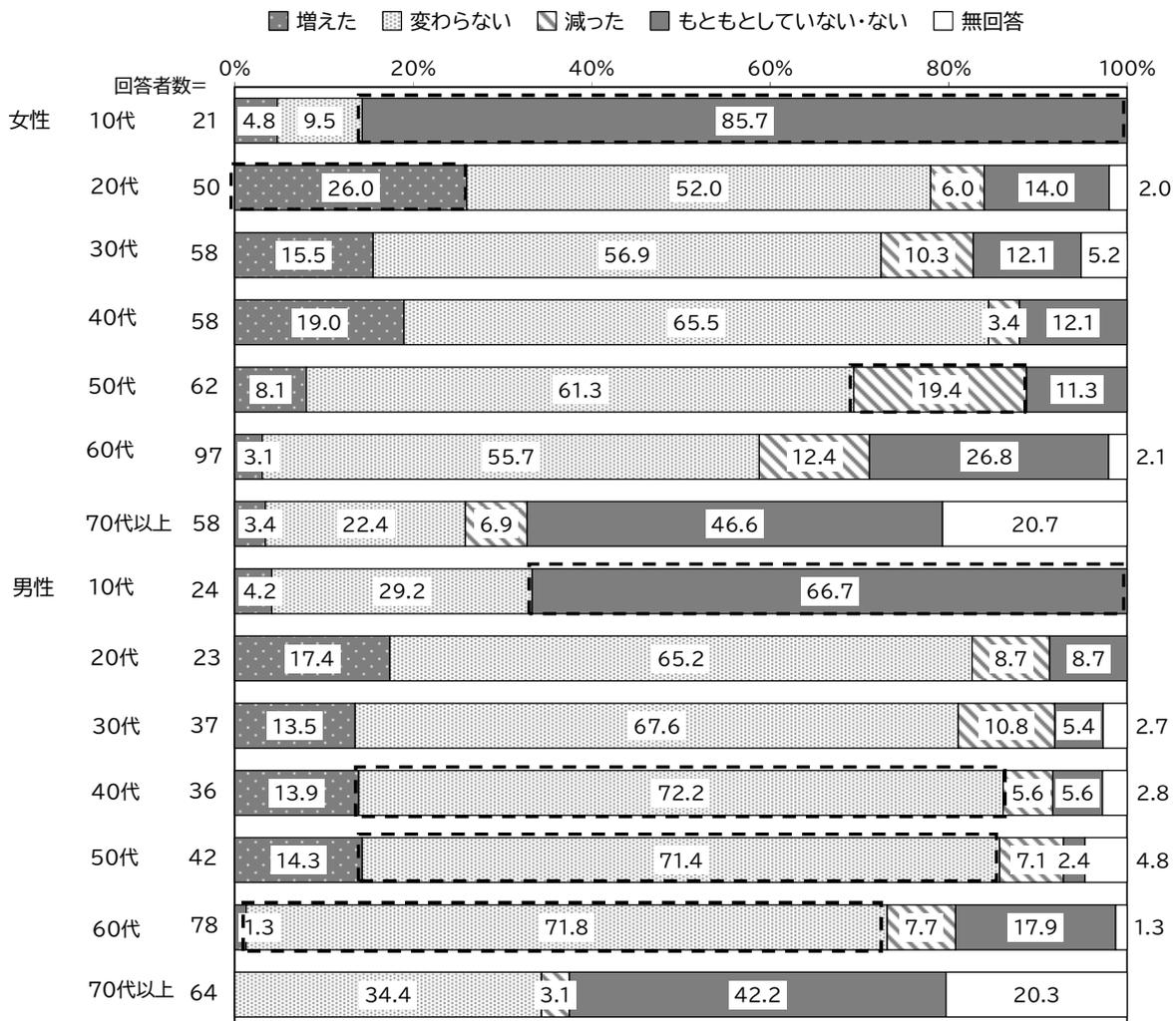
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



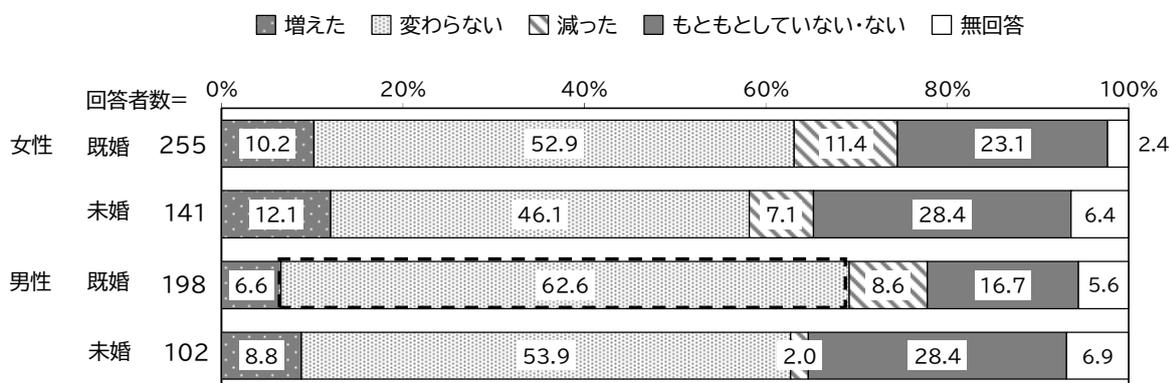
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で「増えた」の割合が、男性 40 代から 60 代で「変わらない」の割合が、女性 50 代で「減った」の割合が高くなっています。また、男女ともに 10 代で「もともとしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



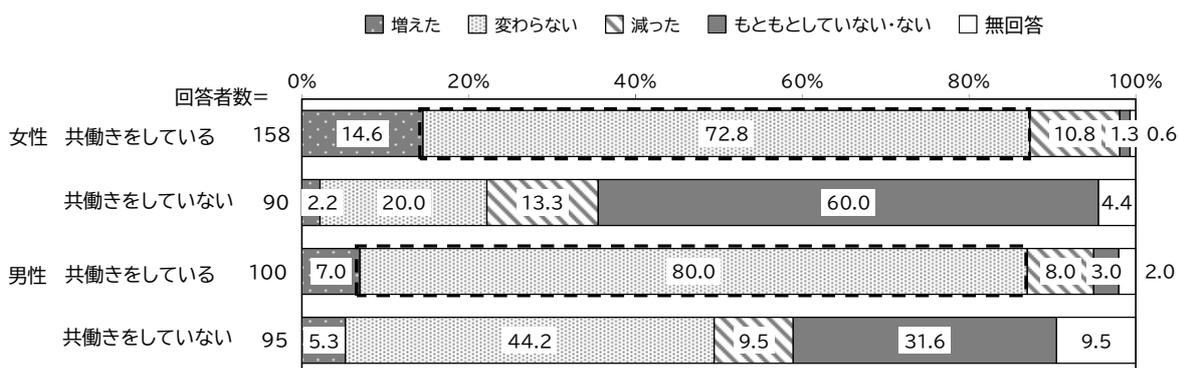
性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



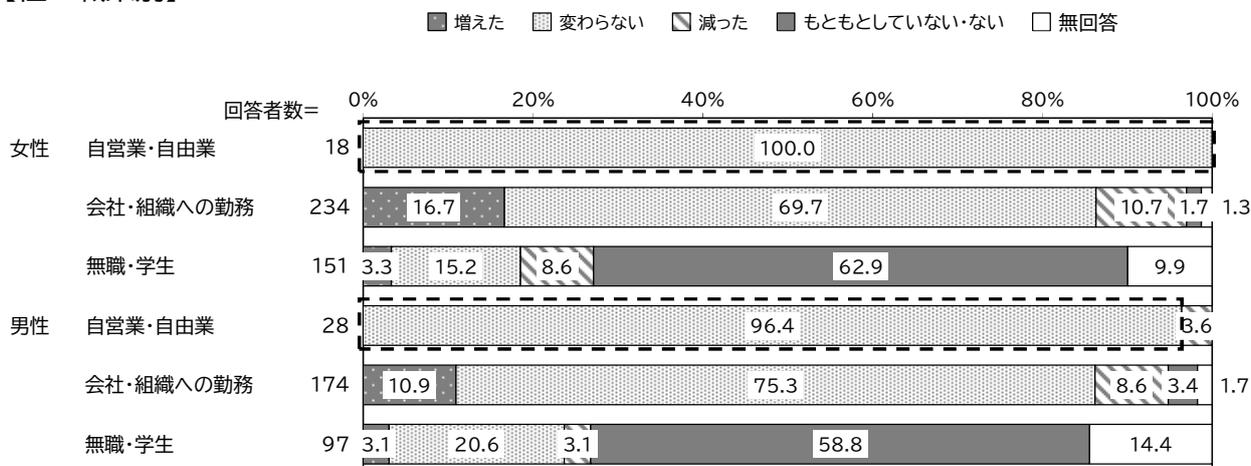
性・共働き別でみると、共働きしている男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

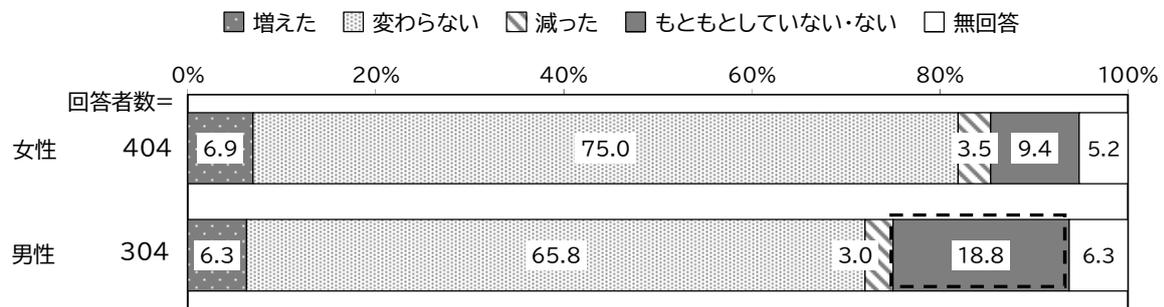
【性・職業別】



B 家事の時間

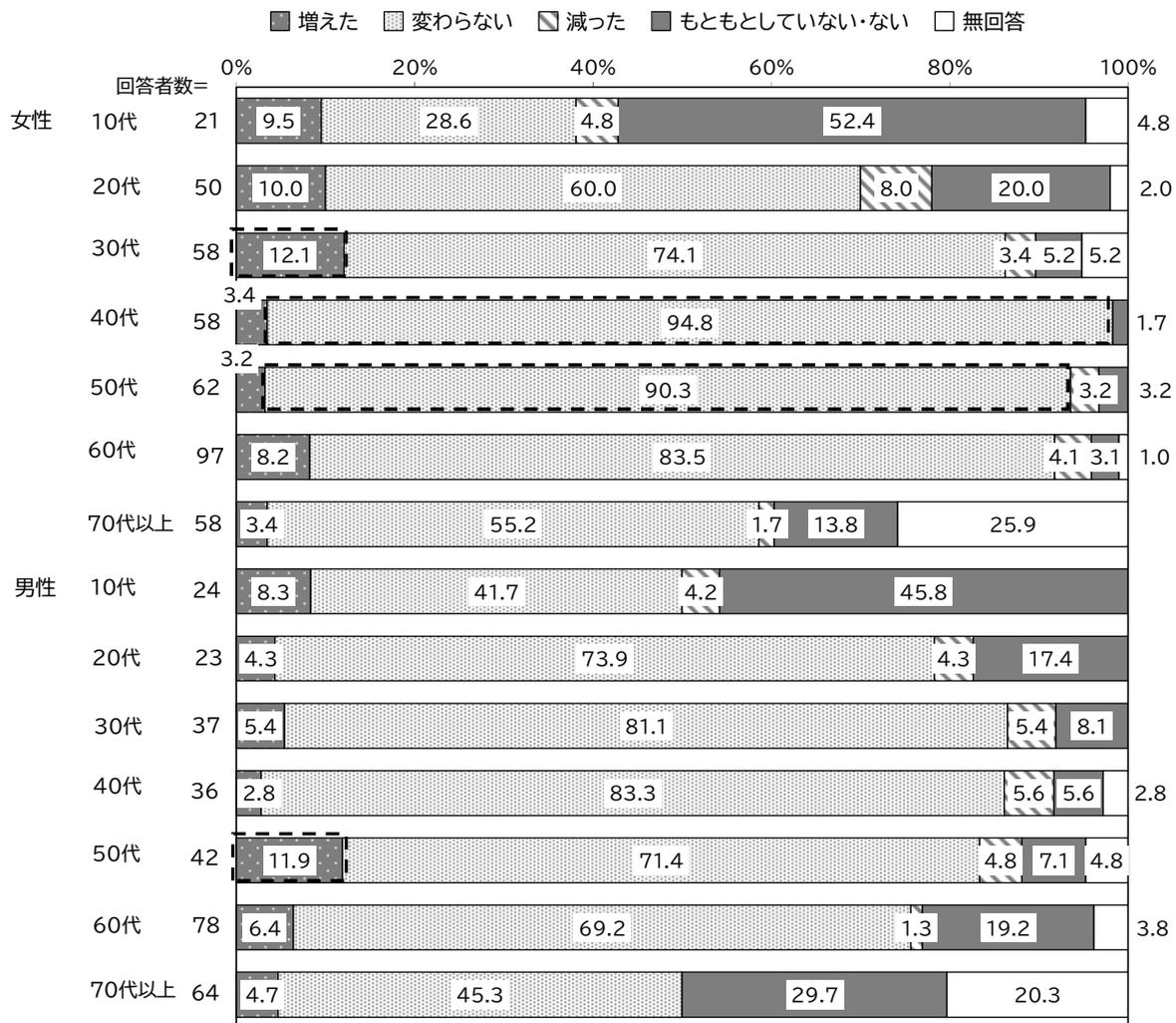
性別でみると、女性に比べ、男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性別】



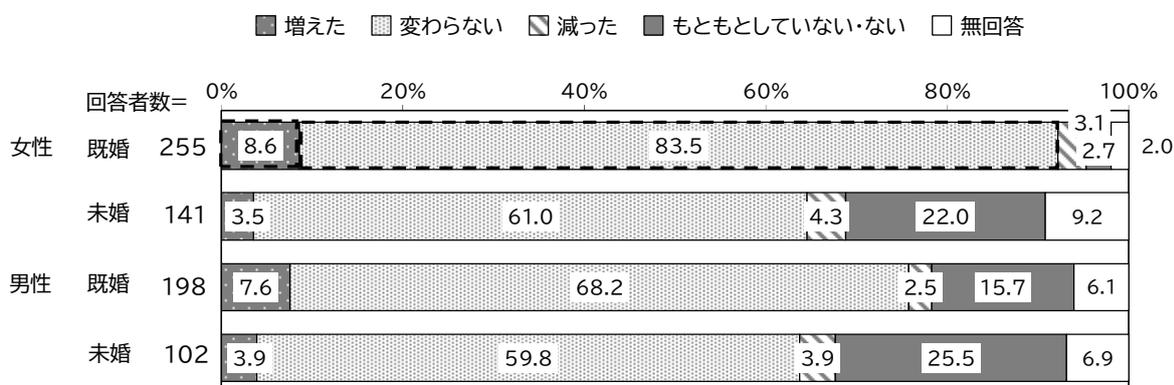
性・年代別でみると、他に比べ、女性30代、男性50代で「増えた」の割合が、女性40代、50代で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



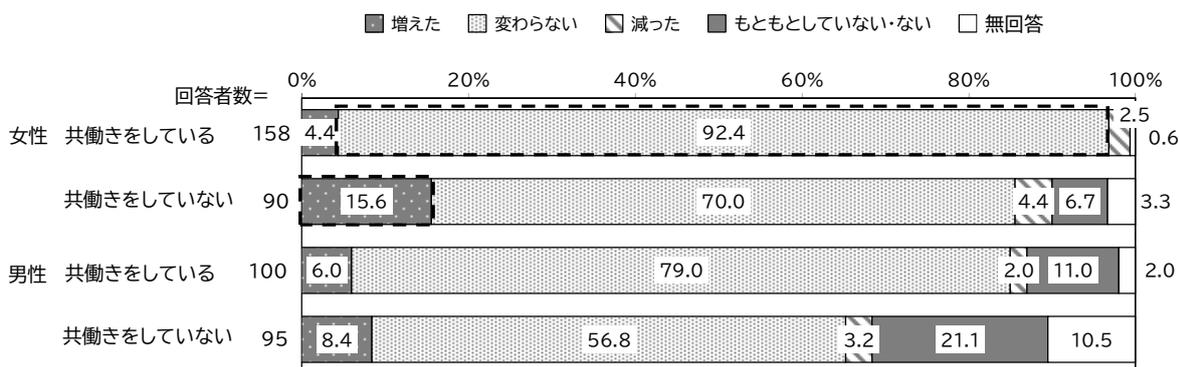
性・婚姻別でみると、既婚女性で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



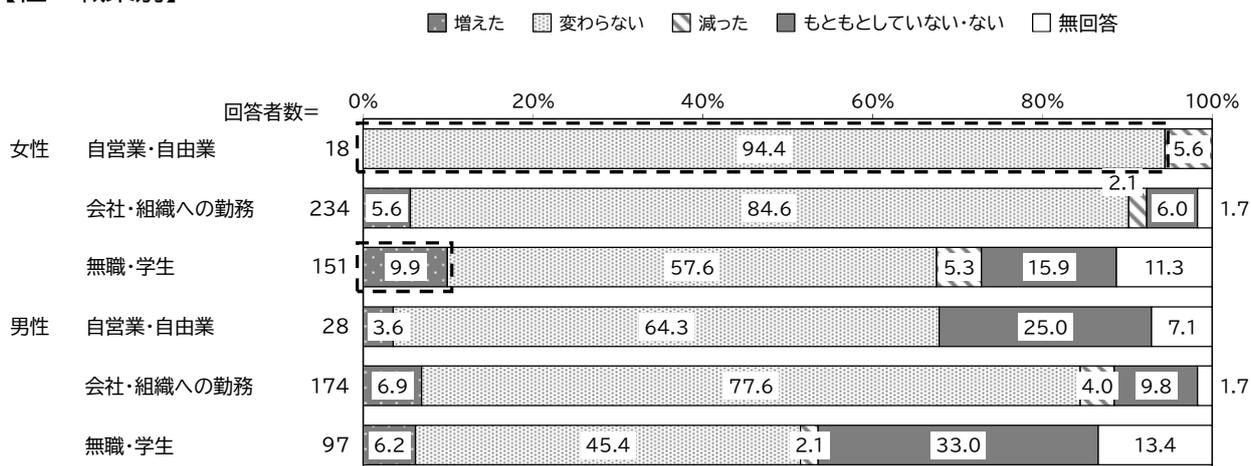
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「変わらない」の割合が、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性で「変わらない」の割合が、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

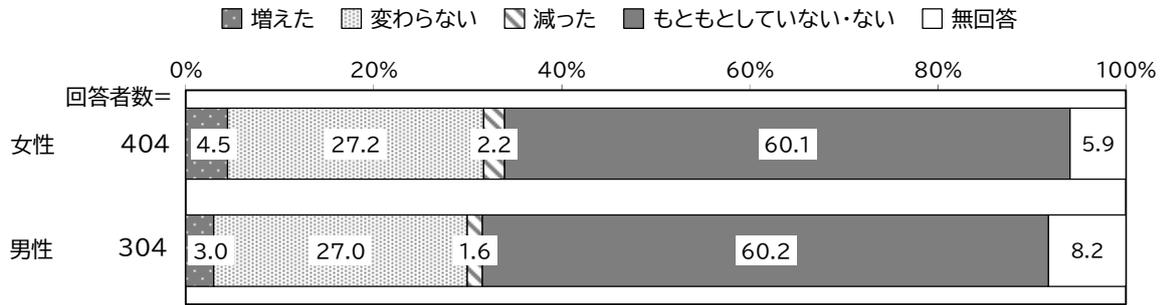
【性・職業別】



C 育児の時間

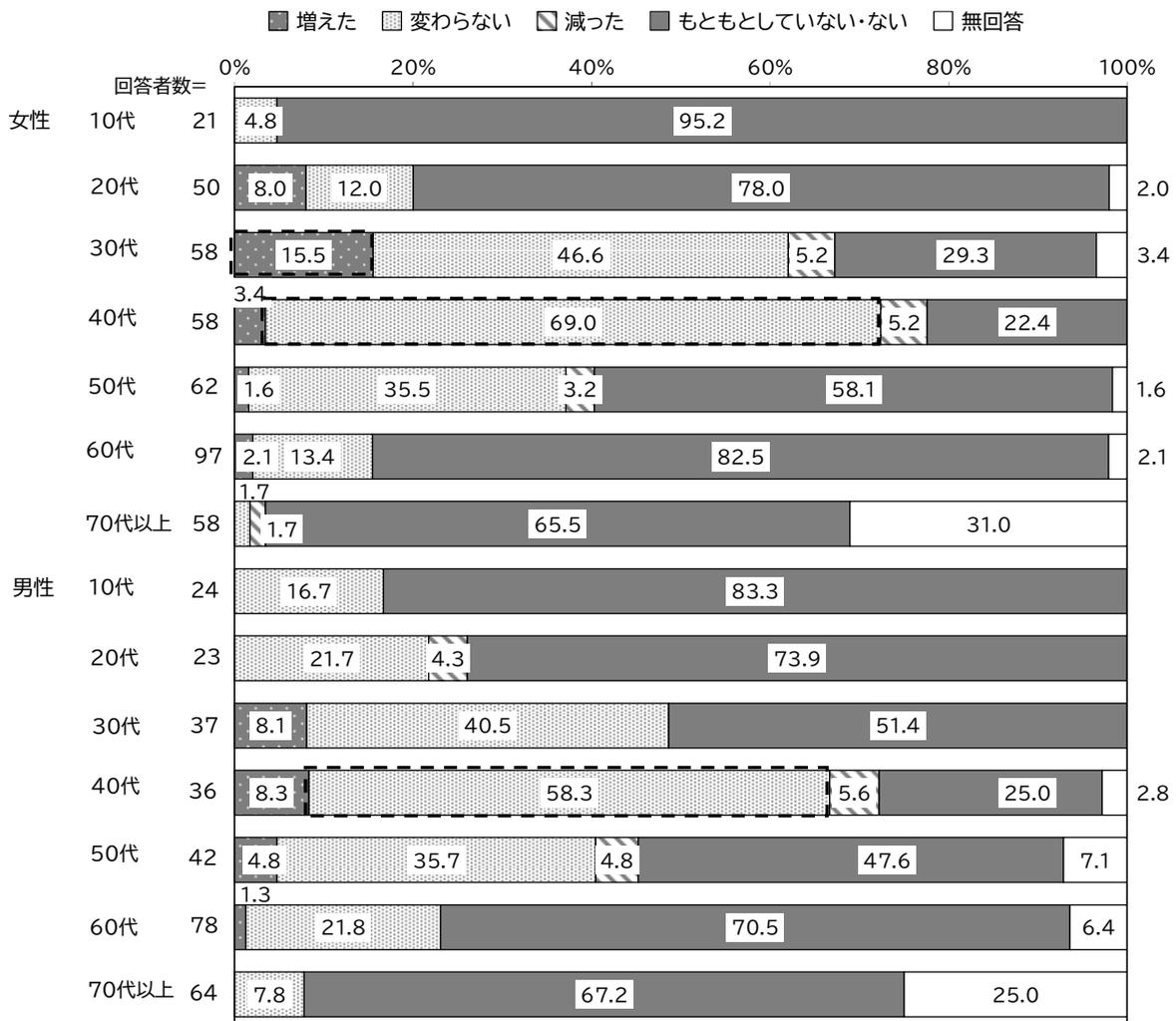
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



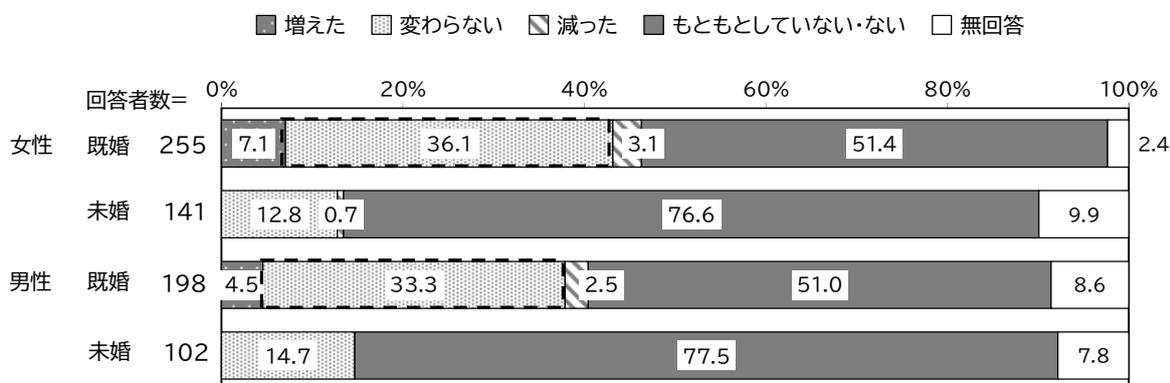
性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「増えた」の割合が、40 代男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



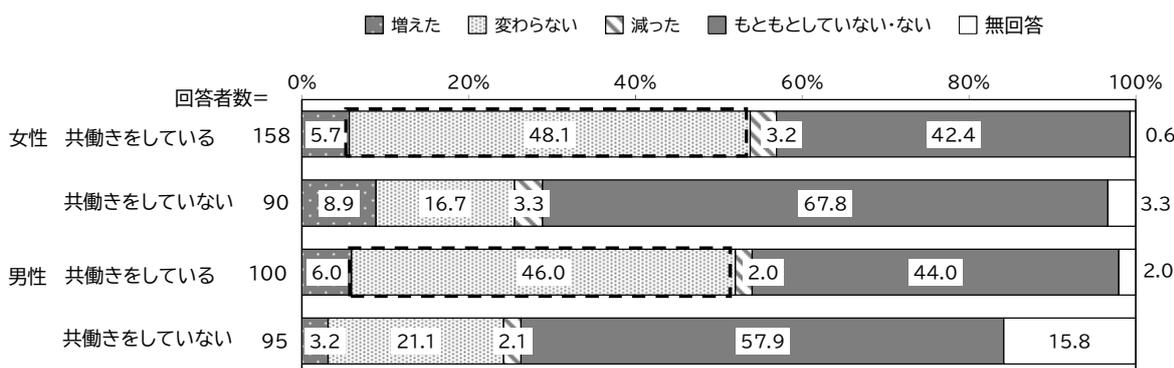
性・婚姻別でみると、既婚男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



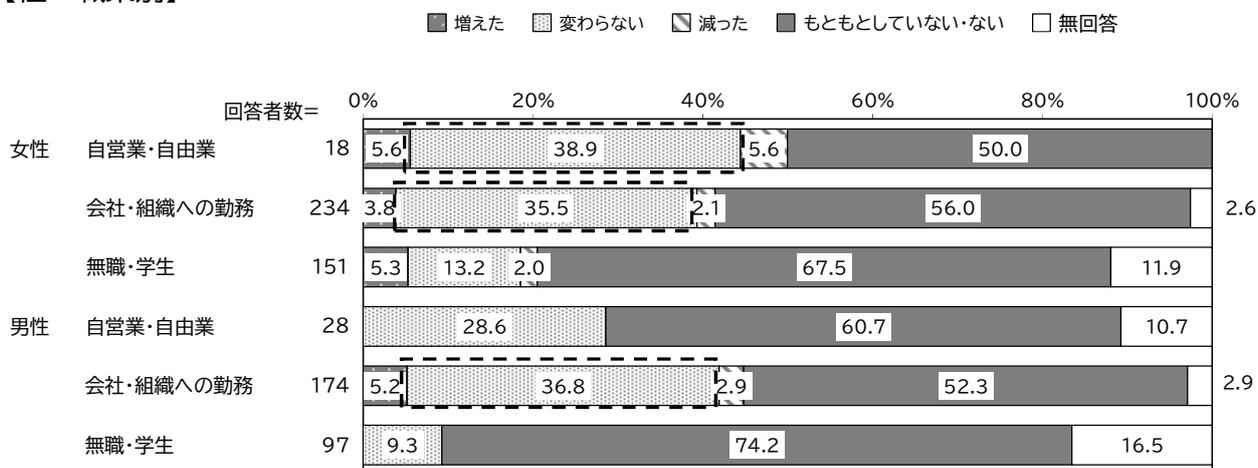
性・共働き別でみると、共働きしている男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性、会社・組織へ勤務している男女で「変わらない」の割合が高くなっています。

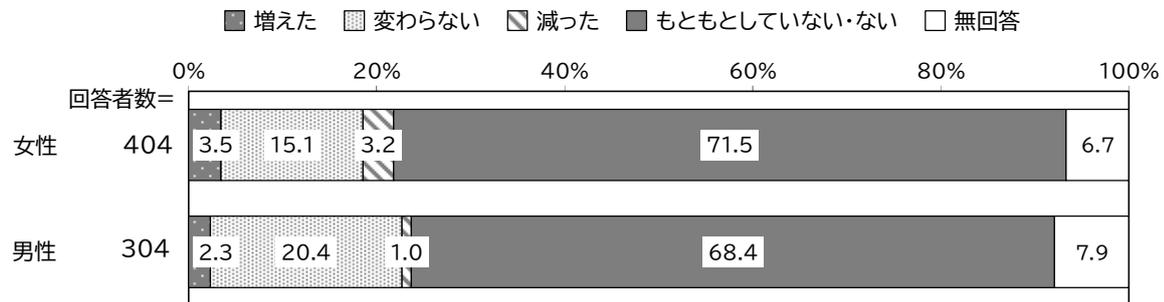
【性・職業別】



D 介護の時間

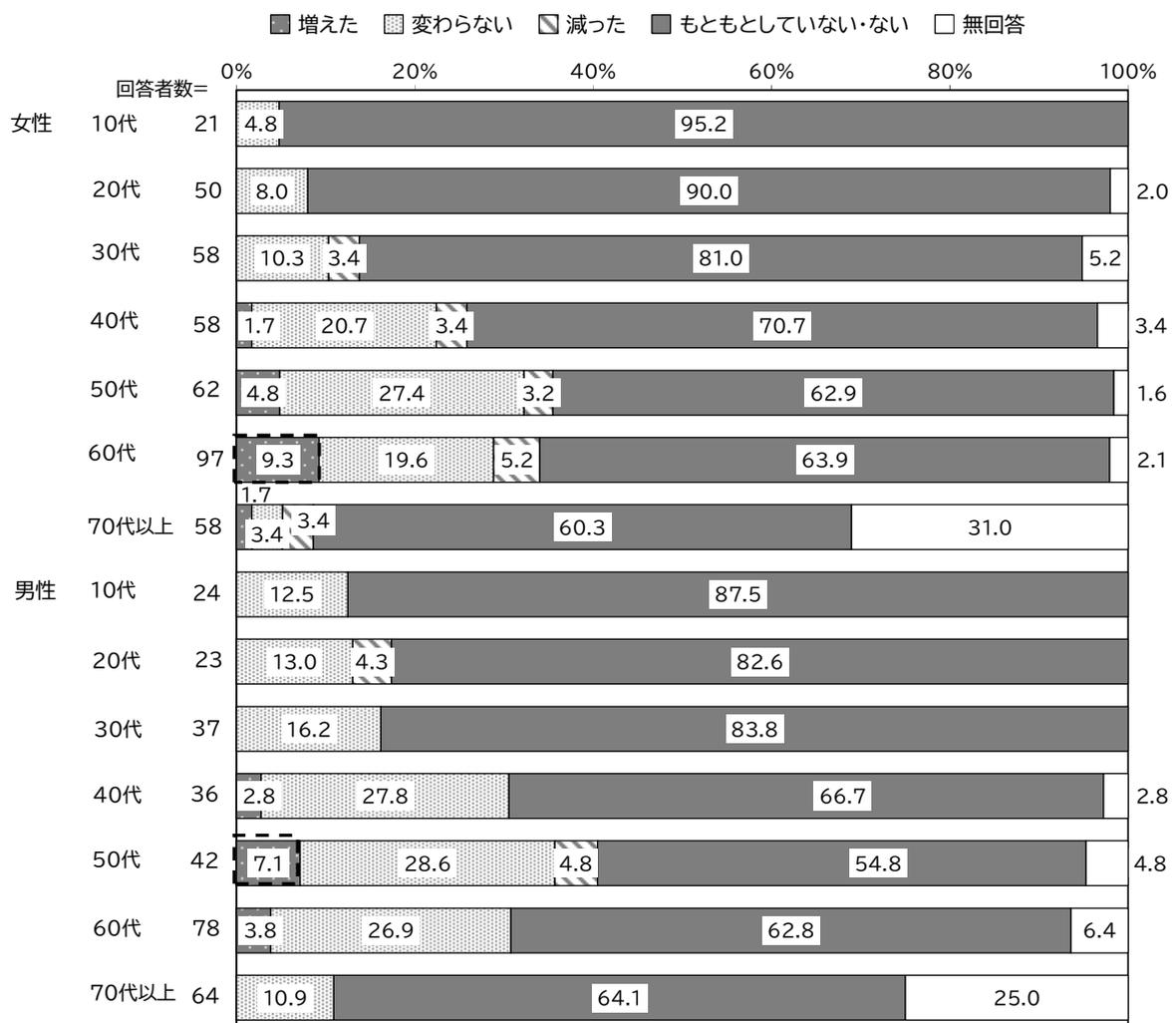
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



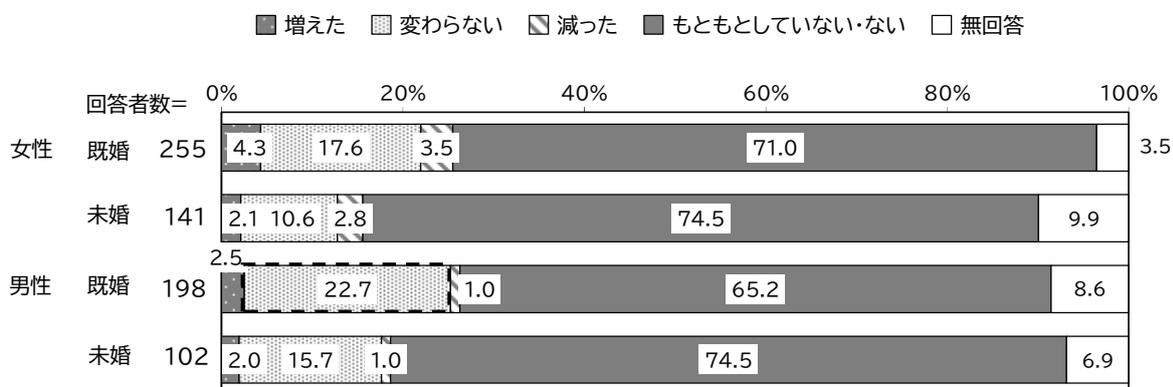
性・年代別でみると、他に比べ、女性60代、男性50代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



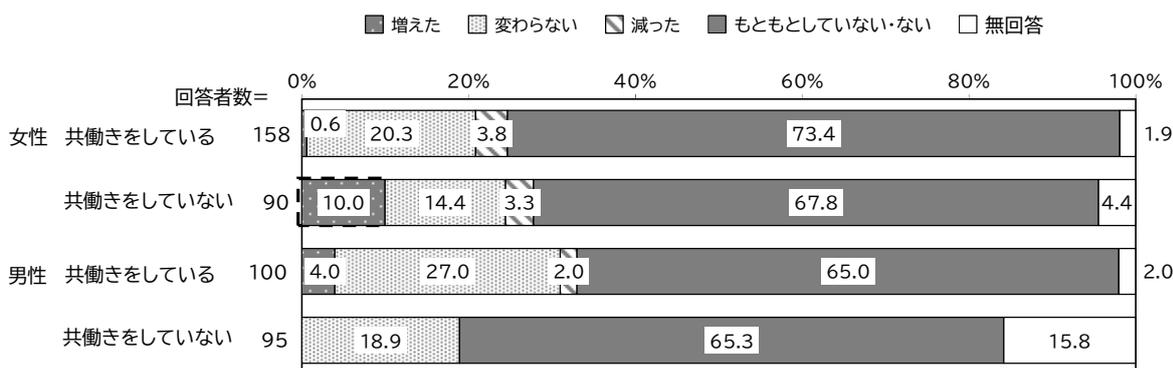
性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚男性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



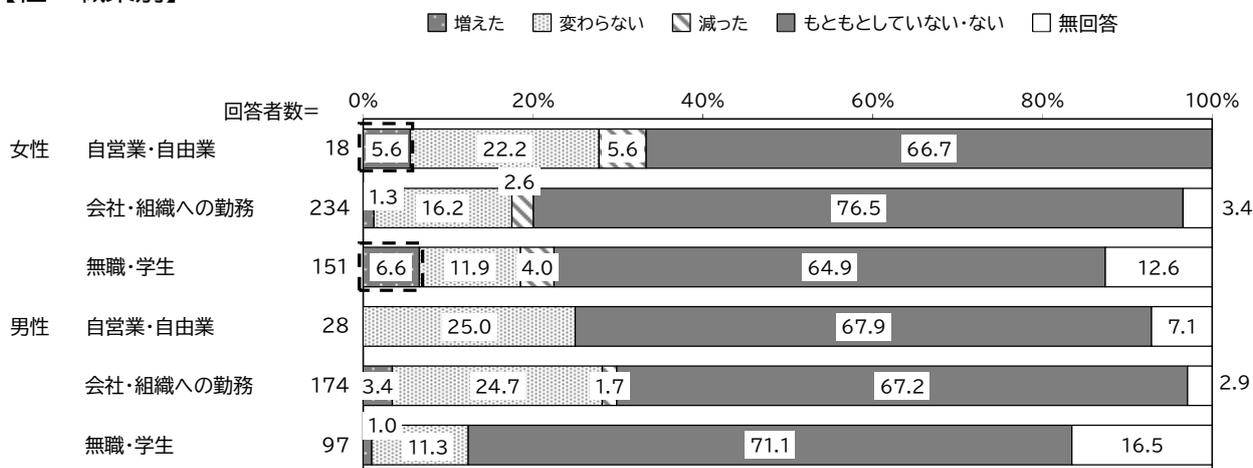
性・共働き別で見ると、共働きをしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別で見ると、自営業・自由業、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

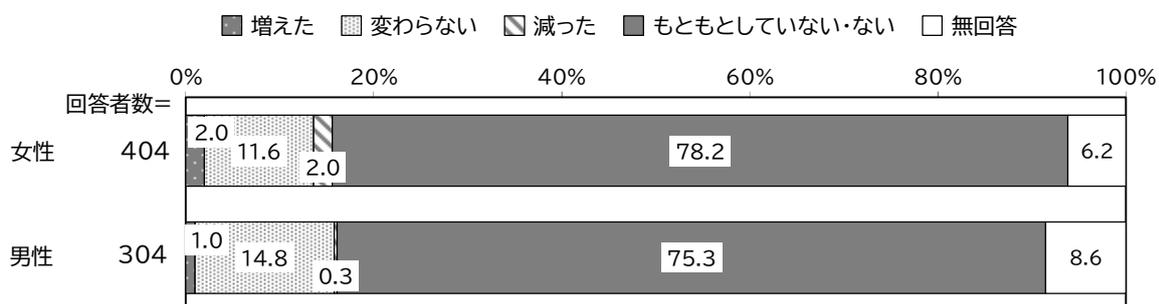
【性・職業別】



E 配偶者・パートナーからの暴力の不安感

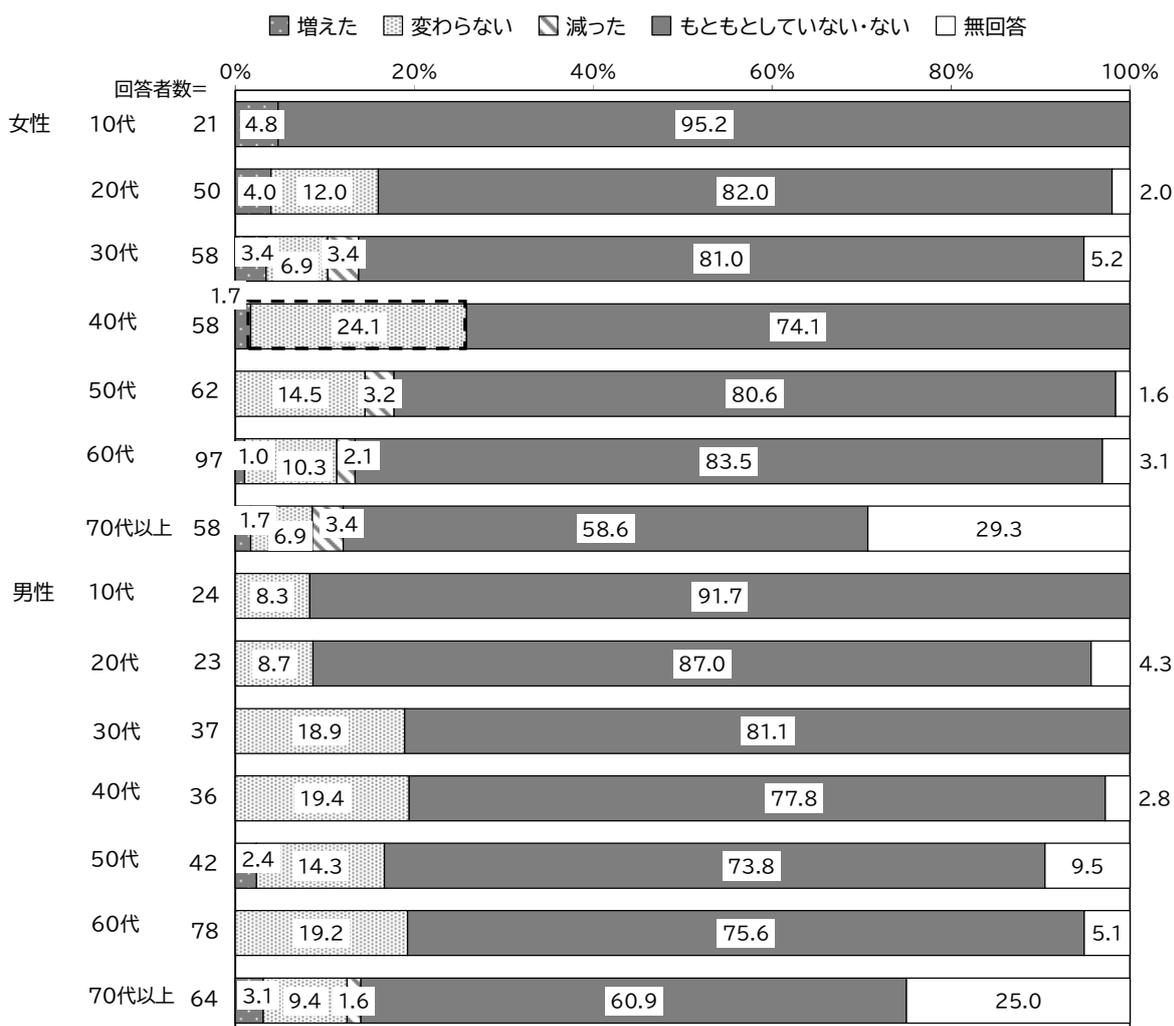
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



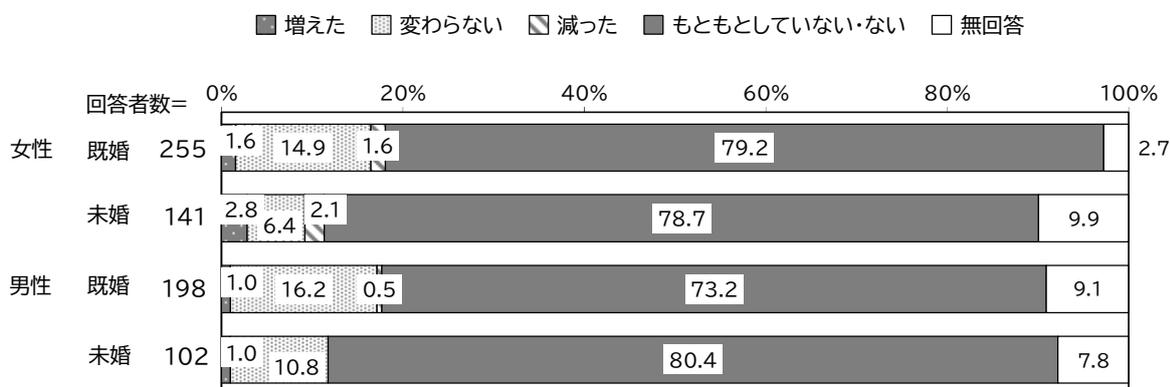
性・年代別でみると、他に比べ、女性40代で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



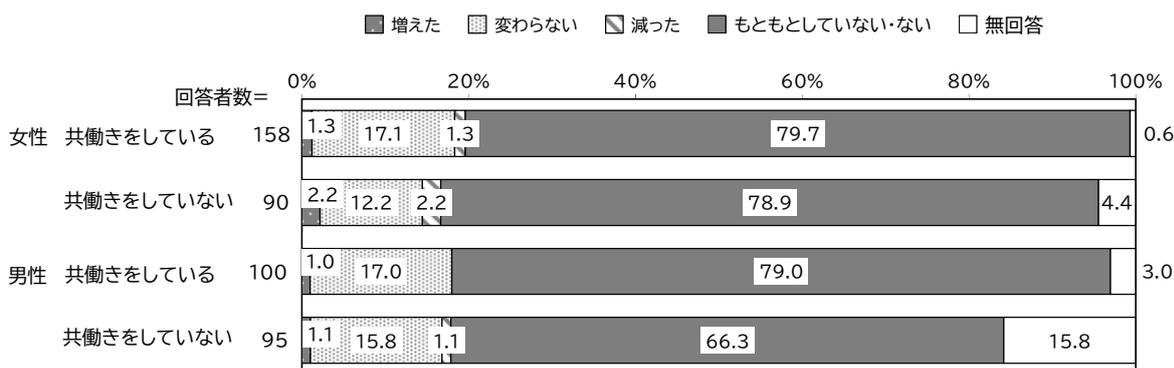
性・婚姻別でみると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



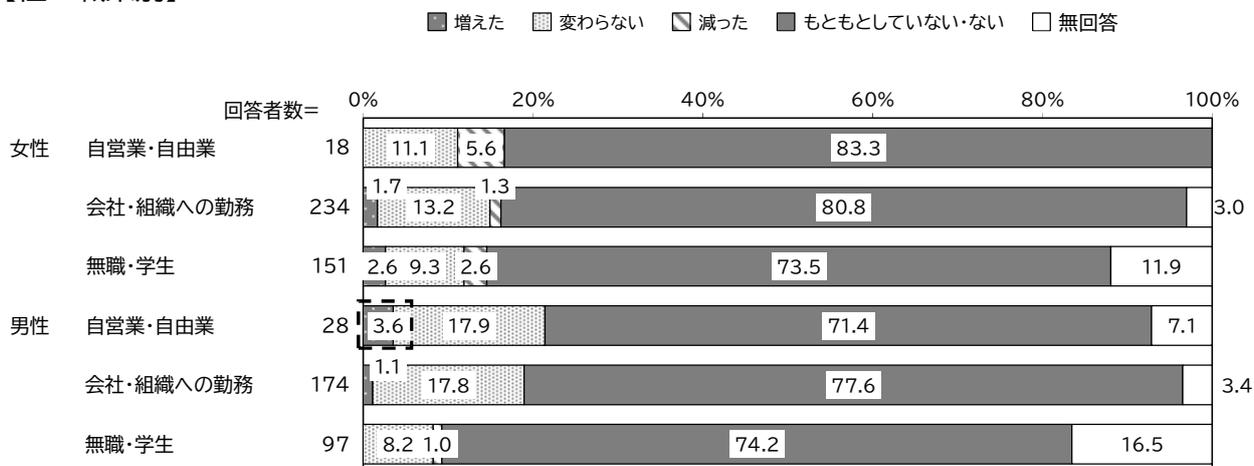
性・共働き別でみると、大きな差異はみられません。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の男性で「増えた」の割合が高くなっています。

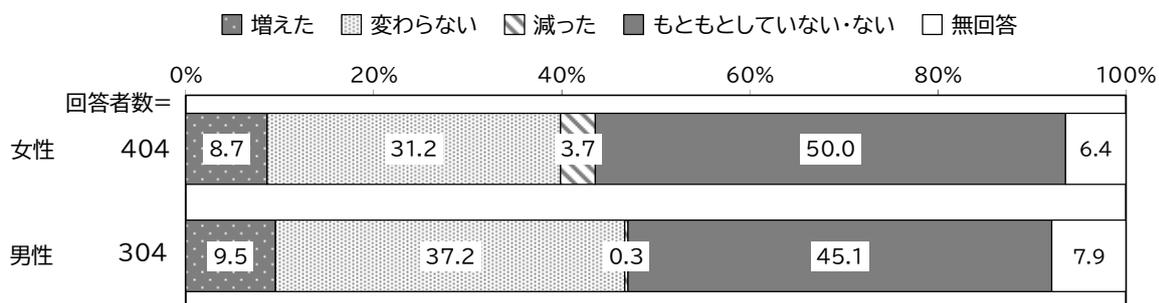
【性・職業別】



F 雇用（自営業の経営含む）の不安感

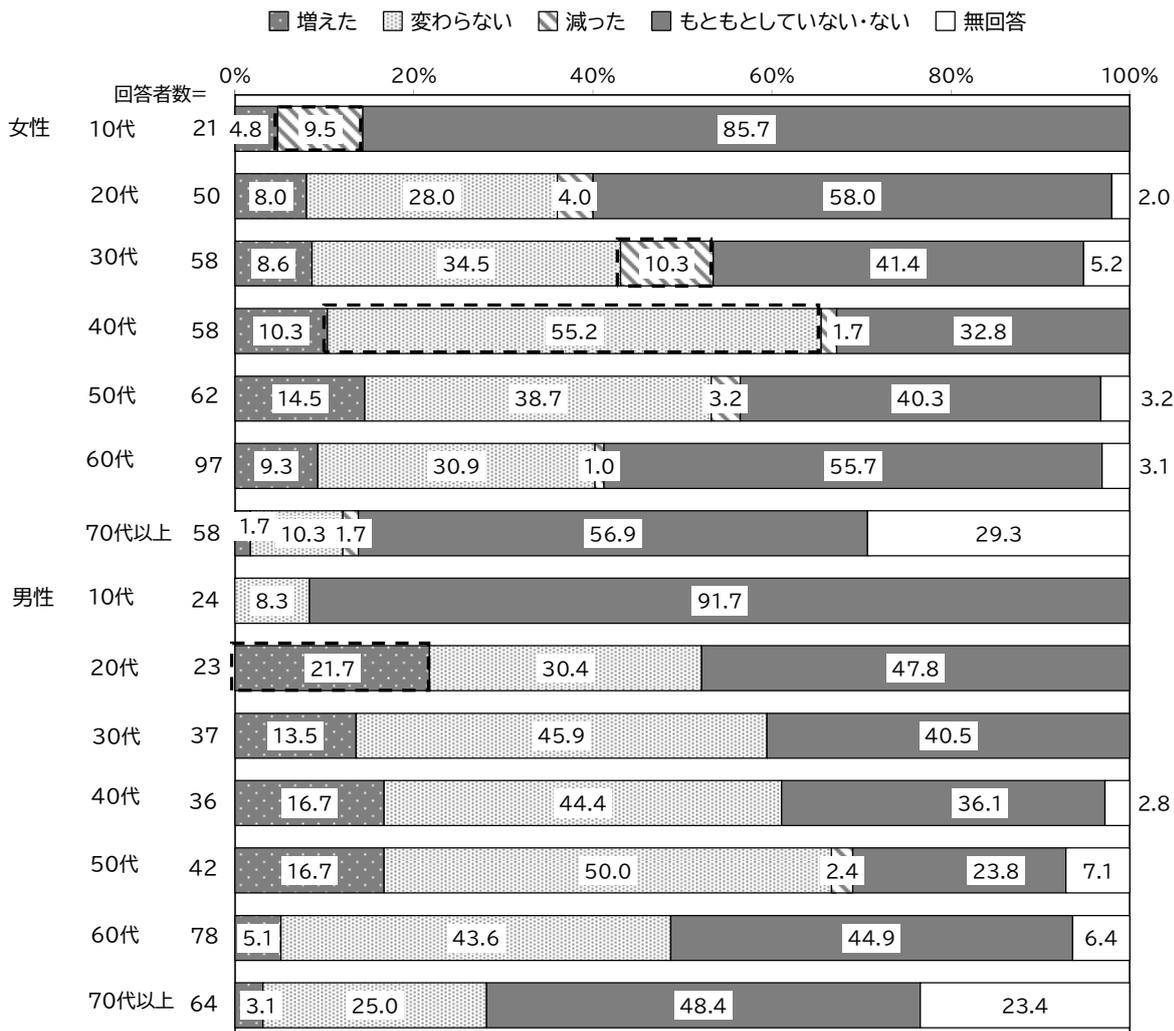
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



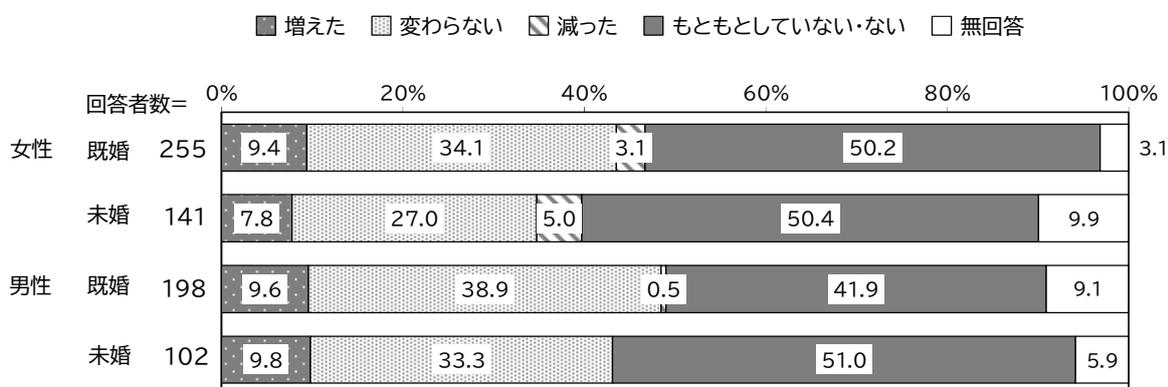
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代、30代で「減った」の割合が、女性40代で「変わらない」の割合が、男性20代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



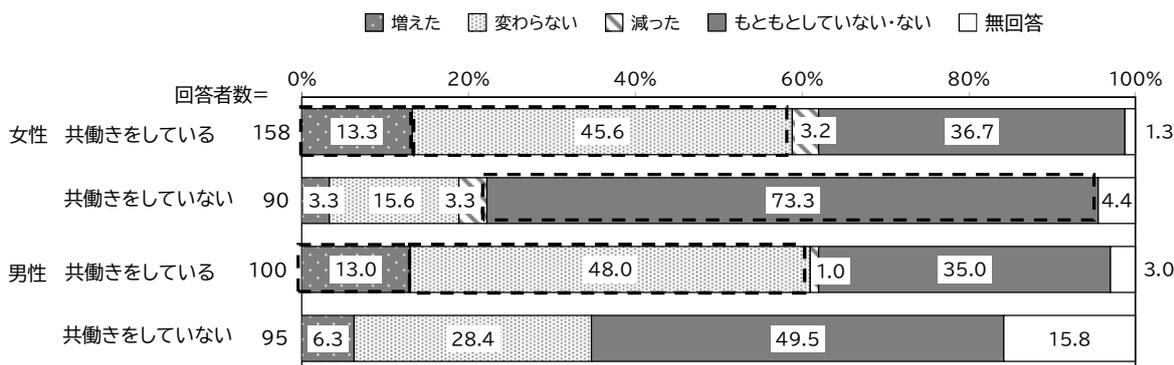
性・婚姻別でみると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



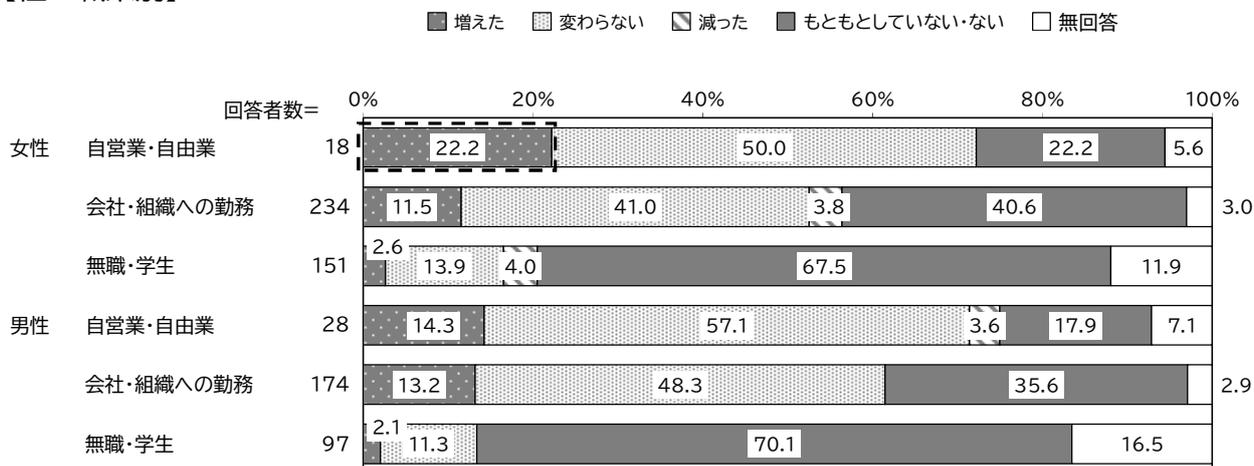
性・共働き別でみると、共働きしている男女で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。また、共働きしていない女性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

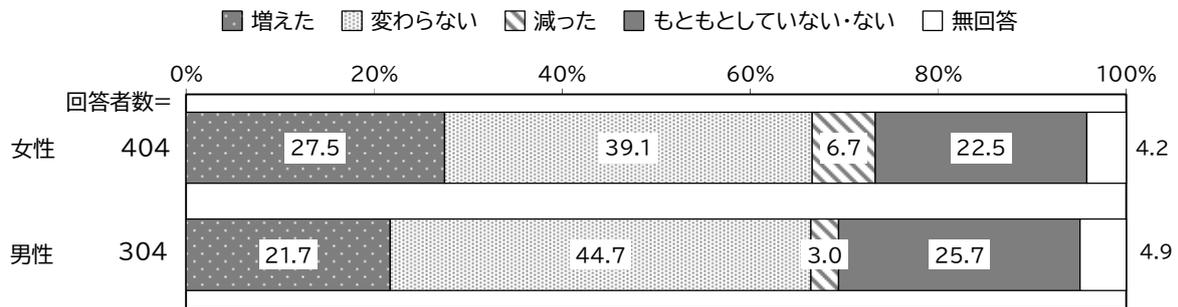
【性・職業別】



G ころや身体に関する健康面の不安感

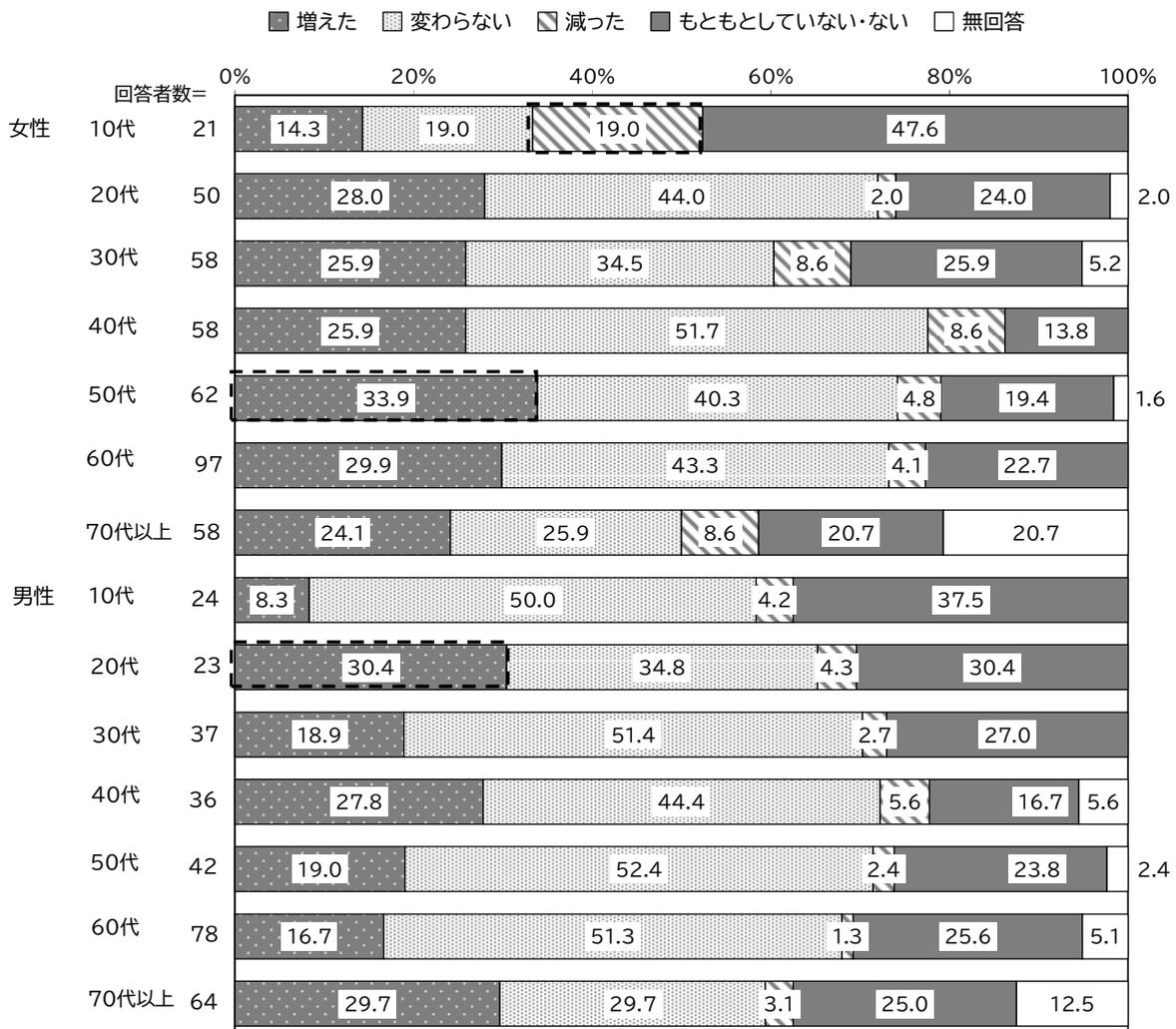
性別でみると、大きな差異はみられません。

【性別】



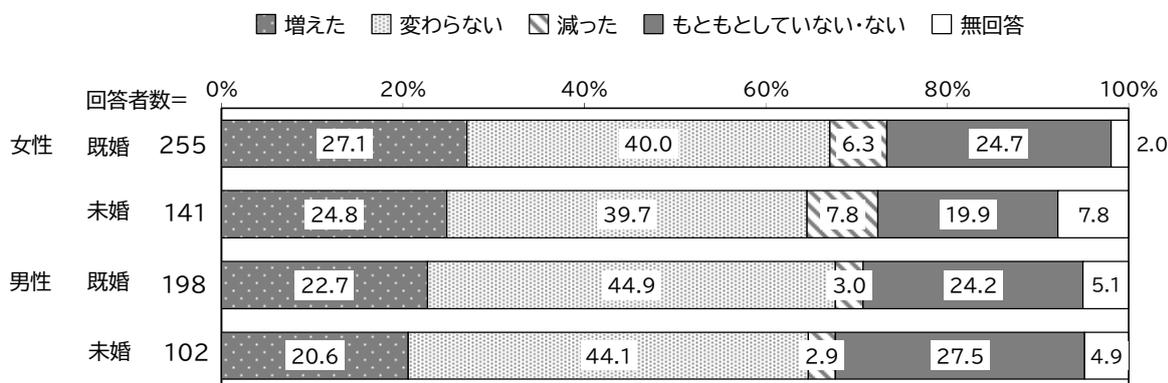
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代で「減った」の割合が、女性50代、男性20代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



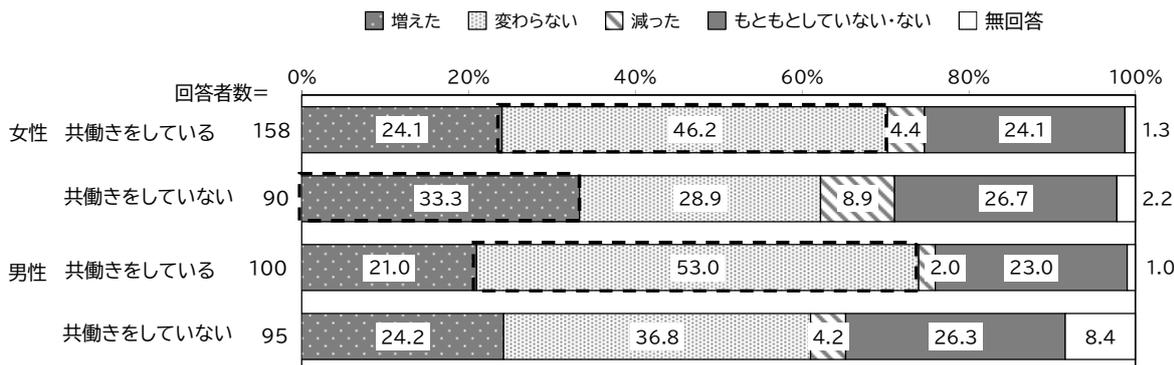
性・婚姻別でみると、大きな差異はみられません。

【性・婚姻別】



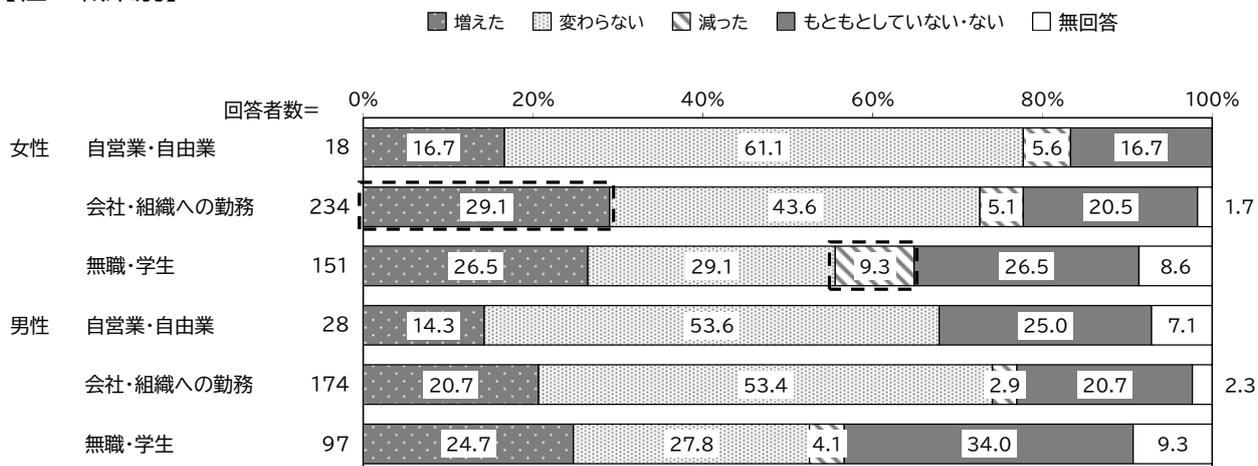
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしていない女性で「増えた」の割合が高くなっています。また、男女ともに共働きしているで「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、会社・組織へ勤務している女性で「増えた」の割合が、無職・学生の女性で「減った」の割合が高くなっています。

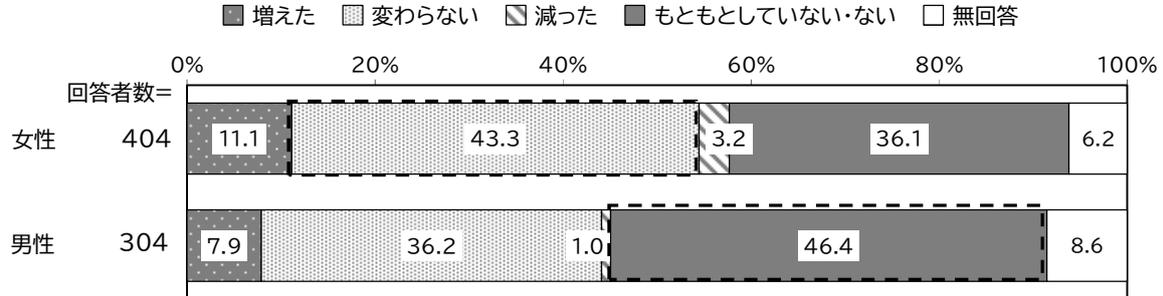
【性・職業別】



H 家事・育児・介護の不安感

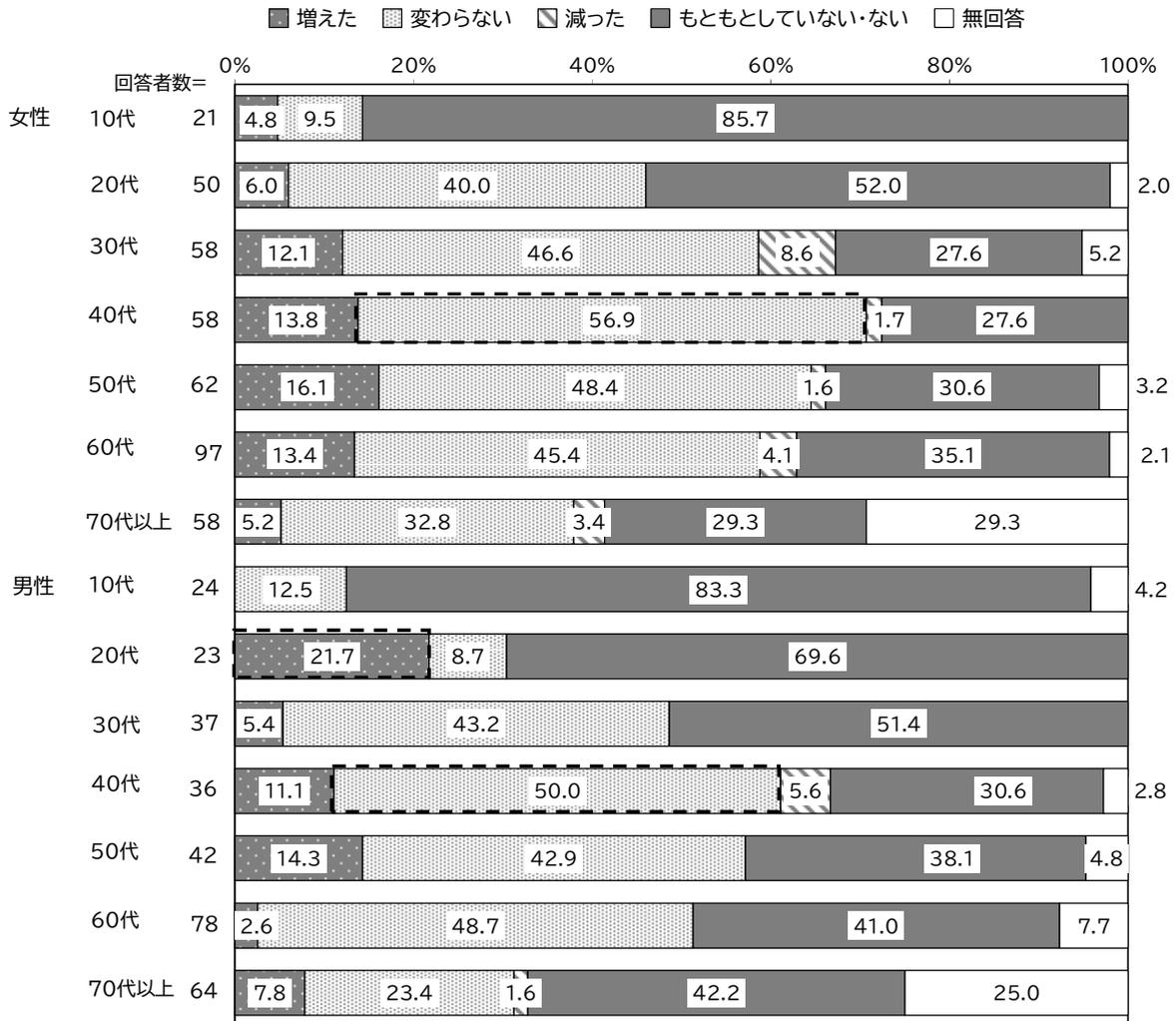
性別で見ると、男性に比べ、女性で「変わらない」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「もともととしていない・ない」の割合が高くなっています。

【性別】



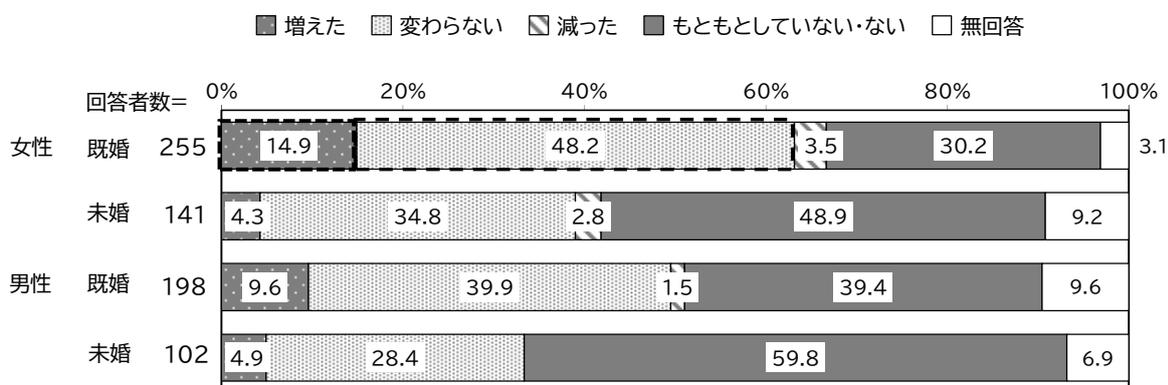
性・年代別で見ると、他に比べ、40代男女で「変わらない」の割合が、男性20代で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



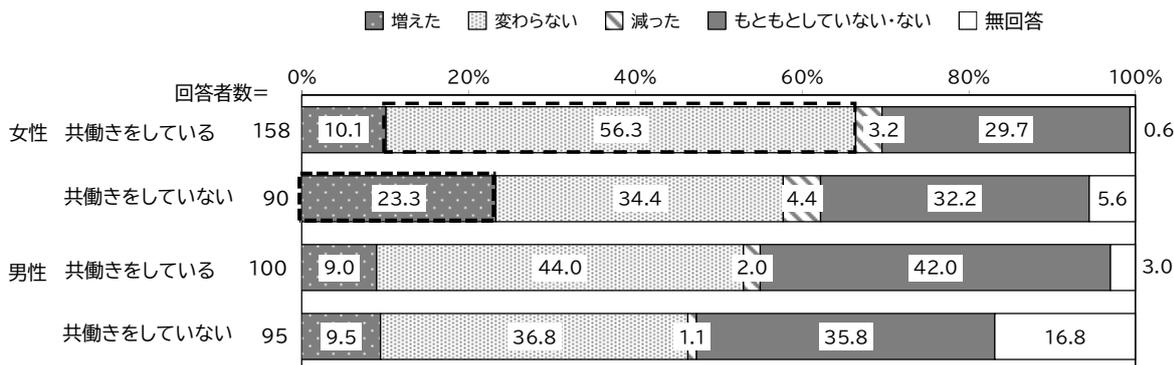
性・婚姻別でみると、既婚女性で「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



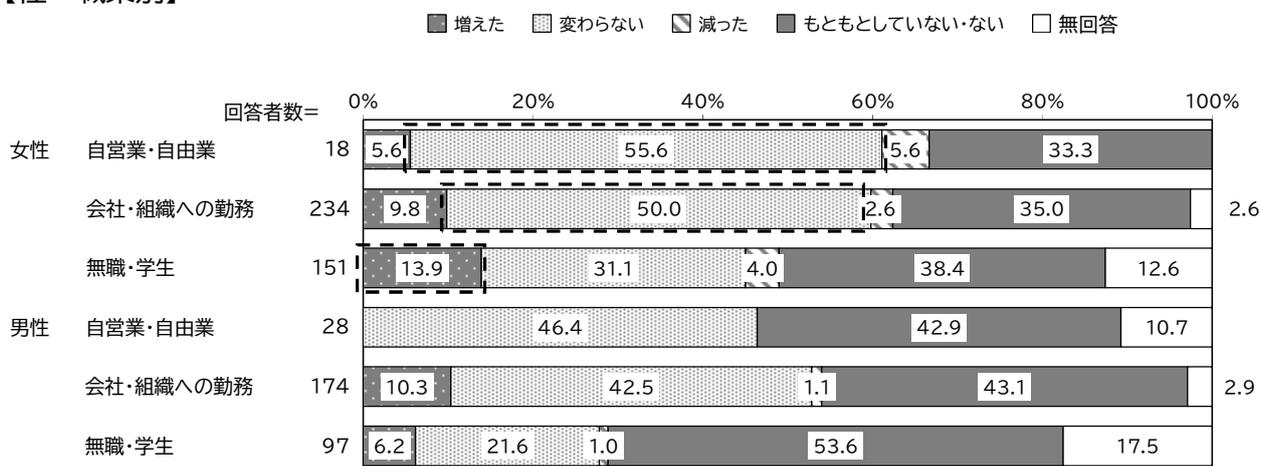
性・共働き別でみると、他に比べ、共働きしている女性で「増えた」の割合が、共働きしていない女性で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業、会社・組織へ勤務している女性で「変わらない」の割合が、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

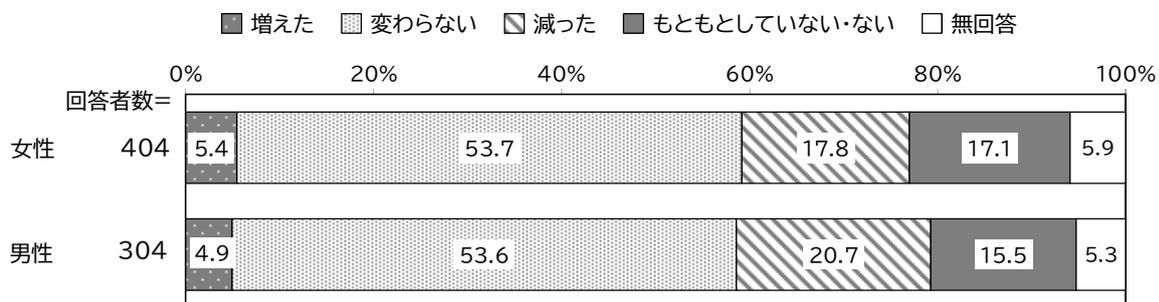
【性・職業別】



I 実際の収入の増減

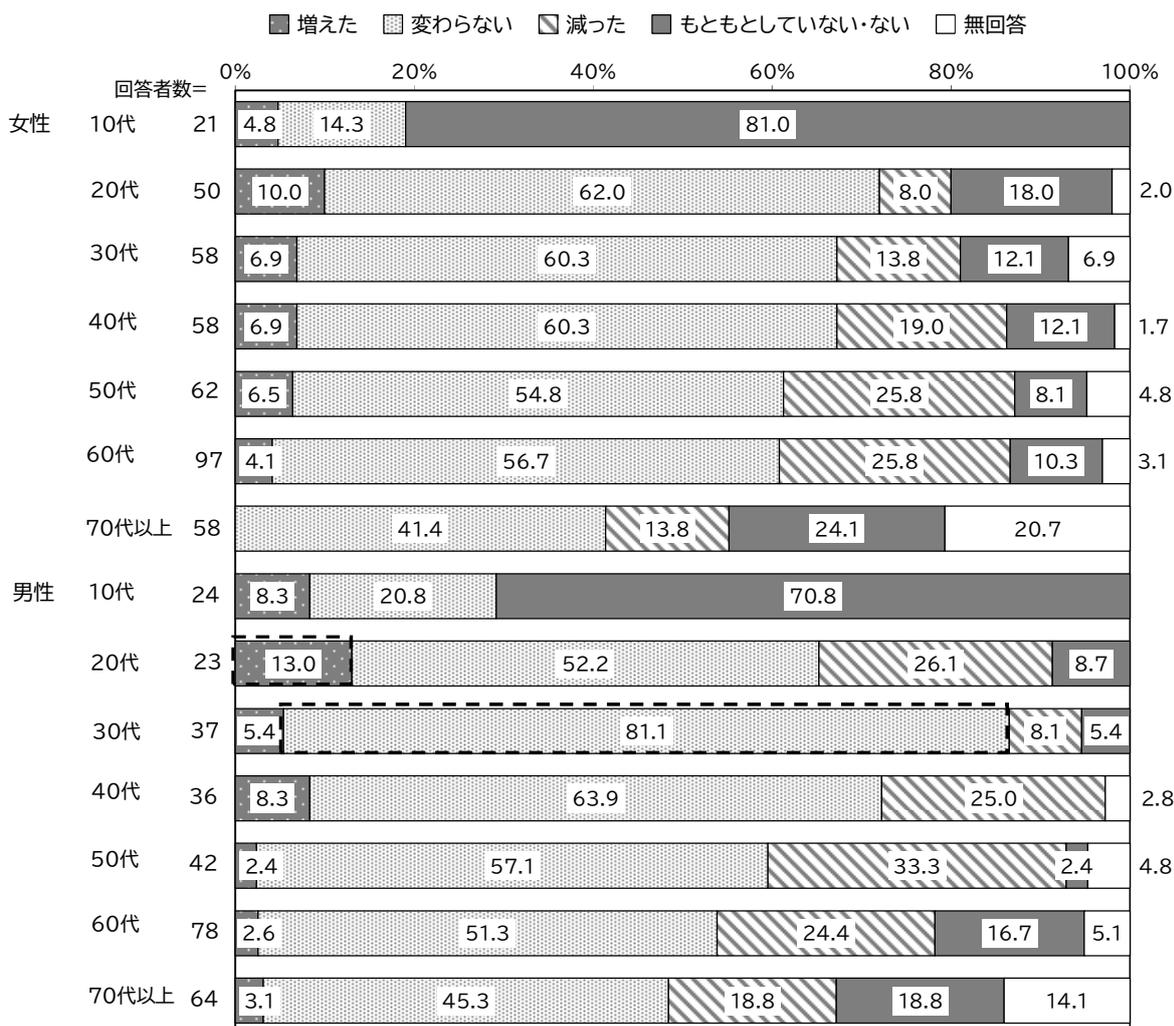
性別で見ると、大きな差異はみられません。

【性別】



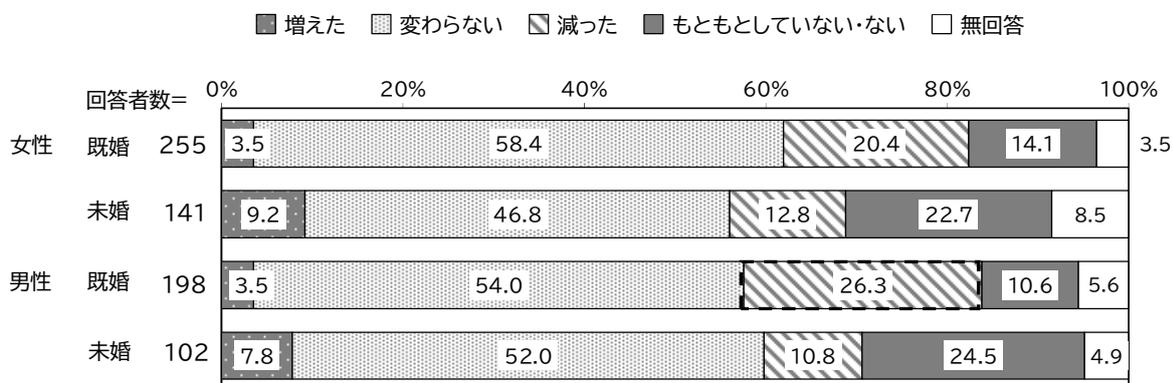
性・年代別で見ると、他に比べ、男性 20 代で「増えた」の割合が、男性 30 代で「変わらない」の割合が高くなっています。

【性・年代別】



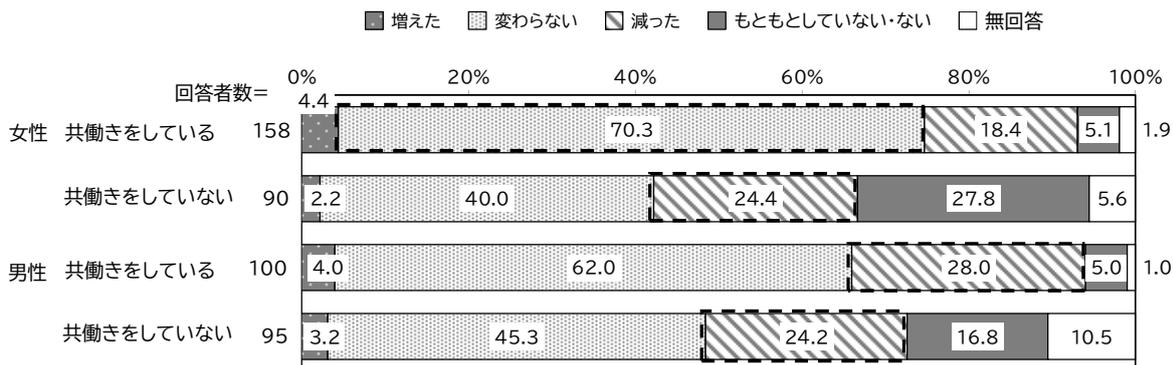
性・婚姻別でみると、既婚男性で「減った」の割合が高くなっています。

【性・婚姻別】



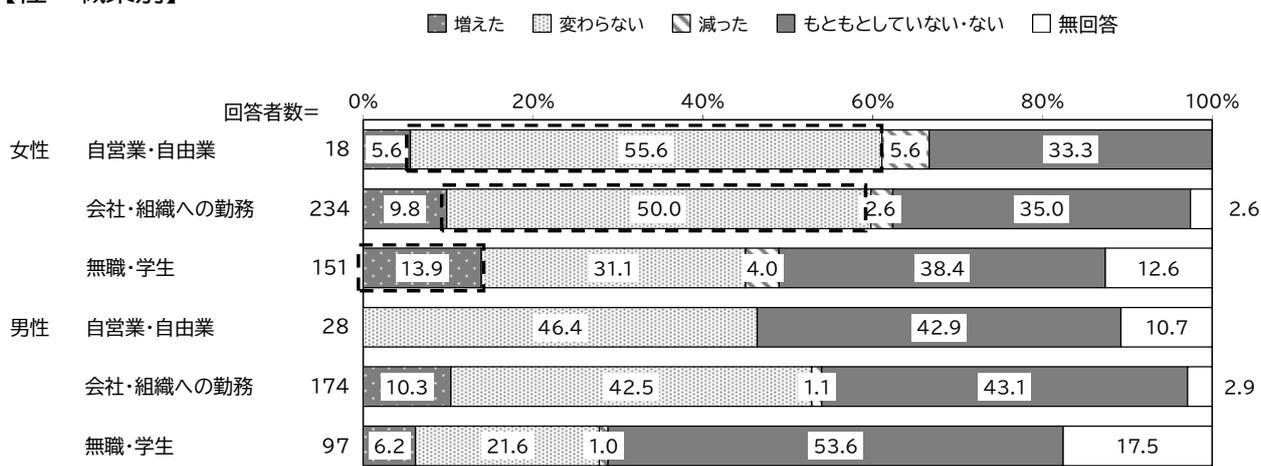
性・共働き別でみると、共働きをしている女性で「変わらない」の割合が、共働きをしていない男女、共働きをしている男性で「減った」の割合が高くなっています。

【性・共働き別】



性・職業別でみると、自営業・自由業、会社・組織へ勤務している女性で「変わらない」の割合が、無職・学生の女性で「増えた」の割合が高くなっています。

【性・職業別】



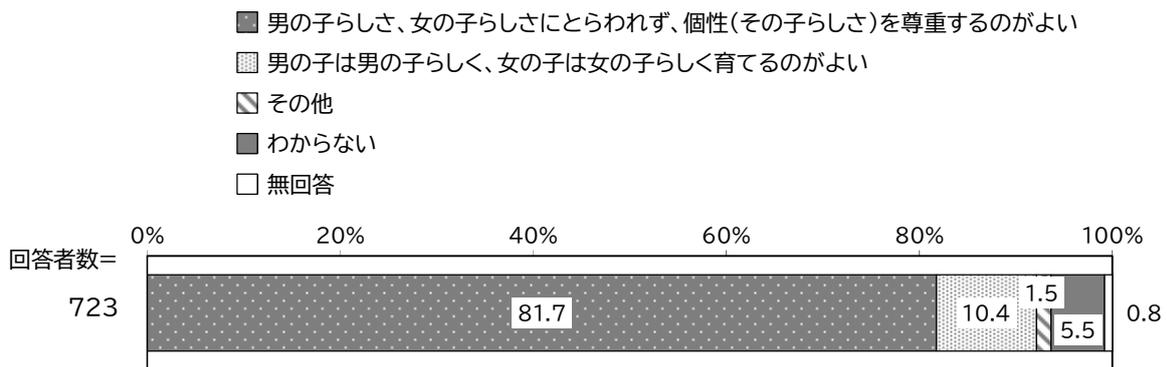
7 子どもへの男女共同参画教育について

(1) 子育てについての考え方

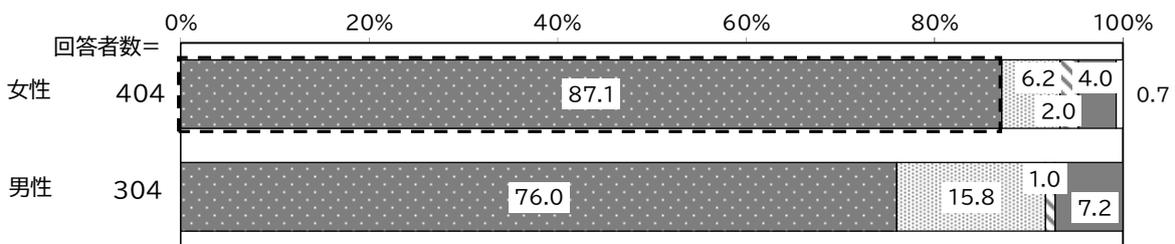
問16. 「子育ての方針について、どのように考えますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が81.7%と最も高い。

性別でみると、男性に比べ、女性で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が高い。

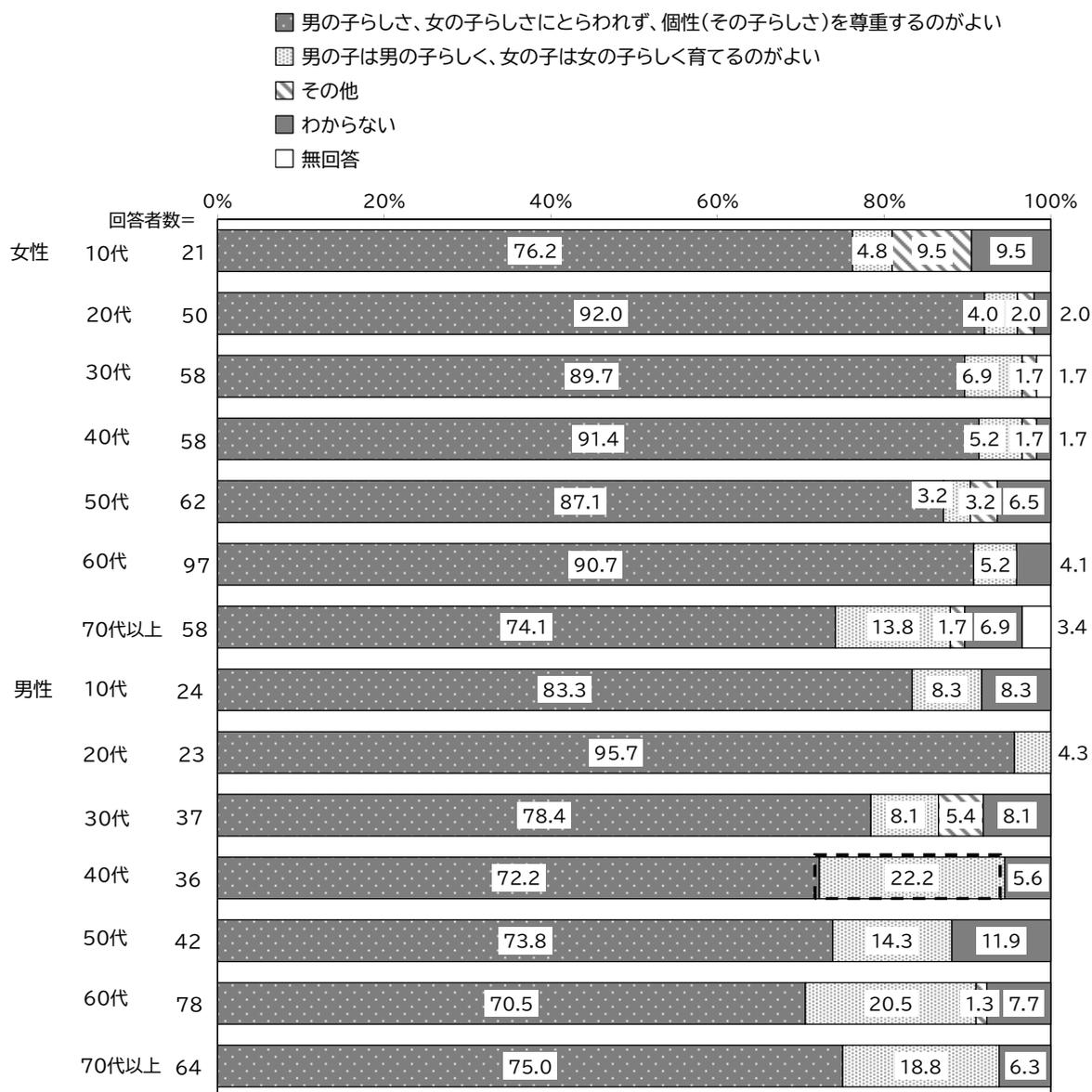


【性別】



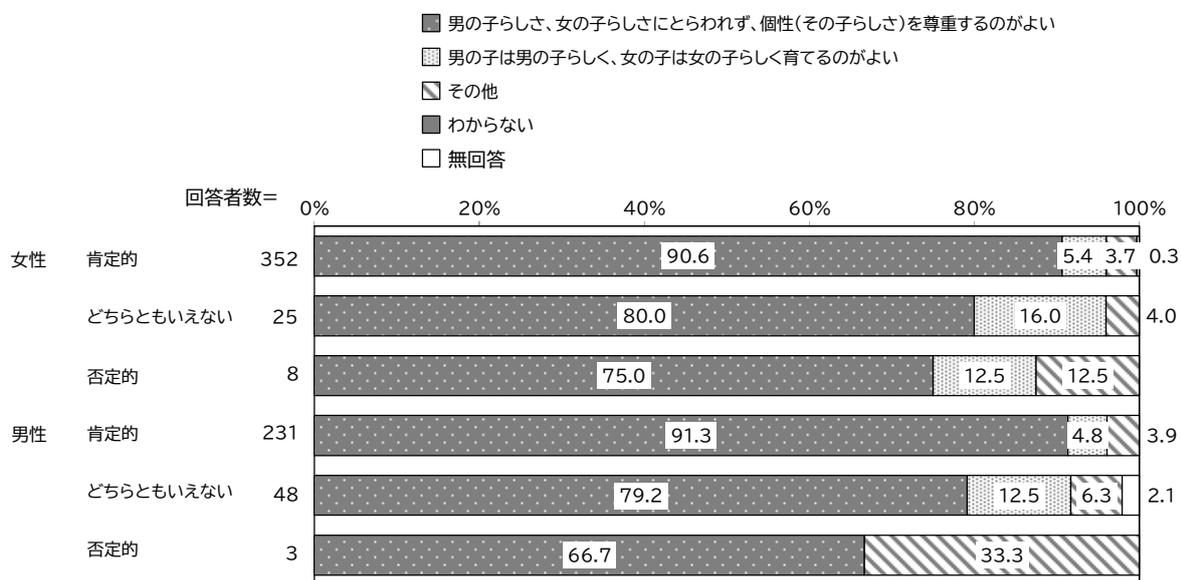
性・年代別でみると、他に比べ、男性 40 代で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」の割合が高い。

【性・年代別】



性別役割分担意識別でみると、大きな差異はみられません。

【性別役割分担意識別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和3年で「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい」の割合が最も高くなっている。

【経年比較】

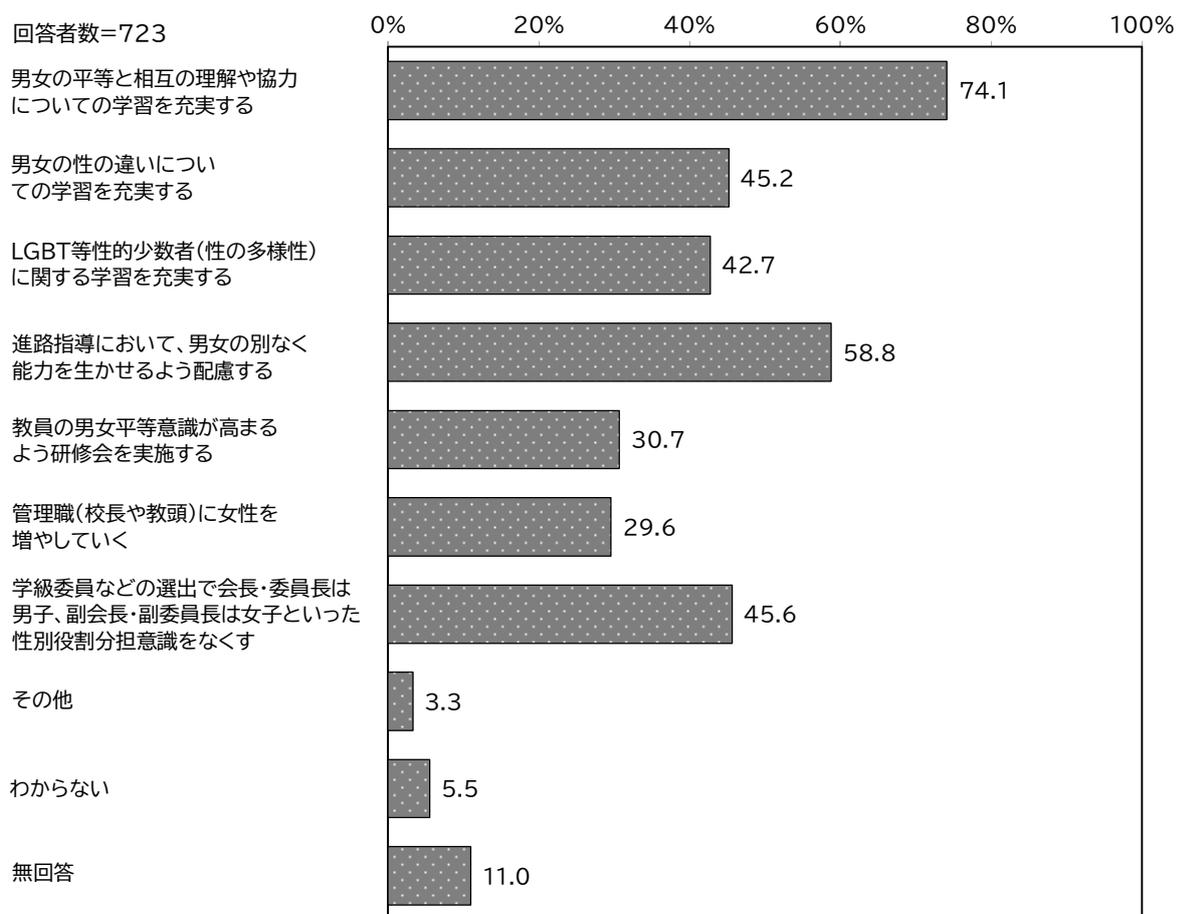
単位：％

| | 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重するのがよい | 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|---------------------------------|------------------------------|------------|------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 81.7 | 10.4 | 1.5 | 5.5 | 0.8 |
| 女性 | 87.1 | 6.2 | 2.0 | 4.0 | 0.7 |
| 男性 | 76.0 | 15.8 | 1.0 | 7.2 | 0.2 |
| 豊橋市（R03.8） | 84.3 | 9.7 | 1.3 | 4.2 | 0.6 |
| 女性 | 89.7 | 5.8 | 1.1 | 2.7 | 0.7 |
| 男性 | 78.5 | 14.1 | 1.5 | 5.6 | 0.3 |
| 豊橋市（R01.8） | 81.9 | 10.8 | 1.8 | 4.6 | 0.9 |
| 女性 | 88.2 | 6.0 | 1.4 | 4.1 | 0.2 |
| 男性 | 73.4 | 17.7 | 1.9 | 5.0 | 1.9 |
| 豊橋市（H28.8） | 76.1 | 14.4 | 3.3 | 4.4 | 1.7 |
| 女性 | 80.4 | 9.5 | 4.1 | 4.3 | 1.6 |
| 男性 | 70.1 | 21.3 | 2.4 | 4.8 | 1.4 |
| 豊橋市（H26.9） | 69.5 | 20.6 | 1.9 | 4.8 | 3.3 |
| 女性 | 73.0 | 15.8 | 2.5 | 4.8 | 4.0 |
| 男性 | 65.0 | 26.4 | 1.2 | 4.9 | 2.5 |
| 豊橋市（H23.6） | 68.6 | 22.6 | 3.3 | 3.8 | 1.7 |
| 女性 | 75.5 | 15.9 | 4.3 | 2.7 | 1.7 |
| 男性 | 60.3 | 30.9 | 2.2 | 5.4 | 1.3 |
| 豊橋市（H20.5） | 62.3 | 28.0 | 4.1 | 3.2 | 2.4 |
| 女性 | 67.7 | 21.7 | 5.8 | 3.4 | 1.4 |
| 男性 | 56.0 | 36.7 | 2.2 | 3.0 | 2.2 |
| 豊橋市（H17.5） | 55.9 | 33.9 | 3.3 | 3.3 | 3.6 |
| 女性 | 61.6 | 27.0 | 3.9 | 4.1 | 3.4 |
| 男性 | 48.4 | 43.5 | 2.3 | 2.3 | 3.5 |
| 豊橋市（H13.8） | 61.5 | 29.1 | 3.4 | 3.5 | 2.6 |
| 女性 | 66.9 | 24.3 | 3.9 | 2.8 | 2.2 |
| 男性 | 54.8 | 36.2 | 2.8 | 3.6 | 2.6 |

(2) 男女平等のための学校教育のあり方

問17. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が74.1%と最も高く、次いで「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が58.8%、「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が45.6%となっている。



性別でみると、男性に比べ、女性で「LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する」「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」「学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす」の割合が高い。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 男女の性の違いについての学習を充実する | LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する | 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する | 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する | 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく | 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|----------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|----------------------|---|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 76.2 | 46.3 | 50.0 | 63.4 | 32.4 | 31.9 | 48.0 | 3.2 | 5.0 | 0.7 |
| 男性 | 304 | 72.0 | 45.1 | 34.2 | 53.3 | 27.6 | 26.0 | 42.4 | 3.6 | 6.3 | 0.3 |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「男女の性の違いについての学習を充実する」の割合が、女性 40 代で「LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する」の割合が、男性 70 代以上で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 男女の性の違いについての学習を充実する | LGBT等性的少数者（性の多様性）に関する学習を充実する | 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する | 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する | 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく | 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|----------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|----------------------|---|-----|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 76.2 | 23.8 | 57.1 | 38.1 | 19.0 | 28.6 | 38.1 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |
| 20代 | 50 | 72.0 | 46.0 | 58.0 | 56.0 | 36.0 | 38.0 | 32.0 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| 30代 | 58 | 75.9 | 56.9 | 51.7 | 67.2 | 34.5 | 36.2 | 46.6 | 6.9 | 0.0 | 1.7 |
| 40代 | 58 | 84.5 | 43.1 | 60.3 | 62.1 | 25.9 | 24.1 | 51.7 | 5.2 | 5.2 | 0.0 |
| 50代 | 62 | 69.4 | 43.5 | 51.6 | 66.1 | 30.6 | 25.8 | 45.2 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |
| 60代 | 97 | 78.4 | 45.4 | 45.4 | 66.0 | 35.1 | 34.0 | 54.6 | 0.0 | 6.2 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 75.9 | 51.7 | 34.5 | 69.0 | 36.2 | 34.5 | 55.2 | 1.7 | 10.3 | 3.4 |
| 男性 10代 | 24 | 50.0 | 54.2 | 25.0 | 45.8 | 25.0 | 12.5 | 37.5 | 8.3 | 12.5 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 69.6 | 47.8 | 30.4 | 56.5 | 30.4 | 21.7 | 26.1 | 8.7 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 73.0 | 51.4 | 29.7 | 37.8 | 21.6 | 21.6 | 37.8 | 8.1 | 8.1 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 75.0 | 55.6 | 33.3 | 52.8 | 30.6 | 27.8 | 38.9 | 2.8 | 5.6 | 0.0 |
| 50代 | 42 | 59.5 | 38.1 | 42.9 | 52.4 | 19.0 | 16.7 | 26.2 | 4.8 | 7.1 | 0.0 |
| 60代 | 78 | 75.6 | 34.6 | 29.5 | 48.7 | 29.5 | 28.2 | 44.9 | 1.3 | 7.7 | 0.0 |
| 70代以上 | 64 | 82.8 | 48.4 | 42.2 | 70.3 | 32.8 | 37.5 | 62.5 | 0.0 | 3.1 | 1.6 |

性・婚姻別で見ると、他に比べ、既婚女性で「進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 男女の性の違いについての学習を充実する | LGBT等性的少数者(性の多様性)に関する学習を充実する | 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する | 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する | 管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく | 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|---------|----------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|----------------------|---|-----|-------|-----|
| 女性 既婚 | 255 | 76.5 | 49.8 | 48.6 | 67.8 | 29.8 | 30.2 | 49.8 | 3.1 | 3.5 | 0.0 |
| 女性 未婚 | 141 | 75.9 | 38.3 | 51.8 | 55.3 | 34.8 | 34.0 | 42.6 | 3.5 | 7.8 | 2.1 |
| 男性 既婚 | 198 | 73.2 | 45.5 | 39.4 | 58.1 | 29.3 | 28.8 | 42.4 | 2.5 | 5.6 | 0.5 |
| 男性 未婚 | 102 | 68.6 | 45.1 | 24.5 | 45.1 | 25.5 | 19.6 | 41.2 | 5.9 | 7.8 | 0.0 |

豊橋市の令和3年の調査との比較でみると、令和5年で「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」「男女の性の違いについての学習を充実する」「LGBT等性的少数者(性の多様性)に関する学習を充実する」の割合が高くなっている。

【経年比較】

単位：％

| | 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 男女の性の違いについての学習を充実する | LGBT等性的少数者(性の多様性)に関する学習を充実する | 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する | 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する | 管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく | 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|----------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|----------------------|---|-----|-------|------|
| 豊橋市 (R05.8) | 74.1 | 45.2 | 42.7 | 58.8 | 30.7 | 29.6 | 45.6 | 3.3 | 5.5 | 11.0 |
| 女性 | 76.2 | 46.3 | 50.0 | 63.4 | 32.4 | 31.9 | 48.0 | 3.2 | 5.0 | 0.7 |
| 男性 | 72.0 | 45.1 | 34.2 | 53.3 | 27.6 | 26.0 | 42.4 | 3.6 | 6.3 | 0.3 |
| 豊橋市 (R03.8) | 73.4 | 37.8 | 41.0 | 64.4 | 34.1 | 30.6 | 49.5 | 3.0 | 4.5 | 0.7 |
| 女性 | 73.8 | 35.4 | 45.3 | 67.3 | 32.7 | 32.3 | 53.6 | 2.5 | 4.7 | 1.1 |
| 男性 | 73.1 | 40.5 | 35.9 | 61.0 | 35.6 | 28.7 | 44.6 | 3.6 | 4.4 | 0.3 |

単位：％

| | 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 男女の性の違いについての学習を充実する | 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する | 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する | 管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく | 出席簿の順番など、男女を分ける習慣をなくす | 会長は男子、副会長は女子といった性別役割分担意識をなくす | その他 | わからない | 無回答 |
|-------------|----------------------------|---------------------|------------------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------------|-----|-------|-----|
| 豊橋市 (R01.8) | 64.5 | 55.5 | 25.9 | 24.6 | — | — | 44.9 | 2.9 | 5.1 | 1.9 |
| 女性 | 63.5 | 59.6 | 24.3 | 24.7 | — | — | 45.4 | 1.9 | 4.5 | 2.1 |
| 男性 | 65.4 | 50.7 | 28.8 | 24.1 | — | — | 44.0 | 3.0 | 5.8 | 1.9 |
| 豊橋市 (H28.8) | 62.5 | 56.0 | 25.5 | 23.3 | — | — | 44.5 | 3.7 | 5.9 | 1.4 |
| 女性 | 62.3 | 57.5 | 23.6 | 25.4 | — | — | 44.7 | 2.5 | 6.5 | 0.9 |
| 男性 | 62.9 | 54.1 | 27.8 | 20.8 | — | — | 44.3 | 5.5 | 5.0 | 1.7 |
| 豊橋市 (H26.9) | 57.7 | 48.7 | 13.7 | 14.5 | 5.5 | 5.5 | 28.7 | 2.4 | 6.5 | 2.9 |
| 女性 | 59.5 | 50.6 | 12.6 | 12.8 | 4.8 | 4.8 | 27.7 | 1.7 | 7.0 | 3.5 |
| 男性 | 55.7 | 46.8 | 15.1 | 16.1 | 6.4 | 6.4 | 29.1 | 3.3 | 6.0 | 2.3 |
| 豊橋市 (H23.6) | 53.3 | 43.8 | 15.4 | 16.2 | 7.8 | 7.8 | 27.5 | 4.3 | 5.6 | 3.1 |
| 女性 | 55.1 | 46.4 | 12.9 | 14.8 | 6.1 | 6.1 | 29.7 | 3.2 | 6.8 | 3.0 |
| 男性 | 51.0 | 40.2 | 18.1 | 18.4 | 10.2 | 10.2 | 25.3 | 5.8 | 4.3 | 2.6 |
| 豊橋市 (H20.5) | 51.0 | 47.8 | 15.3 | 20.5 | 6.7 | 6.7 | 36.1 | 3.5 | — | 2.9 |
| 女性 | 51.8 | 49.1 | 14.8 | 21.4 | 5.9 | 5.9 | 34.6 | 2.5 | — | 2.3 |
| 男性 | 50.6 | 46.0 | 16.7 | 18.8 | 7.7 | 7.7 | 36.9 | 5.0 | — | 3.6 |
| 豊橋市 (H17.5) | 51.5 | 54.3 | 12.0 | 18.2 | 5.9 | 5.9 | 31.9 | 2.6 | — | 4.3 |
| 女性 | 53.9 | 54.9 | 10.7 | 20.0 | 5.4 | 5.4 | 29.3 | 2.1 | — | 4.2 |
| 男性 | 47.7 | 53.0 | 14.3 | 16.4 | 6.8 | 6.8 | 36.0 | 3.5 | — | 4.2 |
| 豊橋市 (H13.8) | 51.0 | 57.6 | 13.3 | 15.7 | 6.5 | 6.5 | 31.0 | 2.1 | — | 3.8 |
| 女性 | 52.7 | 58.8 | 12.2 | 17.8 | 7.1 | 7.1 | 30.8 | 1.4 | — | 3.2 |
| 男性 | 48.8 | 55.8 | 15.2 | 12.7 | 5.9 | 5.9 | 31.0 | 3.1 | — | 4.1 |

※令和元年調査、平成28年調査では、過去の調査と回答できる個数が異なる。

8 配偶者等からの暴力について

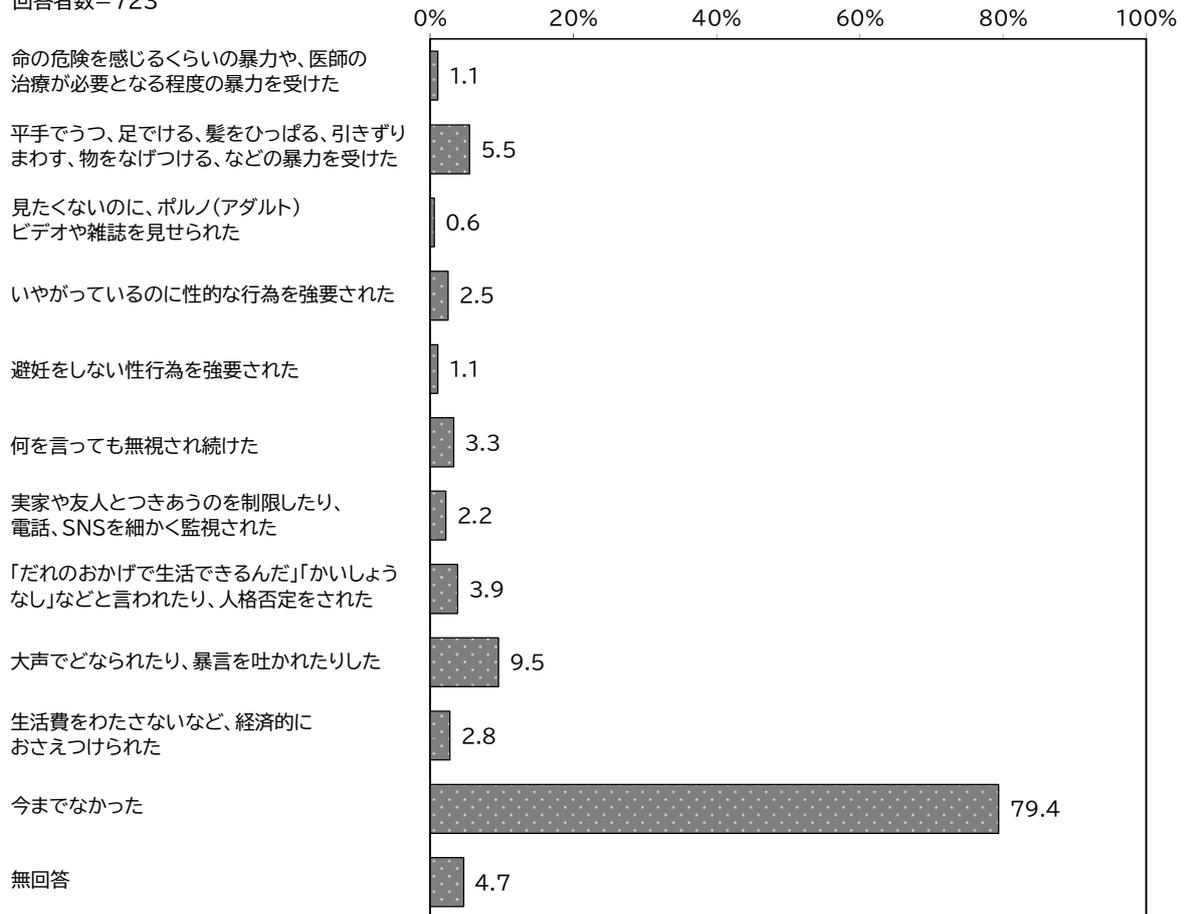
(1) 配偶者や交際相手から暴力を受けた経験

問18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為(DV)を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

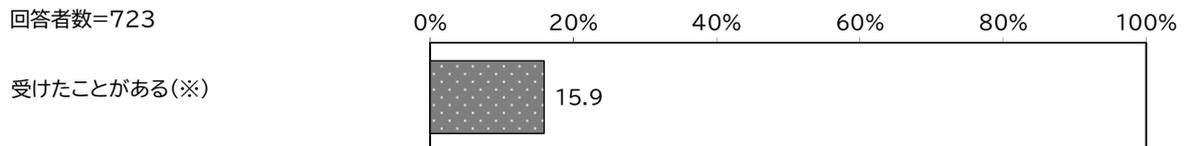
「今までなかった」の割合が79.4%と最も高い。

全体から「今までなかった」と無回答を除いた“何らかの暴力を受けたことがある(※)”人の割合は15.9%となっている。

回答者数=723



回答者数=723



※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた」「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われたり、人格否定をされた」「大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした」の割合が、女性に比べ、男性で「今までなかった」の割合が高い。また、男性に比べ、女性で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”割合が高く、23.0%となっている。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 命の危険を感じるくらい の暴力を受けた | 平手でうつ、足でける、 髪をひっぱる、引きずりまわ す、物をなげつける、など の暴力を受けた | 見たくないのに、ポルノ (アダルト)ビデオや雑誌を 見せられた | いやがっているのに性的な 行為を強要された | 避妊をしない性行為を強 要された | 何を言っても無視され続 けた | 実家や友人とつきあうの を制限したり、電話、SNS を細かく監視された | 「だれのおかげで生活でき るんだ」「かいしょうなし」 などと言われたり、人格 否定をされた | 大声でどなられたり、暴 言を吐かれたりした | 生活費をわたさないなど、 経済的におさえつけられ た | 今までなかった | 無回答 | 何らかの暴力を受けたこ とがある(※) |
|----|---------|------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------|---------------------|-------------------|---|--|--------------------------|----------------------------------|---------|-----|------------------------|
| 女性 | 404 | 1.2 | 7.9 | 1.0 | 4.5 | 2.0 | 3.2 | 3.2 | 6.2 | 14.1 | 4.7 | 74.0 | 3.0 | 23.0 |
| 男性 | 304 | 1.0 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 0.7 | 1.0 | 3.9 | 0.3 | 86.8 | 6.3 | 6.9 |

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 代で「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われたり、人格否定をされた」の割合が、女性 50 代で「平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 命の危険を感じるくらいの暴力や、医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた | 平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた | 見たくないのに、ポルノ(アダルト)ビデオや雑誌を見せられた | いやがっているのに性的な行為を強要された | 避妊をしない性行為を強要された | 何を言っても無視され続けた | 細かく監視された | 実家や友人とつきあうのを制限したり、電話、SNSを細かく監視された | 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われたり、人格否定をされた | 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした | 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた | 今までなかった | 無回答 | 何らかの暴力を受けたことがある(※) |
|--------|---------|--------------------------------------|---|-------------------------------|----------------------|-----------------|---------------|----------|-----------------------------------|--|----------------------|--------------------------|---------|------|--------------------|
| 女性 10代 | 21 | 0.0 | 4.8 | 0.0 | 9.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | 85.7 | 0.0 | 14.3 | |
| 20代 | 50 | 0.0 | 4.0 | 2.0 | 2.0 | 6.0 | 0.0 | 4.0 | 0.0 | 6.0 | 2.0 | 84.0 | 2.0 | 14.0 | |
| 30代 | 58 | 0.0 | 6.9 | 0.0 | 5.2 | 1.7 | 3.4 | 1.7 | 5.2 | 8.6 | 5.2 | 81.0 | 3.4 | 15.5 | |
| 40代 | 58 | 0.0 | 6.9 | 1.7 | 3.4 | 1.7 | 6.9 | 6.9 | 12.1 | 19.0 | 5.2 | 70.7 | 0.0 | 29.3 | |
| 50代 | 62 | 3.2 | 12.9 | 1.6 | 9.7 | 1.6 | 6.5 | 1.6 | 4.8 | 19.4 | 4.8 | 62.9 | 3.2 | 33.9 | |
| 60代 | 97 | 2.1 | 10.3 | 1.0 | 3.1 | 0.0 | 2.1 | 3.1 | 9.3 | 17.5 | 9.3 | 72.2 | 2.1 | 25.8 | |
| 70代以上 | 58 | 1.7 | 5.2 | 0.0 | 1.7 | 3.4 | 1.7 | 3.4 | 3.4 | 13.8 | 0.0 | 72.4 | 8.6 | 19.0 | |
| 男性 10代 | 24 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 91.7 | 4.2 | 4.2 | |
| 20代 | 23 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 30代 | 37 | 0.0 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.1 | 2.7 | 2.7 | 5.4 | 0.0 | 89.2 | 0.0 | 10.8 | |
| 40代 | 36 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 83.3 | 5.6 | 11.1 | |
| 50代 | 42 | 4.8 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 88.1 | 7.1 | 4.8 | |
| 60代 | 78 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 1.3 | 3.8 | 0.0 | 89.7 | 5.1 | 5.1 | |
| 70代以上 | 64 | 1.6 | 4.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.7 | 1.6 | 1.6 | 7.8 | 1.6 | 76.6 | 14.1 | 9.4 | |

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別でみると、他に比べ、未婚女性で「平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 命の危険を感じるくらいの暴力や、医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた | 平手でうつ、足でける、髪をひっぱる、引きずりまわす、物をなげつける、などの暴力を受けた | 見たくないのに、ポルノ(アダルト)ビデオや雑誌を見せられた | いやがっているのに性的な行為を強要された | 避妊をしない性行為を強要された | 何を言っても無視され続けた | 実家や友人とつきあうのを制限したり、電話、SNSを細かく監視された | 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしようなし」などと言われたり、人格否定をされた | 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした | 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた | 今までなかった | 無回答 | 何らかの暴力を受けたことがある(※) |
|-------|---------|--------------------------------------|---|-------------------------------|----------------------|-----------------|---------------|-----------------------------------|--|----------------------|--------------------------|---------|------|--------------------|
| 女性 既婚 | 255 | 0.0 | 4.7 | 0.0 | 2.7 | 1.2 | 2.4 | 2.7 | 6.3 | 12.9 | 4.3 | 78.4 | 2.4 | 19.2 |
| 未婚 | 141 | 3.5 | 12.8 | 2.8 | 7.8 | 3.5 | 5.0 | 3.5 | 6.4 | 15.6 | 5.0 | 66.7 | 3.5 | 29.8 |
| 男性 既婚 | 198 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.5 | 0.0 | 1.0 | 4.5 | 0.0 | 89.9 | 3.0 | 7.1 |
| 未婚 | 102 | 1.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.9 | 2.0 | 1.0 | 2.9 | 1.0 | 82.4 | 10.8 | 6.9 |

※全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

豊橋市の過去の調査との比較でみると、過去の調査に比べ、令和3年で“何らかの暴力を受けたことがある（※）”の割合が低くなっている。

【経年比較】

単位：％

| | 命の危険を感じるくらいの暴行をうけた | 医師の治療が必要となる程度の暴行をうけた | いやがっているのに性的行為を強要された | 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた | 何を言っても無視され続けた | 交友関係や電話を細かく監視された | 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしよなし」と言われた | 大声でどなられたり、暴言を吐かれた | 生活費をわたされないなど、経済的におさえつけられた | 医師の治療が必要でない程度の暴行をうけた | 今までなかった（そのようなことはなかった） | 無回答 H20調査では該当なし（そのようなことはなかった）として分析 | 何らかの暴力を受けたことがある（※） |
|-------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------------|---------------|------------------|---------------------------------|-------------------|---------------------------|----------------------|-----------------------|------------------------------------|--------------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 1.1 | 5.5 | 0.6 | 2.5 | 1.1 | 3.3 | 2.2 | 3.9 | 9.5 | 2.8 | 79.4 | 4.7 | 15.9 |
| 女性 | 1.2 | 7.9 | 1.0 | 4.5 | 2.0 | 3.2 | 3.2 | 6.2 | 14.1 | 4.7 | 74.0 | 3.0 | 23.0 |
| 男性 | 1.0 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 0.7 | 1.0 | 3.9 | 0.3 | 86.8 | 6.3 | 6.9 |
| 豊橋市 (R03.8) | 1.7 | 1.2 | 2.5 | 0.2 | 2.9 | 2.3 | 3.7 | 8.6 | 2.6 | — | 81.2 | 4.3 | 14.5 |
| 女性 | 2.2 | 2.0 | 4.5 | 0.4 | 3.1 | 3.1 | 5.4 | 12.1 | 4.7 | — | 77.4 | 2.7 | 20.0 |
| 男性 | 0.8 | 0.3 | — | — | 2.6 | 1.3 | 1.8 | 4.4 | 0.3 | — | 86.2 | 6.2 | 7.7 |
| 豊橋市 (R01.8) | 1.5 | 2.3 | 3.4 | 0.9 | 3.9 | 3.7 | 5.1 | 12.8 | 3.8 | — | 74.9 | 6.1 | 19.0 |
| 女性 | 2.3 | 3.3 | 5.8 | 1.4 | 3.3 | 5.2 | 6.8 | 19.0 | 5.4 | — | 69.9 | 4.3 | 25.8 |
| 男性 | 0.0 | 0.6 | 0.3 | 0.3 | 4.4 | 1.4 | 2.5 | 4.4 | 1.4 | — | 82.3 | 8.0 | 9.7 |
| 豊橋市 (H28.8) | 1.1 | 1.8 | 2.6 | 0.6 | 3.2 | 2.7 | 3.5 | 8.6 | 2.5 | — | 78.8 | 6.4 | 14.8 |
| 女性 | 1.6 | 3.1 | 4.7 | 1.1 | 3.2 | 4.1 | 5.8 | 13.9 | 4.0 | — | 71.5 | 7.0 | 21.5 |
| 男性 | 0.5 | 0.2 | — | — | 3.3 | 1.0 | 0.7 | 1.7 | 0.7 | — | 88.8 | 4.8 | 6.4 |
| 豊橋市 (H26.9) | 0.7 | 1.6 | 2.7 | 0.4 | 4.0 | 2.8 | 4.4 | 10.5 | 2.7 | — | 73.7 | 9.1 | 17.2 |
| 女性 | 1.3 | 2.8 | 5.0 | 0.8 | 4.5 | 4.1 | 6.8 | 15.4 | 4.6 | — | 68.2 | 6.6 | 25.2 |
| 男性 | — | 0.2 | — | — | 3.1 | 1.4 | 1.7 | 4.5 | 0.4 | — | 80.4 | 11.8 | 7.8 |
| 豊橋市 (H23.6) | 1.7 | 1.4 | 4.3 | 0.8 | 5.6 | 3.7 | 5.3 | 13.2 | 3.9 | — | 73.3 | 4.3 | 22.4 |
| 女性 | 2.5 | 2.0 | 6.6 | 0.8 | 4.6 | 4.3 | 7.5 | 17.9 | 6.3 | — | 67.8 | 3.5 | 28.7 |
| 男性 | 0.6 | 0.6 | 1.1 | 0.6 | 6.7 | 2.8 | 2.4 | 6.9 | 0.6 | — | 80.3 | 5.2 | 14.5 |
| 豊橋市 (H20.5) | 1.1 | 1.9 | 4.0 | 0.9 | 5.9 | 4.2 | 5.8 | 13.9 | 3.3 | 3.1 | — | 76.5 | 23.5 |
| 女性 | 1.9 | 3.1 | 6.2 | 1.1 | 5.1 | 4.2 | 7.3 | 18.9 | 5.5 | 4.8 | — | 70.4 | 29.6 |
| 男性 | 0.2 | 0.4 | 1.2 | 0.6 | 6.9 | 4.2 | 4.0 | 8.1 | 0.8 | 0.8 | — | 83.7 | 16.3 |
| 豊橋市 (H17.5) | 0.6 | 0.9 | 3.1 | 0.3 | 3.7 | 3.7 | 4.0 | 9.7 | 2.4 | 3.3 | 72.2 | 9.9 | 17.9 |
| 女性 | 1.0 | 1.3 | 5.2 | 0.3 | 3.9 | 3.9 | 5.4 | 13.8 | 3.6 | 5.2 | 67.6 | 8.6 | 23.8 |
| 男性 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 3.3 | 3.3 | 2.1 | 4.2 | 0.7 | 0.7 | 78.7 | 11.4 | 9.9 |
| 豊橋市 (H13.8) | 1.0 | 1.4 | 4.3 | 0.6 | 3.5 | 2.8 | 3.9 | 8.3 | 2.2 | 3.9 | 68.5 | 15.6 | 15.9 |
| 女性 | 1.8 | 2.4 | 6.9 | 1.0 | 3.9 | 3.4 | 5.7 | 12.6 | 3.4 | 5.9 | 65.1 | 12.6 | 22.3 |
| 男性 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.3 | 2.8 | 2.1 | 1.6 | 3.1 | 0.5 | 1.6 | 74.4 | 18.3 | 7.3 |

※ 全体から「今までなかった」と「無回答」を除いた割合

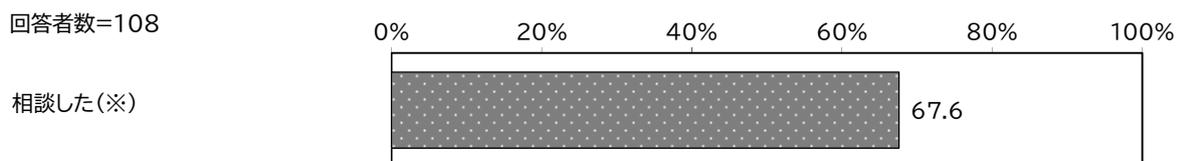
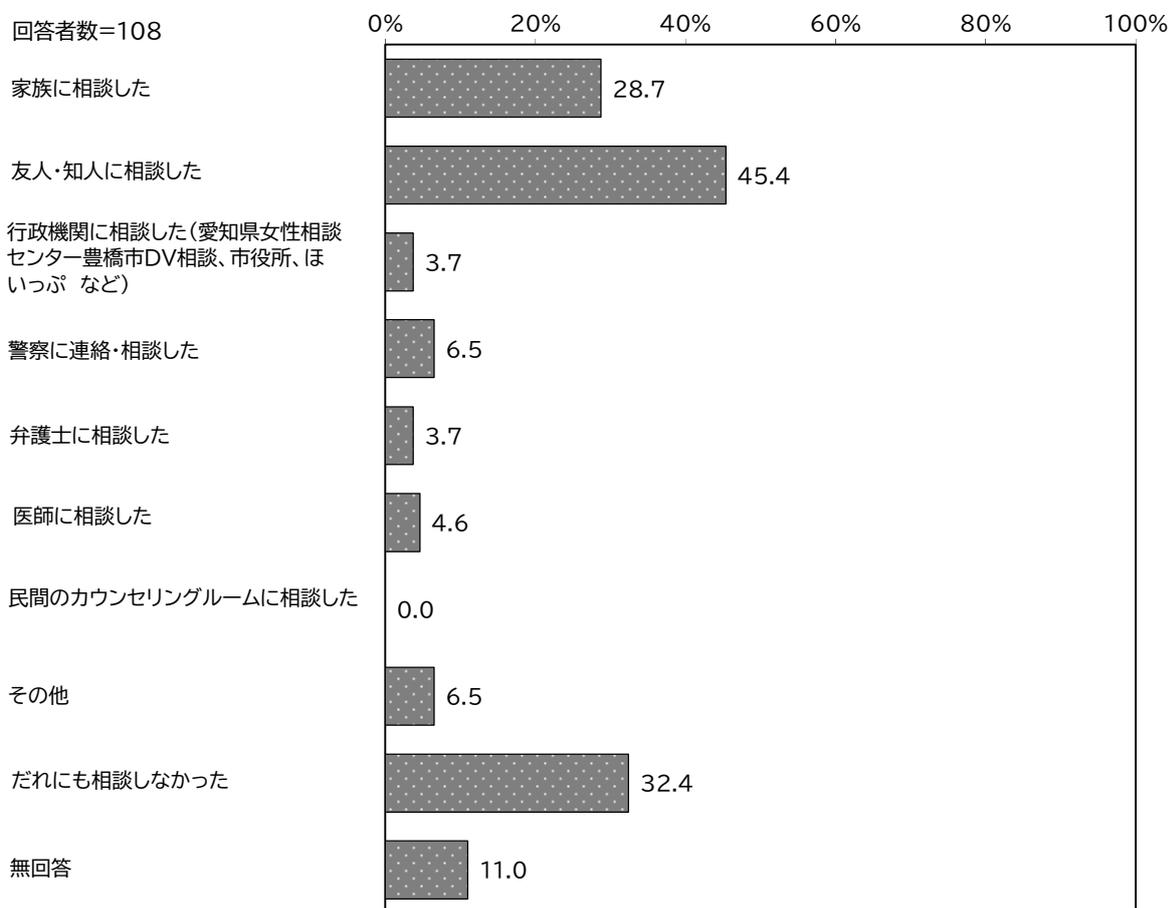
(2) 暴力行為 (DV) についての相談相手

《問18で、「命の危険を感じるくらい暴力を受けた」から「生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた」を選んだ方にのみお聞きします》

問18-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為 (DV) について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「友人・知人に相談した」の割合が45.4%と最も高く、次いで「だれにも相談しなかった」の割合が32.4%、「家族に相談した」の割合が28.7%となっている。

全体から「だれにも相談しなかった」と無回答を除いた“相談した(※)”人の割合は67.6%となっている。



※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族に相談した」「友人・知人に相談した」の割合が、女性に比べ、男性で「警察に連絡・相談した」の割合が高くなっている。また、男女ともに「だれにも相談しなかった」の割合は女性で31.1%、男性で38.9%となっている。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 家族に相談した | 友人・知人に相談した | 行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいつぶなど) | 警察に連絡・相談した | 弁護士に相談した | 医師に相談した | 民間のカウンセリンググループに相談した | その他 | だれにも相談しなかった | 無回答 | 相談した(※) |
|----|---------|---------|------------|---|------------|----------|---------|---------------------|-----|-------------|------|---------|
| 女性 | 90 | 33.3 | 46.7 | 3.3 | 5.6 | 3.3 | 5.6 | 0.0 | 6.7 | 31.1 | 3.3 | 68.9 |
| 男性 | 18 | 5.6 | 38.9 | 5.6 | 11.1 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 38.9 | 16.7 | 61.1 |

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

有効な回答がありませんでした。

【性・年代別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 家族に相談した | 友人・知人に相談した | 行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいつぶなど) | 警察に連絡・相談した | 弁護士に相談した | 医師に相談した | 民間のカウンセリングルームに相談した | その他 | だれにも相談しなかった | 無回答 | 相談した(※) |
|--------|---------|---------|------------|---|------------|----------|---------|--------------------|------|-------------|------|---------|
| 女性 10代 | 3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 33.3 |
| 20代 | 7 | 28.6 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 28.6 | 0.0 | 71.4 |
| 30代 | 9 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 22.2 | 0.0 | 77.8 |
| 40代 | 17 | 23.5 | 41.2 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.8 | 41.2 | 0.0 | 58.8 |
| 50代 | 21 | 47.6 | 61.9 | 9.5 | 19.0 | 4.8 | 9.5 | 0.0 | 4.8 | 19.0 | 4.8 | 76.2 |
| 60代 | 25 | 36.0 | 36.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 8.0 | 36.0 | 0.0 | 64.0 |
| 70代以上 | 11 | 18.2 | 27.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 27.3 | 9.1 | 63.6 |
| 男性 10代 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 20代 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 4 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 75.0 |
| 40代 | 4 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 50代 | 2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 60代 | 4 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 50.0 |
| 70代以上 | 6 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 16.7 | 33.3 |

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

性・婚姻別で見ると、他に比べ、未婚女性で「家族に相談した」の割合が高い。また、既婚男性で「だれにも相談しなかった」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：％

| 区分 | 回答者数(件) | 家族に相談した | 友人・知人に相談した | 行政機関に相談した(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいっふなど) | 警察に連絡・相談した | 弁護士に相談した | 医師に相談した | 民間のカウンセリングルームに相談した | その他 | だれにも相談しなかった | 無回答 | 相談した(※) |
|-------|---------|---------|------------|---|------------|----------|---------|--------------------|------|-------------|------|---------|
| 女性 既婚 | 49 | 26.5 | 42.9 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 4.1 | 0.0 | 10.2 | 32.7 | 2.0 | 65.3 |
| 未婚 | 42 | 35.7 | 47.6 | 4.8 | 9.5 | 4.8 | 7.1 | 0.0 | 2.4 | 28.6 | 4.8 | 66.7 |
| 男性 既婚 | 14 | 7.1 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 7.1 | 50.0 |
| 未婚 | 7 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 57.1 |

※ 全体から「だれにも相談しなかった」と「無回答」を除いた割合

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年調査に比べ、令和5年調査で「行政機関」「民間のカウンセリングルーム」の割合が低くなっている。

(参考) 豊橋市DV相談窓口への相談件数は、令和元年度294件、令和2年度296件、令和3年度359件、令和4年度373件と増加しています。

【経年比較】

単位：%

| | 家族 | 友人・知人 | 行政機関 | 警察 | 弁護士 | 医師 | 民間のカウンセリングルーム | その他 | だれにも相談しなかった | 無回答 | 相談した(※) |
|-------------|------|-------|------|------|------|------|---------------|-----|-------------|------|---------|
| 豊橋市 (R05.8) | 28.7 | 45.4 | 3.7 | 6.5 | 3.7 | 4.6 | 0.0 | 6.5 | 32.4 | 11.0 | 67.6 |
| 女性 | 33.3 | 46.7 | 3.3 | 5.6 | 3.3 | 5.6 | 0.0 | 6.7 | 31.1 | 3.3 | 68.9 |
| 男性 | 5.6 | 38.9 | 5.6 | 11.1 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 5.6 | 38.9 | 16.7 | 61.1 |
| 豊橋市 (R03.8) | 27.9 | 32.0 | 7.4 | 1.6 | - | 3.3 | 1.6 | 4.1 | 45.1 | 4.1 | 57.4 |
| 女性 | 33.7 | 37.1 | 9.0 | 2.2 | - | 1.1 | 1.1 | 5.6 | 40.4 | 2.2 | 65.2 |
| 男性 | 10.0 | 16.7 | - | - | - | 10.0 | 3.3 | - | 63.3 | 6.7 | 33.3 |
| 豊橋市 (R01.8) | 32.5 | 45.2 | 3.0 | 4.8 | 4.8 | 4.2 | 3.0 | 3.0 | 41.6 | 0.0 | 58.4 |
| 女性 | 35.2 | 48.0 | 2.4 | 4.8 | 1.6 | 4.8 | 2.4 | 3.2 | 37.6 | 0.0 | 62.4 |
| 男性 | 20.0 | 37.1 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 2.9 | 2.9 | 57.1 | 0.0 | 42.9 |
| 豊橋市 (H28.8) | 28.6 | 38.1 | 3.4 | 3.4 | 0.7 | 2.0 | 1.4 | 4.1 | 41.5 | 1.4 | 57.1 |
| 女性 | 31.9 | 42.9 | 4.2 | 4.2 | 0.8 | 1.7 | 1.7 | 4.2 | 36.1 | 0.8 | 63.1 |
| 男性 | 14.8 | 18.5 | - | - | - | 3.7 | - | 3.7 | 63.0 | 3.7 | 33.3 |
| 豊橋市 (H26.9) | 30.9 | 36.6 | 2.1 | 2.1 | 4.1 | 1.0 | 0.5 | 2.1 | 38.7 | 2.1 | 79.4 |
| 女性 | 32.9 | 40.8 | 2.6 | 2.6 | 4.6 | 1.3 | 0.7 | 2.6 | 32.9 | 2.0 | 88.1 |
| 男性 | 22.5 | 20.0 | - | - | 2.5 | - | - | - | 60.0 | 2.5 | 45.0 |
| 豊橋市 (H23.6) | 27.2 | 36.2 | 5.3 | 2.9 | 2.5 | 2.9 | 2.5 | 2.5 | 43.6 | 1.6 | 54.8 |
| 女性 | 31.2 | 40.5 | 6.4 | 2.3 | 2.9 | 2.3 | 2.3 | 2.9 | 37.6 | 1.7 | 60.7 |
| 男性 | 17.9 | 23.9 | 3.0 | 4.5 | 1.5 | 4.5 | 3.0 | 1.5 | 59.7 | 1.5 | 38.8 |
| 豊橋市 (H20.5) | - | - | - | - | - | - | - | - | 53.3 | 6.9 | 39.9 |
| 女性 | - | - | - | - | - | - | - | - | 51.6 | 5.8 | 42.6 |
| 男性 | - | - | - | - | - | - | - | - | 56.1 | 9.8 | 34.1 |
| 豊橋市 (H17.5) | - | - | - | - | - | - | - | - | 29.1 | 50.3 | 20.6 |
| 女性 | - | - | - | - | - | - | - | - | 28.8 | 47.9 | 23.3 |
| 男性 | - | - | - | - | - | - | - | - | 31.0 | 57.1 | 11.9 |

※全体から「誰にも相談しなかった」「無回答」を除いた割合

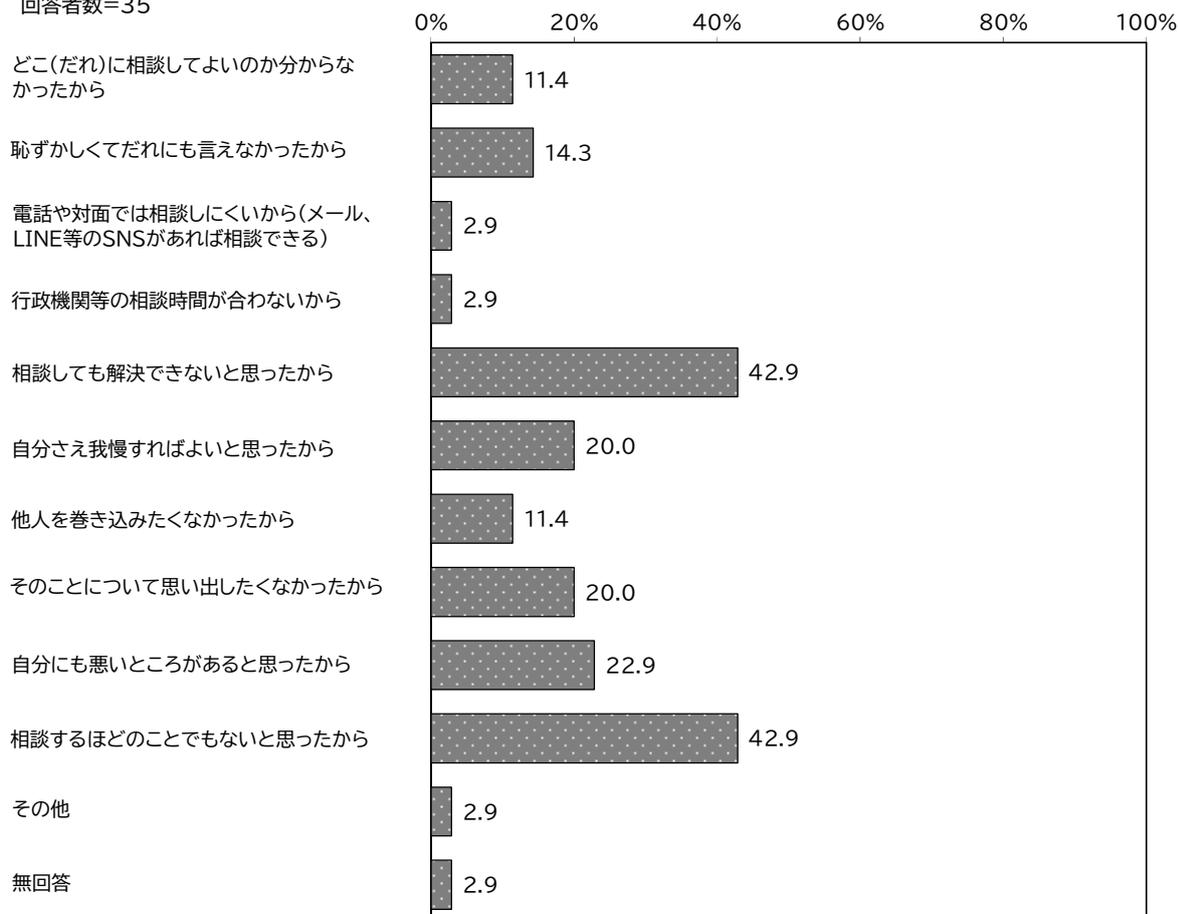
(3) 相談をしなかった理由

《問18-1で「だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問18-2だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「相談しても解決できないと思ったから」「相談するほどのことでもないと思ったから」の割合が42.9%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあったから」の割合が22.9%となっている。

回答者数=35



性別でみると、女性に比べ、男性で「自分にも悪いところがあったから」の割合が高い。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | どこ(だれ)に相談してよいか分からなかったから | 恥ずかしくてだれにも言えなかったから | 電話や対面では相談しにくいから (メール、ライン等のSNSがあれば相談できる) | 行政機関等の相談時間が合わないから | 相談しても解決できないと思ったから | 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 他人を巻き込みたくなかったから | そのことについて思い出したくなかったから | 自分にも悪いところがあると思ったから | 相談するほどのことでもないと思ったから | その他 | 無回答 |
|----|---------|-------------------------|--------------------|--|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|-----|-----|
| 女性 | 28 | 10.7 | 14.3 | 3.6 | 3.6 | 42.9 | 25.0 | 14.3 | 25.0 | 14.3 | 42.9 | 3.6 | 3.6 |
| 男性 | 7 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 57.1 | 42.9 | 0.0 | 0.0 |

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年調査に比べ、令和3年調査で「そのことについて思い出したくなかったから」の割合が増加している。

【経年比較】

単位：％

| 区分 | どこ(だれ)に相談してよいのか分からなかったから | 恥ずかしくてだれにも言えなかったから | 電話や対面では相談しにくいから (メール、ライン等のSNSがあれば相談できる) | 行政機関等の相談時間が合わないから | 相談しても解決できないと思ったから | 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 他人を巻き込みたくなかったから | そのことについて思い出したくなかったから | 自分にも悪いところがあると思ったから | 相談するほどのことでもないと思ったから | その他 | 無回答 |
|-------------|--------------------------|--------------------|--|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|------|-----|
| 豊橋市 (R05.8) | 11.4 | 14.3 | 2.9 | 2.9 | 42.9 | 20.0 | 11.4 | 20.0 | 22.9 | 42.9 | 2.9 | 2.9 |
| 女性 | 10.7 | 14.3 | 3.6 | 3.6 | 42.9 | 25.0 | 14.3 | 25.0 | 14.3 | 42.9 | 3.6 | 3.6 |
| 男性 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 57.1 | 42.9 | 0.0 | 0.0 |
| 豊橋市 (R03.8) | 12.7 | 18.2 | 0.0 | 1.8 | 43.6 | 38.2 | 16.4 | 5.5 | 23.6 | 45.5 | 7.3 | 3.6 |
| 女性 | 8.3 | 16.7 | — | 2.8 | 41.7 | 36.1 | 13.9 | 5.6 | 16.7 | 44.4 | 11.1 | 2.8 |
| 男性 | 21.1 | 21.1 | — | — | 47.4 | 42.1 | 21.1 | 5.3 | 36.8 | 47.4 | — | 5.3 |

過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：%

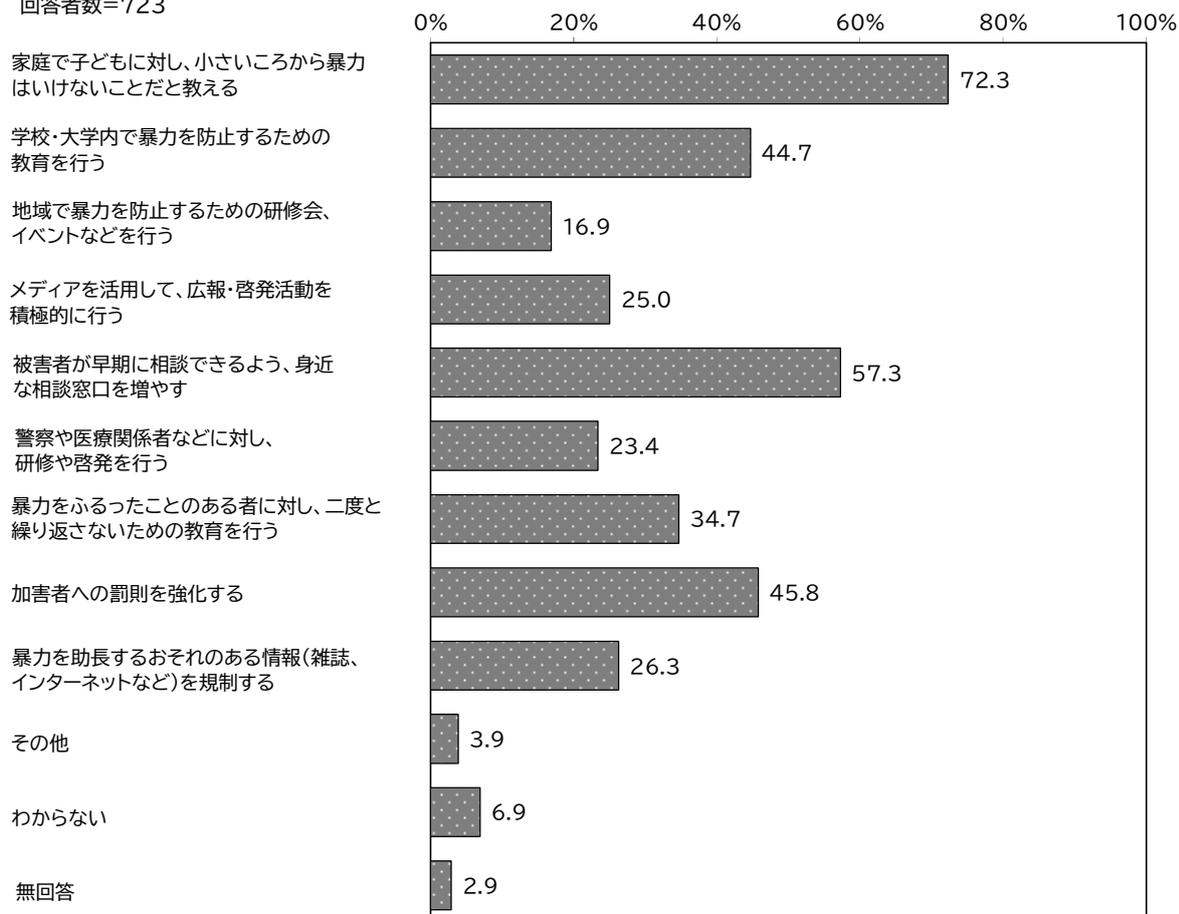
| | どこ(だれ)に相談してよいか分からなかったから | 恥ずかしくてだれにも言えなかったから | 相談しても解決できないと思ったから | 相談したことがわかると、もっとひどい暴力をうけると思ったから | 相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから | 自分さえ我慢すればよいと思ったから | 世間体が悪いから | 他人を巻き込みたくなかったから | そのことについて思い出しなくなかったから | 自分にも悪いところがあると思ったから | 相談するほどのことでもないと思ったから | その他 | 無回答 |
|-------------|-------------------------|--------------------|-------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------|----------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|------|------|
| 豊橋市 (R01.8) | 11.6 | 13.0 | 42.0 | — | 8.7 | 31.9 | 8.7 | 13.0 | 10.1 | 23.2 | 44.9 | 4.3 | 1.4 |
| 女性 | 10.6 | 17.0 | 48.9 | — | 12.8 | 38.3 | 8.5 | 14.9 | 10.6 | 8.5 | 42.6 | 6.4 | 0.0 |
| 男性 | 15.0 | 5.0 | 25.0 | — | 0.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 5.0 | 50.0 | 55.0 | 0.0 | 5.0 |
| 豊橋市 (H28.8) | 11.5 | 14.8 | 52.5 | — | 6.6 | 41.0 | 13.1 | 13.1 | 9.8 | 31.1 | 24.6 | 9.8 | — |
| 女性 | 11.6 | 16.3 | 53.5 | — | 7.0 | 39.5 | 9.3 | 14.0 | 14.0 | 25.6 | 20.9 | 11.6 | — |
| 男性 | 11.8 | 11.8 | 47.1 | — | 5.9 | 41.2 | 23.5 | 11.8 | — | 47.1 | 35.3 | 5.9 | — |
| 豊橋市 (H26.9) | 4.0 | 16.0 | 38.7 | — | 4.0 | 32.0 | 6.7 | 14.7 | 4.0 | 25.3 | 44.0 | 9.3 | 1.3 |
| 女性 | 6.0 | 18.0 | 42.0 | — | 6.0 | 38.0 | 6.0 | 14.0 | 6.0 | 20.0 | 32.0 | 10.0 | — |
| 男性 | — | 12.5 | 33.3 | — | — | 20.8 | 8.3 | 16.7 | — | 33.3 | 66.7 | 8.3 | 4.2 |
| 豊橋市 (H23.6) | 5.7 | 15.1 | 33.0 | 0.9 | 2.8 | 25.5 | 6.6 | 9.4 | 4.7 | 30.2 | 52.8 | — | 0.9 |
| 女性 | 7.7 | 18.5 | 30.8 | 0.0 | 4.6 | 27.7 | 6.2 | 9.2 | 1.5 | 23.1 | 49.2 | — | 1.5 |
| 男性 | 2.5 | 7.5 | 37.5 | 0.0 | 0.0 | 22.5 | 7.5 | 10.0 | 10.0 | 42.5 | 60.0 | — | 0.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | 12.2 | 12.2 | 41.5 | 8.2 | 4.8 | 30.6 | 5.4 | 12.2 | 8.8 | 31.3 | 40.8 | 2.7 | 0.0 |
| 女性 | 12.2 | 10.2 | 42.9 | 8.2 | 4.1 | 29.6 | 5.1 | 11.2 | 10.2 | 25.5 | 38.8 | 3.1 | 0.0 |
| 男性 | 13.0 | 17.4 | 39.1 | 8.7 | 6.5 | 30.4 | 6.5 | 15.2 | 6.5 | 43.5 | 43.5 | 2.2 | 0.0 |
| 豊橋市 (H17.5) | 5.5 | 29.1 | 36.4 | 9.1 | 3.6 | 41.8 | 9.1 | 12.7 | 10.9 | 23.6 | 29.1 | 1.8 | 1.8 |
| 女性 | 4.8 | 31.0 | 31.0 | 11.9 | 4.8 | 40.5 | 9.5 | 14.3 | 14.3 | 19.0 | 23.8 | 2.4 | 0.0 |
| 男性 | 7.7 | 23.1 | 53.8 | 0.0 | 0.0 | 46.2 | 7.7 | 7.7 | 0.0 | 38.5 | 46.2 | 0.0 | 7.7 |
| 豊橋市 (H13.8) | 6.8 | 22.7 | 47.7 | 6.8 | 4.5 | 34.1 | 13.6 | 15.9 | 9.1 | 36.4 | 38.6 | 6.8 | 2.3 |
| 女性 | 9.1 | 21.2 | 54.5 | 9.1 | 6.1 | 33.3 | 12.1 | 15.2 | 12.1 | 33.3 | 39.4 | 3.0 | 0.0 |
| 男性 | 0.0 | 30.0 | 30.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 | 50.0 | 40.0 | 20.0 | 10.0 |

(4) 男女間における暴力 (DV) を防止するために必要なこと

問19. 配偶者や交際相手からの暴力 (DV) を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

「家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える」の割合が72.3%と最も高く、次いで「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が57.3%、「加害者への罰則を強化する」の割合が45.8%となっている。

回答者数=723



性別でみると、男性に比べ、女性で「メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う」「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する」の割合が高い。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 暴力はいけないことだと教える | 家庭で子どもに対し、小さいころから | 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う | 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う | メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う | 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす | 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う | 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う | 加害者への罰則を強化する | 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|----------------|-------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|------------------------------------|--------------|------------------------------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 76.5 | 47.3 | 16.3 | 28.7 | 60.9 | 23.0 | 37.9 | 46.3 | 30.0 | 3.7 | 5.2 | 2.2 | |
| 男性 | 304 | 67.4 | 41.8 | 17.4 | 20.4 | 53.0 | 23.7 | 30.6 | 45.7 | 21.4 | 3.9 | 9.5 | 2.6 | |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「加害者への罰則を強化する」の割合が、女性 40 代で「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の割合が、男性 20 代で「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 暴力はいけないことだと教える | 家庭で子どもに対し、小さいころから | 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う | 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う | メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的にを行う | 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす | 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う | 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う | 加害者への罰則を強化する | 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネットなど)を規制する | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|----------------|-------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|------------------------|------------------------------------|--------------|------------------------------------|------|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 66.7 | 47.6 | 19.0 | 38.1 | 47.6 | 19.0 | 42.9 | 47.6 | 19.0 | 4.8 | 9.5 | 0.0 | |
| 20代 | 50 | 58.0 | 46.0 | 14.0 | 32.0 | 58.0 | 26.0 | 44.0 | 58.0 | 20.0 | 6.0 | 8.0 | 4.0 | |
| 30代 | 58 | 79.3 | 50.0 | 13.8 | 24.1 | 65.5 | 31.0 | 51.7 | 69.0 | 22.4 | 5.2 | 1.7 | 1.7 | |
| 40代 | 58 | 79.3 | 48.3 | 20.7 | 27.6 | 67.2 | 24.1 | 36.2 | 60.3 | 24.1 | 5.2 | 1.7 | 0.0 | |
| 50代 | 62 | 77.4 | 54.8 | 17.7 | 35.5 | 58.1 | 22.6 | 41.9 | 45.2 | 32.3 | 4.8 | 4.8 | 0.0 | |
| 60代 | 97 | 80.4 | 44.3 | 14.4 | 26.8 | 67.0 | 20.6 | 30.9 | 30.9 | 41.2 | 2.1 | 6.2 | 1.0 | |
| 70代以上 | 58 | 82.8 | 41.4 | 17.2 | 24.1 | 50.0 | 17.2 | 25.9 | 25.9 | 34.5 | 0.0 | 6.9 | 8.6 | |
| 男性 10代 | 24 | 79.2 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 58.3 | 25.0 | 25.0 | 66.7 | 12.5 | 4.2 | 0.0 | 0.0 | |
| 20代 | 23 | 65.2 | 43.5 | 30.4 | 43.5 | 65.2 | 34.8 | 39.1 | 52.2 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 0.0 | |
| 30代 | 37 | 70.3 | 35.1 | 8.1 | 18.9 | 54.1 | 27.0 | 32.4 | 54.1 | 8.1 | 13.5 | 10.8 | 2.7 | |
| 40代 | 36 | 75.0 | 55.6 | 11.1 | 19.4 | 50.0 | 33.3 | 36.1 | 52.8 | 19.4 | 0.0 | 8.3 | 2.8 | |
| 50代 | 42 | 59.5 | 28.6 | 14.3 | 16.7 | 50.0 | 26.2 | 40.5 | 52.4 | 19.0 | 0.0 | 11.9 | 2.4 | |
| 60代 | 78 | 67.9 | 42.3 | 20.5 | 15.4 | 50.0 | 19.2 | 24.4 | 39.7 | 24.4 | 1.3 | 7.7 | 1.3 | |
| 70代以上 | 64 | 62.5 | 48.4 | 20.3 | 23.4 | 53.1 | 15.6 | 26.6 | 29.7 | 34.4 | 3.1 | 12.5 | 6.3 | |

性・婚姻別でみると、他に比べ、既婚女性で「加害者への罰則を強化する」の割合が高い。

【性・婚姻別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 暴力はいけないことだと教える | 家庭で子どもに対し、小さいころから | 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う | 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う | メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う | 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす | 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う | 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う | 加害者への罰則を強化する | 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネットなど)を規制する | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|---------|----------------|-------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|------------------------------------|--------------|------------------------------------|-----|-------|-----|
| 女性 既婚 | 255 | 47.5 | 17.3 | 27.1 | 63.5 | 23.1 | 36.9 | 46.3 | 32.5 | 3.9 | 3.9 | 0.0 | 1.6 | |
| 女性 未婚 | 141 | 46.1 | 14.9 | 31.9 | 56.0 | 24.1 | 40.4 | 46.1 | 24.8 | 3.5 | 7.8 | 0.0 | 3.5 | |
| 男性 既婚 | 198 | 43.4 | 17.2 | 21.7 | 52.5 | 22.7 | 30.8 | 41.9 | 23.2 | 2.0 | 10.1 | 0.0 | 2.5 | |
| 男性 未婚 | 102 | 39.2 | 16.7 | 18.6 | 54.9 | 26.5 | 30.4 | 53.9 | 18.6 | 7.8 | 8.8 | 0.0 | 2.0 | |

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年調査に比べ、令和5年調査で「地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う」「警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う」の割合が増加している。

【経年比較】

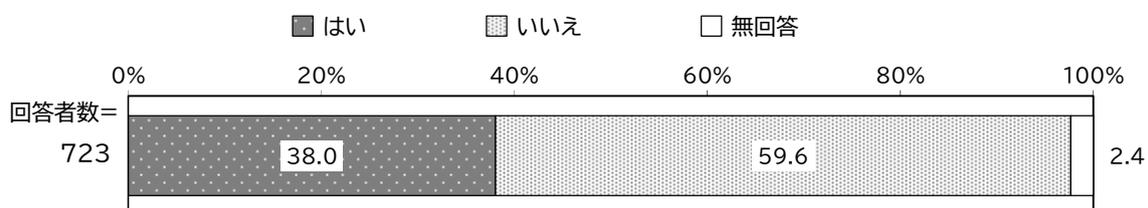
単位：％

| | 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える | 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う | 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う | メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う | 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす | 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う | 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う | 加害者への罰則を強化する | 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|---------------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|------------------------------------|--------------|---------------------------------------|------------|------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 72.3 | 44.7 | 16.9 | 25.0 | 57.3 | 23.4 | 34.7 | 45.8 | 26.3 | 3.9 | 6.9 | 2.9 |
| 女性 | 76.5 | 47.3 | 16.3 | 28.7 | 60.9 | 23.0 | 37.9 | 46.3 | 30.0 | 3.7 | 5.2 | 2.2 |
| 男性 | 67.4 | 41.8 | 17.4 | 20.4 | 53.0 | 23.7 | 30.6 | 45.7 | 21.4 | 3.9 | 9.5 | 2.6 |
| 豊橋市（R03.8） | 73.5 | 44.9 | 15.7 | 26.3 | 60.2 | 21.1 | 36.2 | 47.9 | 27.2 | 3.7 | 5.5 | 2.0 |
| 女性 | 76.5 | 46.0 | 15.7 | 28.3 | 65.7 | 24.0 | 40.1 | 52.7 | 31.6 | 4.0 | 5.2 | 1.1 |
| 男性 | 70.5 | 43.8 | 15.9 | 24.1 | 53.8 | 17.9 | 31.8 | 42.6 | 22.3 | 3.3 | 5.9 | 2.8 |
| 豊橋市（R01.8） | 73.1 | 38.6 | 10.4 | 26.9 | 56.3 | 18.6 | 28.3 | 43.7 | 26.9 | 3.4 | 3.7 | 2.7 |
| 女性 | 74.4 | 39.0 | 7.8 | 29.9 | 61.4 | 18.8 | 30.5 | 41.6 | 27.6 | 3.1 | 3.1 | 2.5 |
| 男性 | 70.9 | 37.7 | 13.9 | 22.4 | 50.7 | 19.1 | 24.9 | 46.0 | 24.9 | 3.6 | 4.4 | 3.3 |
| 豊橋市（H28.8） | 76.7 | 36.8 | 11.1 | 25.5 | 53.9 | 19.1 | 30.9 | 40.8 | 26.1 | 3.7 | 3.5 | 2.5 |
| 女性 | 78.6 | 37.7 | 9.9 | 24.1 | 54.8 | 17.3 | 33.7 | 37.7 | 30.5 | 3.2 | 3.2 | 2.7 |
| 男性 | 74.6 | 36.1 | 12.7 | 28.0 | 52.9 | 21.1 | 27.5 | 45.5 | 20.6 | 4.5 | 3.8 | 1.9 |
| 豊橋市（H26.9） | 76.2 | 32.7 | 9.0 | 20.6 | 51.5 | 16.1 | 28.0 | 36.6 | 28.1 | 3.1 | 4.0 | 3.8 |
| 女性 | 78.9 | 35.5 | 7.3 | 21.1 | 55.6 | 16.3 | 30.7 | 35.8 | 32.7 | 2.5 | 3.6 | 3.6 |
| 男性 | 72.8 | 28.9 | 11.1 | 20.2 | 46.8 | 16.3 | 25.0 | 37.9 | 22.7 | 3.9 | 4.5 | 3.9 |

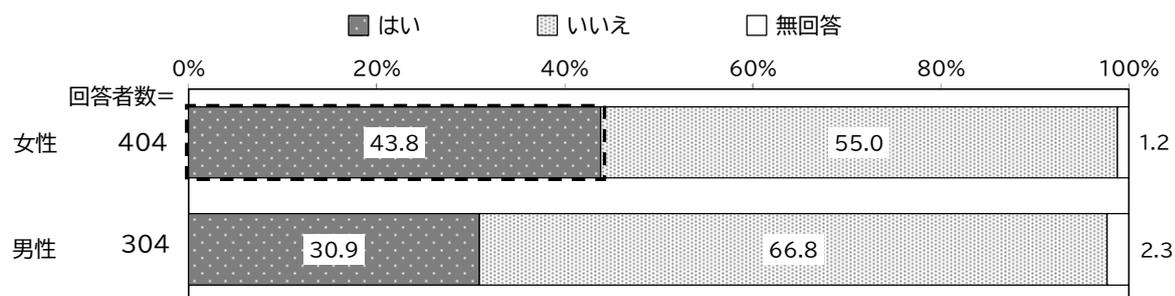
(5) 豊橋市 DV 相談の認知度

問20. 豊橋市にDV相談（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

「はい」の割合が38.0%、「いいえ」の割合が59.6%となっている。
性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高い。

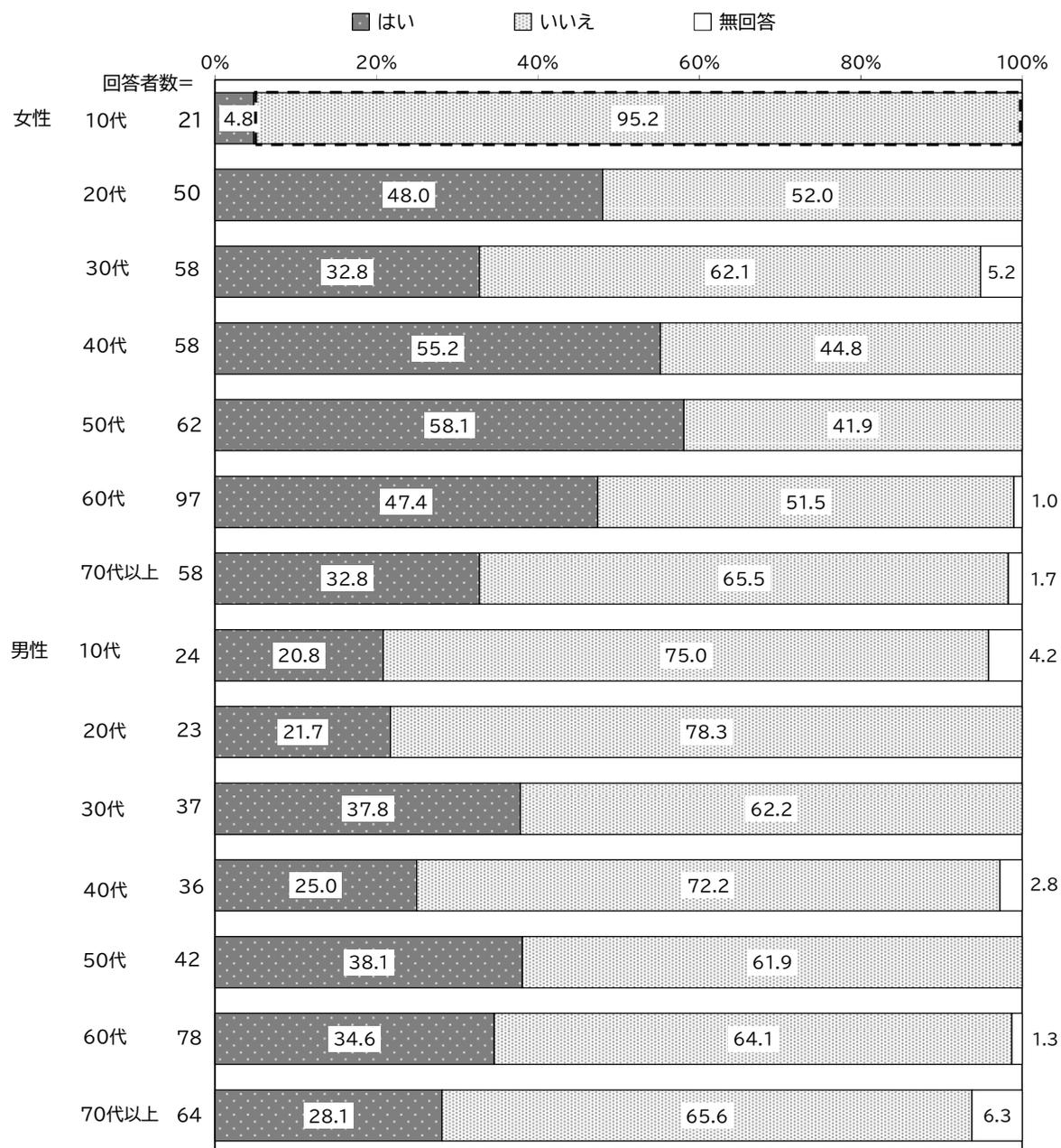


【性別】



性・年代別でみると、他に比べ、女性10代で「いいえ」の割合が高い。

【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年調査に比べ、令和5年調査で「はい」の割合が増加している。

【経年比較】

単位：%

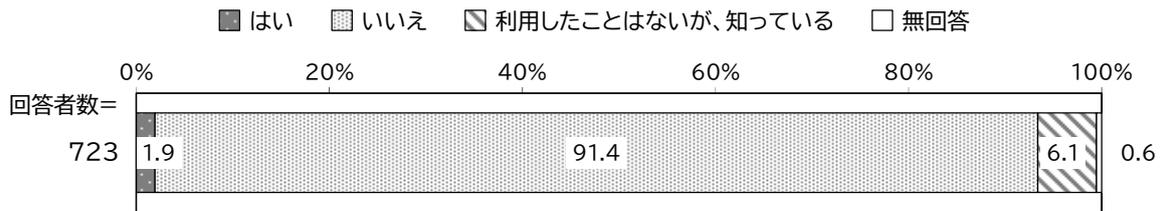
| | はい | いいえ | 無回答 |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 38.0 | 59.6 | 2.4 |
| 女性 | 43.8 | 55.0 | 1.2 |
| 男性 | 30.9 | 66.8 | 2.3 |
| 豊橋市（R03.8） | 36.2 | 61.5 | 2.3 |
| 女性 | 40.8 | 57.2 | 2.0 |
| 男性 | 31.0 | 66.4 | 2.6 |
| 豊橋市（R01.8） | 30.2 | 67.6 | 2.2 |
| 女性 | 34.2 | 64.1 | 1.6 |
| 男性 | 24.4 | 72.6 | 3.0 |
| 豊橋市（H28.8） | 32.9 | 61.9 | 5.3 |
| 女性 | 37.8 | 57.5 | 4.7 |
| 男性 | 26.3 | 68.2 | 5.5 |
| 豊橋市（H26.9） | 28.8 | 65.1 | 6.0 |
| 女性 | 33.7 | 60.2 | 6.1 |
| 男性 | 23.3 | 70.9 | 5.8 |

9 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

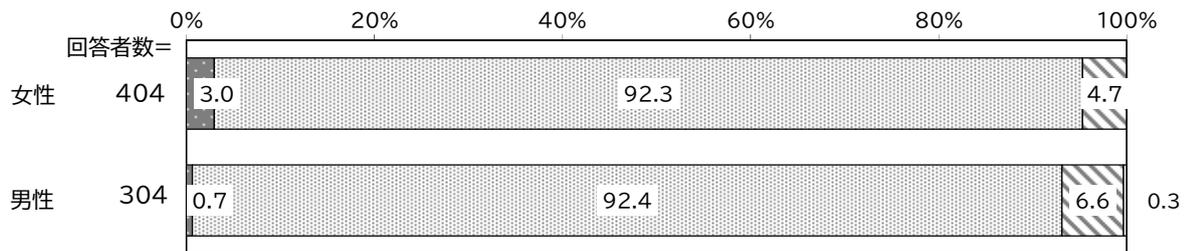
(1) 男女共同参画センター「パルモ」の利用の有無

問21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

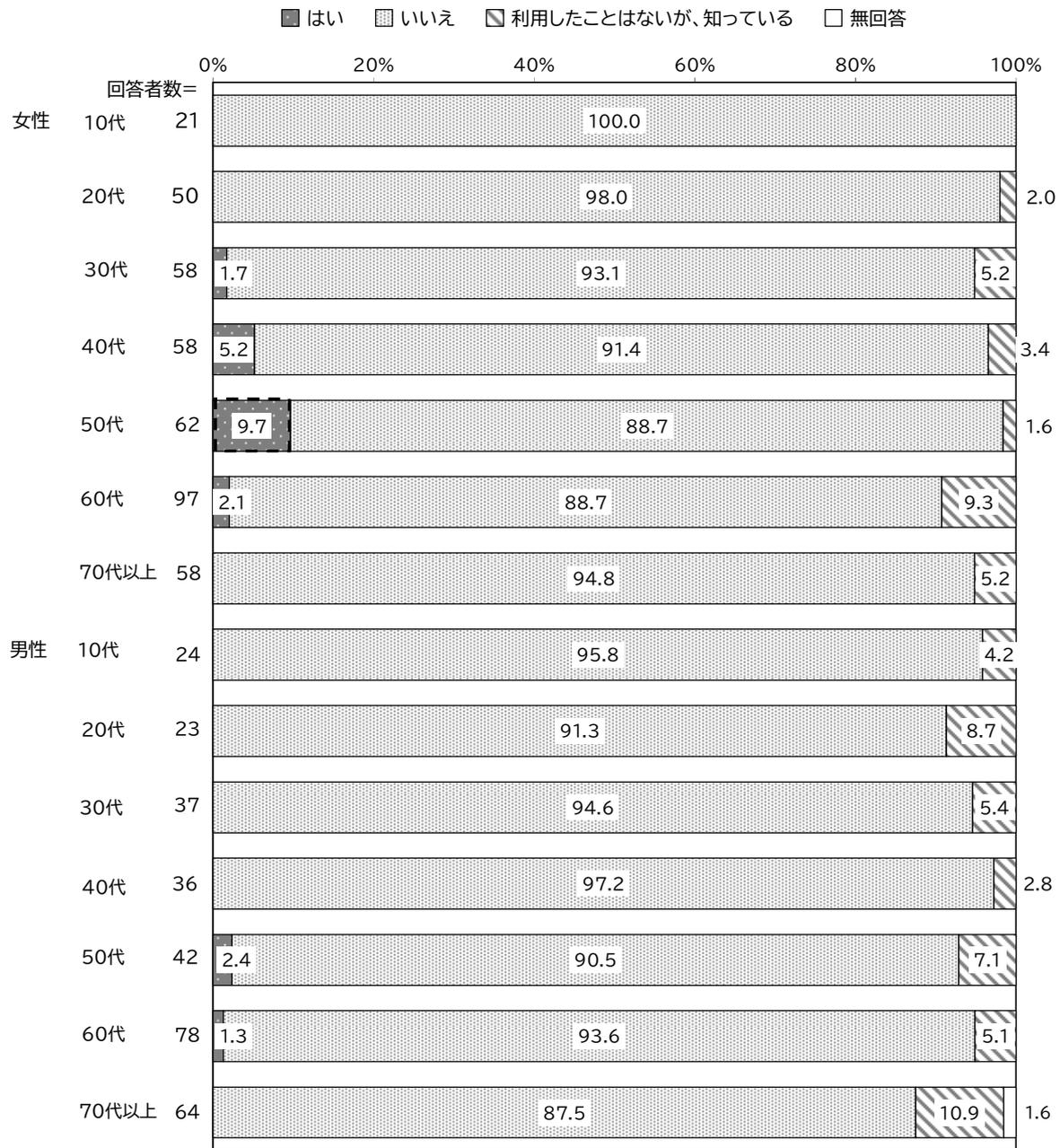
「いいえ」の割合が91.4%と最も高い。
性別でみると、大きな差異はみられない。
性・年代別でみると、女性50代の割合が高い。



【性別】



【性・年代別】



過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：％

| | はい | いいえ | 利用したことはないが、知っている | 無回答 |
|------------|-------------|-------------|------------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 1.9 | 91.4 | 6.1 | 0.6 |
| 女性 | 3.0 | 92.3 | 4.7 | 0.0 |
| 男性 | 0.7 | 92.4 | 6.6 | 0.3 |
| 豊橋市（R03.8） | 2.9 | 90.6 | 5.8 | 0.7 |
| 女性 | 3.1 | 89.9 | 6.7 | 0.2 |
| 男性 | 2.6 | 91.3 | 4.9 | 1.3 |
| 豊橋市（R01.8） | 2.5 | 93.0 | — | 4.5 |
| 女性 | 3.7 | 92.6 | — | 3.7 |
| 男性 | 1.1 | 93.1 | — | 5.8 |
| 豊橋市（H28.8） | 3.5 | 92.5 | — | 3.9 |
| 女性 | 5.6 | 89.9 | — | 4.5 |
| 男性 | 1.0 | 96.2 | — | 2.9 |
| 豊橋市（H26.9） | 6.2 | 87.1 | — | 6.7 |
| 女性 | 7.5 | 85.9 | — | 6.6 |
| 男性 | 4.9 | 88.7 | — | 6.4 |
| 豊橋市（H23.6） | 4.2 | 93.2 | — | 2.6 |
| 女性 | 5.5 | 92.5 | — | 2.0 |
| 男性 | 2.2 | 95.2 | — | 2.6 |
| 豊橋市（H20.5） | 9.4 | 83.4 | — | 7.1 |
| 女性 | 13.1 | 80.2 | — | 6.7 |
| 男性 | 5.0 | 87.3 | — | 7.7 |
| 豊橋市（H17.5） | 8.9 | 85.4 | — | 5.7 |
| 女性 | 11.2 | 85.5 | — | 3.3 |
| 男性 | 5.4 | 85.5 | — | 9.1 |
| 豊橋市（H13.8） | 11.8 | 81.4 | — | 6.8 |
| 女性 | 16.2 | 79.7 | — | 4.1 |
| 男性 | 6.2 | 84.5 | — | 9.3 |

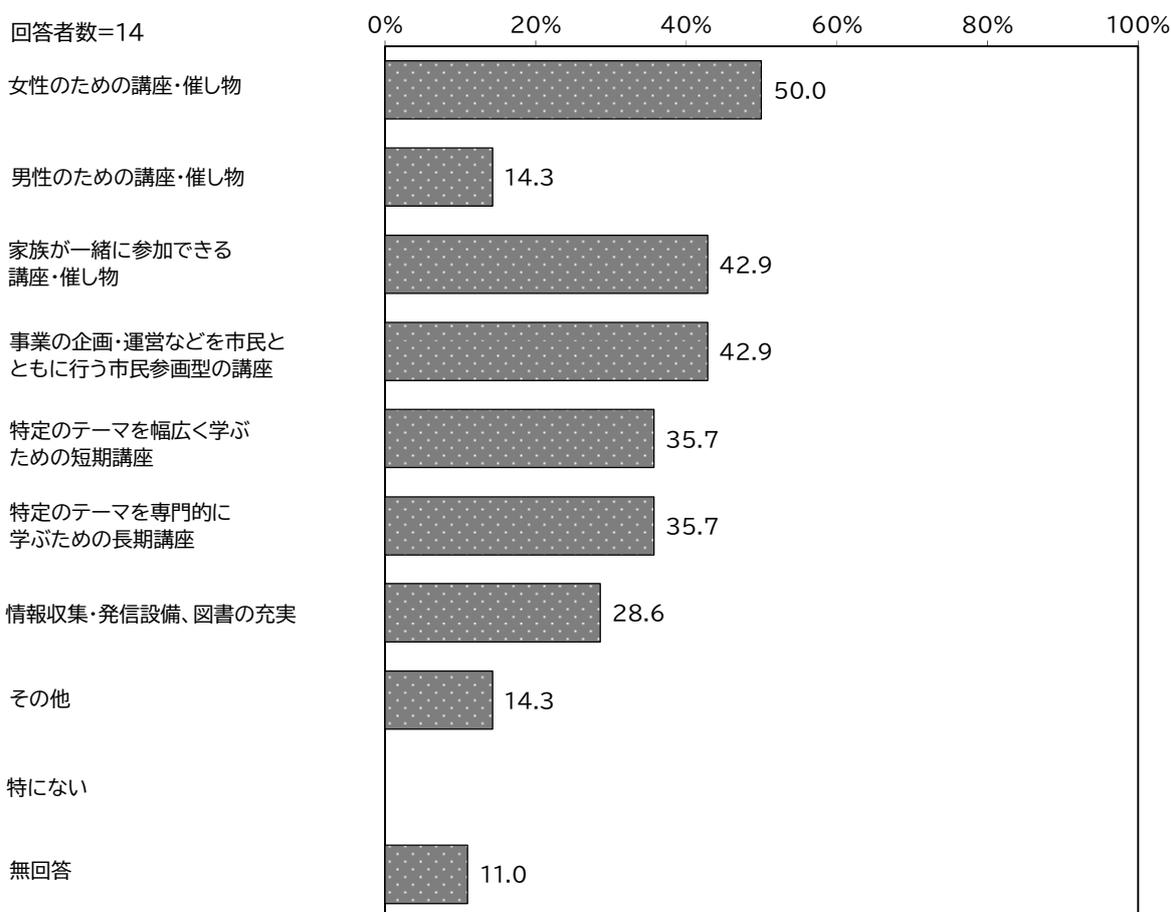
(2) 充実してほしい内容

《問21で「はい」と答えた方のみお聞きします》

問21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

「女性のための講座・催し物」の割合が50.0%と最も高く、次いで「家族と一緒に参加できる講座・催し物」、「事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座」の割合が42.9%となっている。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「女性のための講座・催し物」の割合が高い。



【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 女性のための講座・催し物 | 男性のための講座・催し物 | 家族と一緒に参加できる講座・催し物 | 事業の企画・運営などを市民とともに進める市民参画型の講座 | 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座 | 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座 | 情報収集・発信設備、図書の充実 | その他 | 特になし | 無回答 |
|----|---------|--------------|--------------|-------------------|------------------------------|---------------------|----------------------|-----------------|------|------|-----|
| 女性 | 12 | 41.7 | 16.7 | 50.0 | 50.0 | 41.7 | 41.7 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| 男性 | 2 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年調査と比べ、令和5年調査では「男性のための講座」「特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座（1～3回）」以外の割合が増加している。

【経年比較】

単位：％

| | 女性のための講座 | 男性のための講座 | 家族が一緒に参加できる 催し物・講座 | 事業の企画・運営などを市民と ともに行う市民参画型の講座 | 特定のテーマを幅広く学ぶ ための短期講座（1～3回） | 特定のテーマを専門的に学ぶ ための長期講座 | 情報の収集・発信、図書の内容 （※1） | 開館日時や催し物の曜日・時間 をかえてほしい | 地域に出向いて講座 | その他 | 特 に ない | 無 回 答 |
|----------------|-------------|-------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 50.0 | 14.3 | 42.9 | 42.9 | 35.7 | 35.7 | 28.6 | — | — | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| 女性 | 41.7 | 16.7 | 50.0 | 50.0 | 41.7 | 41.7 | 33.3 | — | — | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| 男性 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 豊橋市 (R03.8) | 29.2 | 20.8 | 29.2 | 29.2 | 45.8 | 16.7 | 4.2 | — | — | 16.7 | 4.2 | — |
| 女性 | 42.9 | 21.4 | 28.6 | 35.7 | 57.1 | 21.4 | 7.1 | — | — | 14.3 | — | — |
| 男性 | 10.0 | 20.0 | 30.0 | 20.0 | 30.0 | 10.0 | — | — | — | 20.0 | 10.0 | — |
| 豊橋市 (R01.8) | 31.8 | 22.7 | 31.8 | 31.8 | 22.7 | 18.2 | 18.2 | — | — | 0.0 | 4.5 | 0.0 |
| 女性 | 33.3 | 11.1 | 33.3 | 33.3 | 27.8 | 22.2 | 22.2 | — | — | 0.0 | 5.6 | 0.0 |
| 男性 | 25.0 | 75.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — | — | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 豊橋市 (H28.8) | 31.4 | 17.1 | 45.7 | 14.3 | 48.6 | 20.0 | 31.4 | — | — | 5.7 | 11.4 | 2.9 |
| 女性 | 35.5 | 16.1 | 51.6 | 16.1 | 51.6 | 22.6 | 35.5 | — | — | 6.5 | 6.5 | 3.2 |
| 男性 | — | 25.0 | — | — | 25.0 | — | — | — | — | — | 50.0 | — |
| 豊橋市 (H26.9) | 20.0 | 11.4 | 41.4 | 14.3 | 31.4 | 12.9 | 15.7 | — | — | 7.1 | 18.6 | 1.4 |
| 女性 | 24.4 | 6.7 | 35.6 | 8.9 | 42.2 | 17.8 | 8.9 | — | — | 6.7 | 17.8 | 2.2 |
| 男性 | 12.0 | 20.0 | 52.0 | 24.0 | 12.0 | 4.0 | 28.0 | — | — | 8.0 | 20.0 | — |
| 豊橋市 (H23.6) | 20.0 | 13.3 | 37.8 | 20.0 | 51.1 | 28.9 | 15.6 | — | — | 6.7 | 15.6 | 2.2 |
| 女性 | 21.2 | 9.1 | 39.4 | 21.2 | 57.6 | 33.3 | 18.2 | — | — | 6.1 | 9.1 | 3.0 |
| 男性 | 10.0 | 30.0 | 40.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 10.0 | — | — | 10.0 | 30.0 | 0.0 |
| 豊橋市 (H20.5) | — | 15.3 | 37.8 | 10.8 | 34.2 | 15.3 | 23.4 | 11.7 | 14.4 | 10.8 | 15.3 | 4.5 |
| 女性 | — | 14.3 | 39.3 | 7.1 | 38.1 | 16.7 | 21.4 | 13.1 | 11.9 | 8.3 | 16.7 | 4.8 |
| 男性 | — | 20.0 | 32.0 | 24.0 | 24.0 | 12.0 | 32.0 | 8.0 | 24.0 | 16.0 | 8.0 | 4.0 |
| 豊橋市 (H17.5) | — | 17.0 | 25.5 | 12.8 | 28.7 | 24.5 | 28.7 | 12.8 | 16.0 | 4.3 | 14.9 | 5.3 |
| 女性 | — | 13.0 | 24.6 | 13.0 | 36.2 | 26.1 | 33.3 | 17.4 | 18.8 | 5.8 | 11.6 | 1.4 |
| 男性 | — | 30.4 | 30.4 | 13.0 | 8.7 | 21.7 | 17.4 | 0.0 | 8.7 | 0.0 | 21.7 | 13.0 |
| 豊橋市 (H13.8) | — | 8.3 | 16.9 | 6.7 | 14.4 | 6.4 | 20.2 | 5.2 | 9.0 | 4.1 | 16.9 | 35.9 |
| 女性 | — | 7.1 | 15.8 | 6.7 | 17.9 | 8.3 | 23.5 | 7.7 | 12.0 | 3.2 | 15.4 | 32.5 |
| 男性 | — | 10.1 | 19.1 | 6.2 | 9.8 | 4.1 | 15.5 | 2.3 | 5.2 | 5.7 | 18.6 | 39.8 |

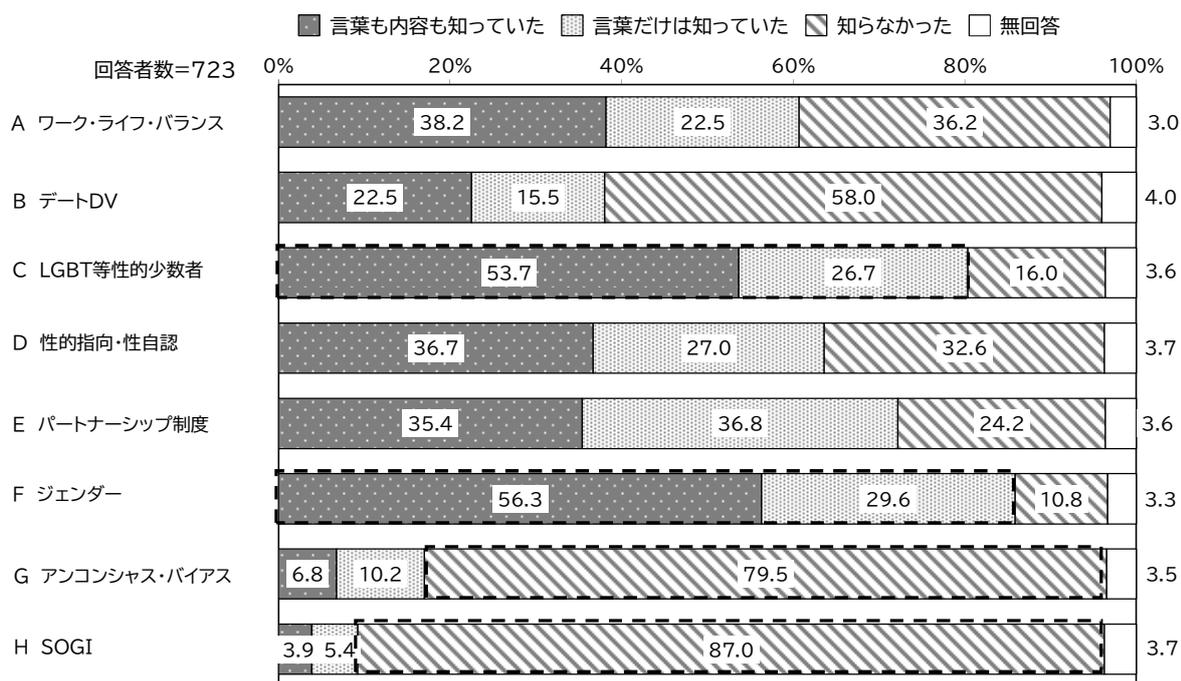
※1：平成20年以前の選択肢は「情報収集・発信の充実」

10 男女共同参画社会について

(1) 用語の認知度

問22. 次の用語について知っていましたか。A～Fのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

『C LGBT等性的少数者』『F ジェンダー』で「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」をあわせた“知っていた(※)”の割合が高く、8割を超えている。一方、『G アンコンシャス・バイアス』『SOGI』で「知らなかった」の割合が高く、8割程度と高くなっている。

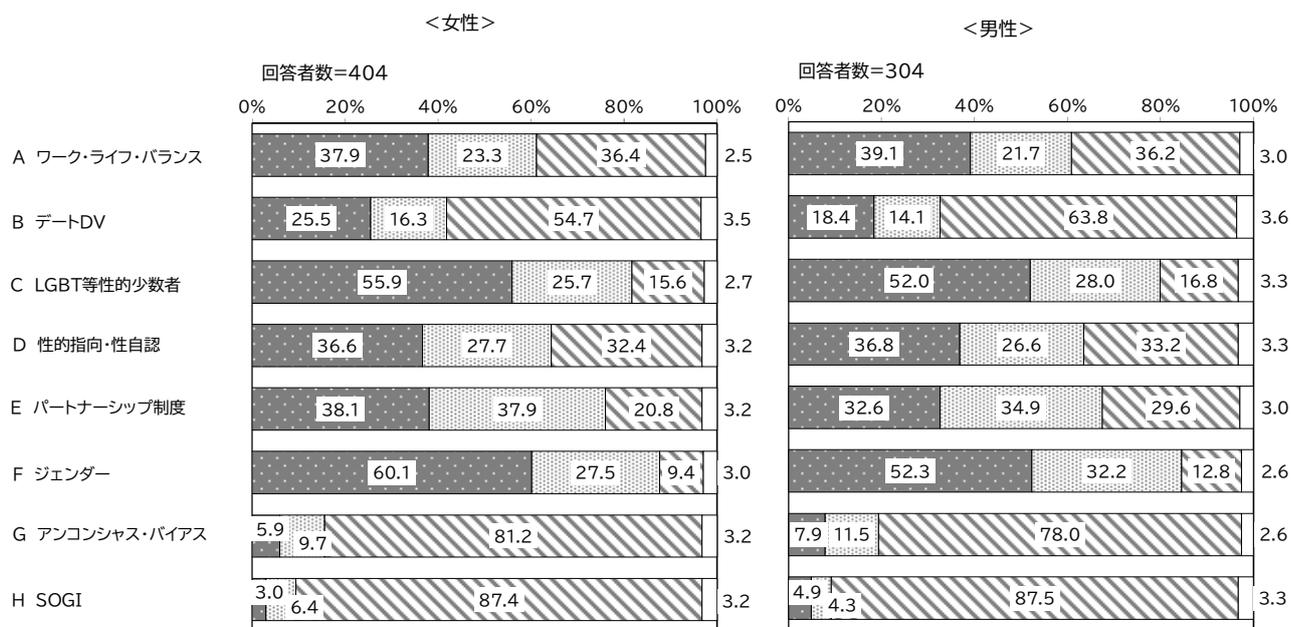


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

性別でみると、大きな差異はみられない。

【性別】

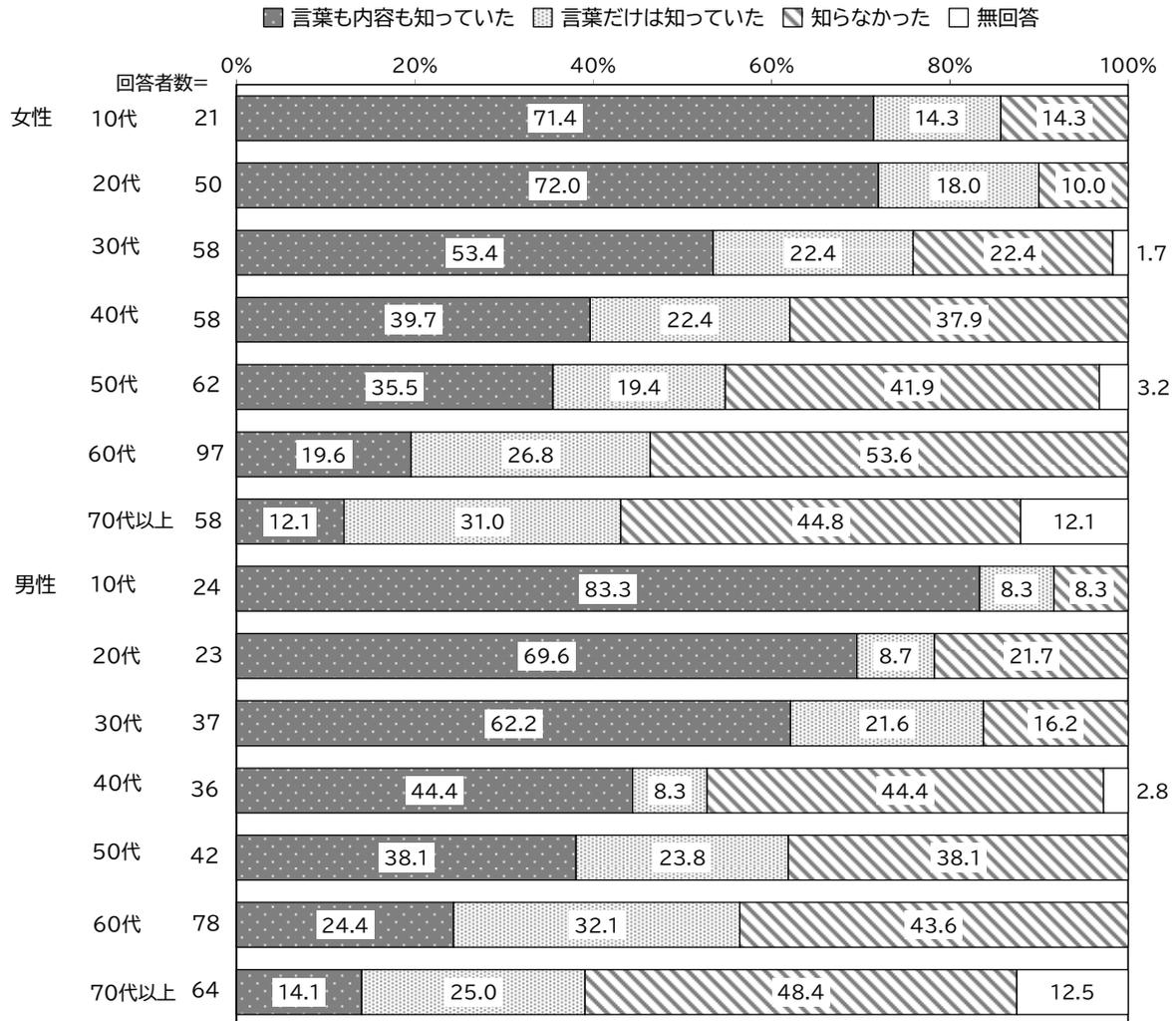
■ 言葉も内容も知っていた □ 言葉だけは知っていた ▨ 知らなかった □ 無回答



A ワーク・ライフ・バランス

性・年代別でみると、男女ともに、年齢が上がるにつれ、「知らなかった」の割合が、高くなる傾向にある。

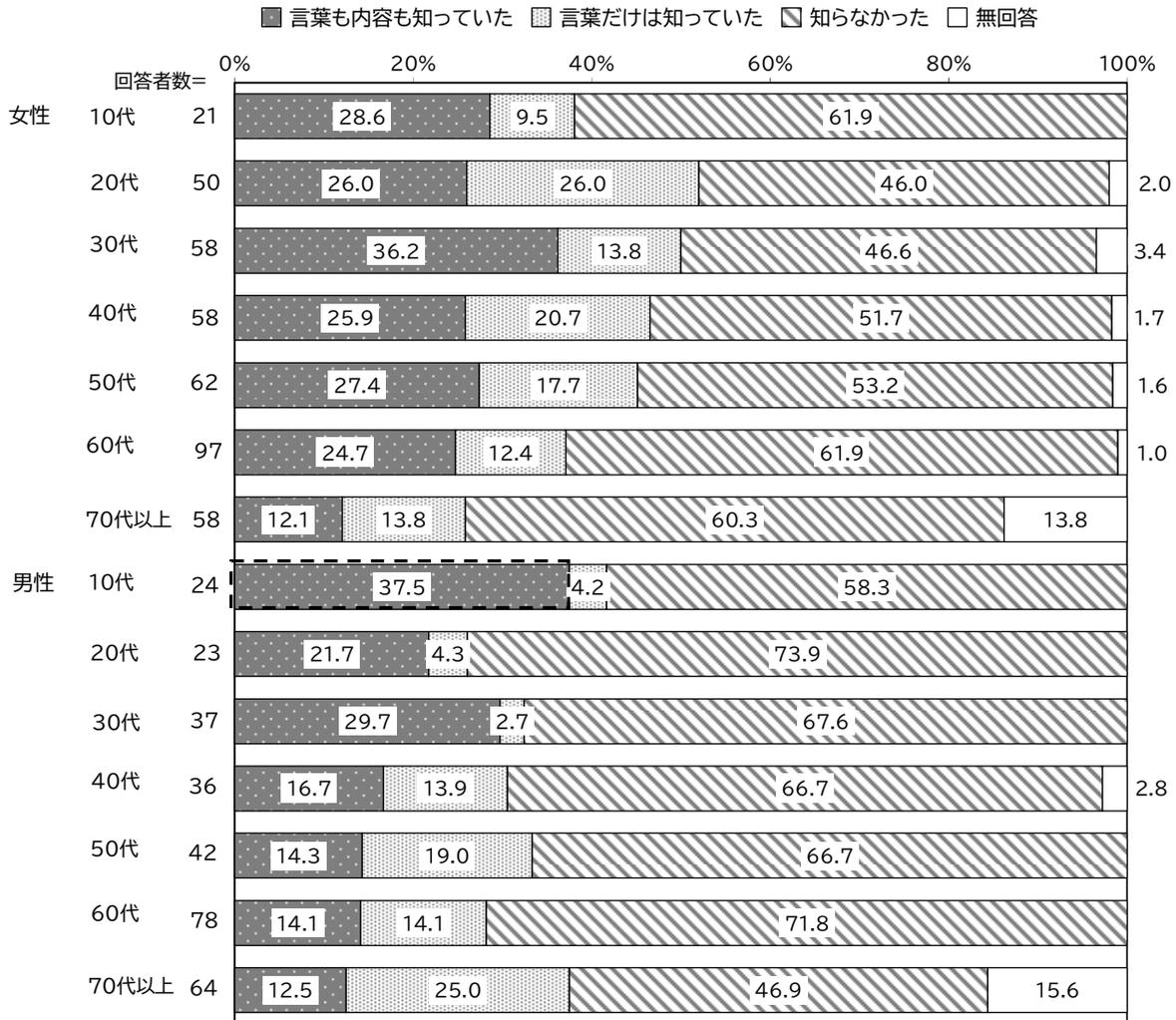
【性・年代別】



B デートDV

性・年代別で見ると、他に比べ、男性10代で「言葉も内容も知っていた」の割合が高い。

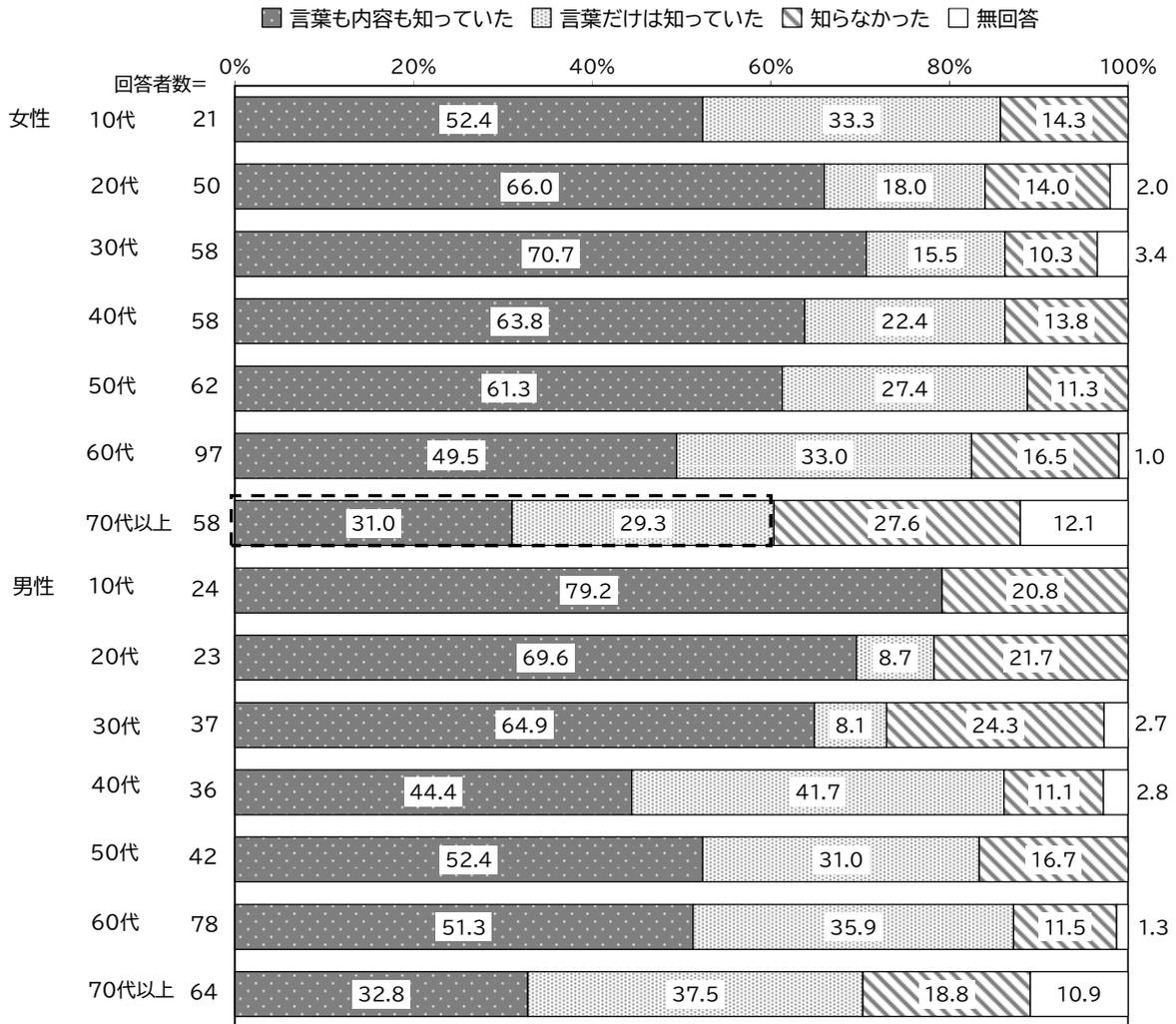
【性・年代別】



C LGBT等性的少数者

性・年代別で見ると、他に比べ、女性70代以上で“知っていた”の割合が低い。

【性・年代別】

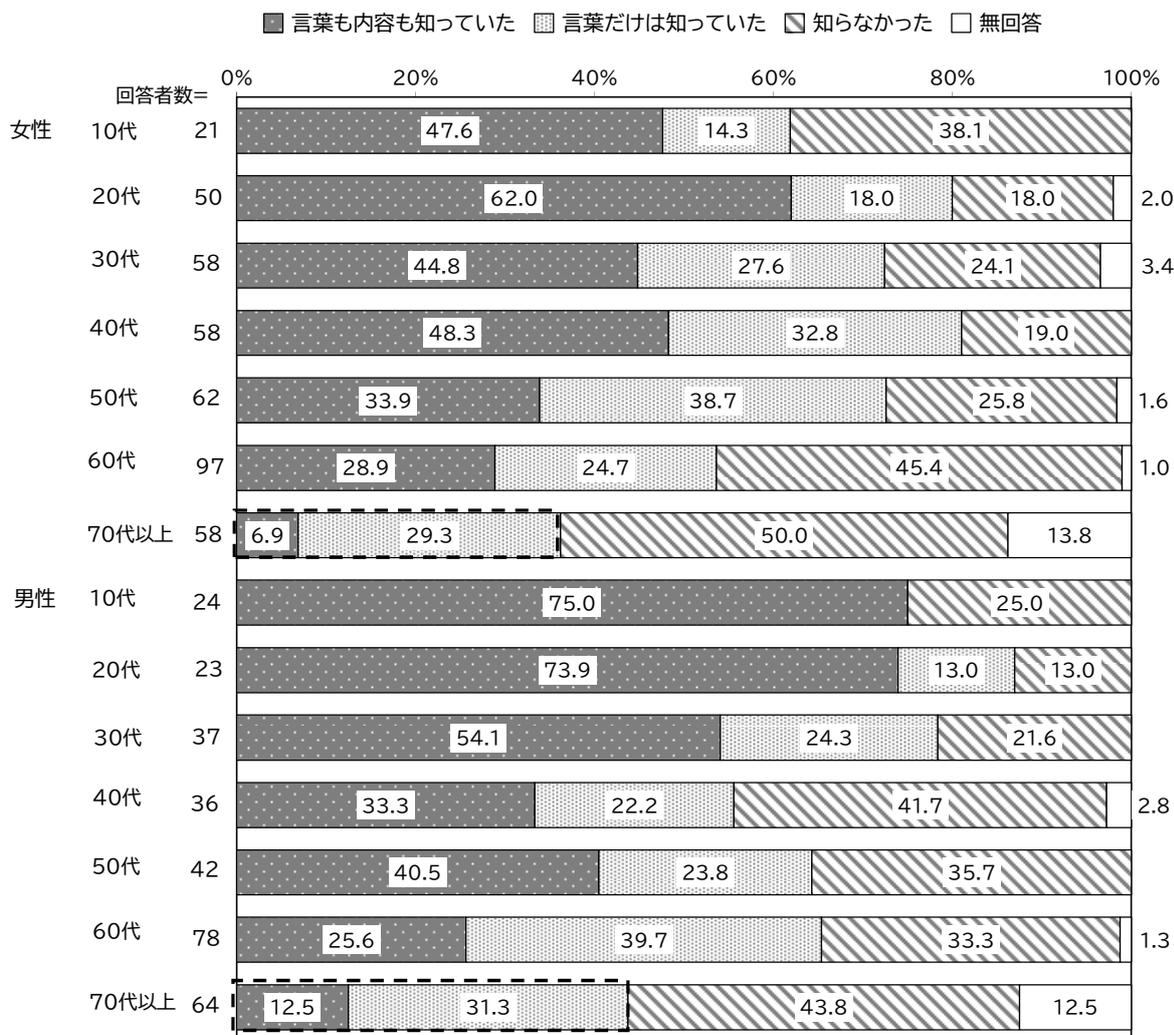


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

D 性的指向・性自認

性・年代別で見ると、他に比べ、70代以上男女で“知っていた”の割合が低い。

【性・年代別】

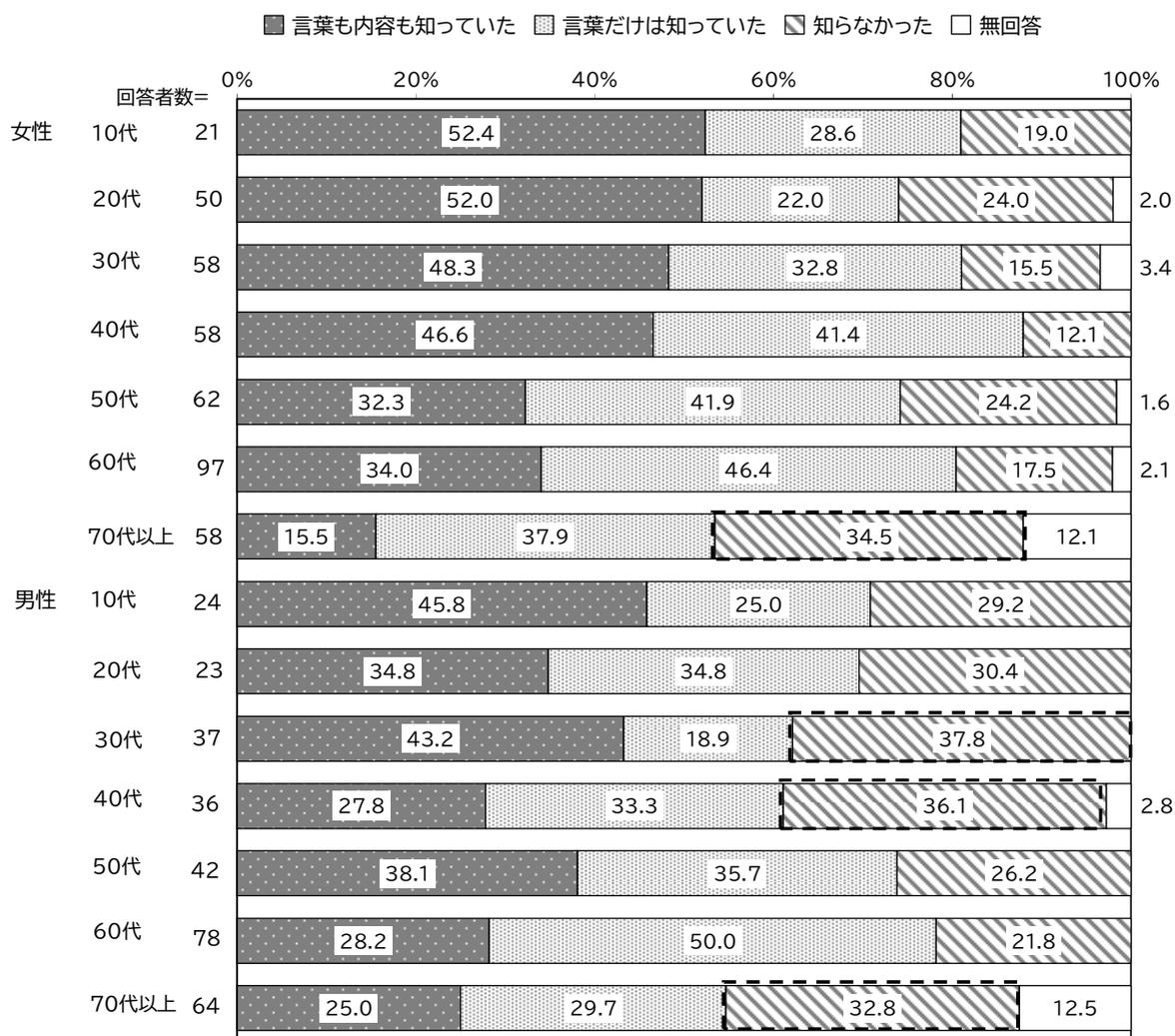


※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

E パートナーシップ制度

性・年代別で見ると、他に比べ、男性 30 代 40 代、70 代以上男女で「知らなかった」の割合が高い。

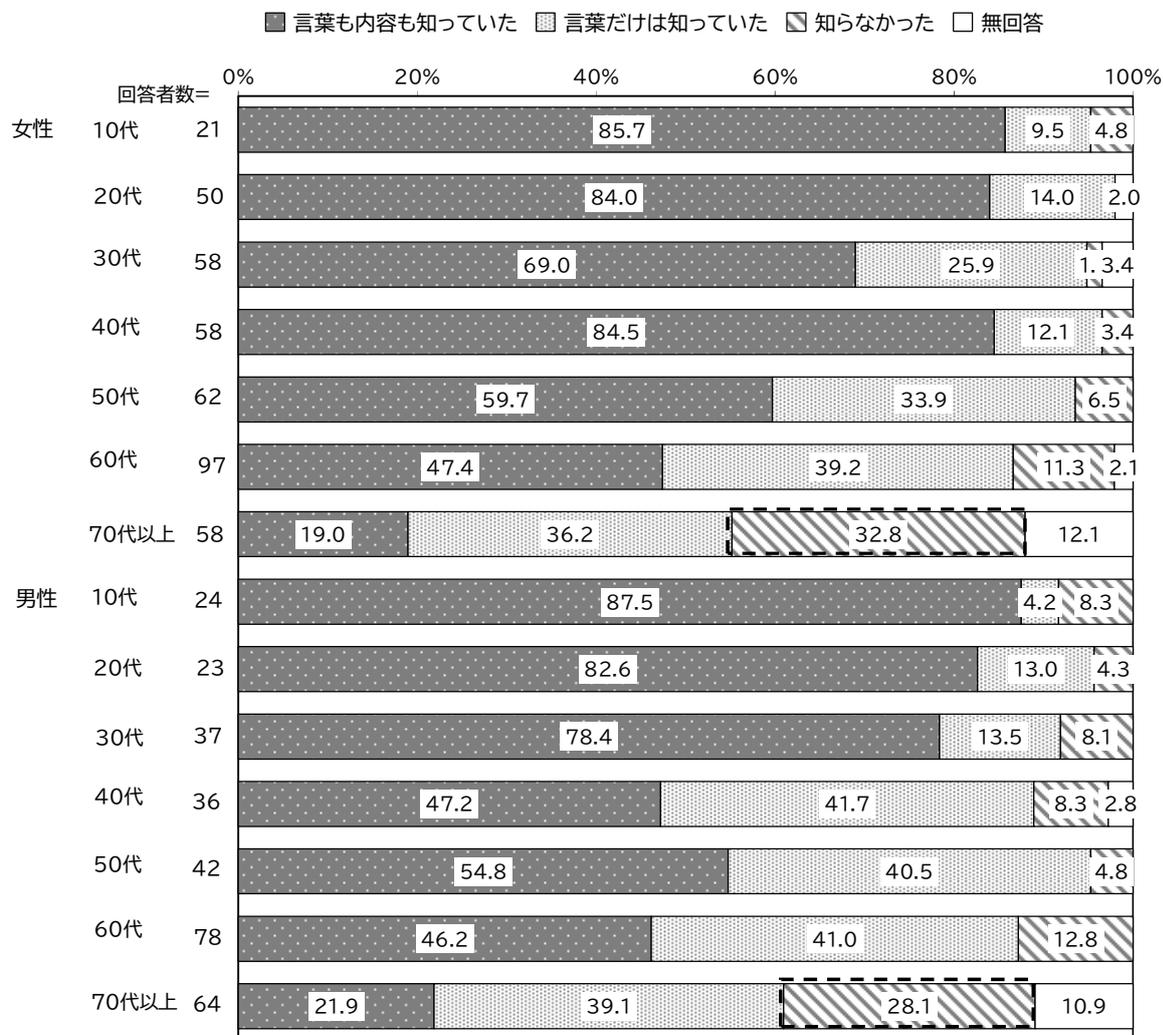
【性・年代別】



F ジェンダー

性・年代別で見ると、他に比べ、70代以上男女で「知らなかった」の割合が高い。

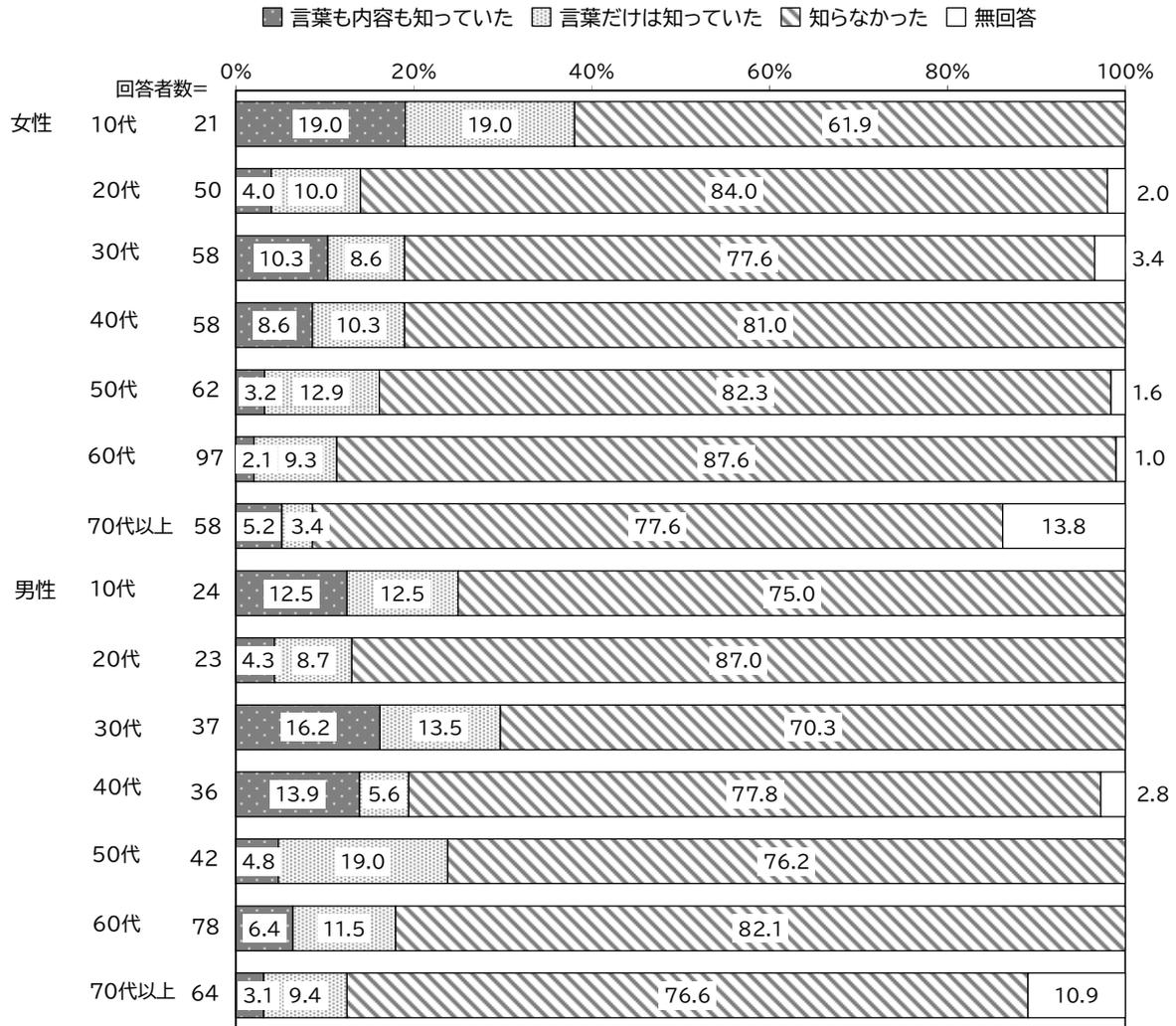
【性・年代別】



G アンコンシャス・バイアス

性・年代別でみると、男女ともに「知らなかった」の割合が高い。

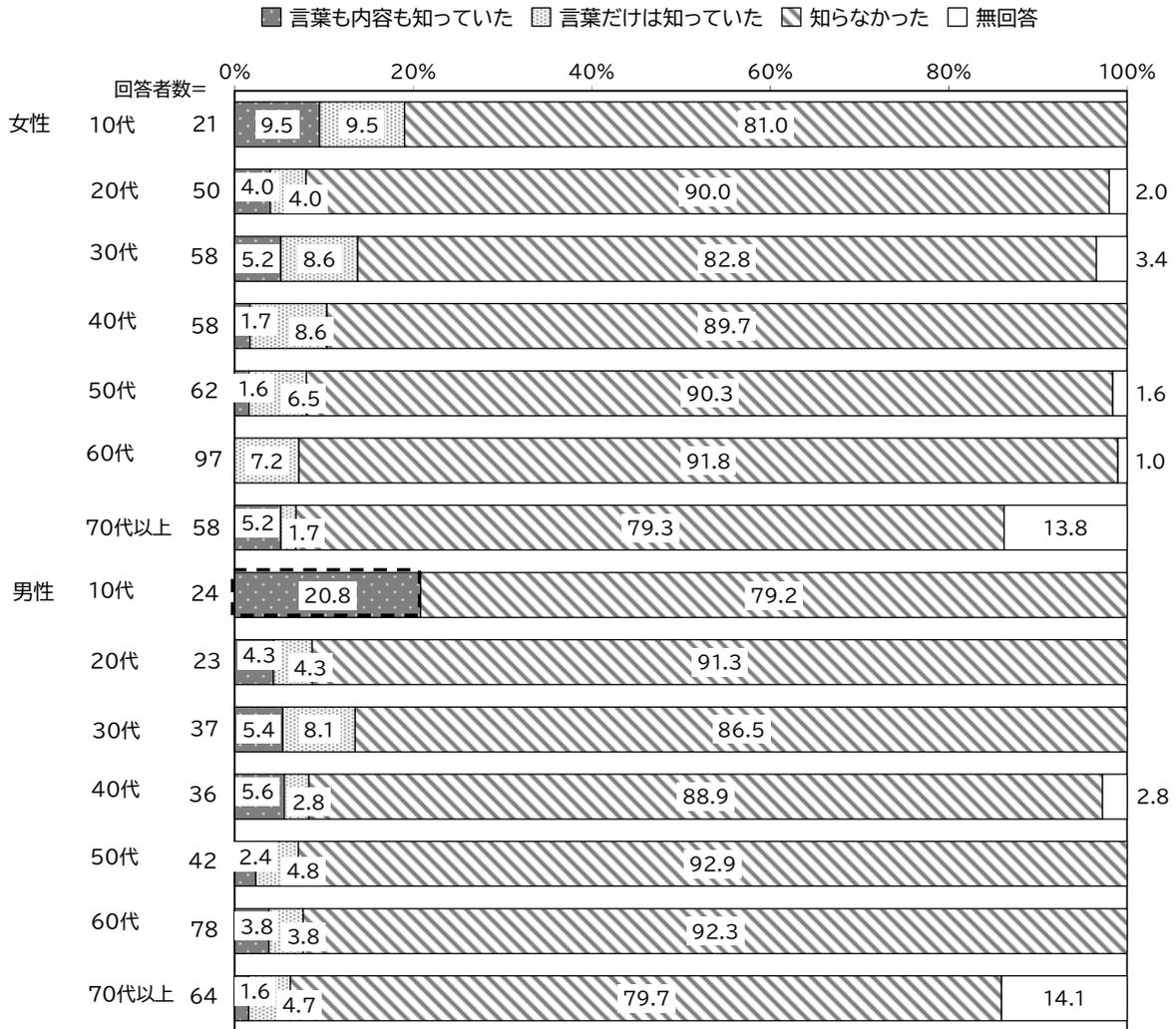
【性・年代別】



H SOGI

性・年代別でみると、男性 20 代で「言葉も内容も知っていた」の割合が高い。

【性・年代別】



豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和元年と比較し、“知っている（※）”の割合が『A ワーク・ライフ・バランス』『B デートDV』『C LGBT等性的少数者』で高くなっている。

【経年比較】

A ワーク・ライフ・バランス

単位：％

| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 38.2 | 22.5 | 36.2 | 3.0 |
| 女性 | 37.9 | 23.3 | 36.4 | 2.5 |
| 男性 | 39.1 | 21.7 | 36.2 | 3.0 |
| 豊橋市（R03.8） | 34.9 | 18.5 | 43.4 | 3.2 |
| 女性 | 33.2 | 15.2 | 48.9 | 2.7 |
| 男性 | 37.2 | 22.3 | 36.9 | 3.6 |
| 豊橋市（R01.8） | 21.3 | 22.7 | 48.2 | 7.9 |
| 女性 | 20.4 | 23.1 | 49.7 | 6.8 |
| 男性 | 22.4 | 23.0 | 44.9 | 9.7 |
| 豊橋市（H28.8） | 15.2 | 27.6 | 47.8 | 9.4 |
| 女性 | 15.3 | 26.3 | 47.6 | 10.8 |
| 男性 | 15.3 | 29.4 | 48.8 | 6.5 |
| 豊橋市（H26.9） | 10.9 | 24.1 | 57.9 | 7.1 |
| 女性 | 11.1 | 24.7 | 56.2 | 8.0 |
| 男性 | 10.5 | 23.3 | 60.2 | 6.0 |
| 豊橋市（H23.6） | 7.2 | 28.9 | 58.8 | 5.1 |
| 女性 | 6.3 | 28.4 | 60.9 | 4.5 |
| 男性 | 8.4 | 29.4 | 57.2 | 5.0 |

※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

B デートDV

単位：％

| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|-------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 22.5 | 15.5 | 58.0 | 4.0 |
| 女性 | 25.5 | 16.3 | 54.7 | 3.5 |
| 男性 | 18.4 | 14.1 | 63.8 | 3.6 |
| 豊橋市 (R03.8) | 20.6 | 13.9 | 62.0 | 3.5 |
| 女性 | 24.7 | 14.3 | 58.3 | 2.7 |
| 男性 | 15.9 | 13.6 | 66.4 | 4.1 |
| 豊橋市 (R01.8) | 14.6 | 18.1 | 60.1 | 7.2 |
| 女性 | 17.5 | 19.2 | 57.3 | 6.0 |
| 男性 | 10.2 | 16.3 | 64.3 | 9.1 |
| 豊橋市 (H28.8) | 15.1 | 16.6 | 58.8 | 9.5 |
| 女性 | 20.4 | 16.6 | 52.6 | 10.5 |
| 男性 | 8.1 | 17.0 | 67.7 | 7.2 |
| 豊橋市 (H26.9) | 10.6 | 17.6 | 65.2 | 6.7 |
| 女性 | 13.6 | 19.9 | 59.2 | 7.3 |
| 男性 | 6.6 | 15.0 | 72.6 | 5.8 |

C LGBT等性的少数者

単位：％

| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|-------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 53.7 | 26.7 | 16.0 | 3.6 |
| 女性 | 55.9 | 25.7 | 15.6 | 2.7 |
| 男性 | 52.0 | 28.0 | 16.8 | 3.3 |
| 豊橋市 (R03.8) | 52.3 | 21.5 | 22.4 | 3.8 |
| 女性 | 51.8 | 23.1 | 21.7 | 3.4 |
| 男性 | 52.8 | 19.7 | 23.3 | 4.1 |
| 豊橋市 (R01.8) | 30.9 | 27.8 | 34.6 | 6.8 |
| 女性 | 32.2 | 26.0 | 36.1 | 5.8 |
| 男性 | 28.3 | 30.5 | 33.0 | 8.3 |
| 豊橋市 (H28.8) | 22.5 | 19.0 | 49.1 | 9.3 |
| 女性 | 25.9 | 17.8 | 46.1 | 10.1 |
| 男性 | 18.4 | 21.1 | 53.3 | 7.2 |

豊橋市の過去の調査との比較でみると、令和3年と比較し、“知っている（※）”の割合が『E パートナーシップ制度』『F ジェンダー』『G アンコンシャス・バイアス』で高くなっている。

【経年比較】

E パートナーシップ制度

単位：％

| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 35.4 | 36.8 | 24.2 | 3.6 |
| 女性 | 38.1 | 37.9 | 20.8 | 3.2 |
| 男性 | 32.6 | 34.9 | 29.6 | 3.0 |
| 豊橋市（R03.8） | 22.1 | 36.9 | 37.2 | 3.8 |
| 女性 | 23.3 | 38.8 | 34.3 | 3.6 |
| 男性 | 20.8 | 34.9 | 40.5 | 3.8 |

※「言葉も内容も知っていた」と「言葉だけは知っていた」の計

F ジェンダー

単位：％

| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市（R05.8） | 56.3 | 29.6 | 10.8 | 3.3 |
| 女性 | 60.1 | 27.5 | 9.4 | 3.0 |
| 男性 | 52.3 | 32.2 | 12.8 | 2.6 |
| 豊橋市（R03.8） | 43.6 | 33.3 | 19.7 | 3.5 |
| 女性 | 45.1 | 35.0 | 17.0 | 2.9 |
| 男性 | 42.1 | 31.3 | 22.8 | 3.8 |

G アンコンシャス・バイアス

単位：%

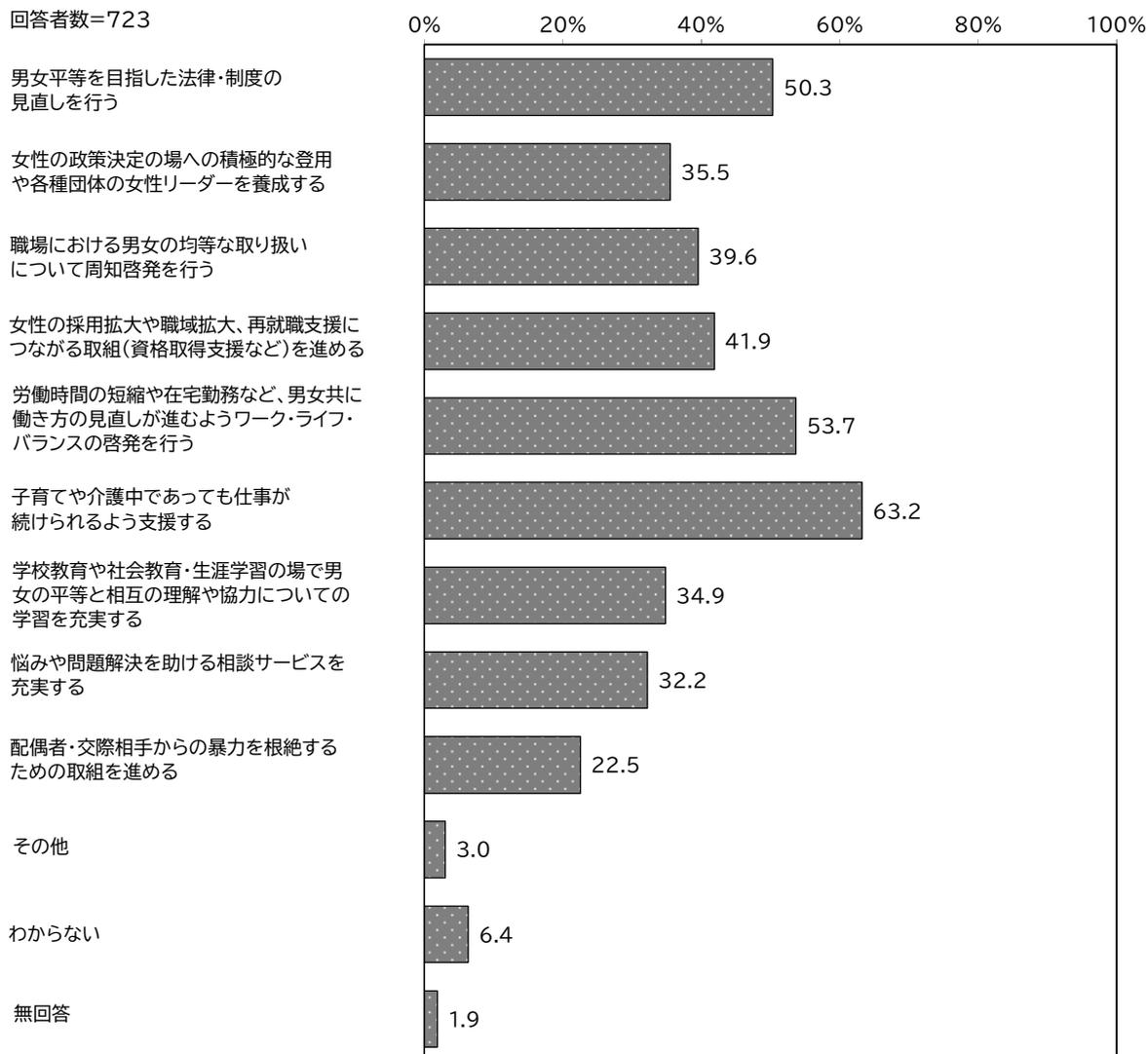
| | 言葉も内容も 知っていた | 言葉だけは 知っていた | 知らなかった | 無回答 |
|-------------|-----------------|----------------|-------------|------------|
| 豊橋市 (R05.8) | 6.8 | 10.2 | 79.5 | 3.5 |
| 女性 | 5.9 | 9.7 | 81.2 | 3.2 |
| 男性 | 7.9 | 11.5 | 78.0 | 2.6 |
| 豊橋市 (R03.8) | 6.7 | 9.2 | 80.3 | 3.8 |
| 女性 | 7.4 | 9.6 | 80.0 | 2.9 |
| 男性 | 5.9 | 8.7 | 80.8 | 4.6 |

(2) 男女共同参画社会実現のために行政に望むこと

問23. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が63.2%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」の割合が53.7%、「男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う」の割合が50.3%となっている。

回答者数=723



性別でみると、男性に比べ、女性で「労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する」の割合が高い。

【性別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う | 女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う | 女性の採用拡大や職域拡大、再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める | 労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う | 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する | 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する | 配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める | その他 | わからない | 無回答 |
|----|---------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------|---|---|----------------------------|---|------------------------|-----------------------------|-----|-------|-----|
| 女性 | 404 | 50.7 | 34.4 | 41.1 | 43.6 | 58.2 | 70.3 | 38.1 | 36.1 | 23.0 | 2.2 | 5.4 | 1.7 |
| 男性 | 304 | 50.0 | 36.5 | 37.8 | 38.8 | 47.7 | 54.9 | 30.3 | 27.6 | 22.0 | 4.3 | 7.6 | 1.0 |

性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う」の割合が高い。

【性・年代別】

単位：%

| 区分 | 回答者数(件) | 男女平等を 目指した法律・ 制度の見直しを 行う | 女性の政策決定 の場合への積極 的な登用や各種 団体の女性リー ダーを養成する | 職場における 男女の均等な取 り扱いについて 周知啓発を行う | 女性の採用 拡大や職域 拡大、再就職 支援につな がる取組(資 格取得支援 など)を進 める | 労働時間の 短縮や在宅 勤務など、 男女共に働 き方の見直 しが進むよ うワーク・ ライフ・バ ランスの啓 発を行う | 子育てや 介護中であ っても仕事 が続けられ るよう支 援する | 学校教育 や社会教育 ・生涯学習 の場で男女 の平等と相 互の理解や 協力につい ての学習を 充実する | 悩みや問 題解決を助 ける相談サ ービスを充 実する | 配偶者・ 交際相手か らの暴力を 根絶するた めの取組を 進める | その他 | わからない | 無回答 |
|--------|---------|-----------------------------------|---|---|---|---|--|---|--|---|------|-------|-----|
| 女性 10代 | 21 | 57.1 | 42.9 | 47.6 | 23.8 | 47.6 | 42.9 | 28.6 | 23.8 | 28.6 | 4.8 | 9.5 | 0.0 |
| 20代 | 50 | 54.0 | 38.0 | 50.0 | 38.0 | 54.0 | 58.0 | 36.0 | 26.0 | 24.0 | 8.0 | 4.0 | 0.0 |
| 30代 | 58 | 51.7 | 37.9 | 46.6 | 46.6 | 75.9 | 77.6 | 39.7 | 44.8 | 29.3 | 3.4 | 1.7 | 3.4 |
| 40代 | 58 | 50.0 | 27.6 | 48.3 | 44.8 | 63.8 | 75.9 | 41.4 | 25.9 | 27.6 | 1.7 | 3.4 | 0.0 |
| 50代 | 62 | 40.3 | 33.9 | 32.3 | 48.4 | 56.5 | 72.6 | 32.3 | 46.8 | 22.6 | 1.6 | 4.8 | 1.6 |
| 60代 | 97 | 57.7 | 30.9 | 39.2 | 45.4 | 57.7 | 75.3 | 42.3 | 38.1 | 17.5 | 0.0 | 6.2 | 0.0 |
| 70代以上 | 58 | 44.8 | 37.9 | 31.0 | 43.1 | 44.8 | 67.2 | 37.9 | 36.2 | 19.0 | 0.0 | 10.3 | 6.9 |
| 男性 10代 | 24 | 45.8 | 16.7 | 25.0 | 25.0 | 50.0 | 50.0 | 25.0 | 33.3 | 37.5 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 20代 | 23 | 52.2 | 34.8 | 43.5 | 30.4 | 60.9 | 43.5 | 34.8 | 26.1 | 21.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30代 | 37 | 32.4 | 18.9 | 16.2 | 35.1 | 51.4 | 43.2 | 24.3 | 18.9 | 24.3 | 10.8 | 8.1 | 0.0 |
| 40代 | 36 | 50.0 | 30.6 | 47.2 | 36.1 | 44.4 | 55.6 | 30.6 | 30.6 | 27.8 | 2.8 | 11.1 | 2.8 |
| 50代 | 42 | 42.9 | 40.5 | 35.7 | 42.9 | 45.2 | 57.1 | 19.0 | 26.2 | 19.0 | 7.1 | 14.3 | 0.0 |
| 60代 | 78 | 52.6 | 39.7 | 37.2 | 38.5 | 44.9 | 55.1 | 30.8 | 24.4 | 14.1 | 1.3 | 5.1 | 1.3 |
| 70代以上 | 64 | 62.5 | 51.6 | 50.0 | 48.4 | 46.9 | 65.6 | 40.6 | 34.4 | 23.4 | 6.3 | 6.3 | 1.6 |

豊橋市の過去の調査との比較でみると、大きな差異はみられない。

【経年比較】

単位：％

| | 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う | 女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う | 女性の採用拡大や職域拡大、再就職支援につながる取組（資格取得支援など）を進める | 労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う | 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する | 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する | 配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める | その他 | わからない | 無回答 |
|------------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------------|---|---|----------------------------|---|------------------------|-----------------------------|-----|-------|-----|
| 豊橋市（R05.8） | 50.3 | 35.5 | 39.6 | 41.9 | 53.7 | 63.2 | 34.9 | 32.2 | 22.5 | 3.0 | 6.4 | 1.9 |
| 女性 | 50.7 | 34.4 | 41.1 | 43.6 | 58.2 | 70.3 | 38.1 | 36.1 | 23.0 | 2.2 | 5.4 | 1.7 |
| 男性 | 50.0 | 36.5 | 37.8 | 38.8 | 47.7 | 54.9 | 30.3 | 27.6 | 22.0 | 4.3 | 7.6 | 1.0 |
| 豊橋市（R03.8） | 49.3 | 34.4 | 40.3 | 46.8 | 55.1 | 65.8 | 34.4 | 30.3 | 24.7 | 1.3 | 6.9 | 1.7 |
| 女性 | 49.8 | 35.0 | 41.3 | 49.8 | 60.3 | 72.0 | 35.0 | 32.5 | 28.0 | 0.7 | 5.4 | 1.6 |
| 男性 | 48.7 | 33.8 | 39.2 | 43.6 | 49.2 | 58.7 | 33.8 | 27.2 | 20.5 | 2.1 | 8.7 | 1.8 |

過去の調査と項目が異なるため、参考とする。

【経年比較】

単位：%

| | 男女平等を旨とした法律・制度の制定や見直しを行う | 女性を政策決定の場に積極的に登用する | 各種団体の女性のリーダーを養成する | 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う | 女性の採用拡大や職域拡大を進める | 女性の再就職支援につながる取組(資格取得支援など)を進める | 労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う | 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する | 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する | 女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する | 男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する | 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する | 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する | 広報誌やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力についてPRする | 家庭における暴力を根絶するための取組を進める | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------------|--------------------------|--------------------|-------------------|-----------------------------|------------------|-------------------------------|---|----------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------------------|------------------------|-----|------|-----|
| 豊橋市 (R01.8) | 30.3 | 17.0 | 8.2 | 20.7 | 16.0 | 17.5 | 39.2 | 48.2 | 18.1 | 7.0 | 2.4 | 13.4 | 1.8 | 5.4 | 5.3 | 2.5 | 3.8 | 7.7 |
| 女性 | 29.7 | 15.3 | 8.0 | 19.8 | 15.9 | 19.2 | 40.4 | 52.2 | 18.1 | 6.8 | 2.1 | 14.6 | 1.6 | 5.8 | 5.4 | 1.9 | 3.5 | 7.4 |
| 男性 | 30.5 | 18.8 | 8.9 | 22.4 | 15.5 | 15.2 | 37.4 | 43.5 | 18.0 | 7.5 | 3.0 | 12.2 | 2.2 | 5.3 | 5.5 | 2.5 | 4.2 | 8.3 |
| 豊橋市 (H28.8) | 29.5 | 17.8 | 9.2 | 22.2 | 22.0 | — | 55.7 | 44.1 | 23.6 | 8.7 | — | 15.2 | 2.6 | 5.6 | — | 2.5 | 3.5 | 5.9 |
| 女性 | 26.5 | 16.8 | 8.5 | 20.9 | 24.1 | — | 56.0 | 49.2 | 23.2 | 9.7 | — | 15.1 | 2.2 | 5.4 | — | 1.8 | 2.3 | 7.0 |
| 男性 | 34.2 | 19.4 | 9.6 | 24.2 | 19.6 | — | 55.7 | 37.8 | 24.4 | 6.9 | — | 15.1 | 3.3 | 6.0 | — | 3.6 | 5.0 | 3.8 |

Ⅲ 自由意見

寄せられた多くの意見の中から、本調査に直接関係ないものや要望、重複意見等を除き、主なものを紹介する。

1 男性が仕事と家事、育児、介護を両立することについて

(1) 60代女性

- ・男性の中で意識が以前と変わらず、男だからとの意思、主張が強いと思います。職場でも男性の方が基本給も高く、能力重視ではないと感じています。しっかり働けていない男性もいます。そのような人よりも地位、賃金が低いことは納得できません。企業、政治がいまだに格差がくずせていません。それを市民に求めるのはいかがなものでしょうか。トップが主に改革をしないのに、と思います。言葉ではいくらでも言えますが、行動がともなっていない。共同参画社会が目指せますか？

2 女性が仕事と、出産、子育て、介護などを両立することについて

(1) 10代男性

- ・「生理休暇」に相当する制度が必要。職場の人に内容を知られないよう、それとなく利用できる形がベスト。

(2) 20代男性

- ・男だから女だからという言葉は古いかもしれませんが、男にしかできないこと、女にしかできないことはあると思います。無理に平等にもっていかず、何かしらお互いに納得がいくといいと思うのですが難しそうです。女性の仕事復帰は早急に考えた方がいいですね。

(3) 20代女性

- ・生理痛による休暇を設けてほしい

(4) 30代男性

- ・大企業のみならず、市内の中小企業を対象として、子育てしながら働く女性の支援をして頂きたい。例えば、子育てによってやむを得ず休暇を取ると社会より不遇を受ける場合がある。それを条例で罰せるような仕組みがあればよいと思う。豊橋市のような田舎の中小企業は、考えが古いところが多く見受けられる（実体験）。是非、先進的な取組みをお願いしたい。

(5) 30代女性

- ・女性を尊重し誰に対しても平等であってください。

(6) 40代女性

- ・私自身女性の服を着ることを嫌うジェンダーです。普段は紳士服です。アンケートの回答や病院は正しい診察のため身体の性別記入は必要だと思いますが、性別の記入で男女以外に「その他」という欄があることは些細なことですが嬉しく思います。ある幼稚園では「母の会」というPTAのような役割の名称が使われていますが、育児が男女で負担するものであるならば、ふさわしくない名称のように思います。保健所で記入する書類の連絡先にも「母の携帯」とあり、やはり母親主体にとらえられがちなのかなと思いました。どれも些細な記入欄の表示についてですが、このように小さなところで嬉しく思ったり傷付いたりする人がいます。育児は母親がするものという概念が、そうではないんだと思える社会になってほしいと思います。主人と私は違う仕事をしていますが、主人よりも長い時間フルタイムで働いたとしても、主人の収入に届かないのが悔しいです(医療系資格有)。なので、私が家庭のことをして仕事を諦めるのが現状です。男女の職業で収入差が大きくないといいです。
- ・男性育休制度もあるが、自分の夫は取得できず、自分の職場の男性は取得し皆がフォローした。ある家庭は恩恵を受けられず負担だけ増えた。不平等を感じた出来事。

(7) 50代男性

- ・女性といっても、自分の職場の女性は自分勝手ですよ。
- ・一般企業は今男女平等は難しい。公務員で女性が中心でできること、働けることを示してほしい。一般企業は厳しいですよ。

(8) 50代女性

- ・小さい時から男女差別に矛盾を感じていた。今だんだんと差別をなくそうという動きが出てきているのを感じる。とはいえ、小さい時に見ていた(感じていた)光景を体で覚えているので変えていくのは難しいことだと思う。変化することでより女性の分担が増えないことを希望します。性の多様性も多すぎて、何をすると相手を傷つけてしまうか、かえって混乱してしまっている。今はより情報を受け入れることが大切かと思う。
- ・男女共同参画社会にすることは賛成なのですが、男性と女性の体のつくりの違いなど平等に扱うことがとても難しいと思います。女性の出産、子育て、容姿に対するこだわり、男性有利な世の中であるのは仕方がないのかなと思います。

(9) 60代女性

- ・子育てには、今、国や会社では男性も休みを長期取るようになりましたが、小さい会社はなかなか取る人はいません。介護になると、国も会社も時間が子育てよりもっと少ない。介護で辞めていく人も多い。子どもの時間を考えるのはいいが、介護の方も同じように考えてほしい。女性だってもっと働きたいと思っていると思う。
- ・「女性が核家族で出産し育てていくのは本当に大変です。4才、2才、0才の子どもを持つ娘（早く職場復帰するために間をおかずに産んだのです）をフォローしてきましたが、本当に大変です。旦那さんは10時すぎないと帰らない会社員で、単身で海外勤務もあるためです。元気な高齢者はたくさんいるので、助けてあげたいと思っています。相互によいことだと思います。
- ・過去の経験から子育て中の同僚、後輩の仕事のフォローは女性でと管理職は決めつけていました。女性同士上手くお願いします、とね。男女共同参画を目的とするなら、家事は勿論、仕事のフォローも男女関係なく行うことが望ましいと思います。子育てと仕事の両立は簡単ではありません。重要なミッションが始まるとゆとりがなくなり、母親のわずかな行動を子どもは見逃さず不安を感じぐずったり、発熱したり。通院のため会社を休むことに。ミッションを止めるか、フォローが必要となります。特に未就学期間はとても困難です。小学生高学年になれば理解もでき、協力してもらえますが、職場では次の人材が育ってなかなか重要なミッションにつけないのが現実です。本人は正社員でいる限りこれもよいかとなると、今度はパートタイマー勤務さんからの愚痴が絶えません。昨今、同一職種同一賃金となればこのような問題はなくなりますかね。安心して子育てしてからの、正社員の中途採用の門が広がるといいですね。斬新な意見として、日本の大学も年齢関係なく門が広がるのが理想です。女性の出産は期間が限られています。在学中に出産・育児を行えば、4年とは言わず8年かかっても、経験から人間も成長し、合理的で少子化対策にも効果があると期待が持てます。これには大学の理解が試されます。そして、企業にも、男女問わず間違っても子持ちの採用試験と思わず、意欲があつてすばらしいと受け止めてもらうと入社3年未満の離職率は必ず低下します。理由は独立心が育って守るものがあり一人前の大人ですから。
- ・若い年代の方々は子育てしながらの仕事の両立は大変だと思います。もっと余裕のある日々が送れるような子育て支援を充実させてください。子育てが楽しめ、親子共々笑って過ごせるように。介護の方も仕事を辞めなければできない人々も増えています。両立して経済的不安もなくせるような制度ができるようお願いいたします。子ども、年寄り問題は大変だと思っています。
- ・子育て、介護など、やはり女性の方が負担があると思う。仕事が休めないからと女性が仕事を休む方が多いと思う。女性だって立場によっては休めないからサポートがあればと思います。他人に迷惑をかけなければ誰を好きでもいいと思う（今の時代は）。

3 ジェンダー平等について

(1) 10代男性

- ・男性トイレ、また銭湯でも男湯に女性が清掃に来るのはどうかと思う。男女平等をかかげるなら直して当然である。また、男性が女性へデート代を払うのは当たり前や「男性なのに弱い」など、女性からの偏見があると思う。さらに女性は生理だから気遣って当たり前という考え方が広まっている気がする。あくまで男性が気遣ってプラスなだけであり、当たり前になり価値観を押し付けるのはおかしい。

(2) 30代女性

- ・男女関係なく、個人の意見が大事だから、その意見を尊重した方がいいと思う。
- ・男性であるとか女性であるという視点ではなく、必要な役割に対して、その役割にふさわしい人を育成するような考え方が大事なのではないかと思う。母親や父親という視点ではなく、親として何をやる必要があるのか。女性リーダーを増やすというより、リーダーとしてふさわしいスキルは何なのか？それが女性であっても男性であっても、個人的には関係ないことだと思う。

(3) 40代男性

- ・男性は男性の徳分を活かし、女性は女性の徳分を活かすのがよい。

(4) 40代女性

- ・小学生と幼児の子どもがいますが、男の子、女の子の区別ははっきりされている環境が続いています。昔に比べ、名簿の順番など変わっている面もありますが、持ち物で先生や友達から女の子っぽいと言われることも何度もありました。地域的にあまり理解がないのかと思うと、豊橋であることが残念に思います。もう少し浸透していくといいなと思います。

(5) 50代女性

- ・男女平等という言葉の解釈は人によって違っているように思います。男性女性の本質的な違いを理解した上で、又、過度に性別は関係なく・・・を押し出し過ぎるのも不安があります。男らしくも可、女らしくも可、これがいいという人も尊重される多様性も可です。平等とは、お互いの違いを認識した上で、人と人との互いの思いやりが一番大切なのではと思います。支え合える、助け合える世の中であってほしいです。
- ・トイレなどは外国で事件も起きているので、男子トイレ、女子トイレの他にジェンダーの人はジェンダー用トイレとかにすればいいと思う。もっと外国でどんなことが起こっているのかちゃんと調べて、いろいろなことを決めてほしい。

(6) 60代男性

- ・性不一致の方のトイレは身障者用トイレを使用する。
- ・最近では女性の地位向上の話題が多くなってきているが、私が子どもの頃は、男の子は悲しくても泣いてはダメとか、小さなことで文句を言うもんじゃない。また、親戚が集まる場においては、男の人は甘いものはいらぬからこれで十分だとか、果物もどちらかという女の人がよく食べていた印象が残っている。魚の切り身なども、私は長男だったので、尾っぽの部分は食べたくても、頭に近い骨の多い食べにくい部分ばかり出されていた。何か昔の風習は、男は男らしく女は

女らしくといった世の風習が強くて、ある意味、女性は要領のいい人はそれを逆手に取って、都合よく暮らしていた人も目立った。現在の方がかえって男も好きなものを自由に食べたりすることがやりやすくなったと思う。ジェンダーレスの芸能人が多くなっているのも、日本特有の風潮。

(7) 60代女性

- ・男女問わず一人の人間としていろいろ知識のある人は、社会に対して貢献すべきである人材だと思います。
- ・平成生まれの人と昭和生まれの人の考え方（男女平等について）が違い過ぎる。昭和の考え方、生活も良いところはたくさんあるが、今の時代にはあてはまらない事が多い。授業でも昭和は家庭科は女子、技術は男子という差別から、男の人は台所に立ったり、家のことはすべきではないという考え方。子育ては女の人。これも今の時代にはふさわしくない。小学校からしっかりと昔との考え方の違いを教えていくべきだと思う。
- ・小学生の孫に対して、女の子だから、男の子だからという言葉を使わないように気をつけている。
- ・女性の管理職登用が制度化されたが、本人の意思の確認をしないで、一方的に登用している現実が見受けられると思います。急に女性に目を向けた不自然な人事は、本人にとっても負担になると感じています。
- ・男女別なく仕事して家事育児をするのが普通の社会になってほしい。今は共働き家庭も多く、若い世代は家事育児も時間ある方が得意な方がやればよいという感じになってきているのは嬉しいことだと思う。育休も妻が1年、夫が1年というように順番に取ればよいし、子どもは夫婦で育てていくという意識を持ってほしい。女性が働いているときに（職場復帰して）一番困るのは、子どもの病気だと思う。1歳から保育園に預けて働いている母親は多いと思うが、3歳未満児は病気がうつりやすいし、熱を出すことも多いが、その度仕事を休まないといけなくなり、職場でも度重なる嫌な顔をされたり、本人が疲弊して仕事を辞めざるをえなくなることがあるように思う。病理保育ができる保育園が増えてほしいし、夫婦で順番に休めるような職場環境に変わってほしい。

(8) 70代以上男性

- ・SDGs”ジェンダー平等”（中日新聞記事7/14（木）引用です）初回は”らしき”男女には体の特徴の違いがあります。個人差もあります。社会や文化の中で役割が決めつけられることがあります。「男は仕事をして、女は家事育児」や「女性は赤、男性は青」など無意識に決めていた。今はこの違い（考え）がジェンダーとなります。こうした思い込みが「差別」を生んでいます。世界では女性だからという理由だけで教育が受けられない。大人になっても外で働くことが許されない国もあります。日本でも男女には差があり、内閣府などの調査では会社の管理職の女性は15%しかいません。女性はパートなど非正規で働く場合も多いので年間の平均給与は男性より44%低くなっています。以前は、性の違いは生まれた時の体の違いで見るのが一般的でした。でも、生まれた時に診断された性別が自分の望む性別と同じ場合もあれば異なることもある。恋愛の相手も異性であったり同性であったりと、いろいろな傾向があります（多様性があるという考えが広がってきました）。「女の子らしき」「男の子らしき」を押し付けられたり、働く男性で差があったり、給与に差があったりすることが、まだ社会では「あたり前」というふうにとらえられがちです。本来私たちは、一人一人違いますし、違っていいのです。性は多様であることを知り、お互いをもっと大切にしていきたい。私もまだまだ勉強中です。これからも、新聞記事、ラジオ、テレビのニュース、広報等々、しっかりと読んできちんと理解していきたいと思います。。
- ・男女平等という言葉にとらわれすぎ。男女それぞれの社会に対する役割があります。それを尊重することが真の男女平等である。

- ・男女関係なく思いやりと感謝の心が大切。
- ・性別による差別をなくし、女性と男性が対等に権利、機会、責任を分かち合える社会ができることを願っています。

4 LGBT等性的少数者への認識について

(1) 10代男性

- ・性のあり方について、私はSOGIのような各個人の性に関する自由な考えを否定しないことが現代に必要だと思います。SOGIをかみくだいて言うと、「(性に関して)何が好きか、自分自身をどう思うか」となります。つまりSOGIを否定するというのは、言うなれば他人の自由な考えを奪うこと。これはよくないこと。ですが、私が思うに、それならLGBTの認知を広めようとはなりません。LGBTを言葉上で知る分には問題ないと思いますが、LGBTと一種の区別のようになってしまうと、LGBTの対象かそうでないかで人の性的志向や性自認を捉えてしまいかねません。そうなってしまうと、LGBTの対象者は多数派の一般から見て「LGBTの人」の枠に入れられてしまい、普通とは異なるもの、つまり差別的に見られる恐れすらあります。だからこそ、みんながみんな違う現代の多様性を基に、一人一人の好みを受け入れるSOGIの考えこそ尊重されるべきだと私は思います。

(2) 20代男性

- ・LGBTを理由に差別されない、一人ひとりの自由が守られるような社会づくりには、大きく賛成である。一方で、権利を過剰に保護すると、それを盾にする商業LGBT(実際にはLGBTでないにも関わらず、あたかもLGBTであるように振る舞う人)が権利を乱用する恐れがある。そういう人が増えないためにも、子どもの頃からの正しい性教育をさせたほうがよいと思う。

(3) 20代女性

- ・男女その他LGBTQに対して、どれか一つを特別に扱えということが言いたいのではなく、同等に扱い、生き方を自分で選べる状態になってほしいです。確かに性や家庭環境などで大きく括った方が管理しやすかったところも多いのだろうと思うので、少し複雑になる分、それでも社会を回せるやり方を国も市民も考えてトライする時間がしばらく必要になるのですが、ここから数年は国民の意識が大きく変わる年だと思って楽しみにしています。豊橋での取組みに詳しくなかったのも、パルモについて調べてみます。

(4) 30代男性

- ・最近ハリウッド映画を観て思うことは、ポリコレ、コンプラと、若干どころかやり過ぎな気がします。人種差別や宗教は別にしても、LGBTQ問題はあからさまで、正直、逆に不自然で気味が悪いくらいです。知ることや理解を深めることはもちろん大切なことだと思うし、人類の繁栄の裏にも多様性が必要なことも分かります。だけどあくまでもマイノリティと呼ばれる人たちはもう少しそっとしておいてあげるべきだと私は思います。差別問題を利用して、被害者ビジネスとして金や権力のために圧力をかけたり、騒いでいるようにしか見えないのですから。

(5) 40代男性

- ・近年、性の多様性の話題がメディアを通して取り上げられることが多くなっていると思います。私はそういった対象ではありませんが、中にはそれを打ち明けることができずに命を絶ってしまう残念なケースも増加しています。豊橋市だけの問題ではありませんが、ひとりでも多くの尊い命を救ってもらえるような取組みをぜひお願いしたいと思います。男女共同参画は昔の考えをそのまま持ってしまう、そんな時代は終わってしまったと感じます。若いリーダー（どうしても年配の方はこうした取組みには不向き）のもと、様々な制度の見直しをしてほしいと思いました。

5 その他男女共同参画に関して

(1) 10代女性

- ・公共の場では”ちゃんと互いのことを理解している”という行為を示しているが、実際はそうではない可能性がある。だから、カウンセリングを設置（例：豊橋市の東部地域の労働場所に2～3人）し、現状を知る。
- ・学校や社会など集団の中にとどうしても固定観念が生まれてしまうので、差別を無くすことは難しいと思います。そのような差別を無くすために、親御さんが小さい頃からお子さんの個性を尊重していけば少しでも変わるかなと思います。私は性別にとらわれず、自分がしたいことができる世の中になってほしいと願っています。なので、学生のうちに男女の平等について学習の機会を設けてほしいです。

(2) 20代男性

- ・市として男女共に子育てができる環境を整えるべきだと思う。共同参画をうたうのであれば、市として条例整備を徹底して行い、それに対して市が手厚く援助してくれるシステム、助成金等導入してほしい。他市のようにおむつが月何個までもらえる等の物資の支援が必要であり、生活水準が上がれば質問等の問題を解決できるきっかけになると思う。賃金が上がれば生活も変わり、心のゆとりができる。はっきり言って今の豊橋市には、そういった援助等は市独自のものは見受けられないため、まったく魅力を感じない。だから人の流出を招いている。

(3) 20代女性

- ・豊橋市は他市町村で行っている様々な金銭的な支援が少ないと感じています（引越、子育て、出産、結婚等）。男女の違いと得意なことをもっと生かせる社会であること、今後子育てをしていく世代が子どもを産みたいと思える社会になるとよいと感じます。

(4) 30代男性

- ・今後の社会で重要な項目になってくると思う。行政職員の中には行政職員になったことがゴールで、職務に対し真摯に取り組まない職員がいることが稀に見受けられる。そのような職員が重要な位置に所属しないことを願う。
- ・老人ホームや孤児院の様に年単位で子どもを預ける施設がほしい。1人で1人を面倒見ようと思うと大変。30人で30人の面倒を見れば交代で休むこともできる。

(5) 30代女性

- ・看護休暇や介護休暇が取得しやすい環境が増えるとよい。学級委員や生徒会長などの選出で性別役割分担をなくす。

(6) 40代男性

- ・何故、生まれたときから男女の違いがあるのですか？
- ・全ては出生率のアップがなければ何にもつながらない
- ・男一人では、配偶者や子どもを養っていきません。個人が望む場合、それが実現できるような社会であってほしいです。現代はそれができないのが残念です。

(7) 40代女性

- ・男女が共に仕事をしながら子育てを行うためには、長時間労働の負担を軽減する配慮を職場で行うよう推進したり、補助金を出す等、対策が必要だと思います。また、子育て世代は子育てに対する教育を充実させたいと思っても、小学校では部活動がなくなり、十分な運動、文化活動の機会を与えられない環境となってしまっています。送迎ができないので、学校が終わってから活動の場を、学校や地域のセンターを中心に外部委託でもよいと思いますので、参加できる場を多くつくっていただきたいと感じます。

(8) 50代男性

- ・市役所の特別会場で市長や市役所の職員と意見交換ができる場所を持ち、男女共同参画の内容を語り合う事が大事。特に1～9の内容を細かく話し合うことがベストです。
- ・男性と女性では寿命が違う。年金を支給する時期を改善するべき。例えば、男性65歳、女性70歳から支給。その後、平均寿命男性82歳、女性87歳を超えた場合には、減額していき、不公平感をなくすべき。子どもを産んで育てなかった人々には年金を減らすべき。次の世代にツケをまわさない。

(9) 50代女性

- ・パルモを利用しますが、あまり知られていません。私自身研修で使用するだけなので、もっと活動内容をみんなに周知できるとよい。コロナが5類になっても、テレワークを進める。通勤時間を短くするよう企業に働きかけてほしい。すぐに帰れるよう業務内容を見直してほしい。

(10) 60代男性

- ・子育て環境が孤立化、そして定年延長により頼れる場所が少なくなっている。保育所等だけでなく、子育て支援の充実をはかる（夜間・休日も含めて）対策を充実させてほしい。
- ・男女共同参画社会実現の取組みは重要だと思います。しかし、ライフスタイルは、生活環境（裕福か貧乏、地域など）で違います。考え方も、置かれた環境で変わったりもしますので、大変難しいことだと思います。情報も豊かになり、みんなの考え方、意識も変化していますので、長いスパンで仕組み作り、意識づけが大事だと思います。そのためには”ゆとり”ある生活を送れることが必要だと思います。取組みにも多様性が必要かも？
- ・問題点が多すぎ。相談、対応する部署があいまい。

(11) 60代女性

- ・生涯学習等でご年配の方の参加を増やして、家庭の仕事の分担等の勉強をした方がいいと思います。認知症予防のためにも。

(12) 70代以上男性

- ・具体案がなく、何をかが記されていない。
- ・政府を筆頭に、最近、社会全体が掛け声ばかりのように思える。がんばってやってください。
- ・家庭円満にする。配偶者のいる人は家庭をつぶさない。それには浮気はしない。互いに多少のトラブルは妥協する。

(13) 70代以上女性

- ・家庭で育児をすることは、本当に大きな大変な大切なことです。親が愛情を十分に注げる時期を画一的な事業として育てられた子どもが成人して自分の子どもを真に愛することができるかと疑問です。「三つ子の魂百まで」と言います。子どもの成長を見守れる短い時期を他人の手に委ねるのは、本当にもったいないと思います。子育ては収入につながらない、仕事より大変と他人任せにする気持ちが若い人にある様に、年を重ねた者からは感じ取れますが。子どもが家に帰った時「おかえり」と言ってあげられる大切さを大事にと思うのみです。